

平成28年度

家庭部門のCO₂排出実態統計調査事業委託業務

報告書（別冊）

平成29年3月

株式会社 インテージ

株式会社 住環境計画研究所

別冊の構成

資料 1 全国試験調査結果（確報値）の概要

資料 2 調査の概要（確報値）

資料 3 結果の概要（確報値）＜統合集計（参考値）＞

家庭からの二酸化炭素排出量の推計に係る実態調査 全国試験調査の結果（確報値）の概要

1 調査の目的

本調査は、家庭からの二酸化炭素排出量の効果的な削減対策の推進や立案、削減計画の策定などの基礎資料となる統計調査を創設するにあたり、その全国規模での試験的な調査として、家庭における詳細な二酸化炭素排出実態を把握して、当該統計調査の設計の検討に資する基礎資料を得ることを目的とした。

2 調査の対象と選定方法

(1) 地域

全国

(2) 属性

専用住宅に居住する主世帯

(注) 専用住宅とは居住の目的だけに建てられた住宅で、店舗、作業場、事務所など業務に使用するために設備された部分がない住宅をいう。定義は総務省「住宅・土地統計調査」に基づく。

(3) 調査世帯数

16,402 (母集団世帯数：48,281,000)

(注) 母集団世帯数は専用住宅に居住する主世帯数(平成20年「住宅・土地統計調査」)

(4) 選定の方法

本調査では、住民基本台帳からの無作為抽出と、インターネット調査モニターからの選定の2つの方法によって調査対象世帯を選定した。

ア 住民基本台帳から抽出された世帯(調査員調査)

調査市区町村を定めた上で、市区町村が管理する住民基本台帳から8,802世帯(報告者は原則20歳以上)を系統抽出法によって選定した。

イ インターネット調査モニターの世帯

民間事業者が保有するインターネット調査モニター(20歳以上)から7,600世帯を選定した。

3 調査事項

次に掲げる事項等を調査した。

- ① 月別のCO₂排出量を推計するためのエネルギー使用量等について(電気、ガス、灯油、ガソリン、軽油)
- ② 太陽光発電について(月別の発電量、売電量、太陽電池の総容量)

- ③ 世帯について（世帯員、平日昼間の在宅者、世帯年収）
- ④ 住宅について（建て方、建築時期、所有関係、延床面積、居室数、二重サッシ・複層ガラスの有無）
- ⑤ 家電製品等について（テレビ・冷蔵庫・エアコン等の使用状況、家電製品に関する省エネ行動、使用場所毎の照明種類、照明に関する省エネ行動）
- ⑥ 給湯について（給湯器の種類、冬と夏の入浴状況、入浴やお湯の使用に関わる省エネ行動の実施状況）
- ⑦ コンロ・調理について（コンロの種類、用意する食事の数、調理に関する省エネ行動）
- ⑧ 車両について（自動車等の使用状況、燃料の種類、排気量、実燃費、使用頻度、年間走行距離、自動車に関する省エネ行動）
- ⑨ 暖房機器について（保有状況、使用状況）

4 調査時期

（1）エネルギー使用量調査票

平成 26 年 10 月から平成 27 年 9 月までの毎月（12 か月間）

（2）冬季調査票

平成 27 年 3 月末時点

（3）世帯調査票

平成 27 年 8 月末時点

5 調査の方法

（1）調査員調査

対象： 住民基本台帳から抽出された世帯

配布： 調査員による訪問で調査票を配布

回収： 調査員による訪問または郵送もしくは専用回答画面（オンライン）
で調査票を回収

調査体制： 環境省－民間事業者－調査対象世帯

（2）インターネットモニター調査

対象： インターネット調査モニターの世帯

配布： インターネット経由で調査票を配信

回収： 専用回答画面（オンライン）で調査票を回収

調査体制： 環境省－民間事業者－調査対象世帯

6 集計世帯数

(1) 調査員調査

5,995 世帯

(2) インターネットモニター調査

5,637 世帯

7 利用上の注意

- ① 本調査では調査員調査、インターネットモニター調査に加え、参考値として両調査を統合した集計（以下、「統合集計」という。）を行った。なお、本資料では、参考値ではあるものの、集計結果が母集団に最も近いと考えられる統合集計結果を主に掲載している。
- ② 本資料の構成比の内訳を合計しても四捨五入の関係で 100% とならない場合がある。
- ③ 本資料の図タイトルに下線が付くものは、確報値公表時に追加した図である。

8 結果の概要

平成 28 年 3 月に速報値を公表した。確報値では、①速報値の確定、②環境省ホームページ、政府統計の総合窓口（e-Stat）での統計表の公表、③詳細な分析結果を「結果の概要（確報値）＜統合集計（参考値）＞」に追加掲載、を行った。

(1) 調査方法別の結果

世帯当たりの年間 CO₂ 排出量（電気、ガス、灯油の合計）は、調査員調査では約 3.7 トン、インターネットモニター調査では約 3.3 トン、統合集計では約 3.5 トンである。電気の使用に伴う排出が約 7 割、ガスの使用に伴う排出が約 2 割、灯油の使用に伴う排出が約 1 割を占めている。

用途別にみると、照明・家電製品等が排出量の約 5 割を占め、給湯と暖房がそれぞれ約 2 割を占めている。

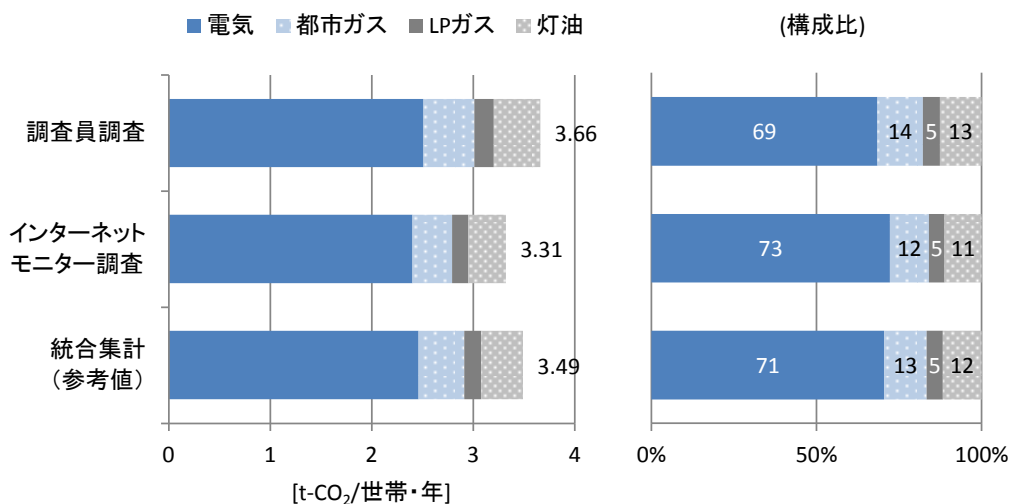


図 1 調査方法別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量（全国）

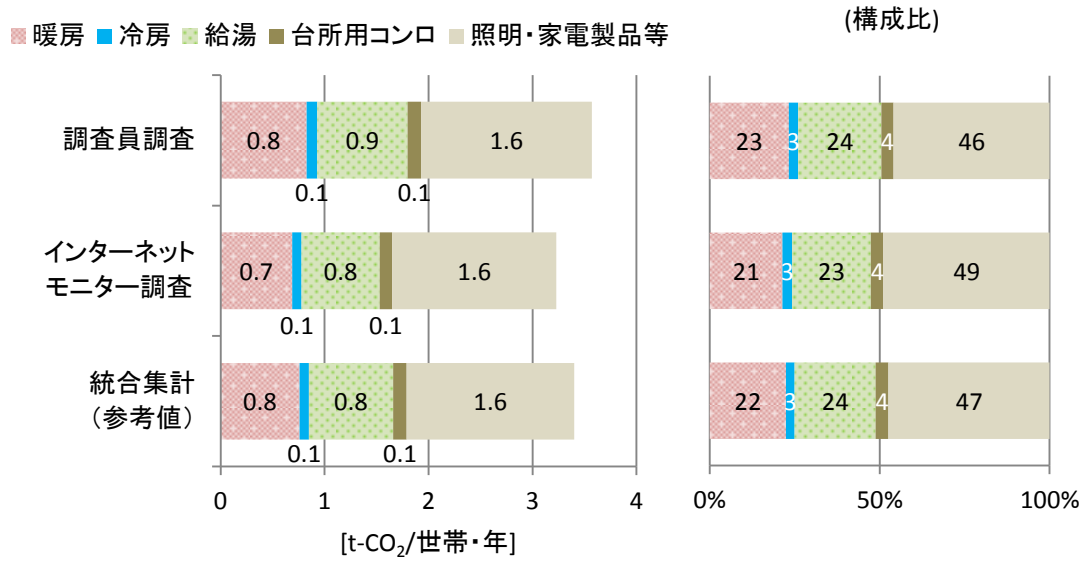


図2 調査方法別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量 (全国)

(2) 結果の概要 (統合集計：参考値)

ア 建て方別の結果

建て方別に CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯では集合住宅の世帯の約2倍である。戸建住宅の世帯では集合住宅の世帯に比べ世帯人数が多く、住宅の延べ床面積が大きいことなどが影響していると考えられる。

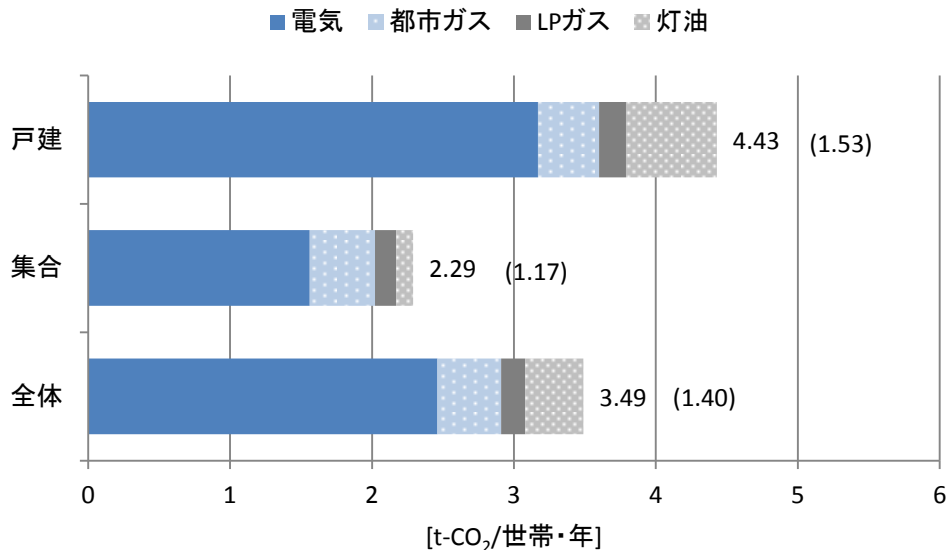


図3 建て方別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量 (全国)

(注1) 括弧内の数値は1人当たりの CO₂ 排出量を表す。

(注2) 1人当たりの CO₂ 排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

建て方別にエネルギー種別の支払金額を比較すると、世帯当たりの電気・ガス・灯油の年間合計支払金額は 18.8 万円である。戸建住宅の世帯の支払金額は 22.2 万円であり、集合住宅の 14.5 万円に比べ約 1.5 倍となっている。

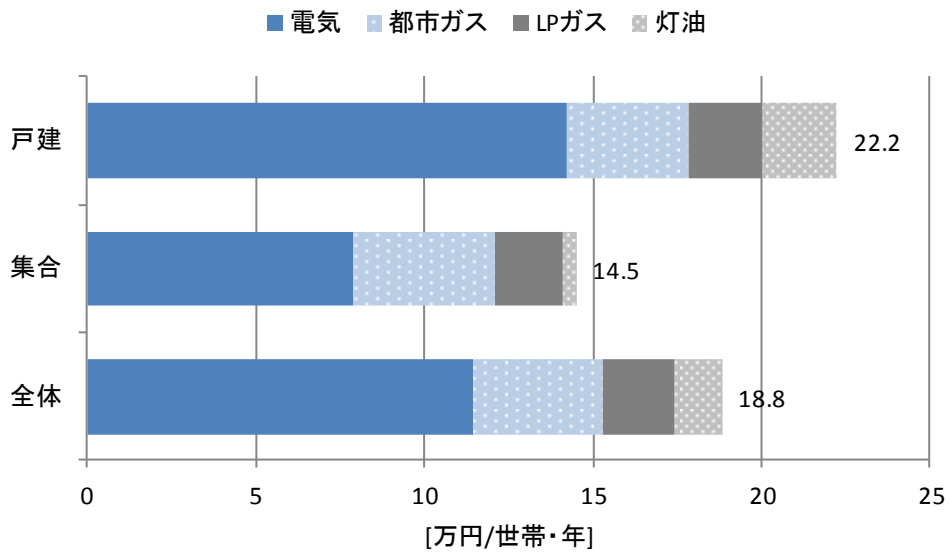


図4 建て方別世帯当たり年間エネルギー種別支払金額（全国）

建て方別に用途別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯では集合住宅の世帯に対し、暖房が約 3 倍、給湯が約 2 倍となっている。

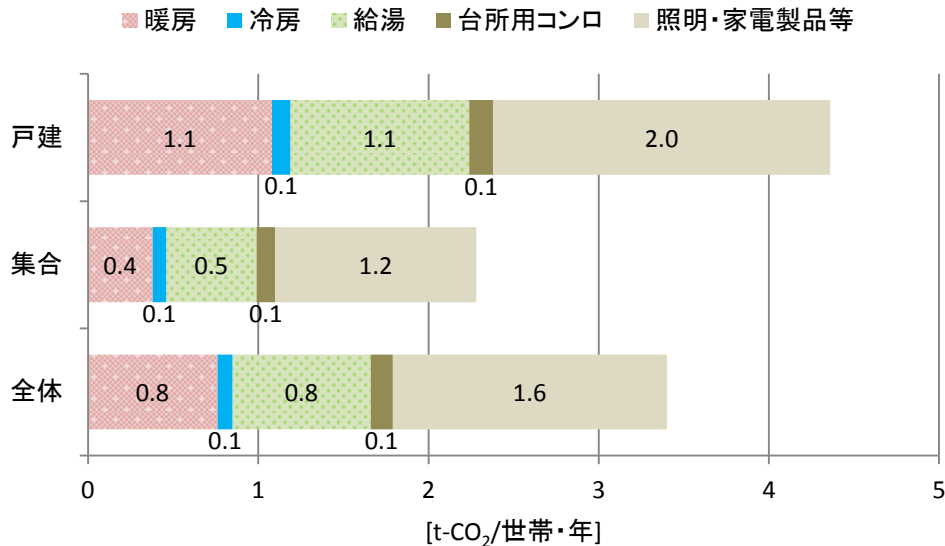


図5 建て方別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（全国）

イ CO₂排出量の季節変化

CO₂排出量を月別に比較すると、暖房や給湯の需要が増加する冬季の排出量が多く1月が最大であり、12～2月の排出量は年間排出量の約36%を占める。夏季にも冷房需要により排出量がやや増加する。

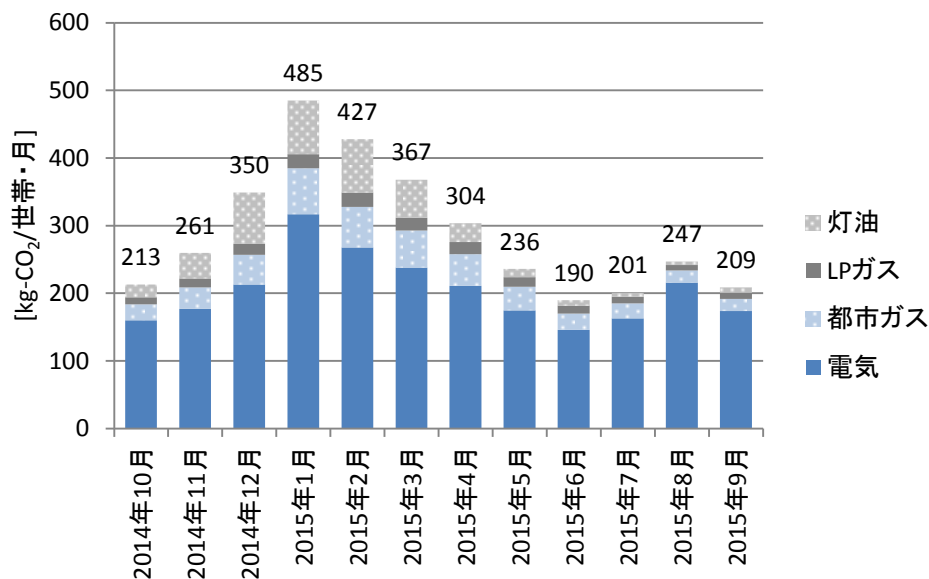


図6 世帯当たり月別エネルギー種別CO₂排出量

ウ CO₂排出量の世帯分布

建て方別にCO₂排出量の世帯分布をみると、地方により気候が異なることや世帯類型の違いなどによりばらつきがみられる。戸建住宅の世帯では排出量が3～4トンの世帯が最も多く、集合住宅の世帯では2～3トンの世帯が最も多い。

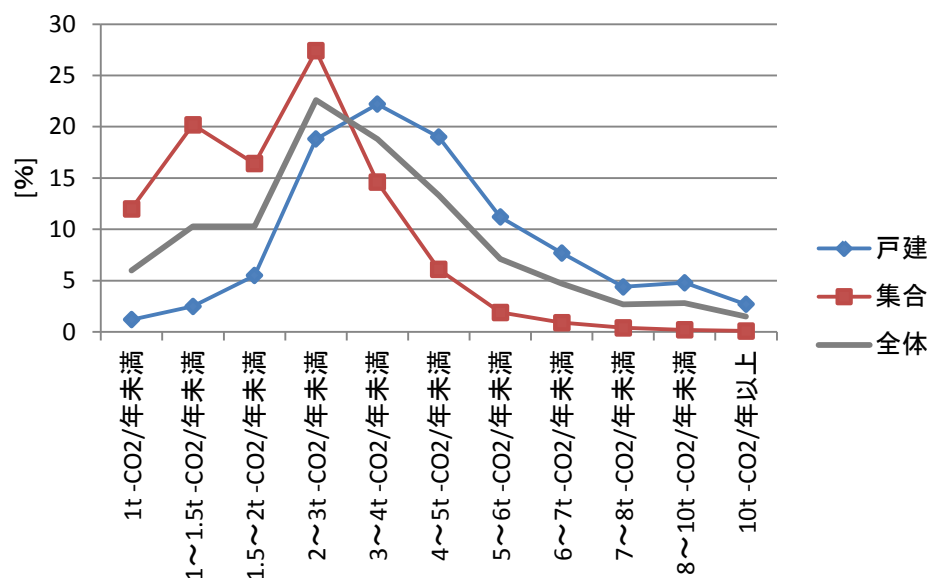


図7 建て方別世帯当たり年間CO₂排出量（電気・ガス・灯油の合計）の世帯分布

エ 地方別の結果

地方別に世帯当たりの年間 CO₂ 排出量を比較すると、北陸が最も多く、関東甲信が最も少ない。気候・住宅の建て方・世帯類型の違い等が影響している。

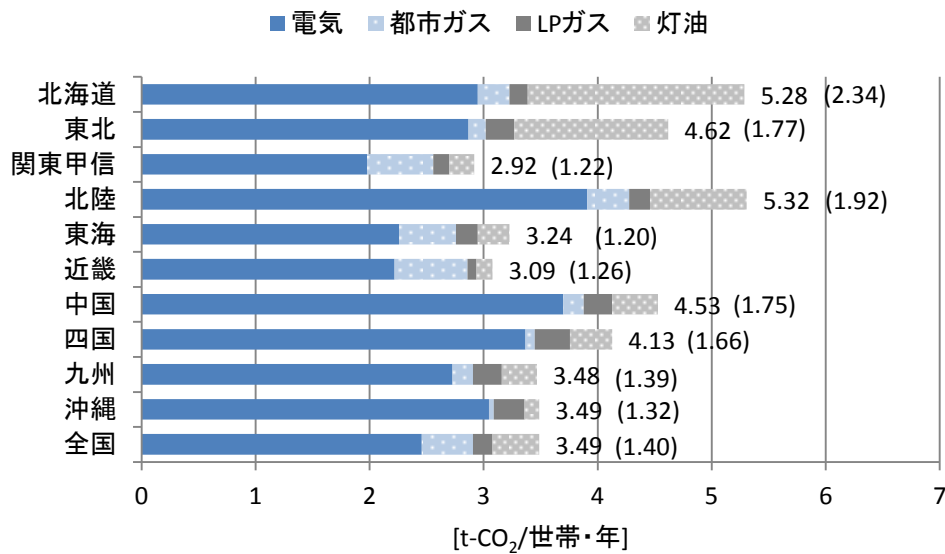


図8 地方別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量

(注1) 電気の CO₂ 排出係数は各一般電気事業者の実排出係数 (2014 年度値)

(注2) 括弧内の数値は 1 人当たりの CO₂ 排出量を表す。

(注3) 1 人当たりの CO₂ 排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

地方別に世帯当たりの年間エネルギー消費量を比較すると、北海道が最も多く、沖縄が最も少ない。CO₂ 排出量との傾向の違いは、主に電気が全体に占める割合と使用電力量 1kWh 当たりの CO₂ 排出量 (CO₂ 排出係数) の地方間での差による。

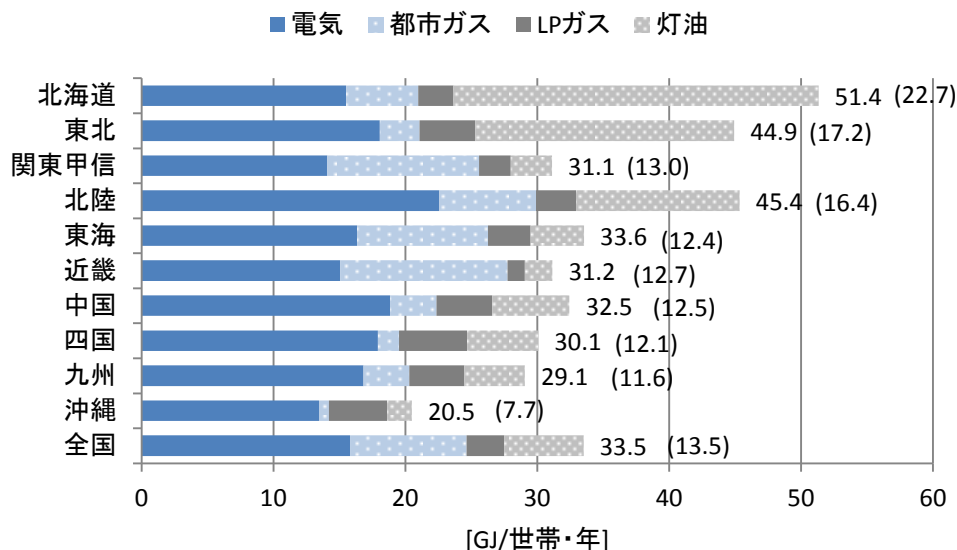


図9 地方別世帯当たり年間エネルギー種別消費量

(注1) 電気の熱量換算係数は 1kWh 当たり 3.6MJ

(注2) 括弧内の数値は 1 人当たりのエネルギー消費量を表す。

(注3) 1 人当たりのエネルギー消費量は、平均の消費量を平均世帯人数で除して算出している。

気候などの違いにより、用途別 CO₂ 排出量には暖房・冷房を中心に地方間の差がみられる。

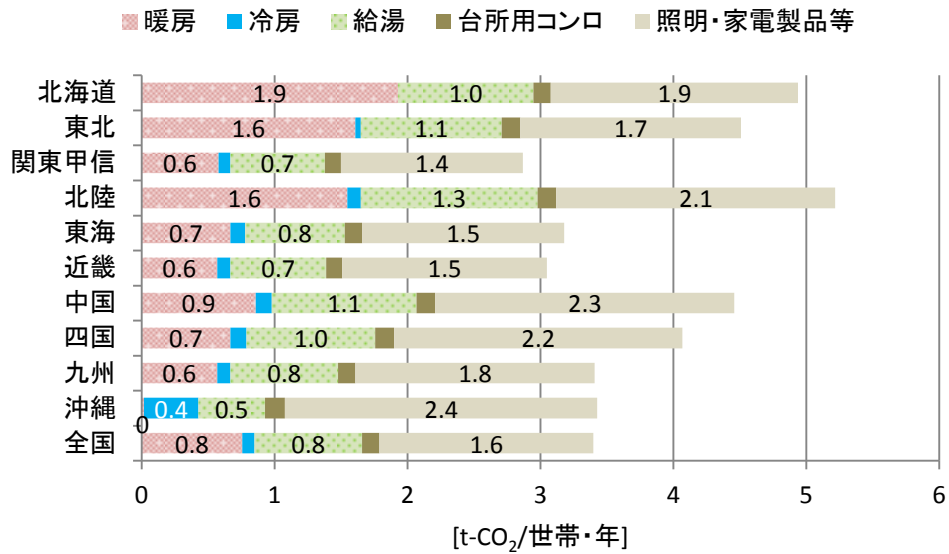


図 10 地方別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

地方別に世帯当たりの自動車用燃料からの年間 CO₂ 排出量を比較すると、関東甲信、近畿の排出量が少ない。これらの地方では自動車使用台数や使用頻度が少ないことなどが影響していると考えられる。

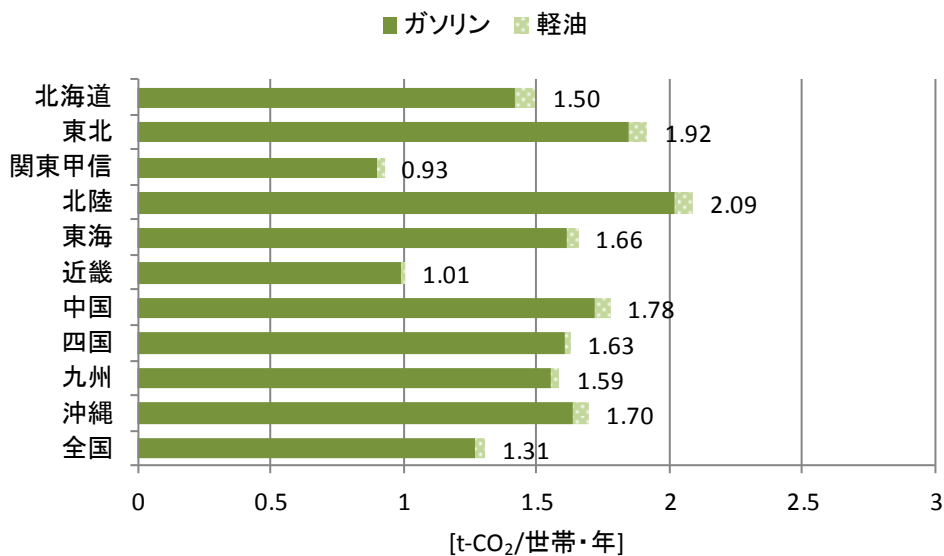


図 11 地方別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO₂ 排出量

オ 世帯類型と CO₂ 排出量

同じ世帯類型で建て方別に CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯の排出量は集合住宅の世帯より多い。例えば単身世帯では、戸建住宅の世帯の排出量は集合住宅の世帯に比べて 1.6～1.8 倍である。

また、世帯類型別の CO₂ 排出量を比較すると、高齢世帯の排出量が若中年世帯よりやや多い傾向がみられる。

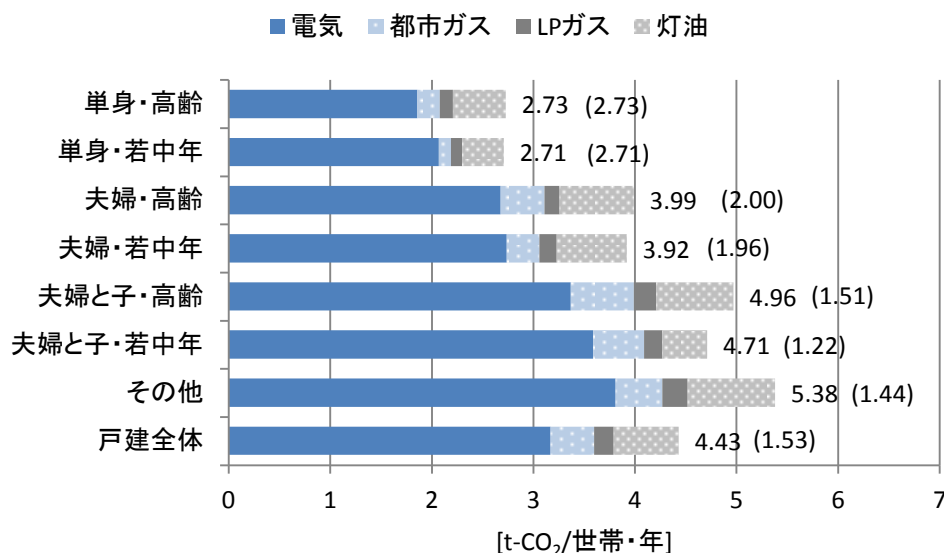


図 12 建て方別世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量（戸建）

(注 1) 括弧内の数値は 1 人当たりの CO₂ 排出量を表す。

(注 2) 1 人当たりの CO₂ 排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

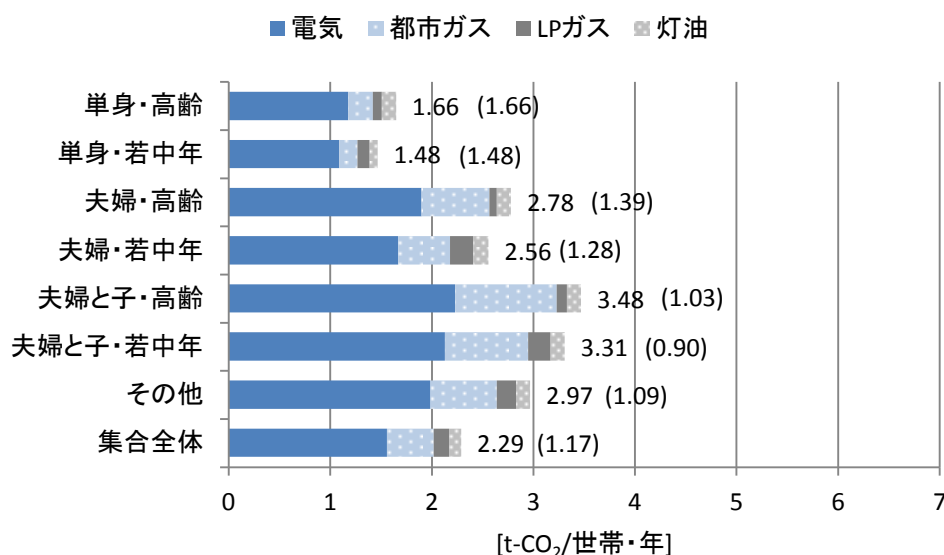


図 13 建て方別世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量（集合）

(注 1) 括弧内の数値は 1 人当たりの CO₂ 排出量を表す。

(注 2) 1 人当たりの CO₂ 排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

カ 世帯主年齢と CO₂ 排出量

建て方別に世帯主年齢別の CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅、集合住宅のいずれも世帯主が 50～59 歳の世帯の排出量が最も多い。子の有無や年齢などのライフステージの違いなどが影響していると考えられる。

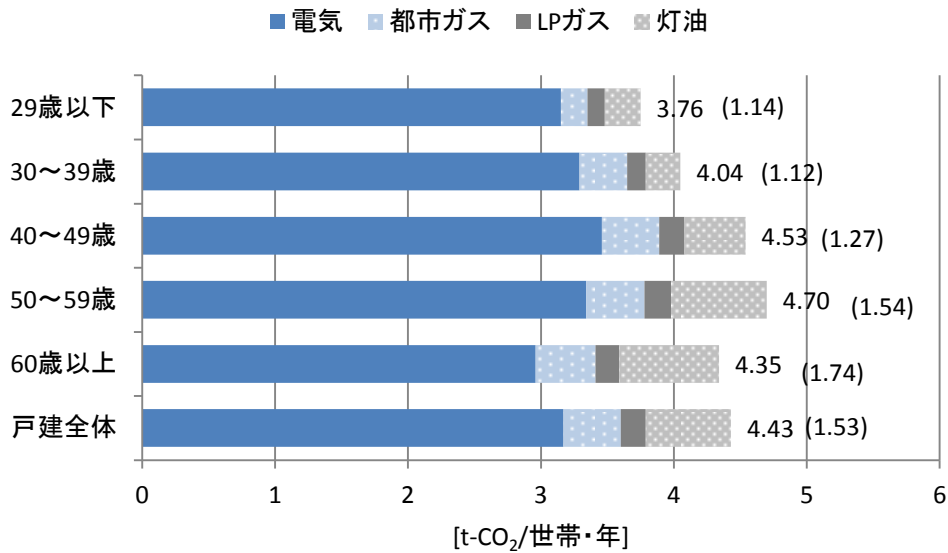


図 14 建て方別世帯主年齢別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量（戸建）

(注 1) 括弧内の数値は 1 人当たりの CO₂ 排出量を表す。

(注 2) 1 人当たりの CO₂ 排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

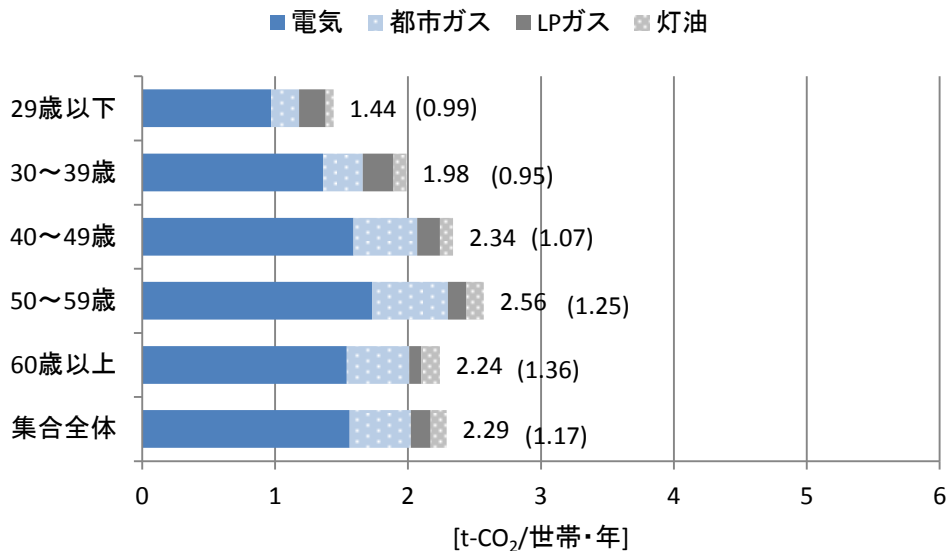


図 15 建て方別世帯主年齢別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量（集合）

(注 1) 括弧内の数値は 1 人当たりの CO₂ 排出量を表す。

(注 2) 1 人当たりの CO₂ 排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

キ 年間世帯収入と CO₂ 排出量

年間世帯収入別に CO₂ 排出量を比較すると、年間世帯収入の増加に伴い、CO₂ 排出量が増加する傾向がみられる。なお、1人当たり CO₂ 排出量は、明確な傾向がみられない。

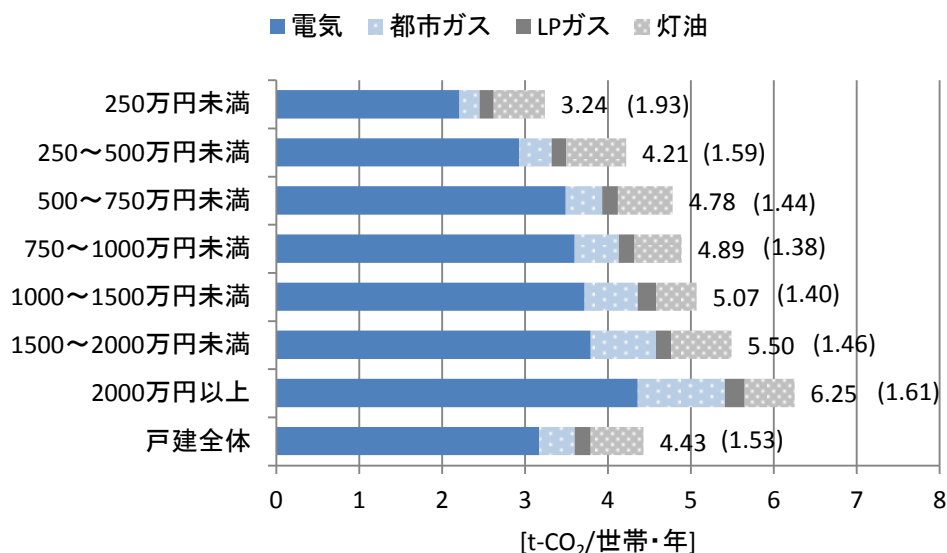


図 16 建て方別年間世帯収入別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量（戸建）

(注 1) 括弧内の数値は 1 人当たりの CO₂ 排出量を表す。

(注 2) 1 人当たりの CO₂ 排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

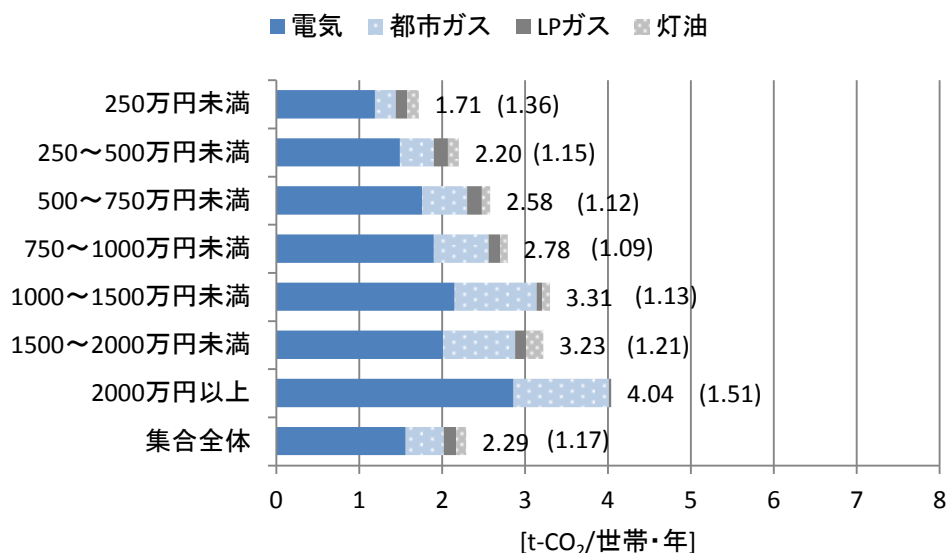


図 17 建て方別年間世帯収入別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量（集合）

(注 1) 括弧内の数値は 1 人当たりの CO₂ 排出量を表す。

(注 2) 1 人当たりの CO₂ 排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

ク 世帯人数と CO₂ 排出量

世帯人数別の CO₂ 排出量を比較すると、世帯人数の増加に伴い排出量が増加する傾向がみられる。一方で、1人当たり CO₂ 排出量を比較すると、世帯人数が多い世帯ほど排出量が少ない。例えば、戸建住宅の4人世帯の1人当たり CO₂ 排出量は、単身世帯の約半分である。

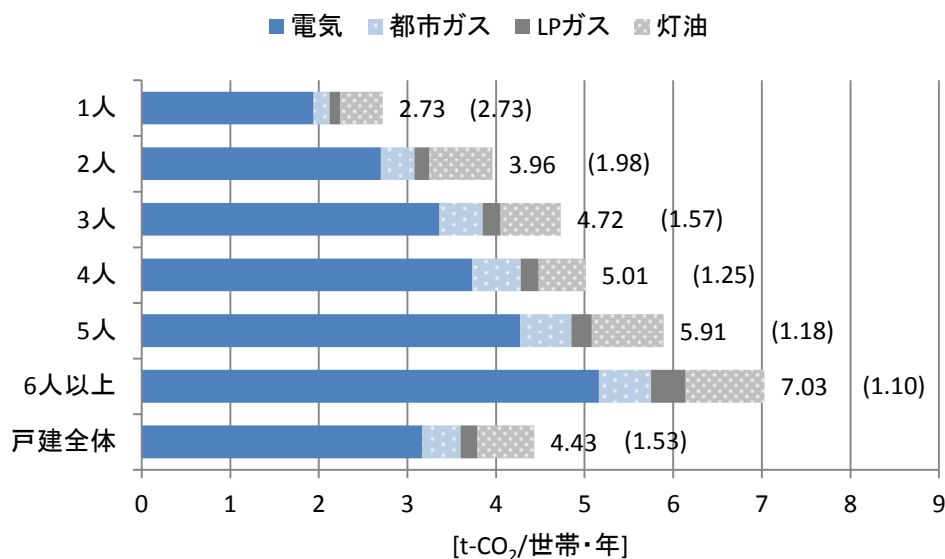


図 18 建て方別世帯人数別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量（戸建）

(注 1) 括弧内の数値は 1 人当たり CO₂ 排出量を表す。

(注 2) 1 人当たりの CO₂ 排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

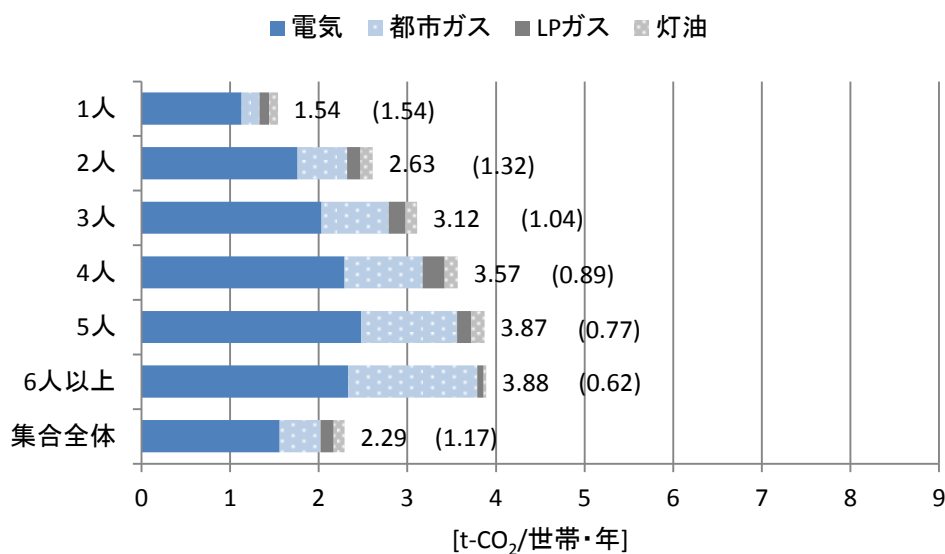


図 19 建て方別世帯人数別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量（集合）

(注 1) 括弧内の数値は 1 人当たり CO₂ 排出量を表す。

(注 2) 1 人当たりの CO₂ 排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

地方別に世帯人数別の世帯割合をみると、単身世帯は北海道、関東甲信が高い。

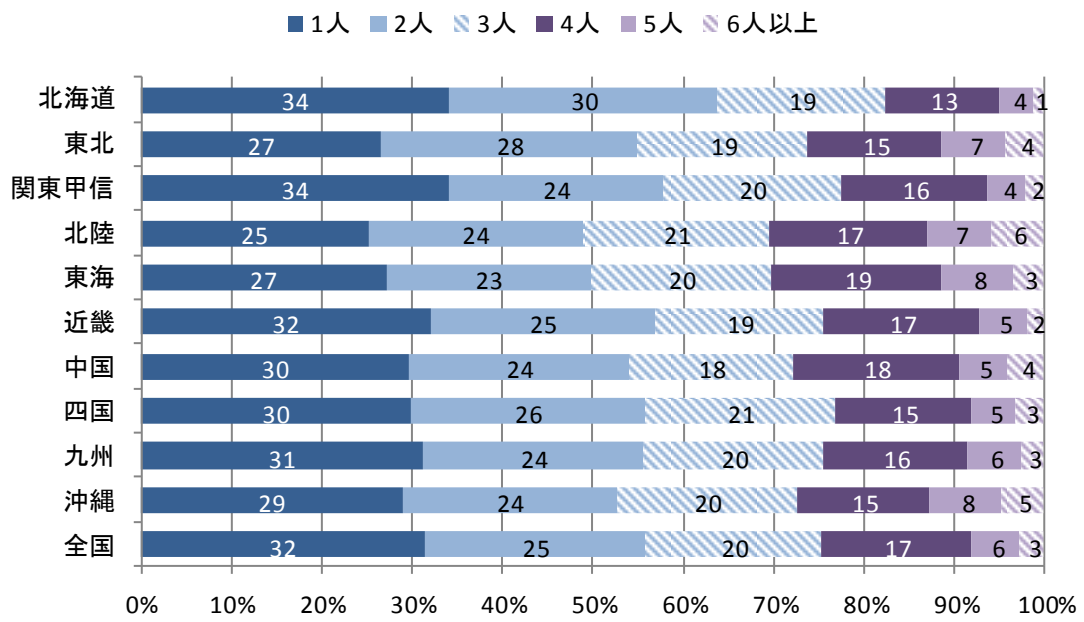


図 20 地方別世帯人数

ケ 省エネルギー行動の実施状況と CO₂ 排出量

省エネルギー行動（18項目）の実施状況をみると、行動ごとにかんがりの差がみられる。

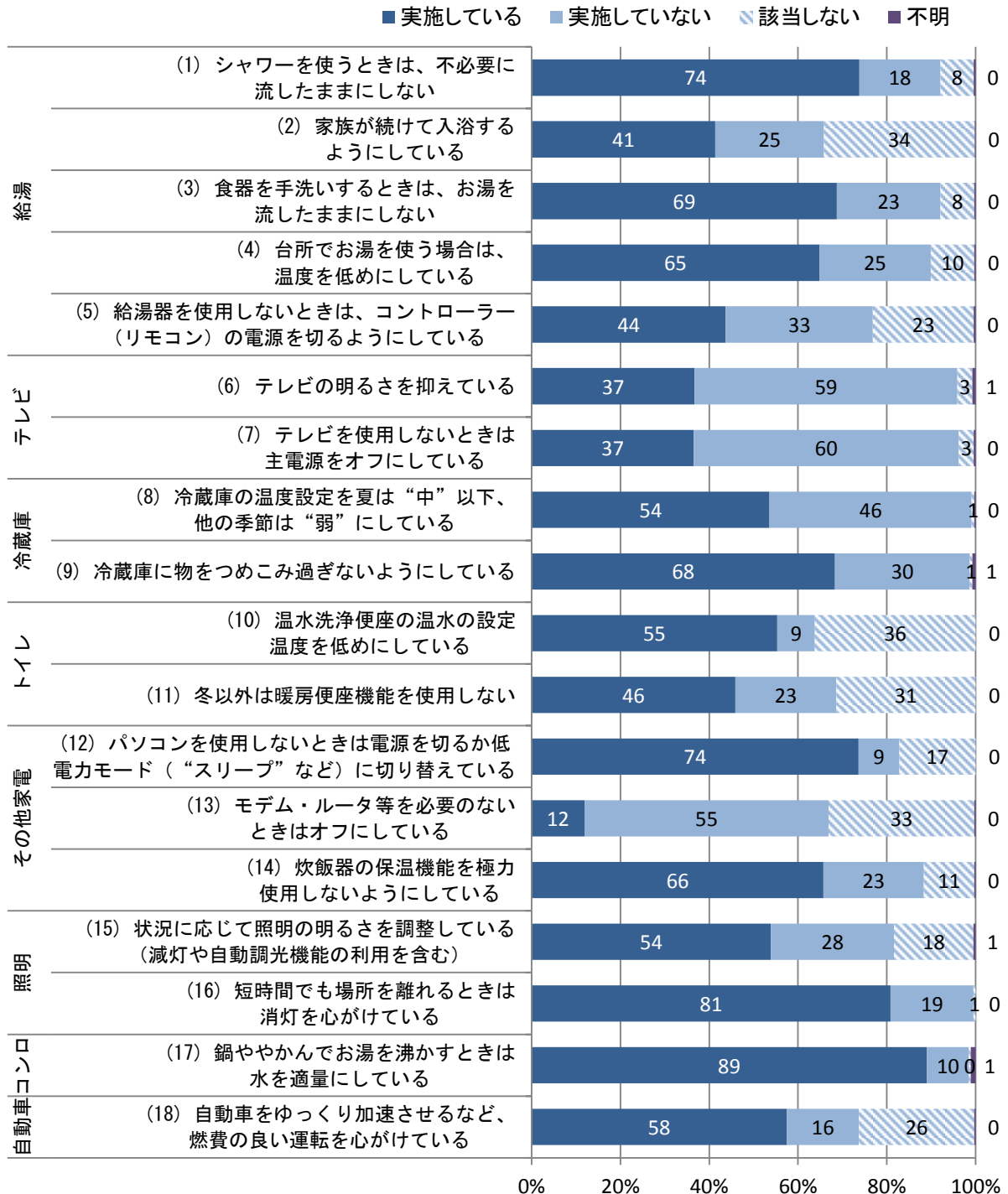


図 21 省エネルギー行動の実施状況

省エネルギー行動実施率別に世帯当たりの年間エネルギー種別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯では実施率が高い世帯ほど排出量が少ない。集合住宅の世帯では、実施率が 20%以下の世帯を除き、実施率が高い世帯ほど排出量が少ない。省エネルギー行動の実施率が「80%より大きく 100%以下」の世帯は、全体の平均よりも約 10~15%CO₂ 排出量が少なく、省エネルギー行動による削減可能性がみとめられる。

(注) 「省エネルギー行動実施率」は 18 項目のうち「該当しない」及び不明を除く項目数に対する実施数の割合。

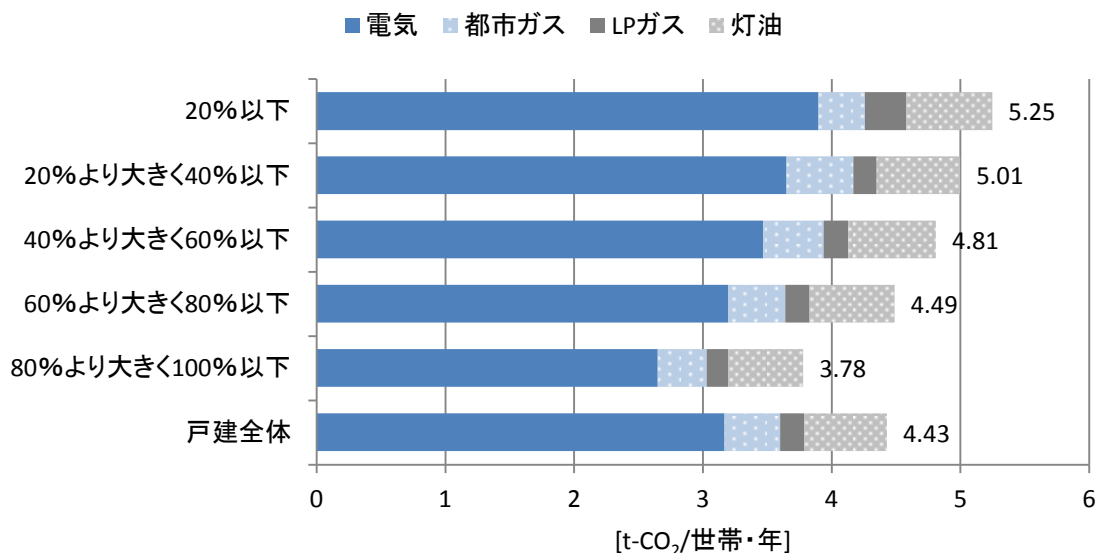


図 22 建て方別省エネルギー行動実施率別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量 (戸建)

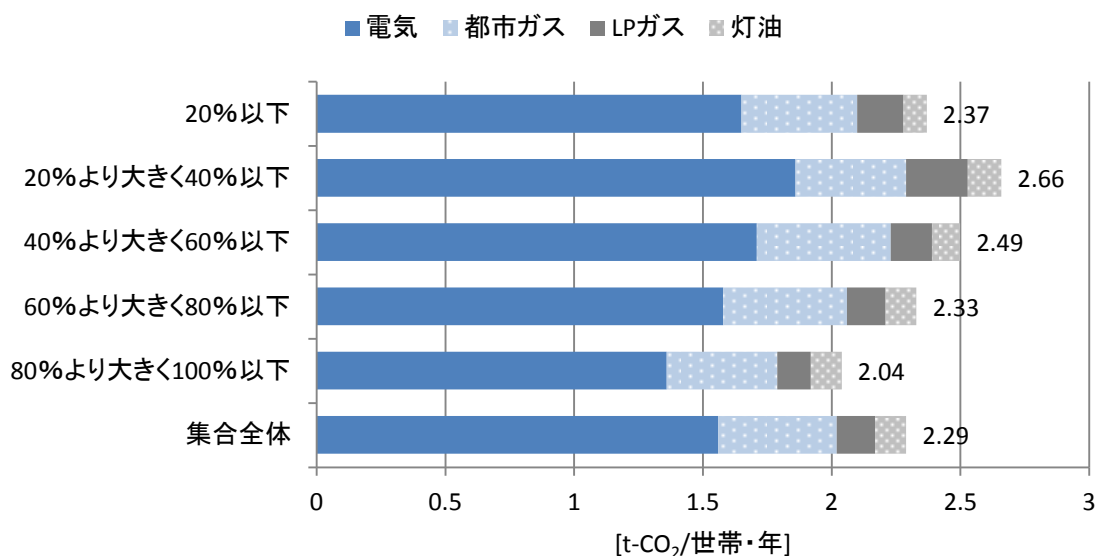


図 23 建て方別省エネルギー行動実施率別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量 (集合)

年間世帯収入別に省エネルギー行動実施率をみると、年間世帯収入によらず実施率「60%より大きく80%以下」の世帯が最も多い。また、年間世帯収入が高いほど省エネルギー行動実施率が低い傾向にある。

(注)「省エネルギー行動実施率」は18項目のうち「該当しない」及び不明を除く項目数に対する実施数の割合。

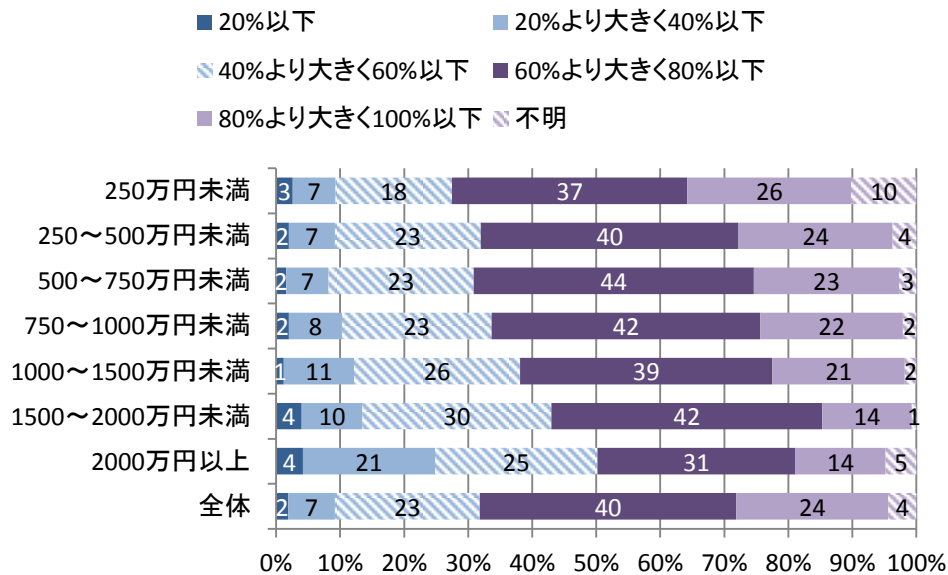


図 24 年間世帯収入別省エネルギー行動実施率

地方によらず省エネルギー行動実施率「60%より大きく80%以下」の世帯が最も多い。実施率「80%より大きく100%以下」の世帯は北海道で28%と最も高く、沖縄で17%と最も低い。

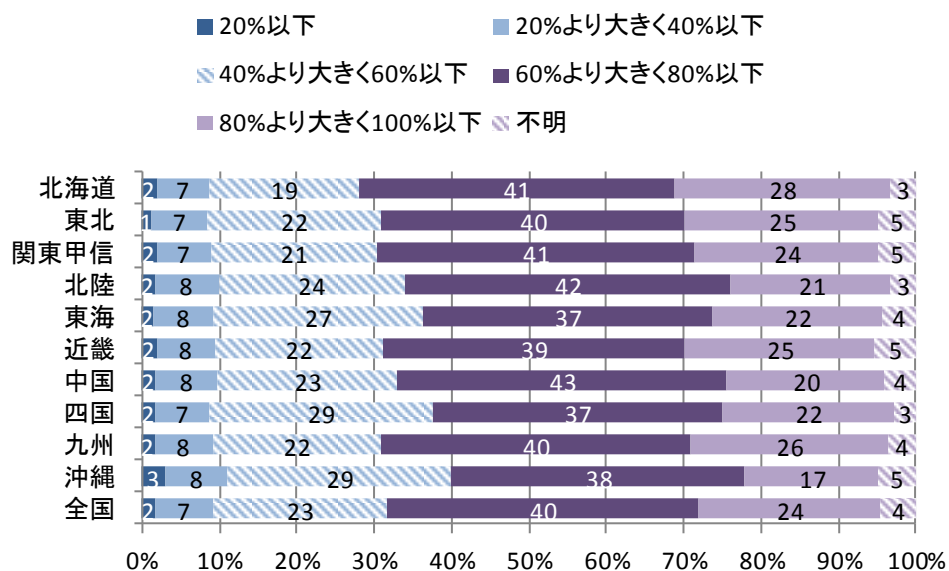


図 25 地方別省エネルギー行動実施率

コ 冷蔵庫の普及状況

冷蔵庫の製造時期（1台目※）別に世帯当たりの年間の照明・家電製品等のCO₂排出量を比較すると、1990年以前を除き、1台目の冷蔵庫の製造時期が新しい世帯ほど排出量は少ない傾向がみられる。

※複数台使用している世帯の場合は、最も内容積の大きい冷蔵庫をいう。

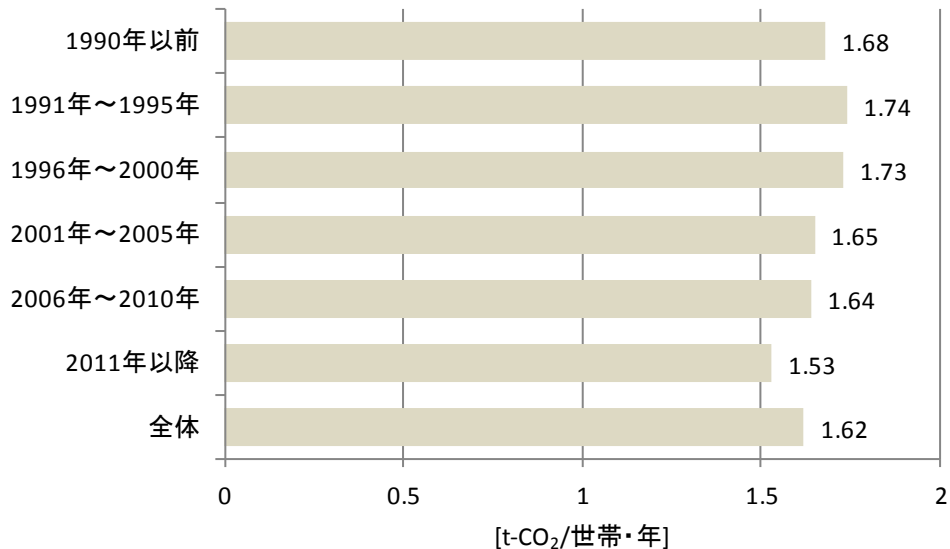


図 26 冷蔵庫の製造時期（1台目）別世帯当たり年間照明・家電製品等用CO₂排出量（全国）

世帯主年齢別に1台目（※）の冷蔵庫の製造時期をみると、年齢が高いほど2000年以前の冷蔵庫を使用している割合が高い。

※複数台使用している世帯の場合は、最も内容積の大きい冷蔵庫をいう。

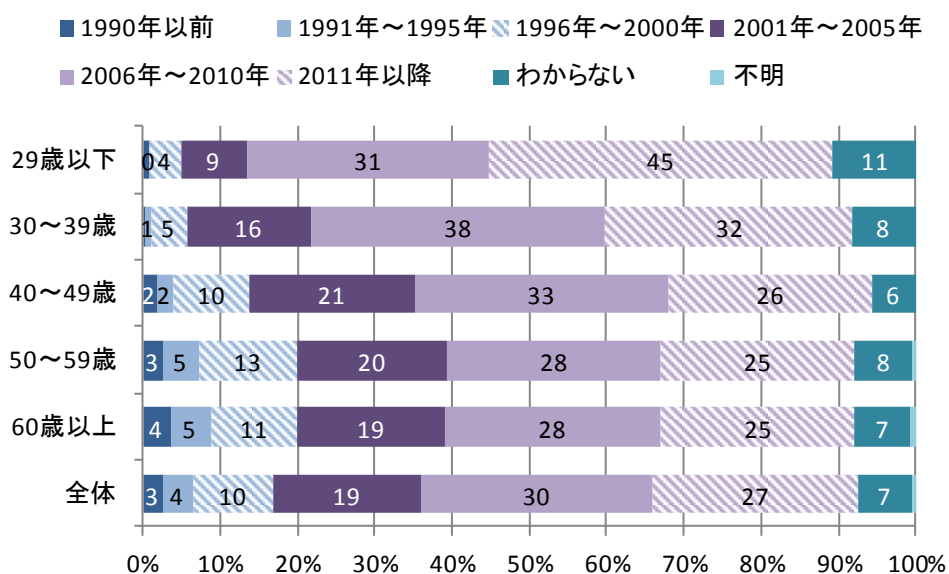


図 27 世帯主年齢別冷蔵庫の製造時期（1台目）

世帯主年齢別に冷蔵庫の使用台数をみると、年齢が高いほど冷蔵庫を2台以上使用している世帯が多く、60歳以上の22%が使用している。

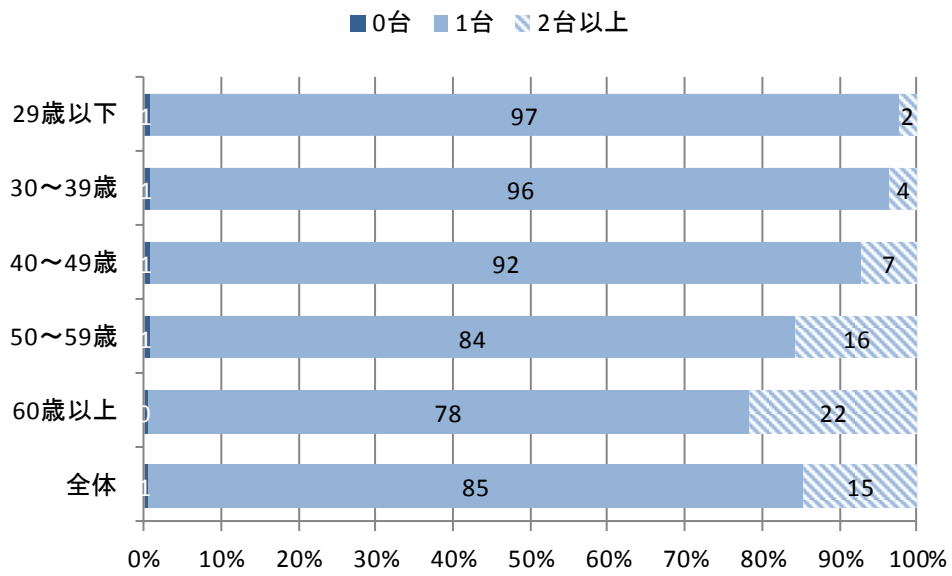


図 28 世帯主年齢別冷蔵庫の使用台数

サ 二重サッシ等の普及状況

寒冷地及び沖縄を除く地方の戸建住宅に限定し、二重サッシまたは複層ガラスの窓（以下、「二重サッシ等」という。）の有無別に世帯当たりの年間の暖房のCO₂排出量を比較すると、二重サッシ等がすべての窓にある世帯の排出量は、二重サッシ等がない世帯に比べ少ない。

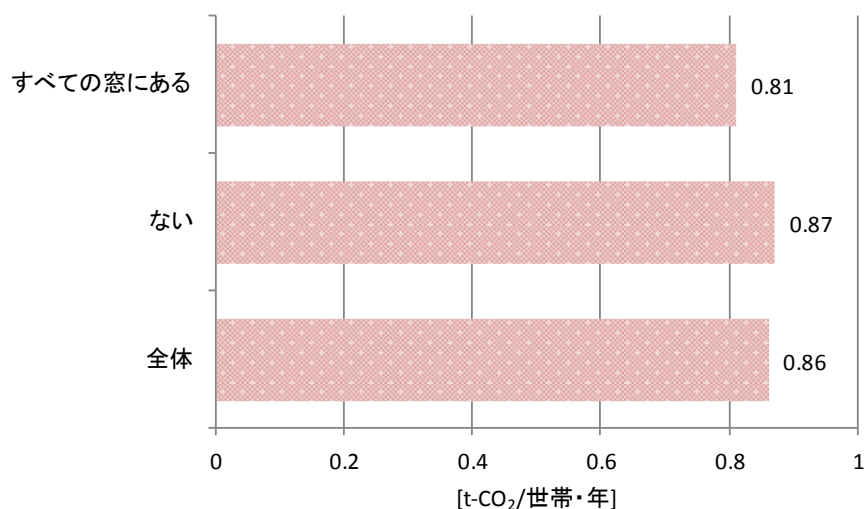


図 29 二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無別世帯当たり年間暖房用 CO₂ 排出量
(寒冷地及び沖縄を除く地方の戸建住宅)

(注 1) ここでいう「寒冷地」とは、北海道、東北、北陸をいう。

(注 2) 図中の「全体」は、「すべての窓にある」「ない」に加え、「一部の窓にある」「わからない」を含めた値であり、寒冷地及び沖縄を除く地方の戸建住宅の平均である。

地方別に二重サッシ等の有無をみると、北海道は二重サッシ等がある世帯が9割と他の地方に比べ高い。次いで東北、北陸が高く、南に行くにつれて普及率が下がる傾向がみられる。

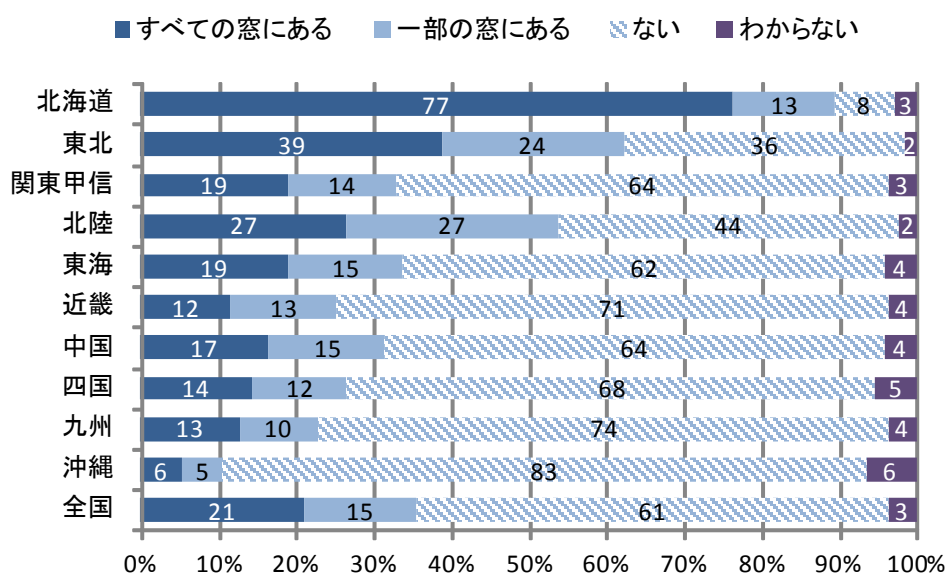


図 30 地方別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無

年間世帯収入別に二重サッシ等の有無をみると、年間世帯収入が高い世帯ほど二重サッシ等がある世帯が多い。

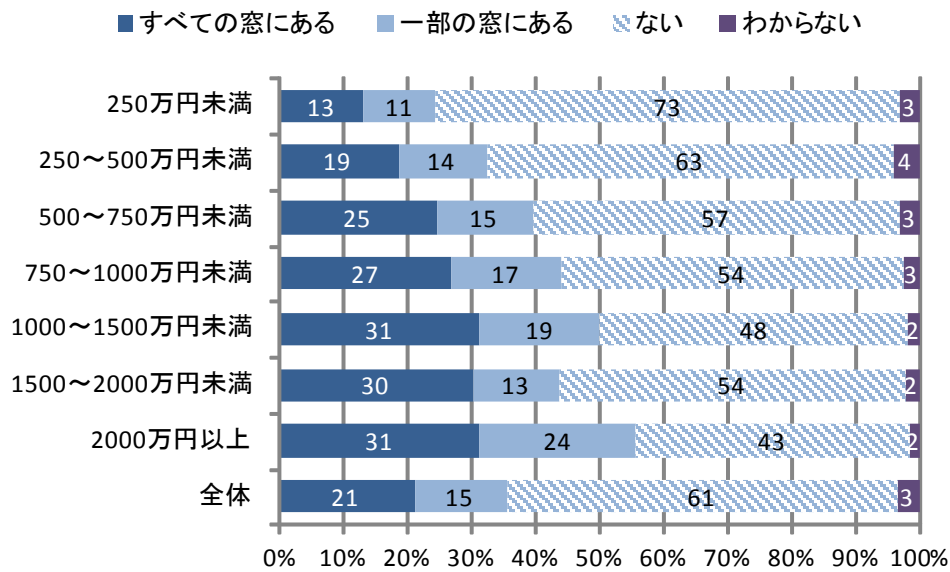


図 31 年間世帯収入別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無

シ LED 照明の使用状況

年間世帯収入別にLED照明の使用状況をみると、年間世帯収入が低い世帯ほどLED照明を使用していない割合が大きい傾向にある。

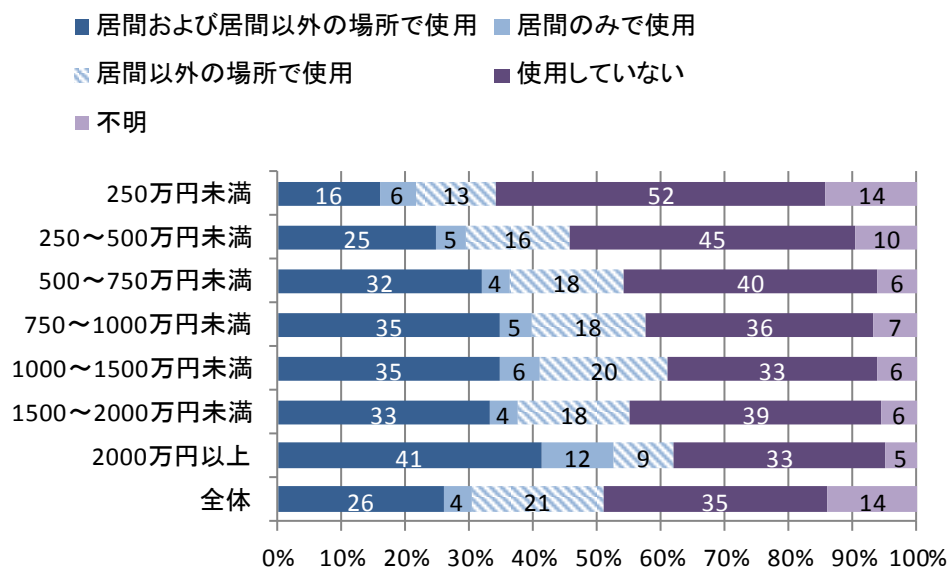


図 32 年間世帯収入別 LED 照明の使用状況

地方別に LED 照明の使用状況を見ると、沖縄では LED 照明を使用している世帯が少ない。

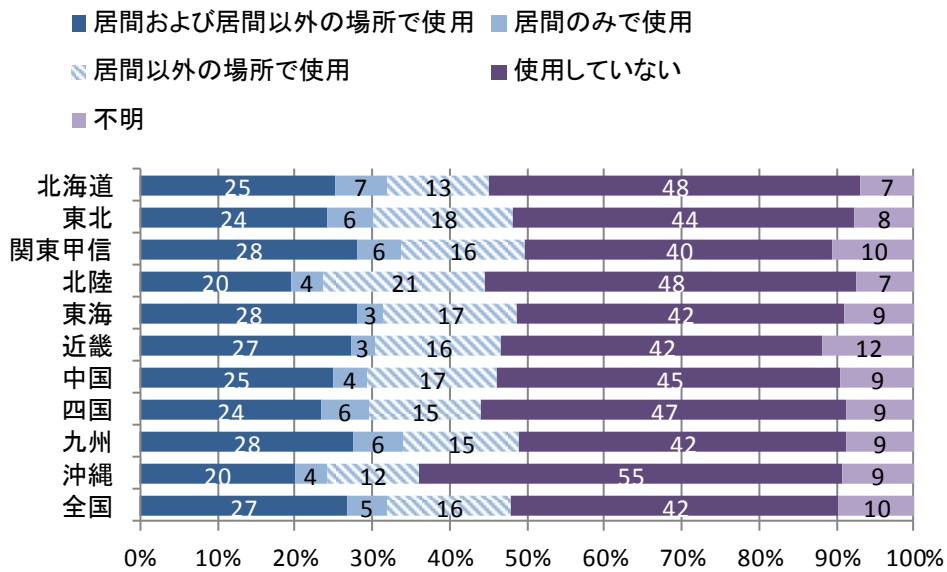


図 33 地方別 LED 照明の使用状況

住宅の所有関係別に LED 照明の使用状況を見ると、持ち家の世帯では、いずれかの場所（※）で LED 照明を使用している世帯が 5 割超と、持ち家以外の世帯に比べ高い。

持ち家以外の世帯では LED 照明を使用している世帯は 3～4 割程度である。

※「居間および居間以外の場所で使用」「居間のみで使用」「居間以外の場所で使用」の合計

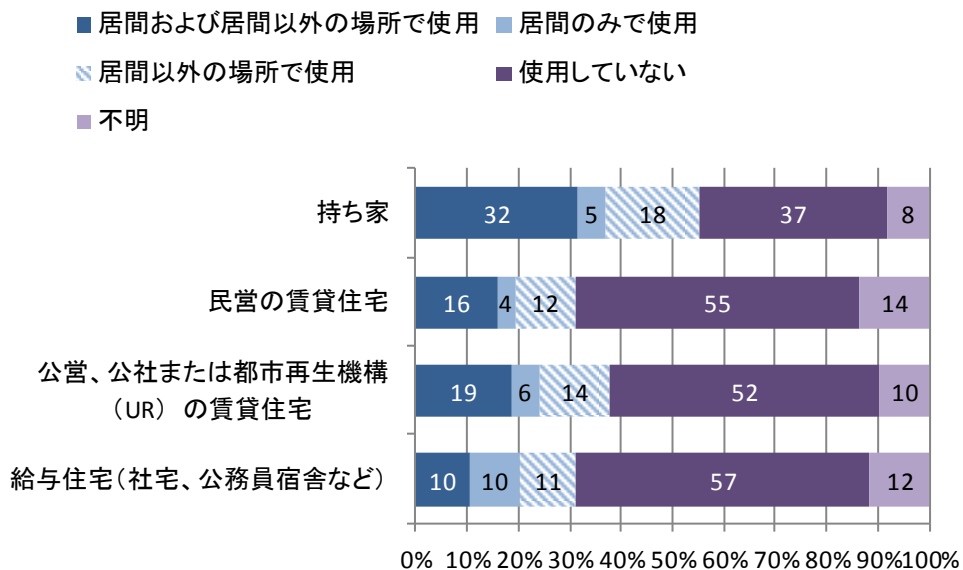


図 34 住宅の所有関係別 LED 照明の使用状況

家庭からの二酸化炭素排出量の推計に係る実態調査 全国試験調査 調査の概要（確報値）

1 調査の目的

本調査は、家庭からの二酸化炭素排出量の効果的な削減対策の推進や立案、削減計画の策定などの基礎資料となる統計調査を創設するにあたり、その全国規模での試験的な調査として、家庭における詳細な二酸化炭素排出実態を把握して、当該統計調査の設計の検討に資する基礎資料を得ることを目的とした。

2 調査の根拠法令

本調査は、統計法（平成 19 年法律第 53 号）に基づく一般統計調査として実施した。

3 調査の対象と選定方法

（1）地域

全国

（2）属性

専用住宅に居住する主世帯

（注）専用住宅とは居住の目的だけに建てられた住宅で、店舗、作業場、事務所など業務に使用するために設備された部分がない住宅をいう。定義は総務省「住宅・土地統計調査」に基づく。

（3）調査世帯数

16,402（母集団世帯数：48,281,000）

（注）母集団世帯数は専用住宅に居住する主世帯数（平成 20 年「住宅・土地統計調査」）

（4）選定の方法

本調査では、住民基本台帳からの無作為抽出と、インターネット調査モニターからの選定の 2 つの方法によって調査対象世帯を選定した。

ア 住民基本台帳から抽出された世帯（調査員調査）

調査市区町村を定めた上で、市区町村が管理する住民基本台帳から 8,802 世帯（報告者は原則 20 歳以上）を系統抽出法により選定した。

イ インターネット調査モニターの世帯

民間事業者が保有するインターネット調査モニター（20 歳以上）から 7,600 世帯を選定した。

(5) 層設定

地方 10 区分、都市階級 3 区分の 30 層を設定した。

地方区分については、エネルギー消費の地域特性を踏まえ、また、国勢調査や家計調査等の既存統計調査の区分を参考に 10 区分とした。また、インターネットモニター調査においては、調査対象世帯の都市部への偏りが懸念されるため、都市階級での層設定を行った。具体的には、都市階級別一般世帯数（平成 22 年国勢調査）による比例配分を行った。

ア 地方（10 区分）

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東甲信：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、
山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

イ 都市階級（3 区分）

① 都道府県庁所在市（東京都は区部）及び政令指定都市

② 人口 5 万人以上の市

③ 人口 5 万人未満の市及び町村

※都市階級における市区町村の別は平成 22 年国勢調査による。

表 1 地方別都市階級別調査世帯数（調査員調査）

地方	都市階級①	都市階級②	都市階級③	合計
北海道	288	284	196	768
東北	236	369	227	832
関東甲信	652	683	107	1,442
北陸	281	286	175	742
東海	285	481	110	876
近畿	414	525	88	1,027
中国	264	373	132	769
四国	306	199	240	745
九州	395	284	220	899
沖縄	175	329	198	702
全国計	3,296	3,813	1,693	8,802

表 2 地方別都市階級別調査世帯数（インターネットモニター調査）

地方	都市階級①	都市階級②	都市階級③	合計
北海道	237	240	172	649
東北	212	280	194	686
関東甲信	566	598	94	1,258
北陸	248	245	140	633
東海	251	420	103	774
近畿	350	448	75	873
中国	234	319	120	673
四国	257	160	205	622
九州	331	240	183	754
沖縄	155	352	171	678
全国計	2,841	3,302	1,457	7,600

4 調査事項

次に掲げる事項を調査した。

（1）エネルギー使用量調査票

- ① 月別のCO₂排出量を推計するためのエネルギー使用量等（電気、ガス、灯油、ガソリン、軽油）
- ② 太陽光発電について（月別の発電量、売電量、太陽電池の総容量）
- ③ 属性変化等
- ④ 使用エネルギー等（※平成26年10月分（初回）調査のみ）

（2）冬季調査票

- ① 暖房機器について（保有状況、使用状況）
- ② 冬季の給湯について（冬の入浴状況、入浴やお湯の使用に関わる省エネ行動の実施状況）

（3）世帯調査票

- ① 世帯について（世帯員、平日昼間の在宅者、世帯年収）
- ② 住宅について（建て方、建築時期、所有関係、延床面積、居室数、二重サッシ・複層ガラスの有無）
- ③ 家電製品等について（テレビ・冷蔵庫・エアコン等の使用状況、家電製品に関する省エネ行動、使用場所毎の照明種類、照明に関する省エネ行動）
- ④ 給湯について（給湯器の種類、夏の入浴状況）
- ⑤ コンロ・調理について（コンロの種類、用意する食事の数、調理に関する省エネ行動）
- ⑥ 車両について（自動車等の使用状況、燃料の種類、排気量、実燃費、使用頻度、年間走行距離、自動車に関する省エネ行動）

5 調査の時期

(1) エネルギー使用量調査票

平成 26 年 10 月から平成 27 年 9 月までの毎月 (12 か月間)

(2) 冬季調査票

平成 27 年 3 月末時点

(3) 世帯調査票

平成 27 年 8 月末時点

6 調査の方法

(1) 調査員調査

対象： 住民基本台帳から抽出された世帯

配布： 調査員による訪問で調査票を配布

回収： 調査員による訪問または郵送もしくは専用回答画面 (オンライン) で調査票を回収

調査体制： 環境省－民間事業者－調査対象世帯

(2) インターネットモニター調査

対象： インターネット調査モニターの世帯

配布： インターネット経由で調査票を配信

回収： 専用回答画面 (オンライン) で調査票を回収

調査体制： 環境省－民間事業者－調査対象世帯

7 集計・推計の方法

(1) 集計対象

以下の手順で集計対象を定めた。

- ① 平成 26 年 10 月から平成 27 年 9 月の間に転居・増築・建替を行った世帯等、集計に含めることが適切でない判断した世帯を除外した。
- ② エネルギー使用量等の有効回答状況により、以下の通り集計対象を定めた。
 - ア 電気、ガス及び灯油のエネルギー使用量が 12 か月有効の世帯を「エネルギー種別」の集計対象とした (表 3、表 4)。
 - イ 電気、ガス、灯油、ガソリン及び軽油のエネルギー使用量が 12 か月有効の世帯をガソリン、軽油及び「用途別 (自動車用燃料)」の集計対象とした。
 - ウ 電気、ガス及び灯油のエネルギー使用量が 12 か月有効の世帯のうち、用途別エネルギー消費量の推計を実施しない世帯 (詳細は 7 (5) ウ参照) 以外の世帯を「用途別 (電気、ガス、灯油)」の集計対象とした。

表 3 地方別都市階級別集計世帯数（調査員調査）

地方	都市階級①	都市階級②	都市階級③	合計
北海道	198	195	126	519
東北	172	279	133	584
関東甲信	445	493	75	1,013
北陸	187	210	120	517
東海	215	364	71	650
近畿	284	349	56	689
中国	179	276	86	541
四国	210	128	155	493
九州	253	172	130	555
沖縄	118	203	113	434
全国計	2,261	2,669	1,065	5,995

表 4 地方別都市階級別集計世帯数（インターネットモニター調査）

地方	都市階級①	都市階級②	都市階級③	合計
北海道	181	176	135	492
東北	174	207	148	529
関東甲信	449	472	68	989
北陸	185	178	105	468
東海	207	330	73	610
近畿	264	347	59	670
中国	183	252	90	525
四国	197	123	144	464
九州	243	188	139	570
沖縄	84	157	79	320
全国計	2,167	2,430	1,040	5,637

(2) CO₂ 排出量を推計するための換算係数

熱量換算係数、CO₂ 排出係数は表 5、表 6 のとおりである。

表 5 熱量換算係数・CO₂ 排出係数

エネルギー種別	熱量換算係数	CO ₂ 排出係数
電気	3.6MJ/kWh	表 6 参照
都市ガス	(各供給事業者の発熱量)	13.80t-C/TJ
LP ガス	50.06MJ/kg (比容積 0.502m ³ /kg)	16.38t-C/TJ
灯油	36.49MJ/L	18.71t-C/TJ
ガソリン	33.37MJ/L	18.72t-C/TJ
軽油	38.04MJ/L	18.79t-C/TJ

(出典) 資源エネルギー庁「2013 年度以降適用する標準発熱量・炭素排出係数一覧表」2015 年 4 月
 資源エネルギー庁「ガス事業年報 平成 26 年度」2016 年 1 月
 日本 LP ガス協会「プロパン、ブタン、LP ガスの CO₂ 排出原単位に係るガイドライン」2008 年 12 月

表 6 他人から供給された電気の使用に伴う CO₂ 排出係数（一般電気事業者）

供給事業者名	平成 26 年度 実排出係数 [t-CO ₂ /kWh]	供給事業者名	平成 26 年度 実排出係数 [t-CO ₂ /kWh]
北海道電力	0.000683	関西電力	0.000531
東北電力	0.000571	中国電力	0.000706
東京電力	0.000505	四国電力	0.000676
北陸電力	0.000647	九州電力	0.000584
中部電力	0.000497	沖縄電力	0.000816

（出典）環境省「電気事業者別排出係数（特定排出者の温室効果ガス排出量算定用）－平成 26 年度実績－」2015 年 11 月

（注）供給事業者は世帯が居住している市区町村から決定する。

（3）各標本の結果の推計方法と標準誤差率

ア 結果の推計方法

調査員調査及びインターネットモニター調査の結果は調整係数（ α_{ij} ）と補正係数（ C_{ikl} ）を用いて式 1 によりそれぞれ算出する。

【式 1】

$$\hat{\mu} = \frac{\sum_i \sum_j \sum_k \sum_l \sum_m C_{ikl} \cdot \alpha_{ij} \cdot X_{ijklm}}{\sum_i \sum_k \sum_l N_{ikl}}$$

$$\alpha_{ij} = \frac{N_{ij}}{n_{ij}}, \quad C_{ikl} = \frac{N_{ikl}}{\sum_j \alpha_{ij} \cdot n_{ijkl}}$$

$\hat{\mu}$: あるエネルギー種の全国平均消費量	i	: 地方 10 区分
X	: あるエネルギー種のある世帯での消費量	j	: 都市階級 3 区分
C	: 世帯分布補正係数	k	: 建て方 2 区分
α	: 調整係数	l	: 世帯類型（単身・2人以上）2 区分
N	: 調査対象世帯数（国勢調査）	m	: 世帯
n	: 集計世帯数		

（注 1）本項では、調査対象世帯数を集計世帯数で除した値を調整係数と表記する。

（注 2）本項では、調整係数を集計世帯数に乘じ、その値で調査対象世帯数を除したものを、世帯分布補正係数と表記する。

イ 結果の標準誤差率

世帯当たりの年間エネルギー消費量（電気・ガス・灯油の合計）の標準誤差率は表 7 のとおりである。

表 7 世帯当たりの年間エネルギー消費量（電気・ガス・灯油の合計）の標準誤差率

地方	調査員調査	インターネット モニター調査
北海道	2.0%	1.8%
東北	2.0%	2.0%
関東甲信	1.4%	1.5%
北陸	1.9%	2.2%
東海	1.9%	1.9%
近畿	1.7%	1.7%
中国	1.8%	2.1%
四国	2.8%	2.0%
九州	1.9%	1.8%
沖縄	1.9%	2.6%
全国計	0.7%	0.7%

（４）２つの標本を統合した結果の推計方法

本調査では調査員調査、インターネットモニター調査に加え、参考値として両調査を統合した集計（以下、「統合集計」という。）を行った。統合集計の結果は、7（３）アで求めた結果にそれぞれ0.5を乗じて算出する。

(5) 用途別エネルギー消費量の推計方法

ア 電気、ガス、灯油の推計方法

電気、ガス、灯油の用途別エネルギー消費量の推計を行った用途は、①暖房、②冷房、③給湯、④台所用コンロ、⑤照明・家電製品等の5用途である。なお、用途別エネルギー消費量には太陽光発電の自家消費量（発電量から売電量を除いた量）を含む。表8に各エネルギー種の用途推計方法の概要を示す。

表8 各エネルギー種の用途推計方法の概要

エネルギー種 用途	電気	ガス	灯油
①暖房	電気の月別消費量の冬季の増分を「暖房」とする。	ガスの全量から③、④を除いた残差を「暖房」とする。	灯油の全量から③を除いた残差を「暖房」とする。
②冷房	電気の月別消費量の夏季の増分を「冷房」とする。	—	—
③給湯	③、⑤の推計式による按分比から「給湯」を推計する。 なお、電気付加契約で給湯を把握できる場合はその全量を「給湯」とする。	給湯の年平均消費量となる月を設定し、その12倍を年間の「給湯」とする。	非暖房期間の灯油消費量に、地方ごとに設定した倍率を乗じた値を「給湯」とする。
④台所用コンロ	調査で得られた調理食数より推計する。	調査で得られた調理食数より推計する。	—
⑤照明・家電製品等	電気の全量から①～④を除いた残差を「照明・家電製品等」とする。	—	—

(注) 単一用途に使用される場合は、当該用途に全量を計上する。

イ 自動車用燃料の推計方法

自動車用燃料は、ガソリン、軽油の全量を計上している。

ウ 推計を実施しない世帯

以下に該当する世帯等は、消費量の全量を把握できない、推計方法がない等の理由で用途別エネルギー消費量の推計を実施しない。

- ① 太陽光発電の発電量または売電量が不明の世帯
- ② 家庭用コージェネレーションシステムを使用する世帯
- ③ 融雪契約の消費量が分離できない場合
- ④ 平成26年10月から平成27年9月の間に給湯器・給湯システム、台所用コンロのエネルギー種を変更した世帯

8 利用上の注意

- ① 結果の概要（確報値）の数量項目では、特に断りのない限り、使用していない世帯を含めて算出している。
- ② エネルギー種別（電気、ガス及び灯油）の合計値と用途別の合計値は集計世帯数が異なること等により一致しない。
- ③ 本資料の構成比の内訳を合計しても四捨五入の関係で 100%とならない場合がある。

9 業務の実施機関

調査に係る業務のうち、調査の実査、集計等については、下記の機関に委託して実施した。

(株) インテージ、(株) インテージリサーチ、(株) 住環境計画研究所

10 用語の説明

(1) 世帯数分布（抽出率調整）

抽出率の逆数に比例した調整係数及び世帯分布補正係数（国勢調査の結果に基づき、地方、住宅の建て方、世帯類型（単身・二人以上）別に調査世帯に属性分布の偏りを補正する係数）を集計世帯ごとに乗じて集計した世帯数のことをいい、本調査では10万分比（合計を100,000とした場合の世帯数）で表している。これにより、母集団の世帯分布を知ることができる。

(2) 集計世帯数

実際に集計に用いた世帯数のことをいう。

(3) 電気

電気事業者が供給する電気のことをいう。太陽光発電システムによる電気は含まない。

(4) 都市ガス

ガス事業法における一般ガス事業者が一般ガス事業において供給するガスのことをいう。

(5) LPガス

ガス事業法における一般ガス事業者が一般ガス事業において供給するガス以外のガスのことをいう。

(6) 建て方（戸建・集合）

戸建とは、1つの建物に1住宅であるものをいう。

集合とは、2つ以上の住戸がある住宅（共同住宅、長屋建を含む）をいい、戸建以外の全ての住宅をいう。

(7) 発電量

太陽光発電システムにより発電した量をいう。

(8) 売電量

太陽光発電システムにより発電した量のうち、電気事業者が買い取った量をいう。

(9) 世帯類型

世帯員の年齢及び世帯主との続柄により、下記の通り区分している。

区分	内容
単身・高齢世帯	1人の世帯員から成る世帯で、かつ世帯員の年齢が60歳以上である世帯
単身・若中年世帯	1人の世帯員から成る世帯で、かつ世帯員の年齢が60歳未満である世帯
夫婦・高齢世帯	世帯主と配偶者の2人の世帯員から成る世帯で、世帯主若しくは配偶者の年齢が60歳以上である世帯
夫婦・若中年世帯	世帯主と配偶者の2人の世帯員から成る世帯で、世帯主及び配偶者の年齢が60歳未満である世帯
夫婦と子・高齢世帯	世帯主と配偶者と1人以上の子から成る世帯で、世帯主若しくは配偶者の年齢が60歳以上である世帯
夫婦と子・若中年世帯	世帯主と配偶者と1人以上の子から成る世帯で、世帯主及び配偶者の年齢が60歳未満である世帯
その他	「単身・高齢世帯」「単身・若中年世帯」「夫婦・高齢世帯」「夫婦・若中年世帯」「夫婦と子・高齢世帯」「夫婦と子・若中年世帯」のいずれにも当てはまらない世帯

(10) 省エネルギー行動実施率

省エネルギー行動を実施している割合をいい、冬季調査票の問9、世帯調査票の問12、問15、問19、問21、問26、問29の7設問18項目のうち、該当しない項目を除く項目数のうち、省エネルギー行動を実施している項目数の割合をいう。

家庭からの二酸化炭素排出量の推計に係る実態調査

全国試験調査

結果の概要（確報値）

<統合集計（参考値）>

平成28年6月

環 境 省

目次

I 全国の主要結果	1
1 CO ₂ 排出量	1
(1) 世帯当たり年間エネルギー種別 CO ₂ 排出量・構成比	1
(2) 世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出構成比	1
(3) 建て方別世帯当たり年間エネルギー種別 CO ₂ 排出量・構成比	2
(4) 建て方別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量・構成比	3
(5) 世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別 CO ₂ 排出量・構成比	4
(6) 世帯類型別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量・構成比	5
(7) 建て方別世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別 CO ₂ 排出量	6
(8) 建て方別世帯類型別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出構成比	7
(9) 建て方別世帯主年齢別世帯当たり年間エネルギー種別 CO ₂ 排出量	8
(10) 建て方別世帯主年齢別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出構成比	9
(11) 建て方別世帯人数別世帯当たり年間エネルギー種別 CO ₂ 排出量	10
(12) 建て方別世帯人数別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出構成比	11
(13) 建て方別年間世帯収入別世帯当たり年間エネルギー種別 CO ₂ 排出量	12
(14) 建て方別年間世帯収入別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出構成比	13
(15) 建て方別建築時期別世帯当たり年間エネルギー種別 CO ₂ 排出量	14
(16) 建て方別建築時期別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出構成比	15
(17) 建て方別延べ床面積別世帯当たり年間エネルギー種別 CO ₂ 排出量	16
(18) 建て方別延べ床面積別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出構成比	17
(19) 建て方別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO ₂ 排出量	18
(20) 世帯類型別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO ₂ 排出量	18
(21) 世帯当たり月別エネルギー種別 CO ₂ 排出量	19
(22) 建て方別世帯当たり月別 CO ₂ 排出量（電気・ガス・灯油の合計）	19
2 CO ₂ 排出量の世帯分布	20
(1) 建て方別世帯当たり年間 CO ₂ 排出量（電気・ガス・灯油の合計）の世帯分布	20
(2) 世帯類型別世帯当たり年間 CO ₂ 排出量（電気・ガス・灯油の合計）の世帯分布	20
(3) 建て方別世帯当たり年間 CO ₂ 排出量（自動車用燃料の合計）の世帯分布	21
(4) 世帯類型別世帯当たり年間 CO ₂ 排出量（自動車用燃料の合計）の世帯分布	21
3 エネルギー消費量	22
(1) 建て方別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比	22
(2) 建て方別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比	23

(3)	世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比	24
(4)	世帯類型別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比	25
(5)	世帯主年齢別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比	26
(6)	世帯主年齢別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比	27
(7)	世帯人数別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比	28
(8)	世帯人数別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比	29
(9)	年間世帯収入別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比	30
(10)	年間世帯収入別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比	31
4	エネルギー消費量（固有単位）	32
(1)	建て方別世帯当たり年間電気消費量（固有単位）	32
(2)	建て方別世帯当たり年間都市ガス消費量（固有単位）	32
(3)	建て方別世帯当たり年間LPガス消費量（固有単位）	33
(4)	建て方別世帯当たり年間灯油消費量（固有単位）	33
(5)	世帯類型別世帯当たり年間自動車用燃料消費量（固有単位）	34
5	支払金額	35
(1)	建て方別世帯当たり年間エネルギー種別支払金額	35
(2)	世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別支払金額	35
(3)	建て方別世帯当たり年間自動車用燃料種別支払金額	36
(4)	世帯類型別世帯当たり年間自動車用燃料種別支払金額	36
6	設備・機器の使用状況	37
(1)	建て方別最もよく使う暖房機器	37
(2)	建て方別給湯器・給湯システム	38
(3)	建築時期別給湯器・給湯システム	39
(4)	住宅の所有関係別給湯器・給湯システム	39
(5)	世帯人数別給湯器・給湯システム	40
(6)	年間世帯収入別給湯器・給湯システム	40
(7)	建て方別エアコンの使用台数	41
(8)	建て方別台所用コンロ	41
(9)	LED照明の使用状況	42
(10)	建て方別LED照明の使用状況	42
(11)	住宅の所有関係別LED照明の使用状況	43
(12)	建築時期別LED照明の使用状況	44
(13)	延べ床面積別LED照明の使用状況	44
(14)	世帯主年齢別LED照明の使用状況	45
(15)	年間世帯収入別LED照明の使用状況	45
(16)	冷蔵庫の製造時期（1台目）別世帯当たり年間照明・家電製品等用CO ₂ 排出量	46
(17)	冷蔵庫の製造時期	46

(18)	世帯主年齢別冷蔵庫の製造時期（1台目）	47
(19)	年間世帯収入別冷蔵庫の製造時期（1台目）	48
(20)	建築時期別冷蔵庫の製造時期（1台目）	48
(21)	冷蔵庫の使用台数	49
(22)	建築時期別冷蔵庫の使用台数	49
(23)	建て方別冷蔵庫の使用台数	50
(24)	世帯類型別冷蔵庫の使用台数	50
(25)	世帯人数別冷蔵庫の使用台数	51
(26)	世帯主年齢別冷蔵庫の使用台数	51
(27)	年間世帯収入別冷蔵庫の使用台数	52
(28)	延べ床面積別冷蔵庫の使用台数	52
(29)	二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無別世帯当たり年間暖房用CO ₂ 排出量	53
(30)	建築時期別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無	54
(31)	住宅の所有関係別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無	54
(32)	延べ床面積別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無	55
(33)	年間世帯収入別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無	55
(34)	自動車の実際の燃費（1台目）別世帯当たり年間自動車用燃料CO ₂ 排出量	56
(35)	年間世帯収入別自動車の実際の燃費（1台目）	56
(36)	省エネルギー行動実施率別自動車の実際の燃費（1台目）	57
7	太陽光発電システム	58
(1)	建て方別太陽光発電システムの使用率	58
(2)	建築時期別太陽光発電システムの使用率	58
(3)	世帯人数別太陽光発電システムの使用率	59
(4)	世帯主年齢別太陽光発電システムの使用率	59
(5)	年間世帯収入別太陽光発電システムの使用率	60
(6)	太陽電池の総容量	60
(7)	太陽光発電システムの年間発電量・売電量（使用世帯当たり）	61
(8)	太陽光発電システムからの売電による年間受領金額（使用世帯当たり）	61
(9)	太陽光発電システムの月別発電量・売電量（使用世帯当たり）	62
(10)	太陽光発電システム使用の有無別世帯当たり年間エネルギー種別CO ₂ 排出量	62
II	地方別・都市階級別の主要結果	63
1	CO₂排出量	63
(1)	地方別世帯当たり年間エネルギー種別CO ₂ 排出量・構成比	63
(2)	地方別世帯当たり年間用途別CO ₂ 排出量・構成比	64
(3)	都市階級別世帯当たり年間エネルギー種別CO ₂ 排出量・構成比	65
(4)	都市階級別世帯当たり年間用途別CO ₂ 排出量・構成比	66

(5) 地方別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO ₂ 排出量.....	67
(6) 都市階級別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO ₂ 排出量.....	67
2 CO ₂ 排出量の分布	68
(1) 地方別世帯当たり年間 CO ₂ 排出量（電気・ガス・灯油の合計）の世帯分布.....	68
(2) 都市階級別世帯当たり年間 CO ₂ 排出量（電気・ガス・灯油の合計）の世帯分布.....	68
(3) 地方別世帯当たり年間 CO ₂ 排出量（自動車用燃料の合計）の世帯分布.....	69
(4) 都市階級別世帯当たり年間 CO ₂ 排出量（自動車用燃料の合計）の世帯分布.....	69
3 エネルギー消費量	70
(1) 地方別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比	70
(2) 地方別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比	71
(3) 都市階級別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比	72
(4) 都市階級別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比	73
4 支払金額	74
(1) 地方別世帯当たり年間エネルギー種別支払金額	74
(2) 地方別世帯当たり年間自動車用燃料種別支払金額	74
5 設備・機器の使用状況	75
(1) 地方別給湯器・給湯システム	75
(2) 地方別 LED 照明の使用状況	76
(3) 地方別冷蔵庫の製造時期（1 台目）	76
(4) 地方別冷蔵庫の使用台数	77
(5) 地方別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無	77
(6) 地方別自動車の実際の燃費（1 台目）	78
(7) 都市階級別自動車の実際の燃費（1 台目）	78
(8) 地方別太陽光発電システムの使用率	79

Ⅲ 機器の使用状況別の主要結果..... 80

(1) 建て方別エアコン以外の家電製品の使用台数別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量	80
(2) 建て方別テレビの使用台数別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量.....	81
(3) 建て方別平日のテレビの使用時間（1 台目）別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量	82
(4) 建て方別冷蔵庫の使用台数別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量.....	83
(5) 建て方別エアコンの使用台数別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量.....	84
(6) 建て方別暑い時期の平日のエアコン使用時間（1 台目）別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量.....	85
(7) 建て方別最もよく使う暖房機器別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量.....	86

(8) 建て方別最もよく使う暖房機器の冬の平日の使用時間別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量	87
(9) 建て方別暖房室数別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量	88
(10) 建て方別 LED 照明の使用状況別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量	89
(11) 建て方別冬季の入浴日数別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量	90
(12) 建て方別省エネルギー行動実施率別世帯当たり年間エネルギー種別 CO ₂ 排出量	91
(13) 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量<家族が続けて入浴するようにしている>	95
(14) 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量<テレビを使用しないときは主電源をオフにしている>	96
(15) 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別 CO ₂ 排出量<炊飯器の保温機能を極力使用しないようにしている>	97
(16) 世帯類型別自動車の使用台数別世帯当たり年間自動車用燃料 CO ₂ 排出量	98
(17) 世帯類型別自動車の年間走行距離（3 台目までの合計）別世帯当たり年間自動車用燃料 CO ₂ 排出量	99
(18) 世帯類型別自動車の排気量（1 台目）別世帯当たり年間自動車用燃料 CO ₂ 排出量	100
(19) 世帯類型別自動車の実際の燃費（1 台目）別世帯当たり年間自動車用燃料 CO ₂ 排出量	101

IV 主要属性 102

(1) 地方別建て方	102
(2) 建て方別世帯類型	102
(3) 地方別世帯類型	103
(4) 建て方別世帯人数	103
(5) 地方別世帯人数	104
(6) 建て方別世帯主年齢	105
(7) 建て方別高齢者数	105
(8) 建て方別有職者数	106
(9) 建て方別平日昼間の在宅者の有無	106
(10) 世帯類型別平日昼間の在宅者の有無	107
(11) 建て方別年間世帯収入	107
(12) 建て方別建築時期	108
(13) 建て方別延べ床面積	108
(14) 地方別延べ床面積	109

【利用上の注意】

本資料の図表タイトルに下線が付くものは、確報値公表時に追加した図表である。

I 全国の主要結果

1 CO₂ 排出量

(1) 世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量・構成比

世帯当たりの年間 CO₂ 排出量は 3.49 トンであり、電気の使用に伴う排出が約 7 割を占めている。

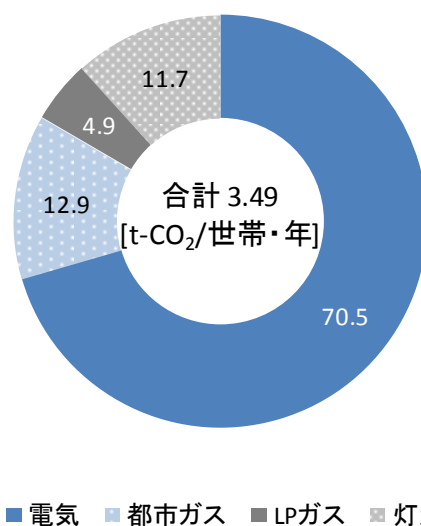


図 1-1 世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量・構成比

(注) 調査の対象期間は 2014 年 10 月～2015 年 9 月の 1 年間である。

(2) 世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比

照明・家電製品等が排出量の約 5 割を占め、次いで給湯、暖房の割合が高い。

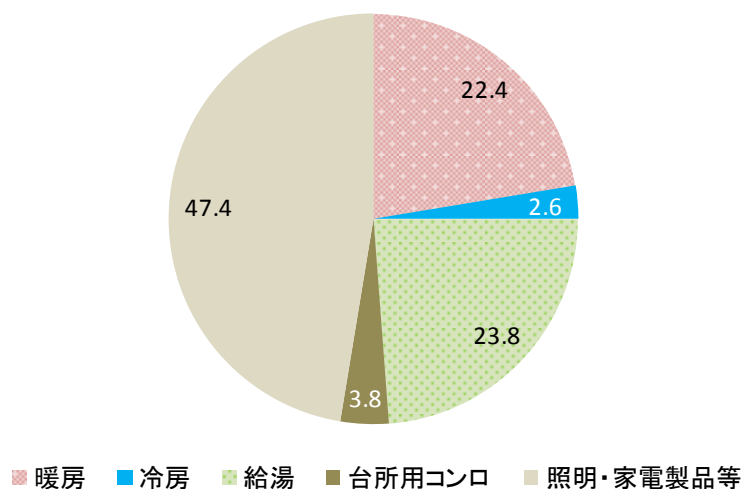


図 1-2 世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比

(3) 建て方別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量・構成比

建て方別に CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯では集合住宅の世帯の約2倍である。戸建住宅の世帯では集合住宅の世帯に比べ世帯人数が多く、住宅の延べ床面積が大きいことなどが影響していると考えられる。

戸建住宅の世帯では電気と灯油の占める割合が集合住宅の世帯に比べ高い。

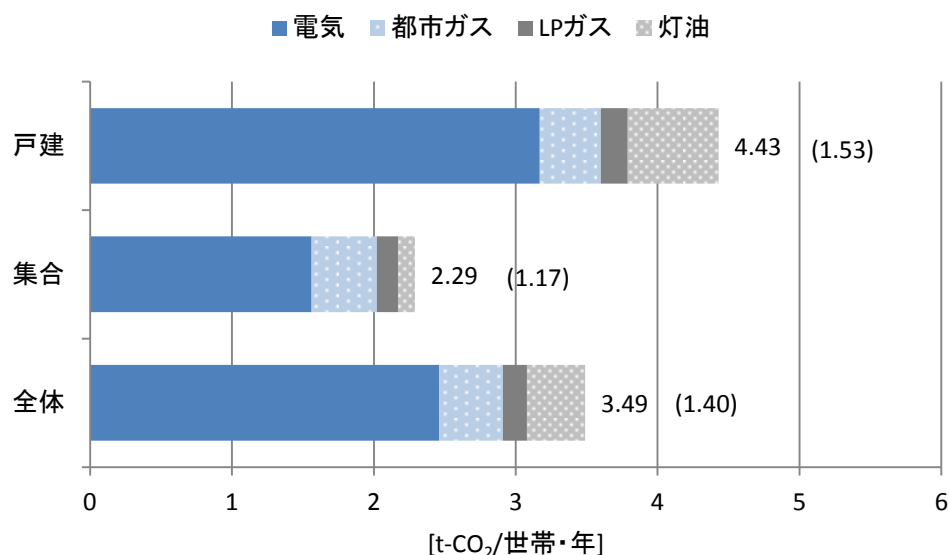


図 1-3 建て方別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量

(注1) 括弧内の数値は1人当たりのCO₂排出量を表す。

(注2) 1人当たりのCO₂排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

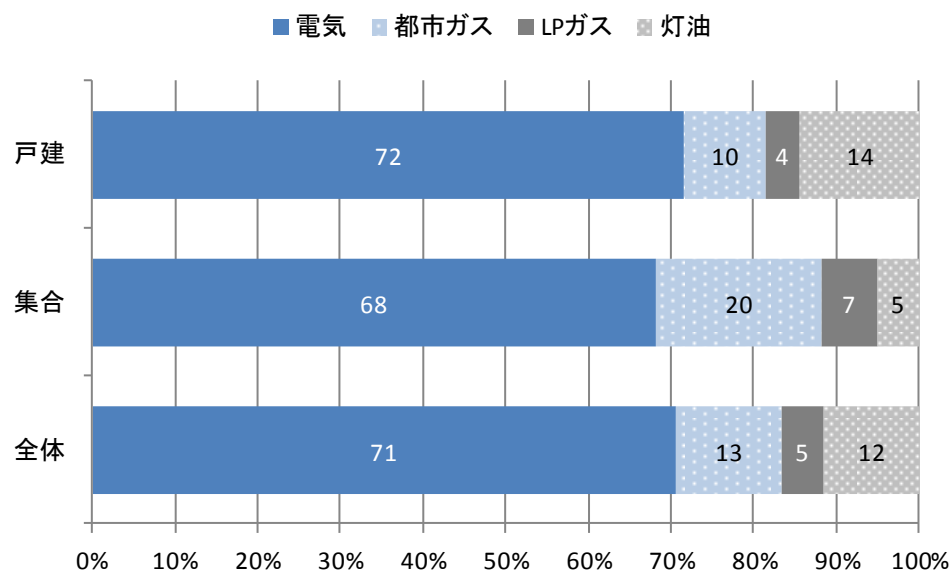


図 1-4 建て方別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出構成比

(4) 建て方別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量・構成比

建て方別に用途別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯では集合住宅の世帯に対し、暖房が約3倍、給湯が約2倍となっている。

戸建住宅の世帯では暖房が 25%を占めるのに対して、集合住宅の世帯では 17%であり8ポイントの差がある。一般に他の住戸に接している集合住宅に比べ、戸建住宅は外気に接する表面積が大きく、暖房に必要なエネルギーが大きいことなどが影響していると考えられる。

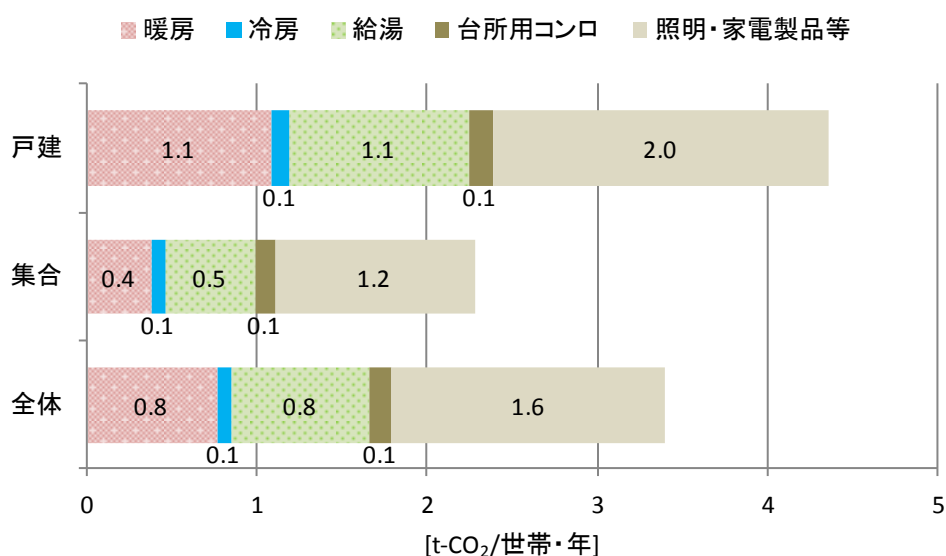


図 1-5 建て方別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

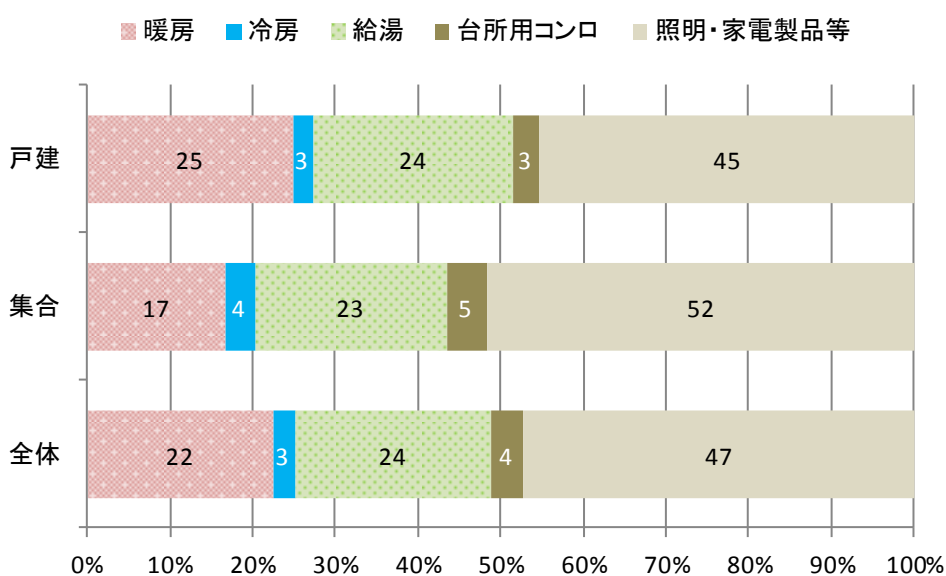


図 1-6 建て方別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比

(5) 世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量・構成比

世帯類型別に CO₂ 排出量を比較すると、単身世帯では夫婦と子の世帯の4～5割の水準である。単身、夫婦及び夫婦と子のいずれの世帯類型においても、高齢世帯では若中年世帯より排出量が多い。

高齢世帯では灯油の割合が若中年世帯に比べやや高い。

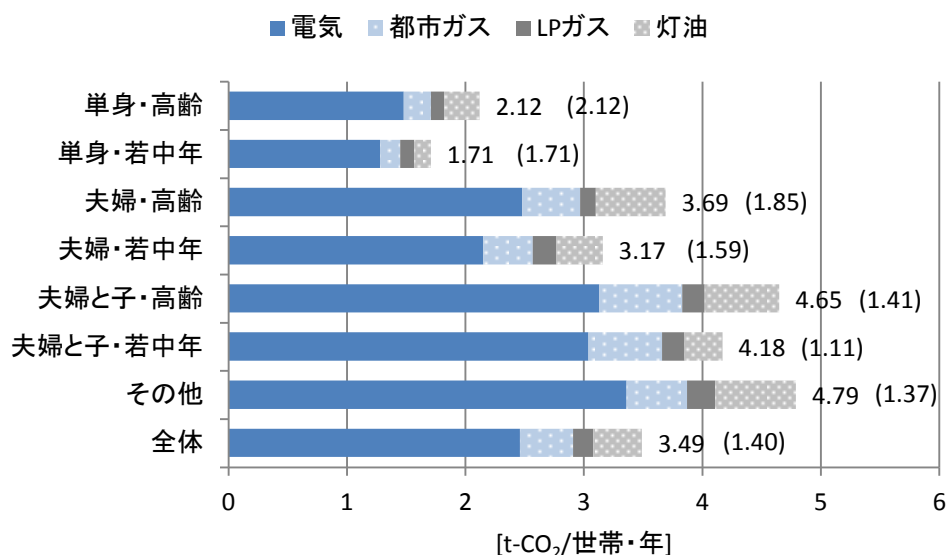


図 1-7 世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量

(注1) 括弧内の数値は1人当たりのCO₂排出量を表す。

(注2) 1人当たりのCO₂排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

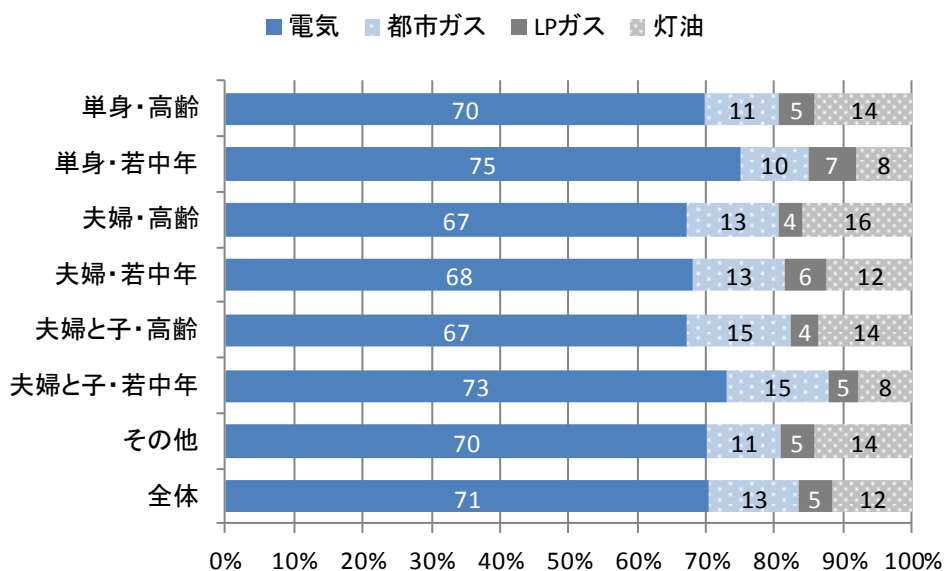


図 1-8 世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出構成比

(6) 世帯類型別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量・構成比

世帯類型別に用途別 CO₂ 排出量を比較すると、高齢世帯は若中年世帯に比べ、暖房と照明・家電製品等の排出量が多い。高齢世帯は戸建住宅の割合が高いことなどが影響していると考えられる。

単身世帯では給湯の割合が低く、照明・家電製品等の割合が高い。

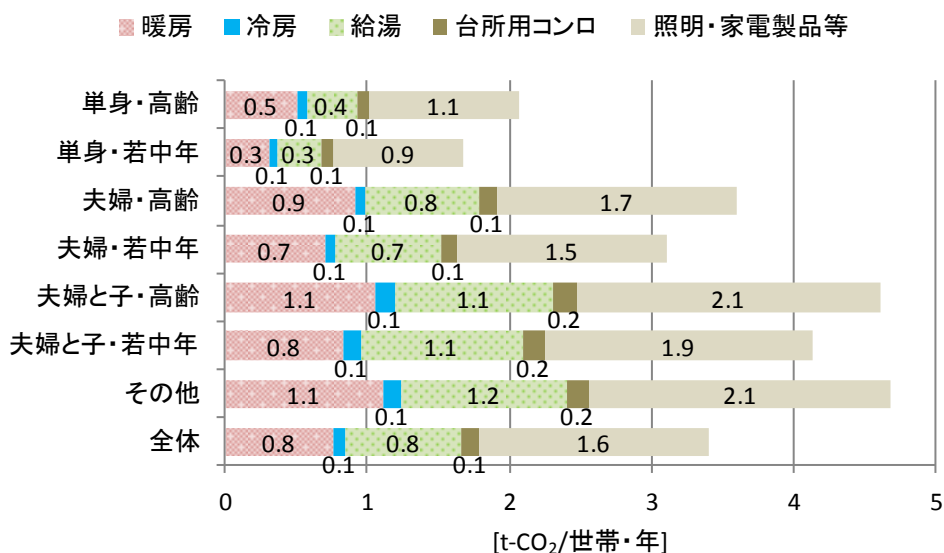


図 1-9 世帯類型別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

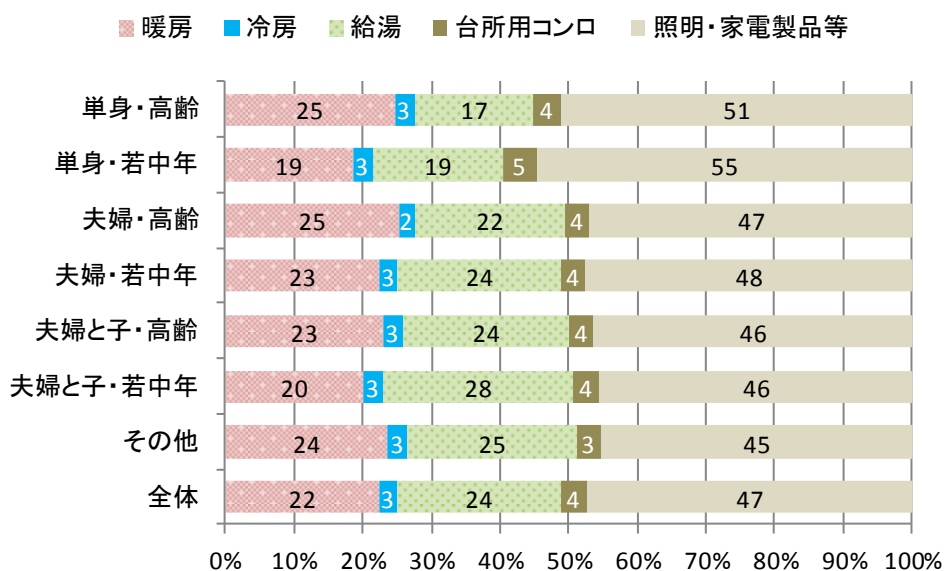


図 1-10 世帯類型別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比

(7) 建て方別世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量

建て方別に高齢世帯と若中年世帯の CO₂ 排出量を比較すると、集合住宅の世帯で比較的差が大きい。高齢世帯は世帯員の年齢が高く、在宅時間が比較的長いことなどが影響していると考えられる。

また、同じ世帯類型で建て方別に CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯の排出量が集合住宅の世帯より多い。例えば、単身世帯では、戸建住宅の世帯の排出量は集合住宅の世帯の 1.6～1.8 倍である。

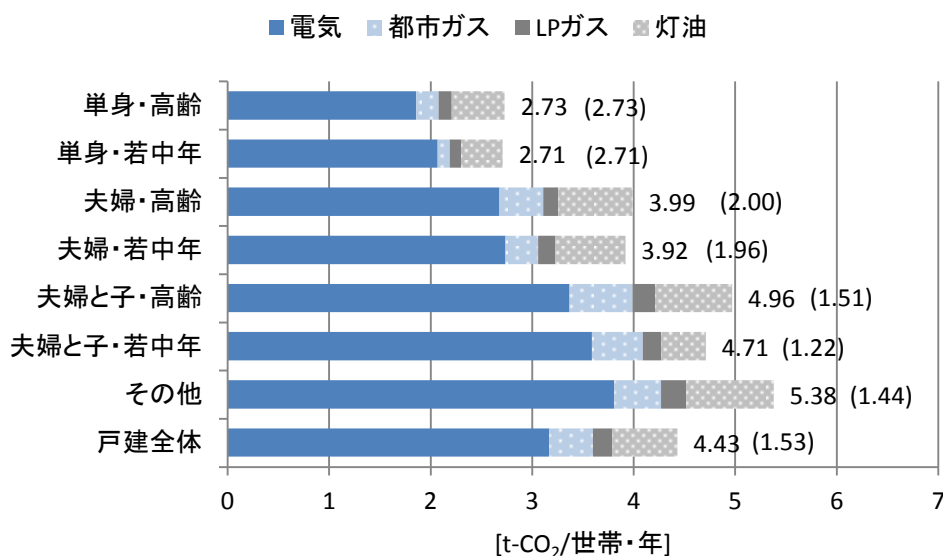


図 1-11 建て方別世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量（戸建）

(注1) 括弧内の数値は1人当たりのCO₂排出量を表す。

(注2) 1人当たりのCO₂排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

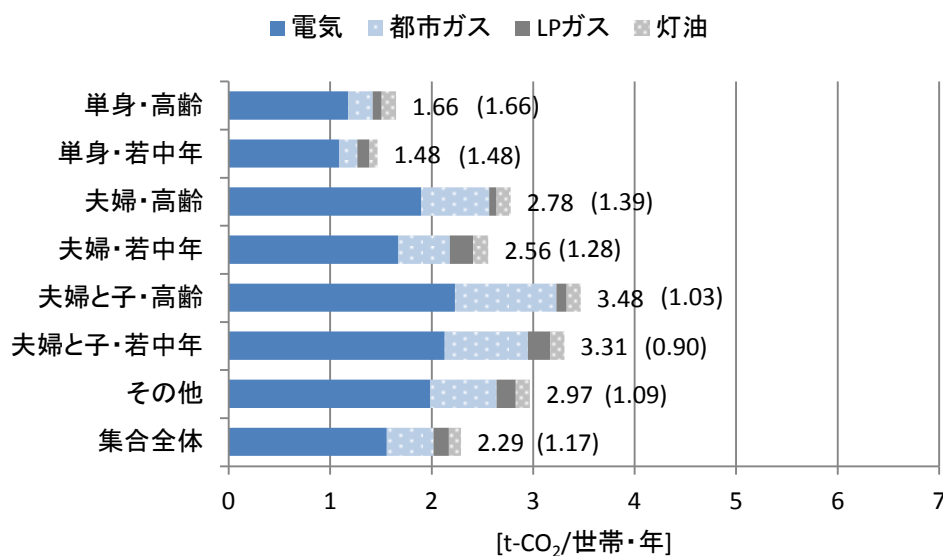


図 1-12 建て方別世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量（集合）

(注1) 括弧内の数値は1人当たりのCO₂排出量を表す。

(注2) 1人当たりのCO₂排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

(8) 建て方別世帯類型別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比

単身・高齢世帯では暖房の割合が単身・若中年世帯に比べ高く、給湯の割合が低い。暖房の割合が高いのは在宅時間が比較的長いことなどが影響し、給湯の割合が低いのは入浴頻度が比較的少ないことなどが影響していると考えられる。

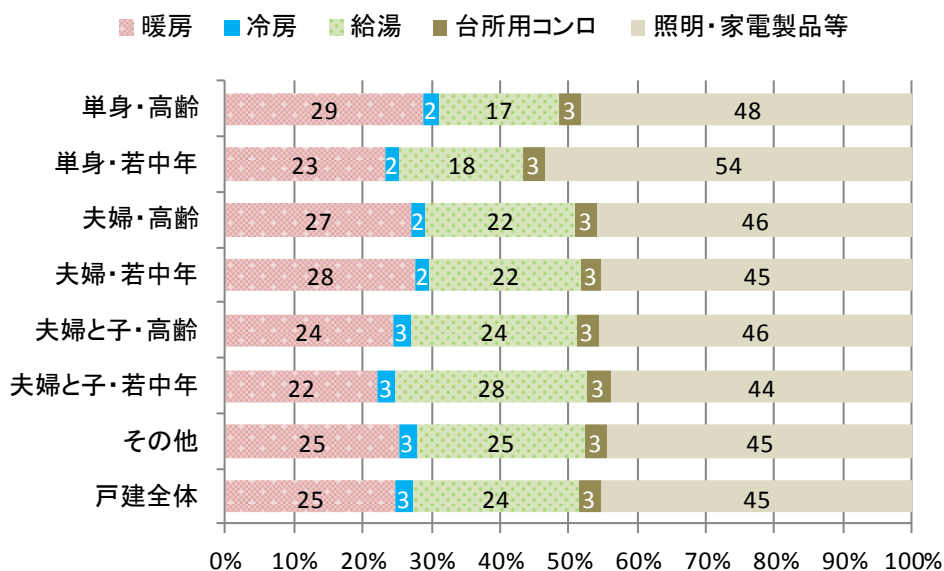


図 1-13 建て方別世帯類型別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比 (戸建)

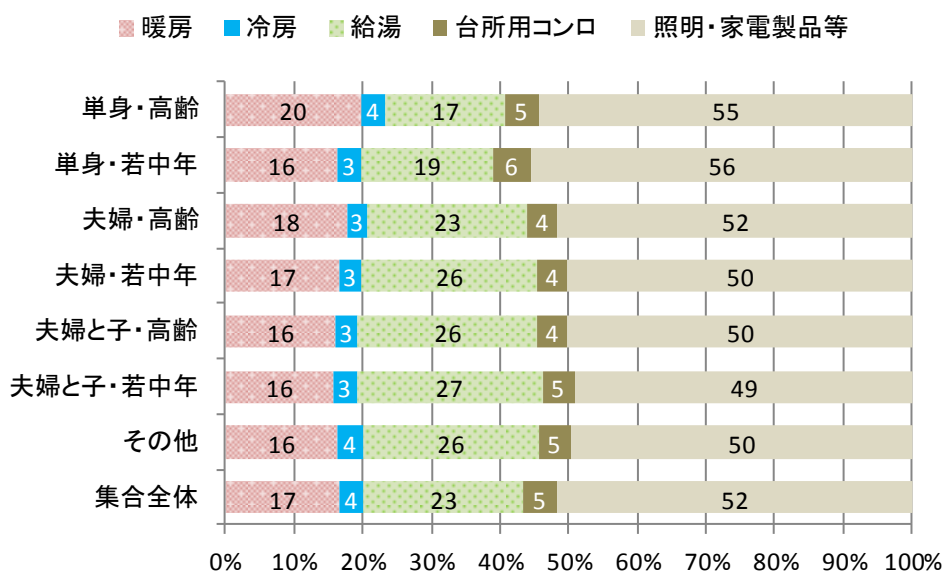


図 1-14 建て方別世帯類型別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比 (集合)

(9) 建て方別世帯主年齢別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量

建て方別に世帯主年齢別の CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅、集合住宅のいずれも世帯主が 50～59 歳の世帯の排出量が最も多い。子の有無や年齢などのライフステージの違いなどが影響していると考えられる。

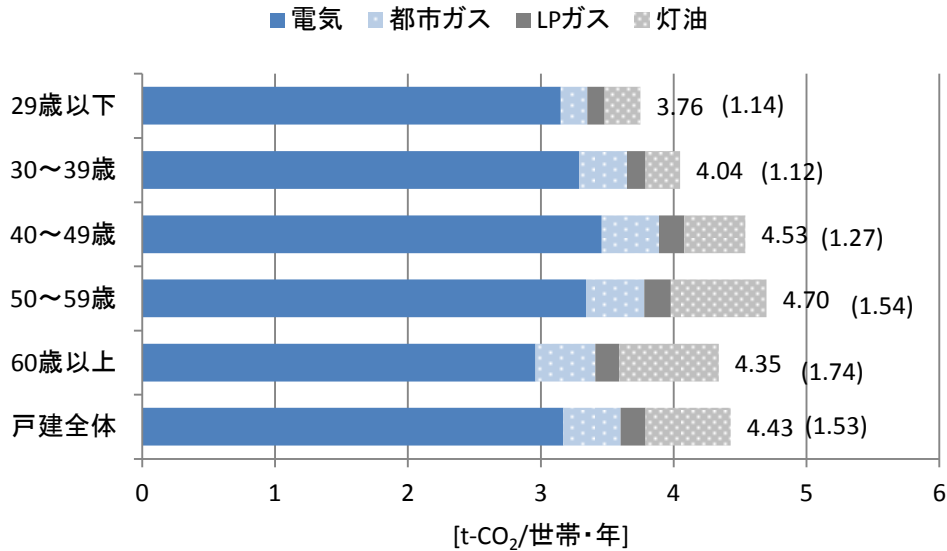


図 1-15 建て方別世帯主年齢別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量 (戸建)

(注1) 括弧内の数値は1人当たりのCO₂排出量を表す。

(注2) 1人当たりのCO₂排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

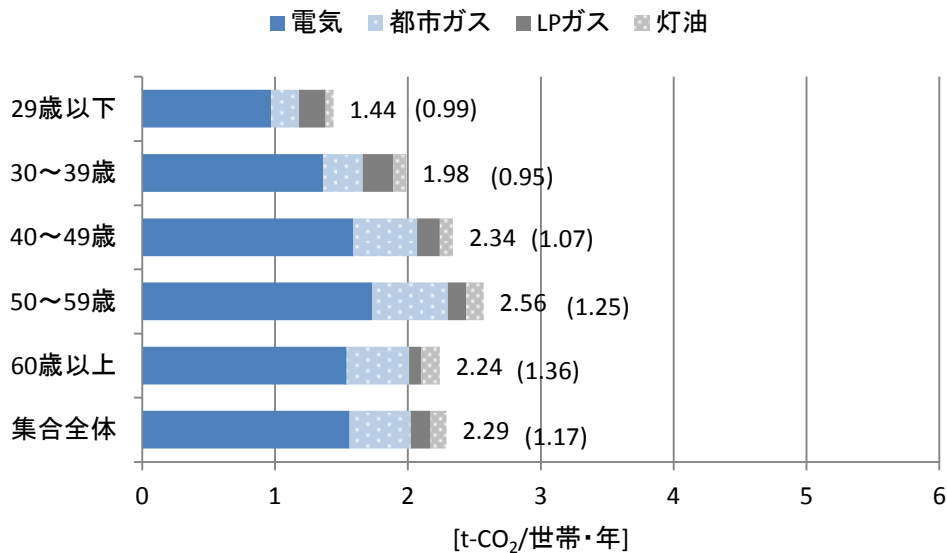


図 1-16 建て方別世帯主年齢別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量 (集合)

(注1) 括弧内の数値は1人当たりのCO₂排出量を表す。

(注2) 1人当たりのCO₂排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

(10) 建て方別世帯主年齢別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比

戸建住宅の世帯では世帯主年齢が高いほど暖房の割合が高く、給湯の割合が低い傾向がみられる。

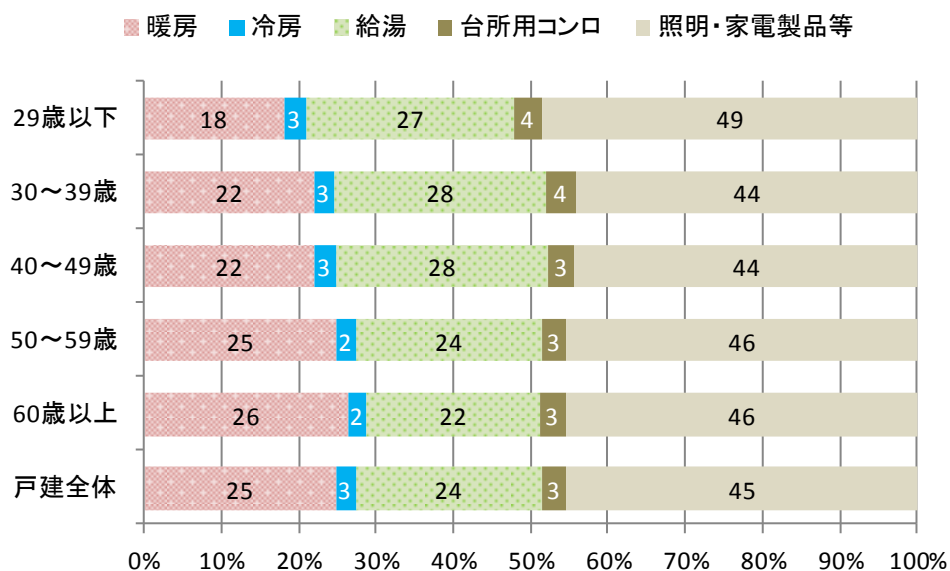


図 1-17 建て方別世帯主年齢別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比 (戸建)

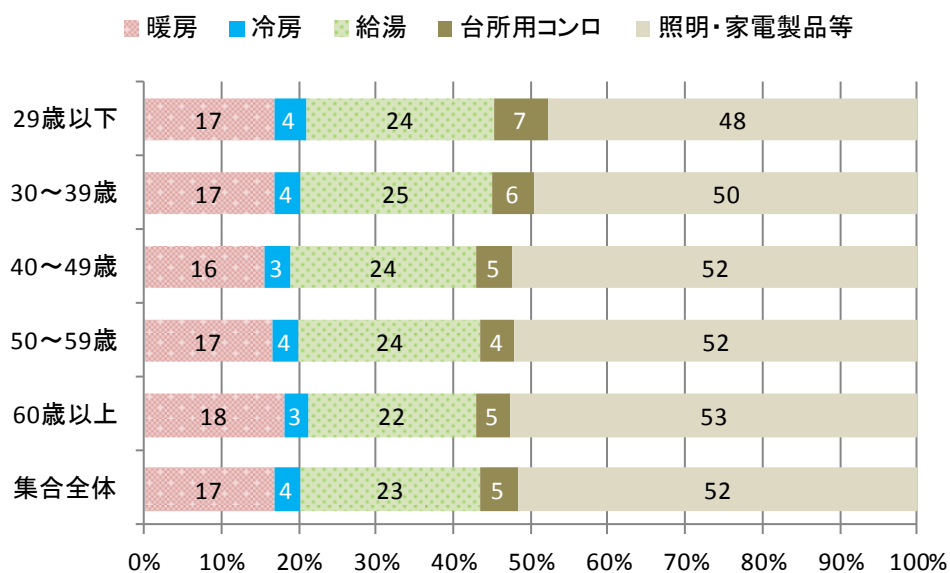


図 1-18 建て方別世帯主年齢別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比 (集合)

(11) 建て方別世帯人数別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量

世帯人数別の CO₂ 排出量を比較すると、世帯人数の増加に伴い排出量が増加する傾向がみられる。一方で、1人当たり CO₂ 排出量で比較すると、世帯人数が多い世帯ほど排出量が少ない。例えば、戸建住宅の4人世帯の1人当たり CO₂ 排出量は、単身世帯の約半分である。

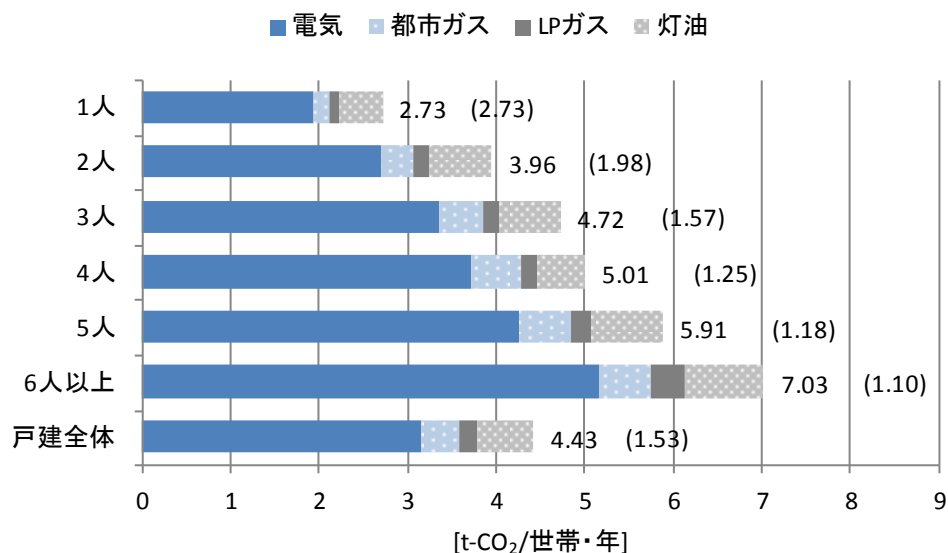


図 1-19 建て方別世帯人数別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量（戸建）

(注1) 括弧内の数値は1人当たりの CO₂ 排出量を表す。

(注2) 1人当たりの CO₂ 排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

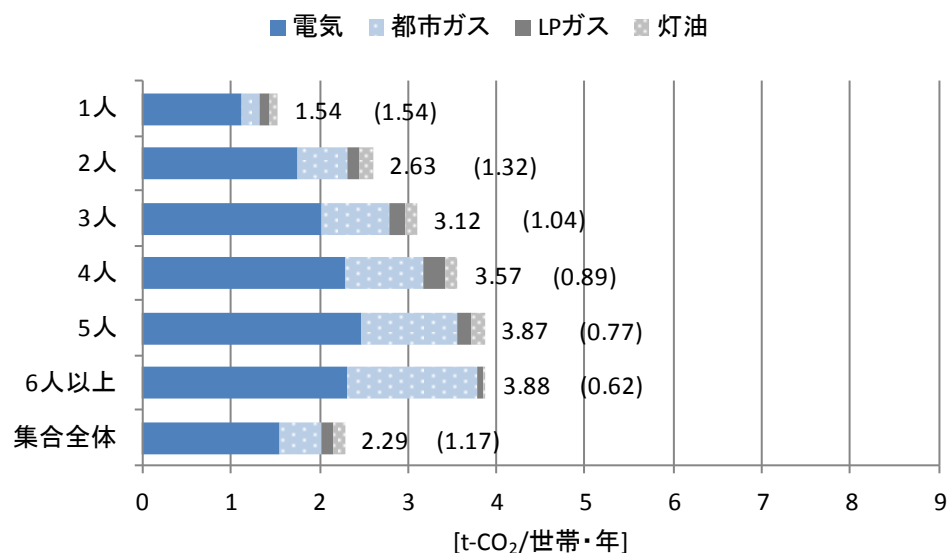


図 1-20 建て方別世帯人数別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量（集合）

(注1) 括弧内の数値は1人当たりの CO₂ 排出量を表す。

(注2) 1人当たりの CO₂ 排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

(12) 建て方別世帯人数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比

世帯人数の増加に伴い、戸建住宅の世帯では給湯の割合が高くなる傾向がみられる。集合住宅の世帯でも5人世帯までは同様の傾向がみられる。

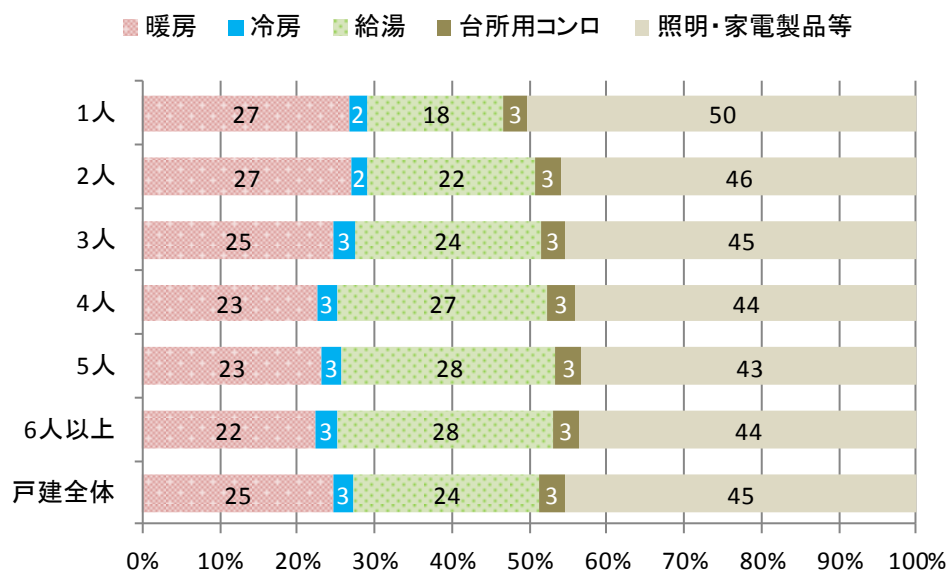


図 1-21 建て方別世帯人数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比 (戸建)

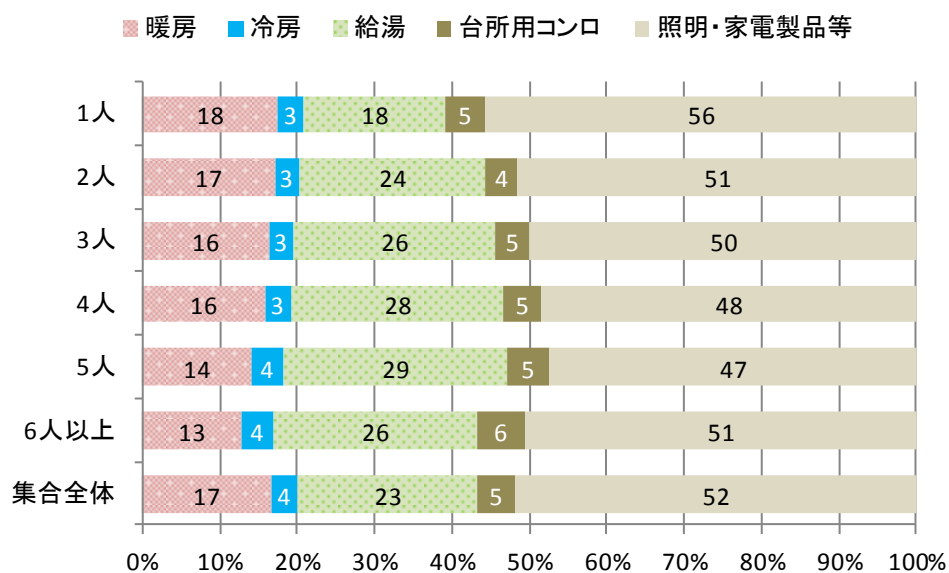


図 1-22 建て方別世帯人数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比 (集合)

(13) 建て方別年間世帯収入別世帯当たり年間エネルギー種別CO₂排出量

年間世帯収入の増加に伴い、CO₂排出量が増加する傾向がみられる。ただし、集合住宅の世帯では1000～1500万円未満と1500～2000万円未満の世帯の排出量の差がほとんどみられない。なお、1人当たりCO₂排出量は、明確な傾向がみられない。

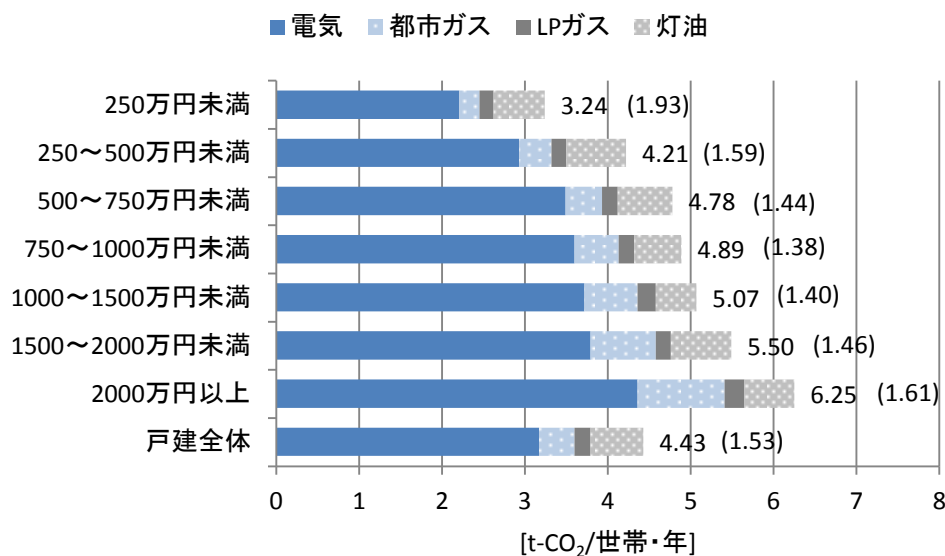


図 1-23 建て方別年間世帯収入別世帯当たり年間エネルギー種別CO₂排出量（戸建）

(注1) 括弧内の数値は1人当たりのCO₂排出量を表す。

(注2) 1人当たりのCO₂排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

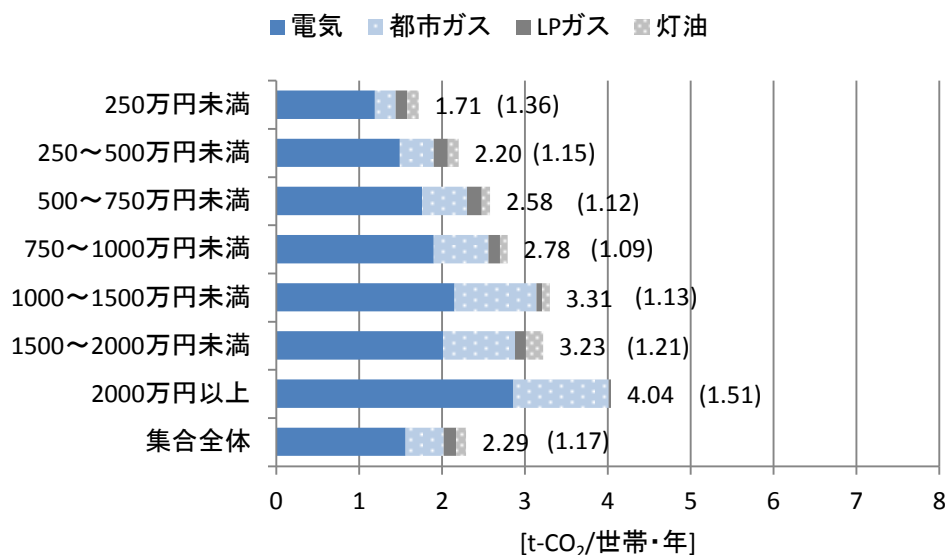


図 1-24 建て方別年間世帯収入別世帯当たり年間エネルギー種別CO₂排出量（集合）

(注1) 括弧内の数値は1人当たりのCO₂排出量を表す。

(注2) 1人当たりのCO₂排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

(14) 建て方別年間世帯収入別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比

年間世帯収入が 250 万円未満の世帯では給湯の割合がやや低く、照明・家電製品等の割合がやや高い。250 万円未満の世帯には単身世帯が多いことなどが影響していると考えられる。

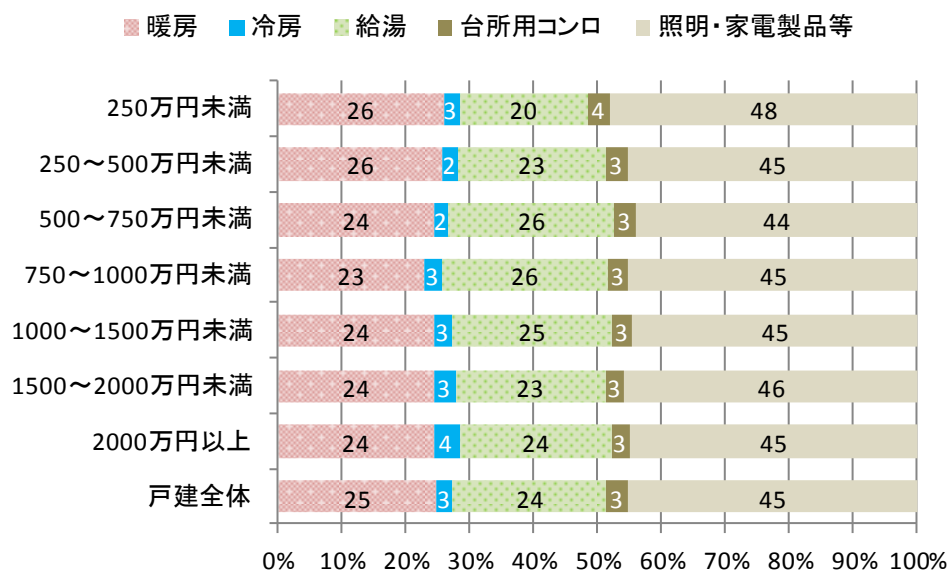


図 1-25 建て方別年間世帯収入別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比 (戸建)

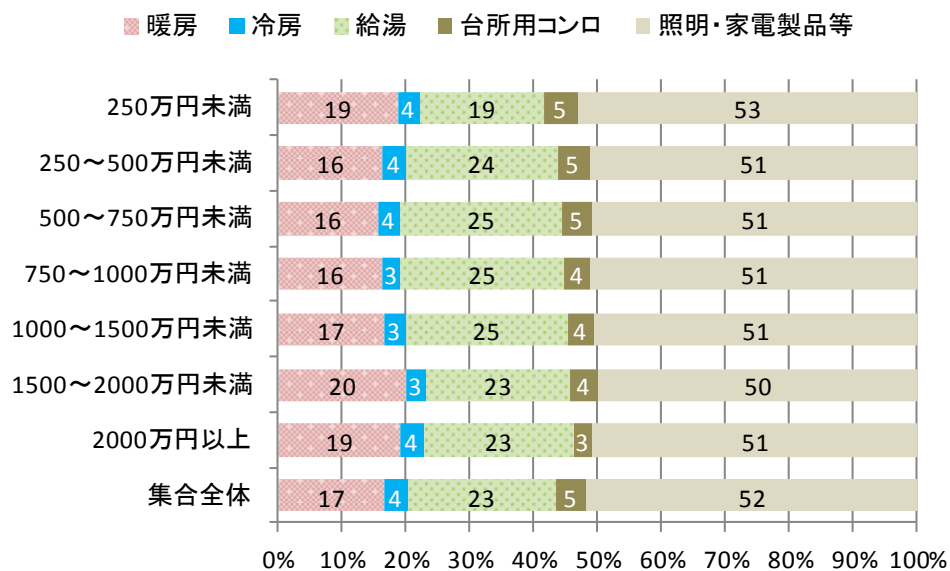


図 1-26 建て方別年間世帯収入別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比 (集合)

(15) 建て方別建築時期別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量

建て方別に建築時期別の CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯では建築時期が 2001～2005 年の世帯が最も排出量が多く、2011 年以降の世帯が最も少ない。建築時期が古い世帯ほど、灯油の使用に伴う排出量が多い。

集合住宅の世帯では 1996～2000 年の世帯が最も排出量が多く、2011 年以降の世帯が最も少ない。2011 年以降の世帯の排出量は 1996～2000 年の世帯の約 8 割の水準である。

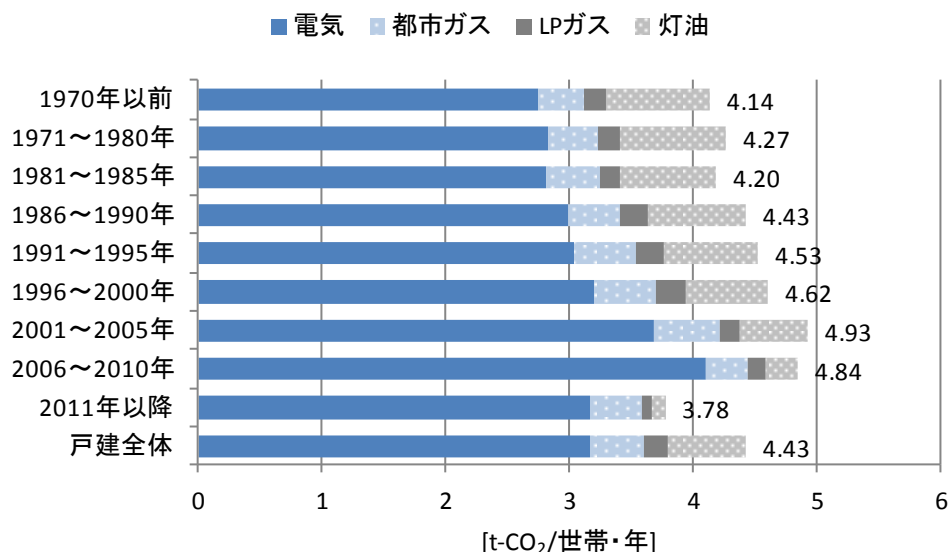


図 1-27 建て方別建築時期別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量（戸建）

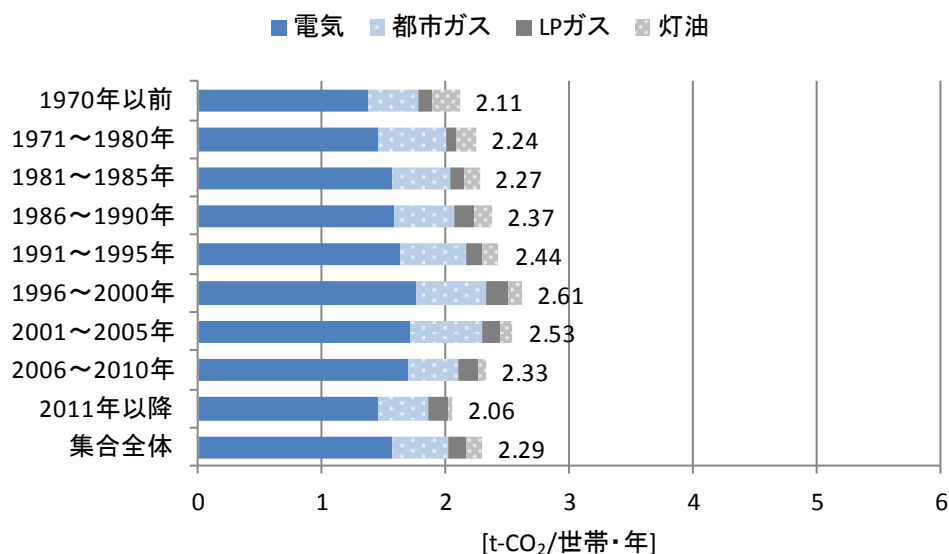


図 1-28 建て方別建築時期別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量（集合）

(16) 建て方別建築時期別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比

戸建住宅の世帯では建築時期が古い世帯ほど給湯の割合が低く、暖房の割合が高い傾向がみられる。

建て方によらず、2011年以降の世帯では戸建全体、集合全体と比べ用途別排出構成の明確な差はみられない。

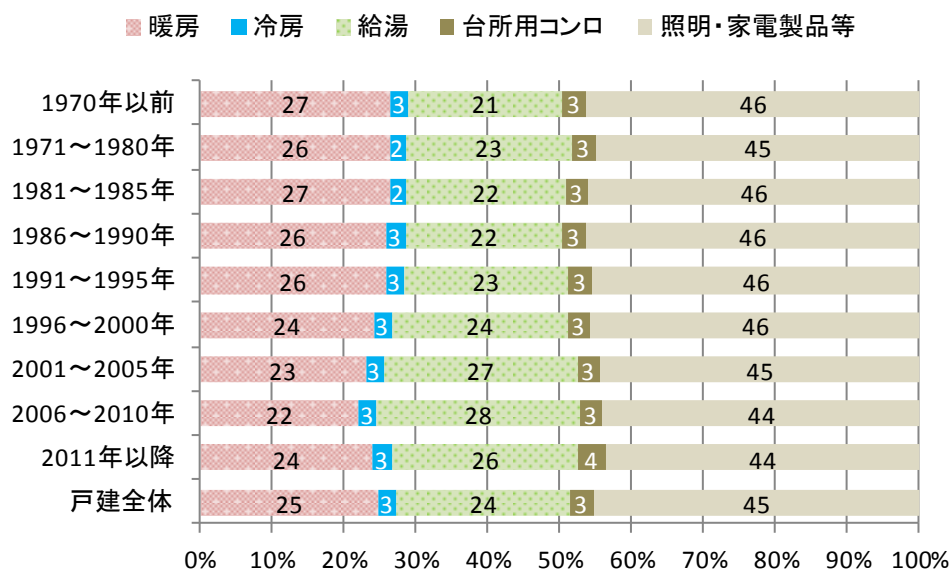


図 1-29 建て方別建築時期別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比 (戸建)

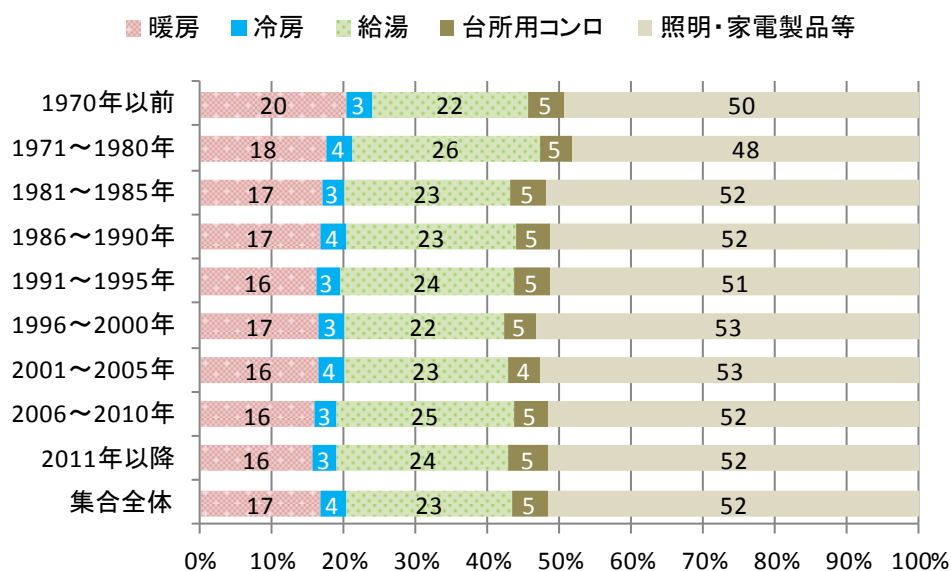


図 1-30 建て方別建築時期別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比 (集合)

(17) 建て方別延べ床面積別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量

建て方別に延べ床面積別の CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯では延べ床面積の増加に伴い、排出量が増加する傾向がみられる。集合住宅の世帯でも 125～150 m²未満の世帯まで同様の傾向がみられる。

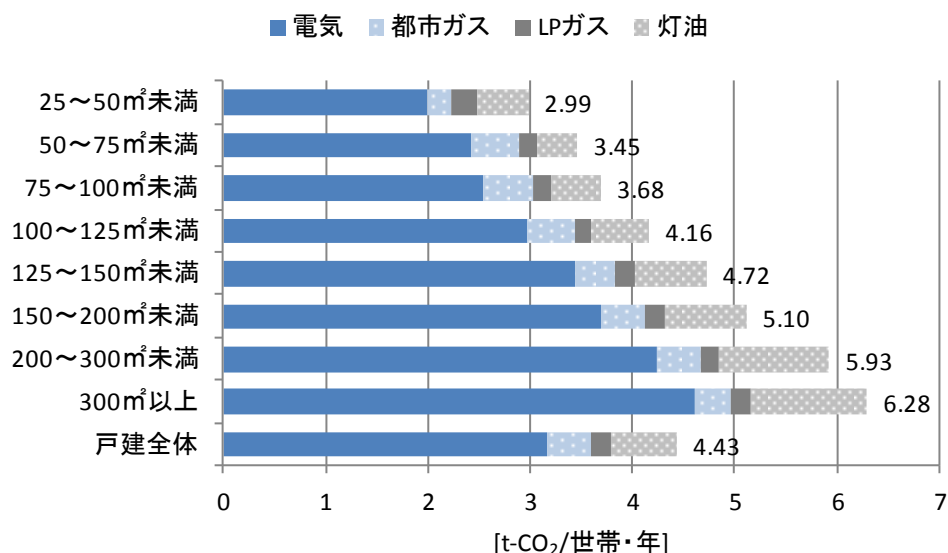


図 1-31 建て方別延べ床面積別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量 (戸建)

(注) 25 m²未満は集計世帯数が 10 未満のため表示していない。

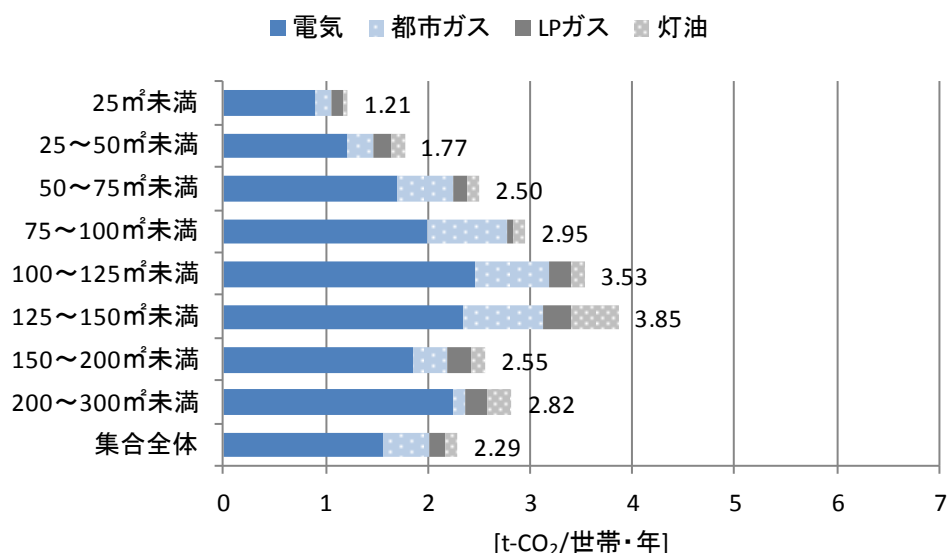


図 1-32 建て方別延べ床面積別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量 (集合)

(注) 300 m²以上は集計世帯数が 10 未満のため表示していない。

(18) 建て方別延べ床面積別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比

戸建住宅の世帯では、25～50 m²未満の世帯を除き、延べ床面積が大きい世帯ほど暖房の割合が高い傾向がみられる。

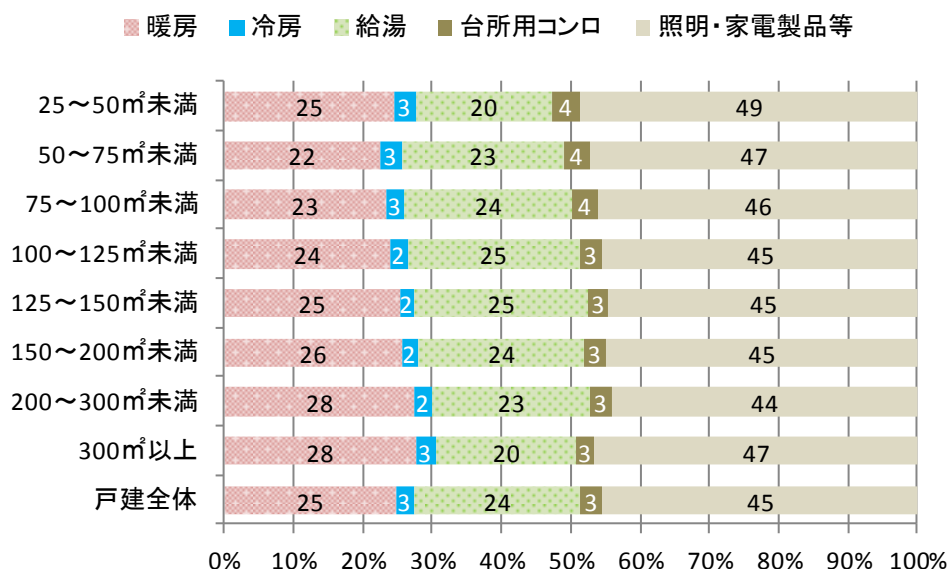


図 1-33 建て方別延べ床面積別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比（戸建）

(注) 25 m²未満は集計世帯数が 10 未満のため表示していない。

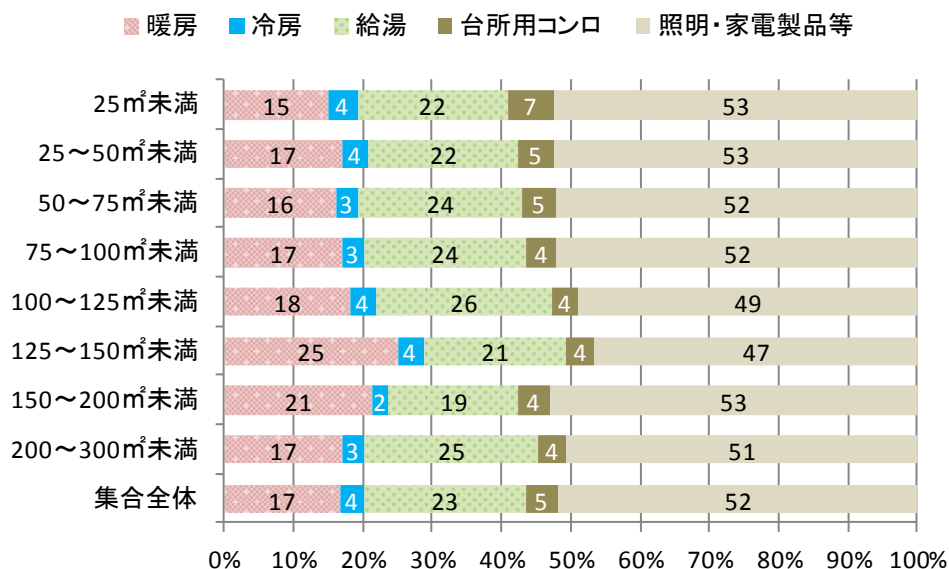


図 1-34 建て方別延べ床面積別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比（集合）

(注) 300 m²以上は集計世帯数が 10 未満のため表示していない。

(19) 建て方別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO₂ 排出量

自動車用燃料からの世帯当たりの年間 CO₂ 排出量は 1.31 トンであり、大部分がガソリンである。

戸建住宅の世帯の排出量は集合住宅の世帯の約 2 倍であり、自動車の使用台数や使用頻度に差があることなどが影響していると考えられる。

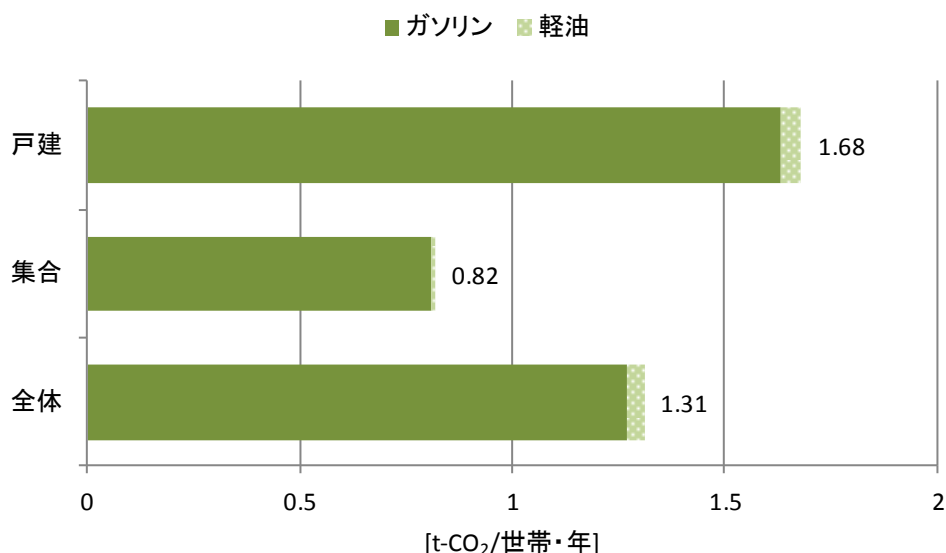


図 1-35 建て方別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO₂ 排出量

(20) 世帯類型別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO₂ 排出量

単身世帯の自動車用燃料からの CO₂ 排出量は夫婦と子の世帯の 2～4 割の水準である。若中年世帯の排出量は高齢世帯より多い。

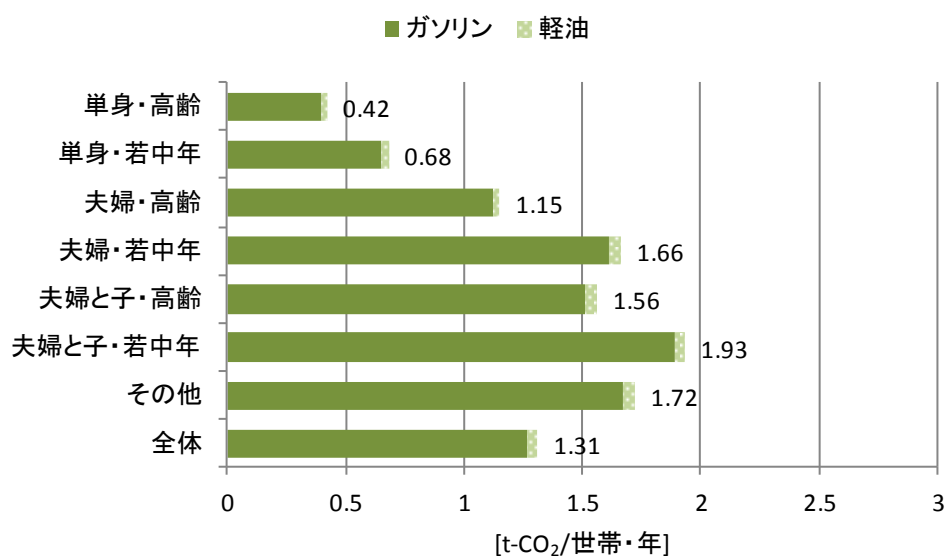


図 1-36 世帯類型別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO₂ 排出量

(2 1) 世帯当たり月別エネルギー種別 CO₂ 排出量

CO₂ 排出量を月別に比較すると、暖房や給湯の需要が増加する冬季の排出量が多く1月が最大であり、12～2月の排出量は年間排出量の約36%を占める。夏季にも冷房需要により排出量がやや増加する。

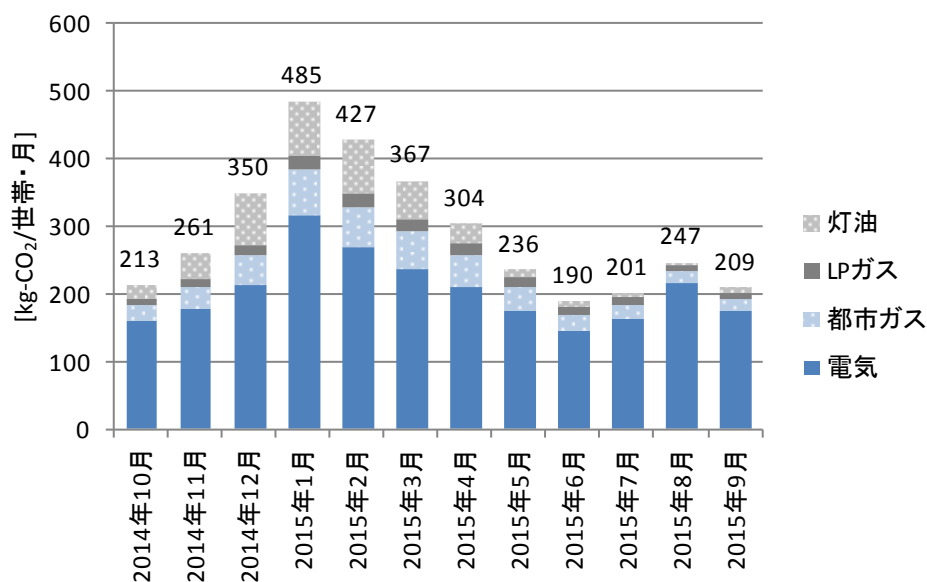


図 1-37 世帯当たり月別エネルギー種別 CO₂ 排出量

(2 2) 建て方別世帯当たり月別 CO₂ 排出量 (電気・ガス・灯油の合計)

月別 CO₂ 排出量を建て方別に比較すると、暖房需要が多い戸建住宅の世帯の季節変化が比較的大きい。

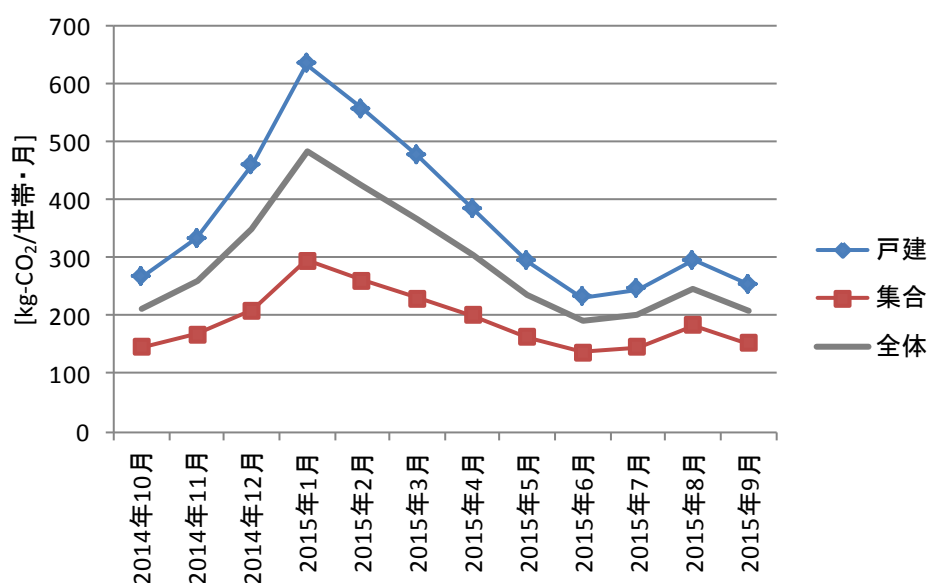


図 1-38 建て方別世帯当たり月別 CO₂ 排出量 (電気・ガス・灯油の合計)

2 CO₂ 排出量の世帯分布

(1) 建て方別世帯当たり年間 CO₂ 排出量（電気・ガス・灯油の合計）の世帯分布

地方により気候が異なることや世帯タイプの違いなどにより年間 CO₂ 排出量にばらつきがみられる。戸建住宅の世帯では排出量が3～4トンの世帯が最も多く、集合住宅の世帯では2～3トンの世帯が最も多い。

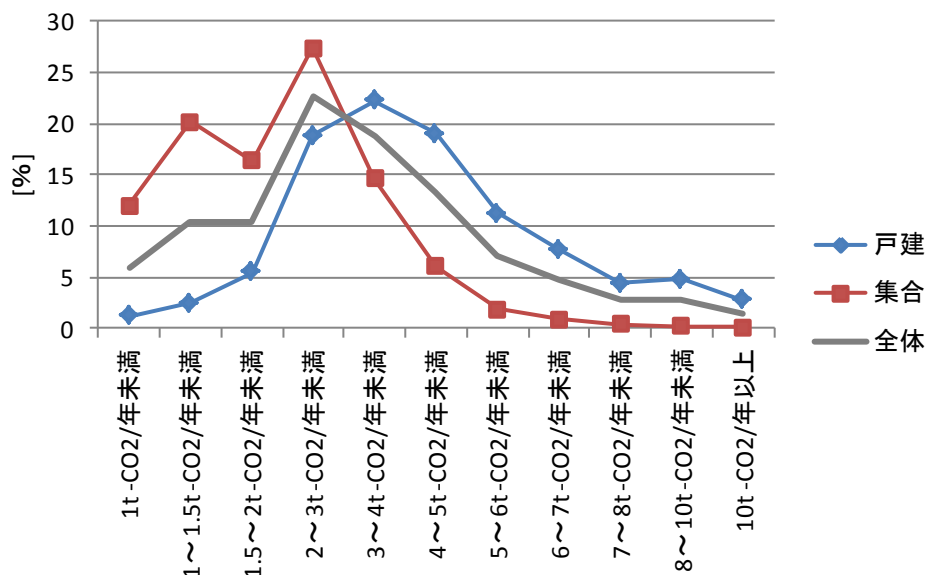


図 1-39 建て方別世帯当たり年間 CO₂ 排出量（電気・ガス・灯油の合計）の世帯分布

(2) 世帯類型別世帯当たり年間 CO₂ 排出量（電気・ガス・灯油の合計）の世帯分布

世帯類型別にみても気候、住宅その他の違いにより排出量にばらつきがみられる。

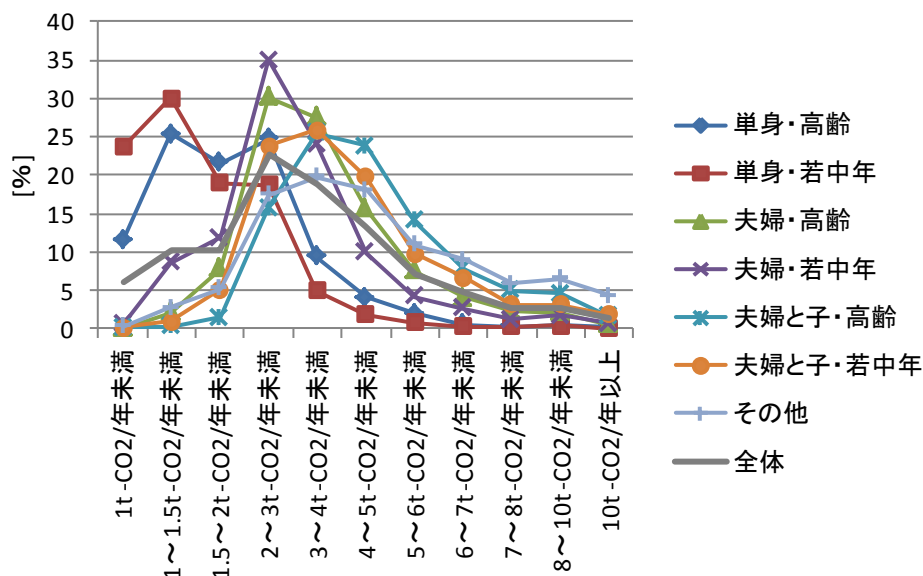


図 1-40 世帯類型別世帯当たり年間 CO₂ 排出量（電気・ガス・灯油の合計）の世帯分布

(3) 建て方別世帯当たり年間 CO₂ 排出量（自動車用燃料の合計）の世帯分布

自動車用燃料からの年間 CO₂ 排出量については、自動車を使用していない（排出量 0 トン）世帯を除くと、戸建住宅の世帯、集合住宅の世帯のいずれも 1～2 トンの世帯が最も多い。

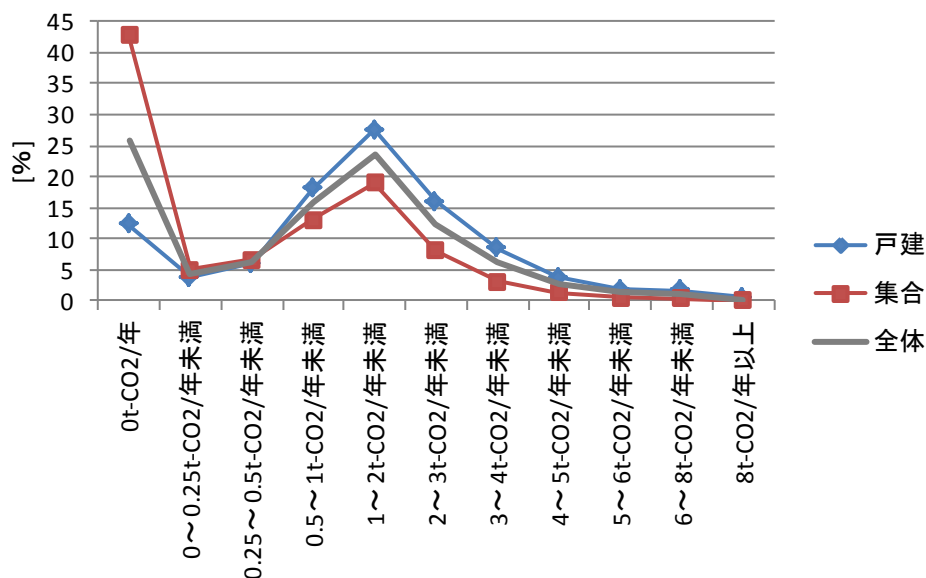


図 1-41 建て方別世帯当たり年間 CO₂ 排出量（自動車用燃料の合計）の世帯分布

(4) 世帯類型別世帯当たり年間 CO₂ 排出量（自動車用燃料の合計）の世帯分布

世帯類型別にみても、単身・高齢世帯以外では、自動車用燃料からの年間 CO₂ 排出量が 1～2 トンの世帯が最も多い。

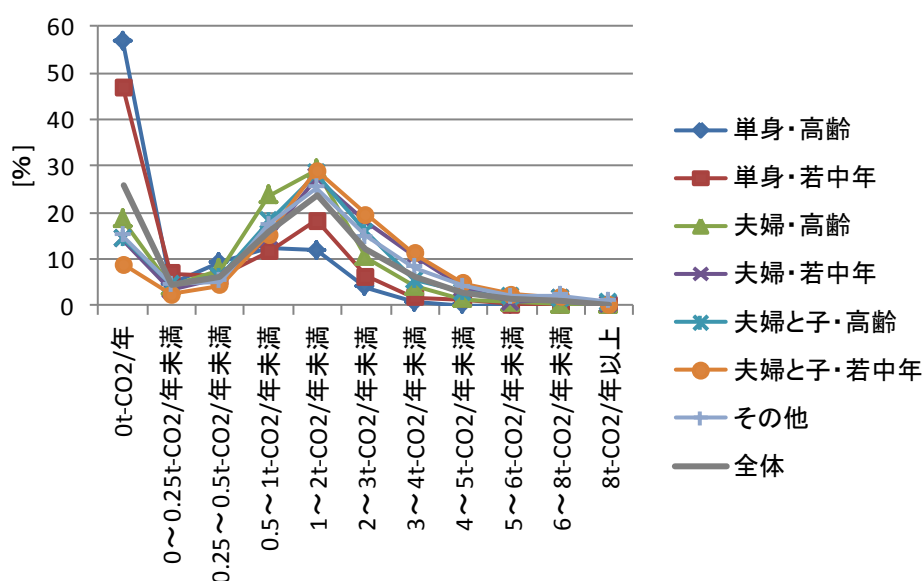


図 1-42 世帯類型別世帯当たり年間 CO₂ 排出量（自動車用燃料の合計）の世帯分布

3 エネルギー消費量

(1) 建て方別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比

世帯当たりの年間エネルギー消費量は 33.5GJ であり、電気が約 5 割を占める。戸建住宅の世帯の消費量は集合住宅の世帯の約 1.7 倍である。

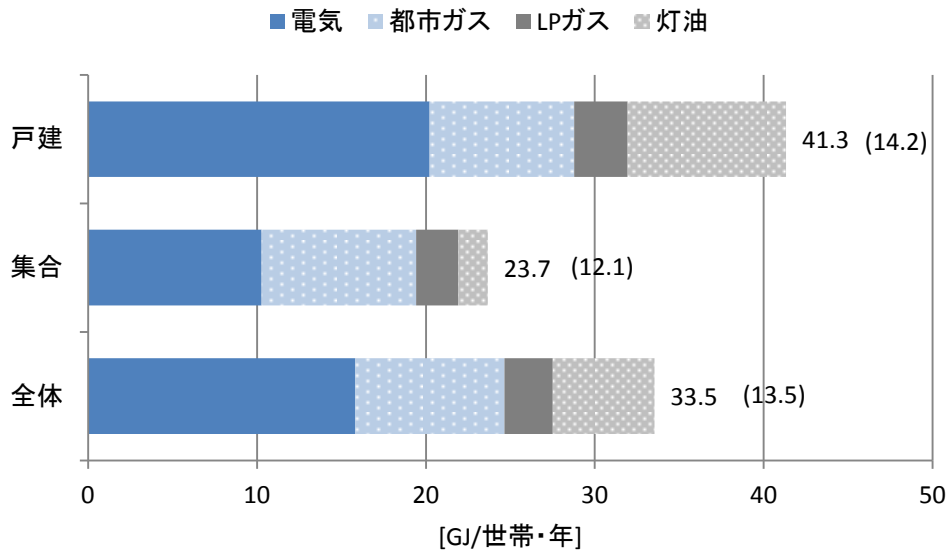


図 1-43 建て方別世帯当たり年間エネルギー種別消費量

(注1) 括弧内の数値は1人当たりのエネルギー消費量を表す。

(注2) 1人当たりのエネルギー消費量は、平均の消費量を平均世帯人数で除して算出している。

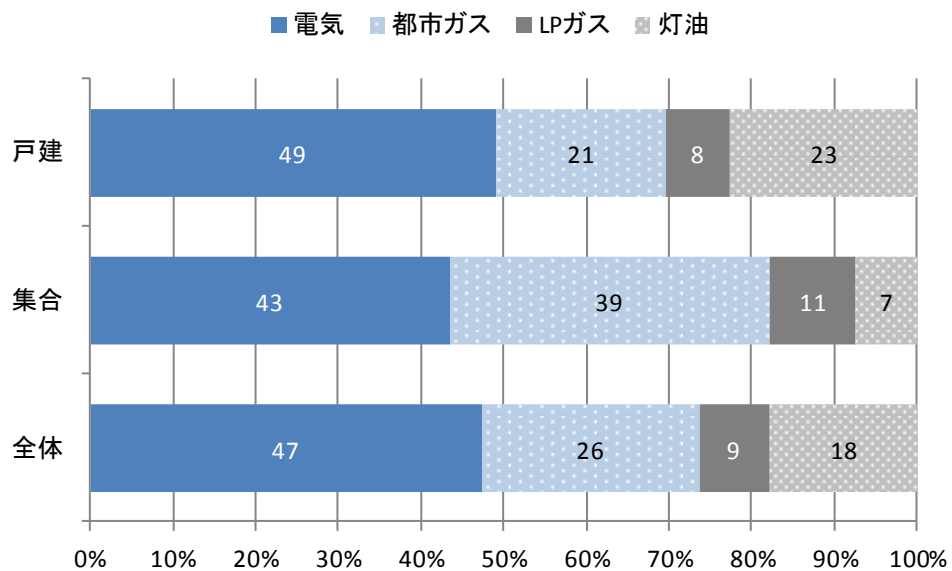


図 1-44 建て方別世帯当たり年間エネルギー種別消費構成比

(2) 建て方別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比

建て方別に用途別エネルギー消費量を比較すると戸建住宅の世帯では集合住宅の世帯に対し、暖房が約3倍となっている。

構成比をみると、戸建住宅の世帯で照明・家電製品等、給湯、暖房が約3割ずつを占めるのに対して、集合住宅の世帯では暖房が低く、給湯の割合が高い。

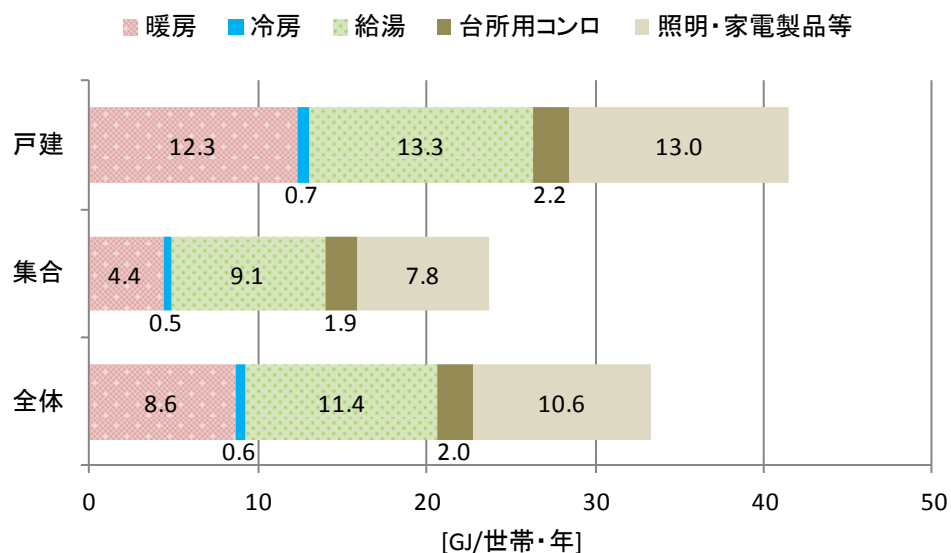


図 1-45 建て方別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量

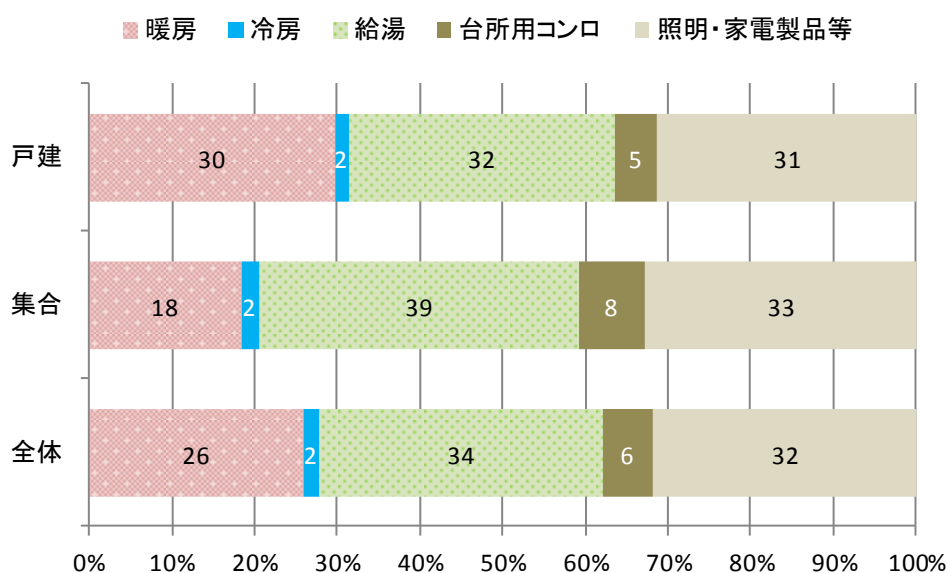


図 1-46 建て方別世帯当たり年間用途別エネルギー消費構成比

(3) 世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比

世帯類型別にエネルギー消費量を比較すると、単身世帯では夫婦と子の世帯の約4割の水準である。

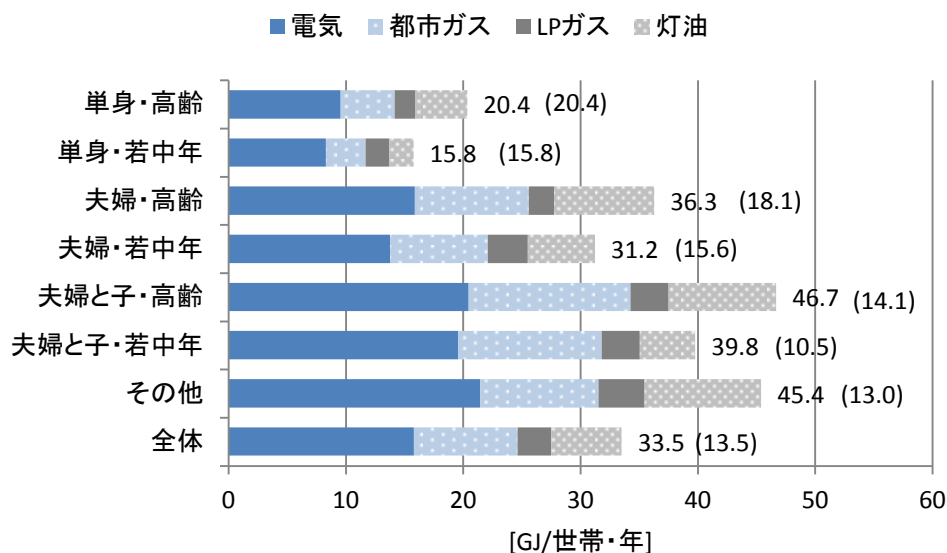


図 1-47 世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別消費量

(注1) 括弧内の数値は1人当たりのエネルギー消費量を表す。

(注2) 1人当たりのエネルギー消費量は、平均の消費量を平均世帯人数で除して算出している。

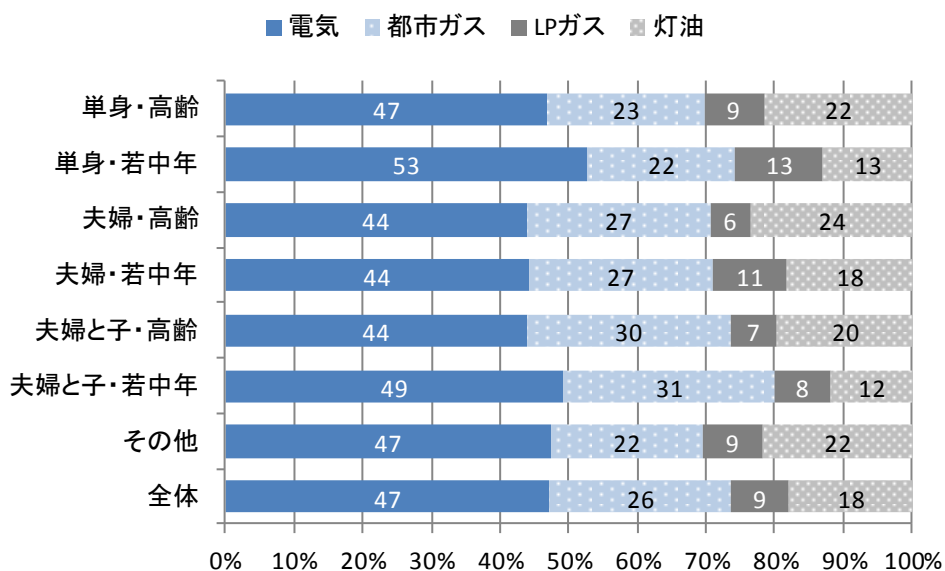


図 1-48 世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別消費構成比

(4) 世帯類型別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比

世帯類型別に用途別エネルギー消費量を比較すると、単身世帯では給湯の割合が低く、照明・家電製品等の割合が高い。

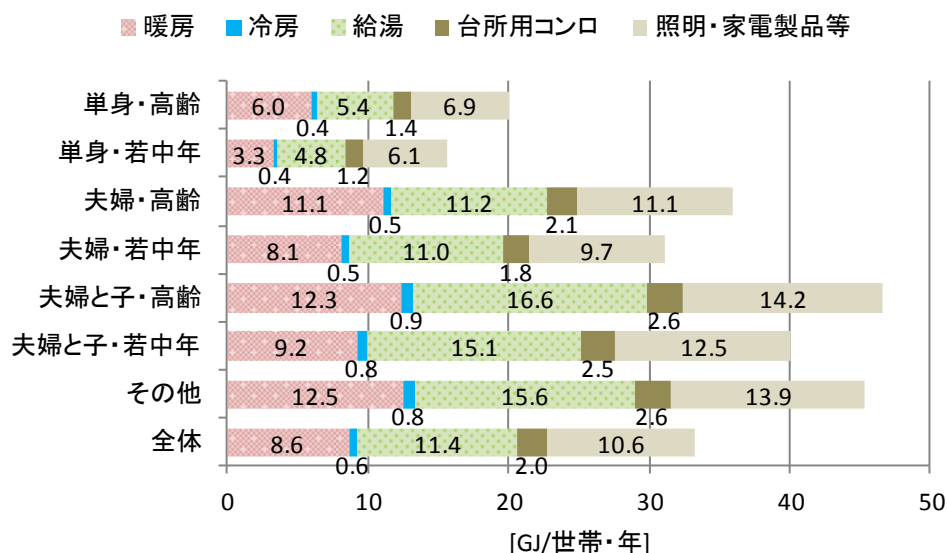


図 1-49 世帯類型別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量

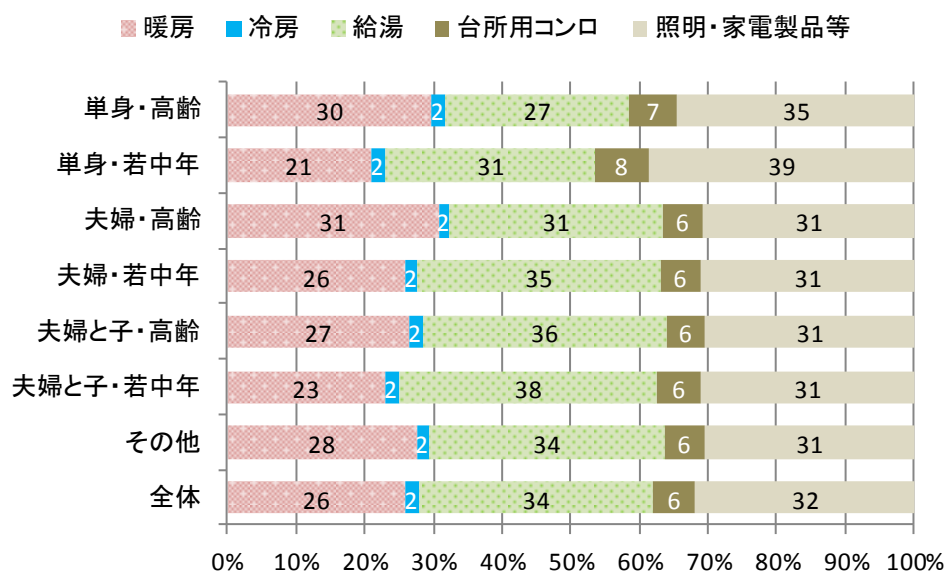


図 1-50 世帯類型別世帯当たり年間用途別エネルギー消費構成比

(5) 世帯主年齢別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比

世帯主年齢別にエネルギー消費量を比較すると、60歳以上を除き、年齢が高いほど消費量が多い。

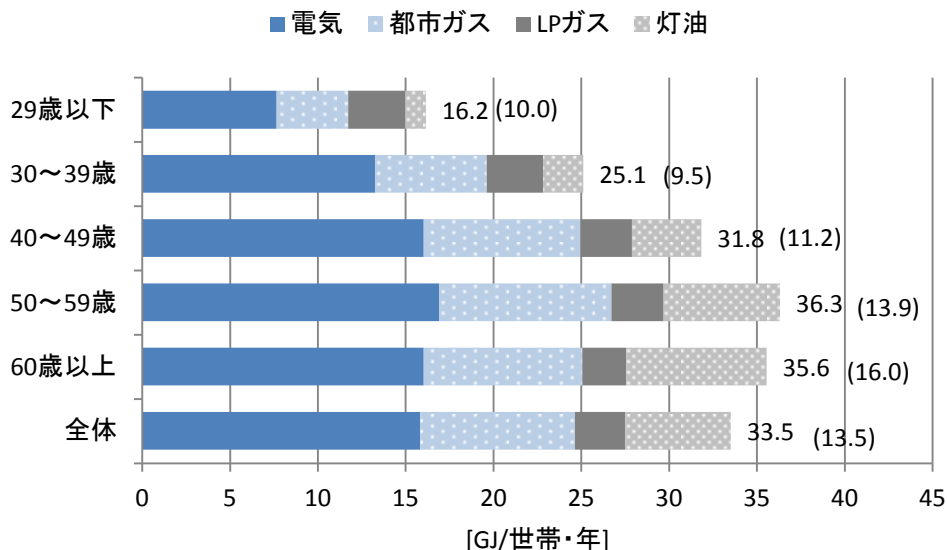


図 1-51 世帯主年齢別世帯当たり年間エネルギー種別消費量

(注1) 括弧内の数値は1人当たりのエネルギー消費量を表す。

(注2) 1人当たりのエネルギー消費量は、平均の消費量を平均世帯人数で除して算出している。

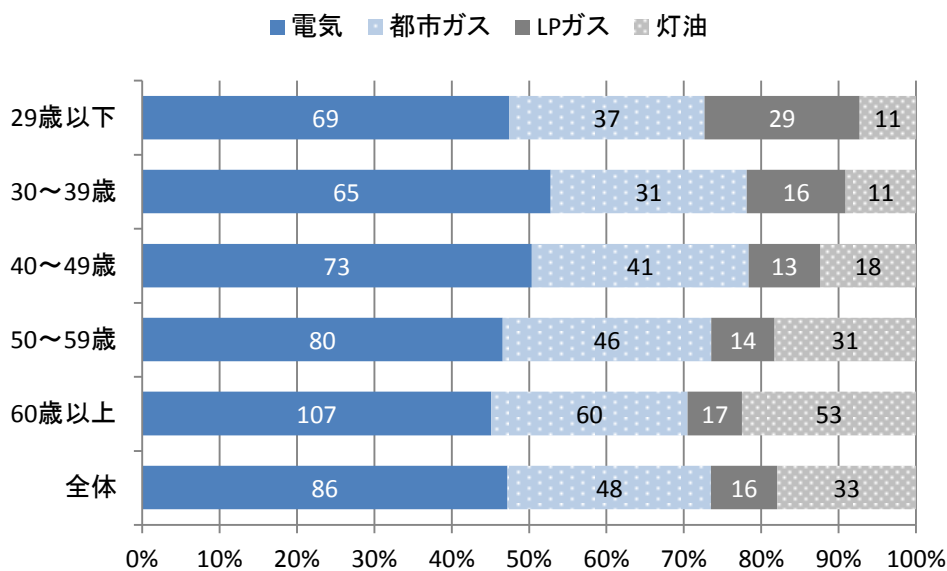


図 1-52 世帯主年齢別世帯当たり年間エネルギー種別消費構成比

(6) 世帯主年齢別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比

世帯主年齢別に用途別エネルギー消費量を比較すると、50～59歳の消費量は、29歳以下に比べ、給湯及び照明・家電製品等では約2倍、暖房では約4倍である。

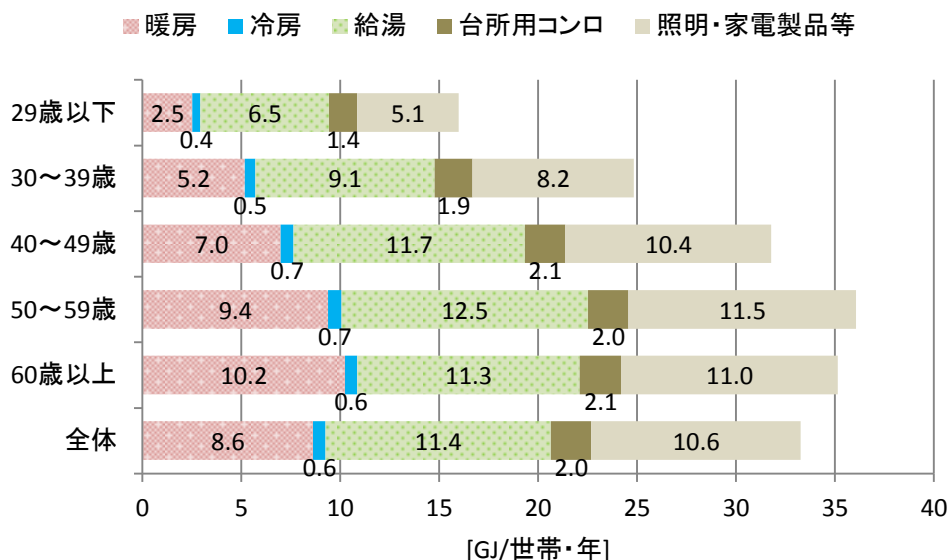


図 1-53 世帯主年齢別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量

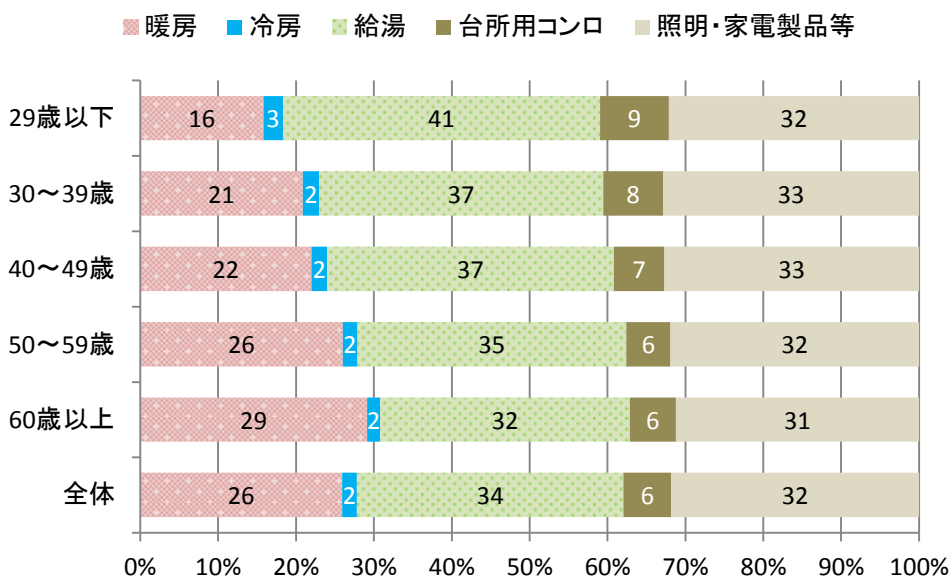


図 1-54 世帯主年齢別世帯当たり年間用途別エネルギー消費構成比

(7) 世帯人数別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比

世帯人数別にエネルギー消費量を比較すると、世帯人数の増加に伴い消費量が増加している。

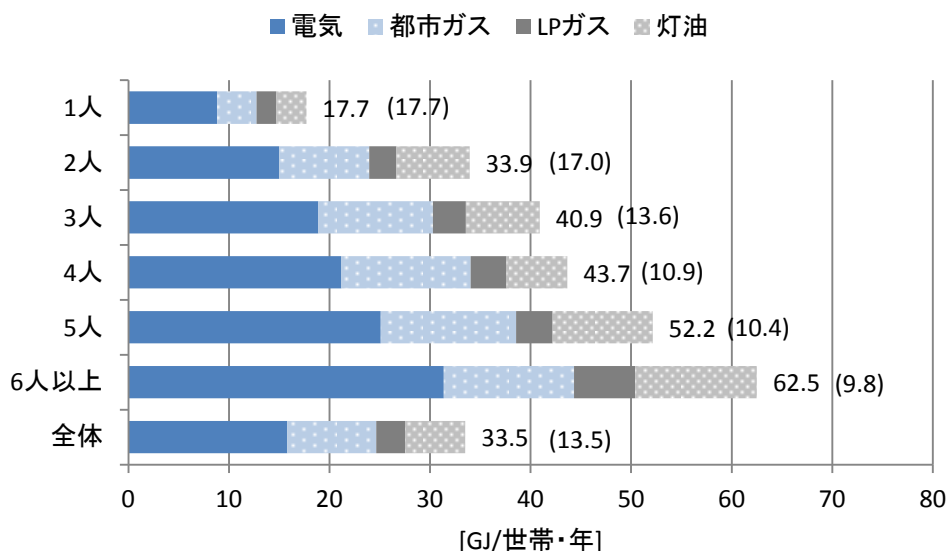


図 1-55 世帯人数別世帯当たり年間エネルギー種別消費量

(注1) 括弧内の数値は1人当たりのエネルギー消費量を表す。

(注2) 1人当たりのエネルギー消費量は、平均の消費量を平均世帯人数で除して算出している。

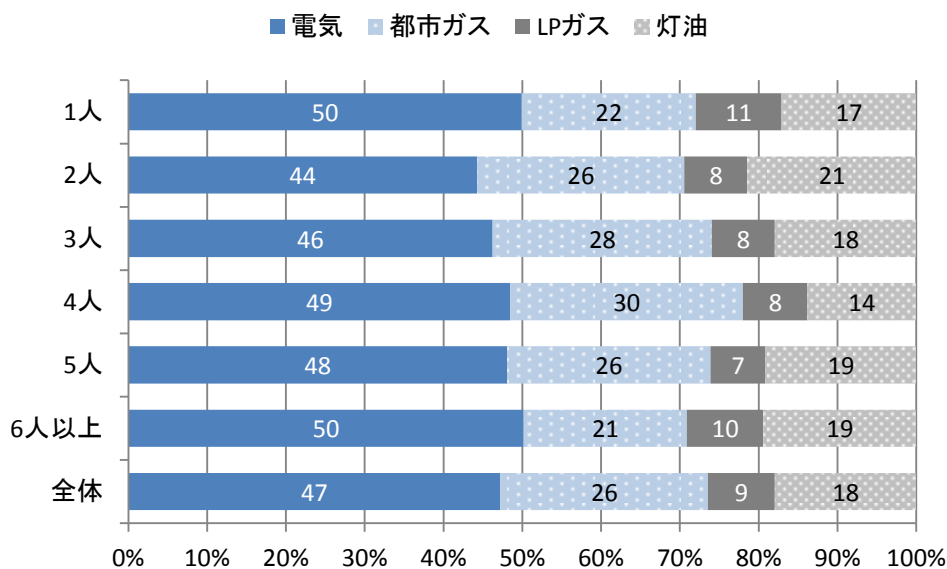


図 1-56 世帯人数別世帯当たり年間エネルギー種別消費構成比

(8) 世帯人数別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比

世帯人数別に用途別エネルギー消費量を比較すると、世帯人数の増加に伴い全ての用途の消費量が増加傾向にある。

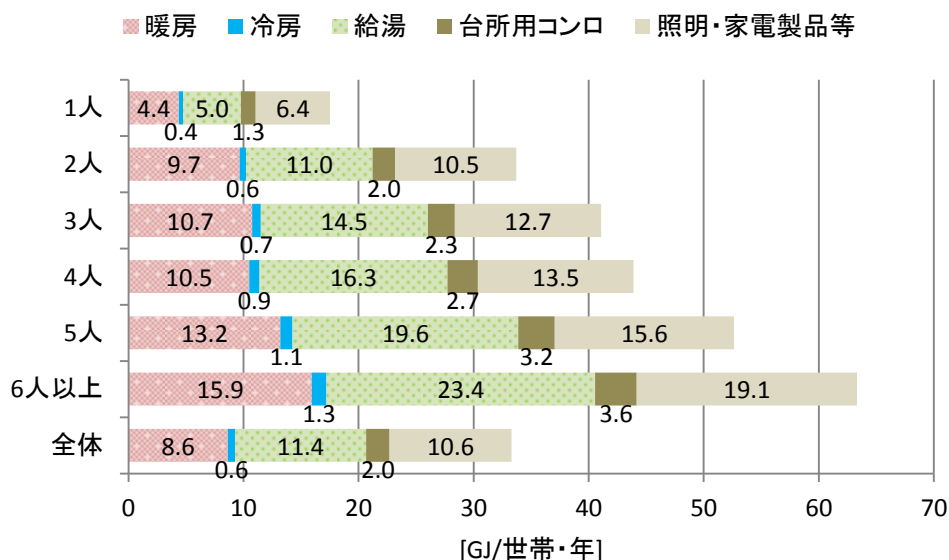


図 1-57 世帯人数別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量

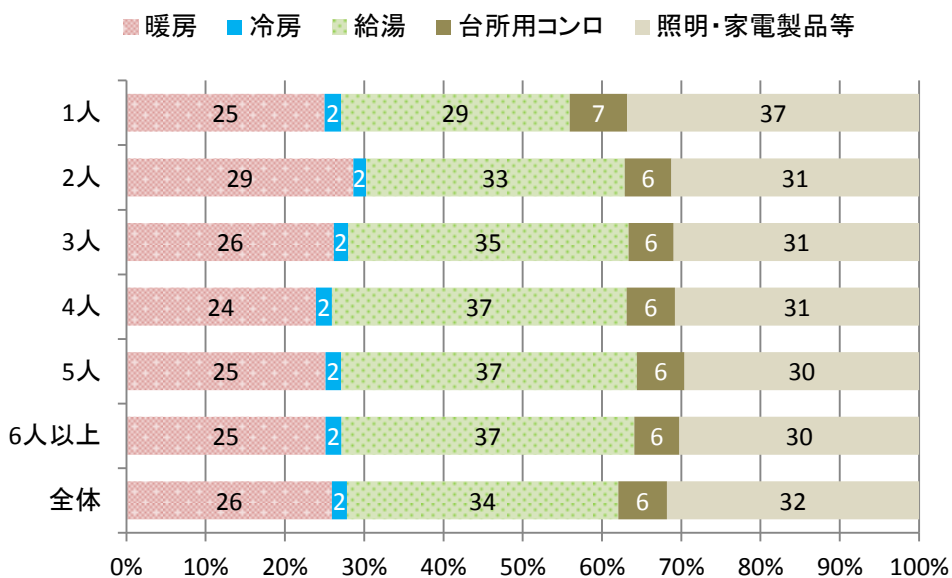


図 1-58 世帯人数別世帯当たり年間用途別エネルギー消費構成比

(9) 年間世帯収入別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比

年間世帯収入別にエネルギー消費量を比較すると、年間世帯収入の増加に伴い消費量が増加している。

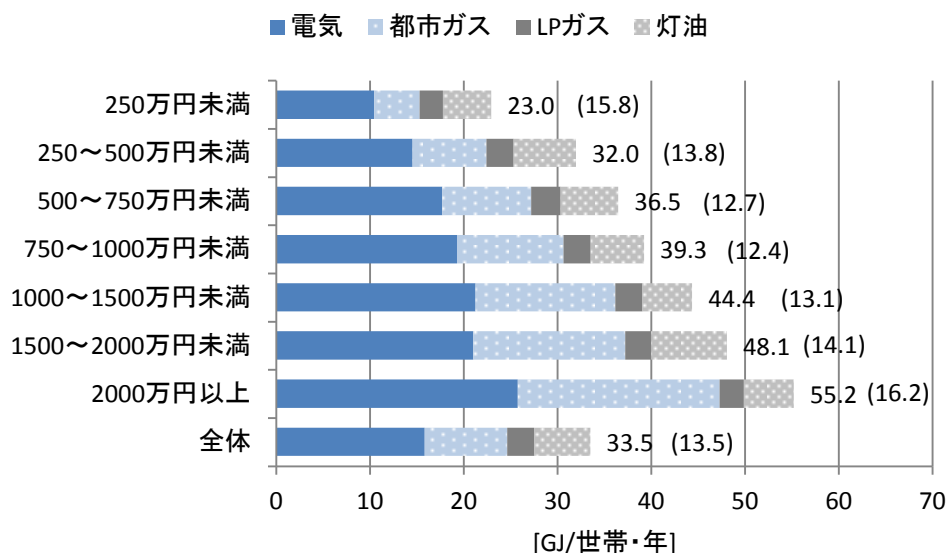


図 1-59 年間世帯収入別世帯当たり年間エネルギー種別消費量

(注1) 括弧内の数値は1人当たりのエネルギー消費量を表す。

(注2) 1人当たりのエネルギー消費量は、平均の消費量を平均世帯人数で除して算出している。

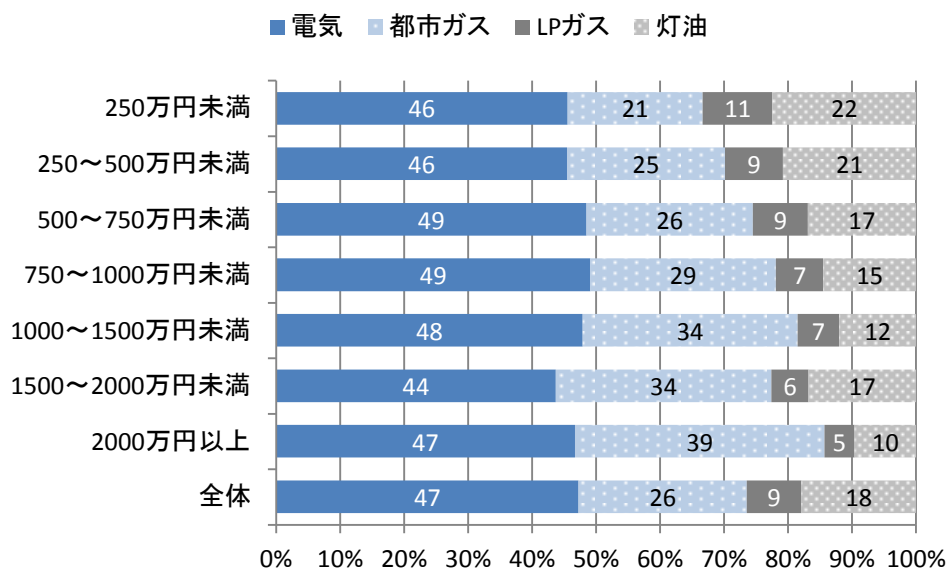


図 1-60 年間世帯収入別世帯当たり年間エネルギー種別消費構成比

(10) 年間世帯収入別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比

年間世帯収入別に用途別エネルギー消費量を比較すると、全ての用途の消費量が増加している。

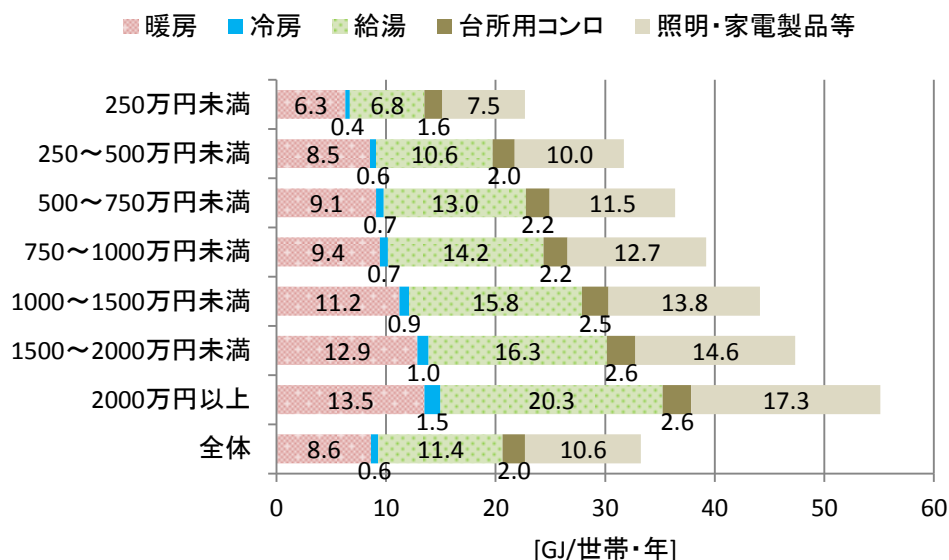


図 1-61 年間世帯収入別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量

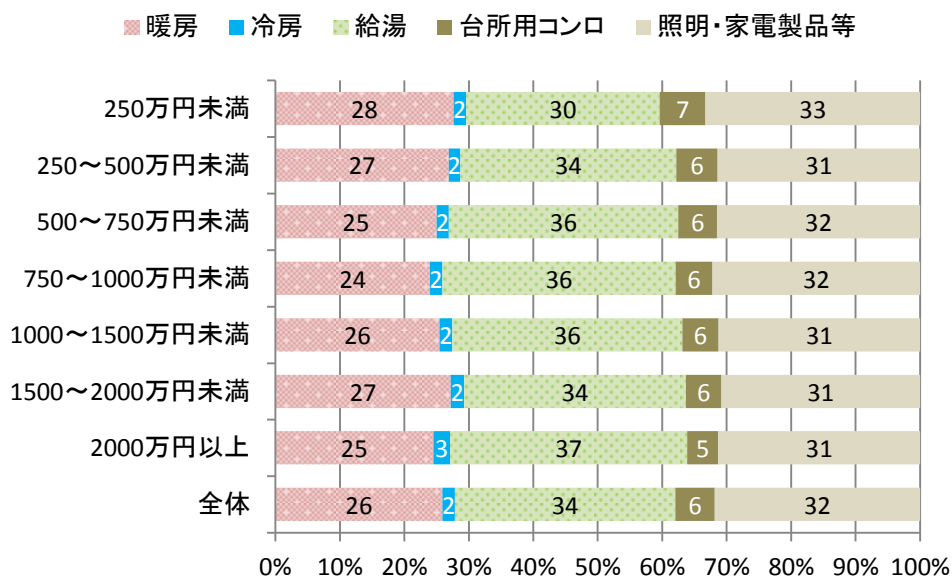


図 1-62 年間世帯収入別世帯当たり年間用途別エネルギー消費構成比

4 エネルギー消費量（固有単位）

（1） 建て方別世帯当たり年間電気消費量（固有単位）

世帯当たりの電気の年間消費量を固有単位(kWh)に換算すると 4,397kWh である。

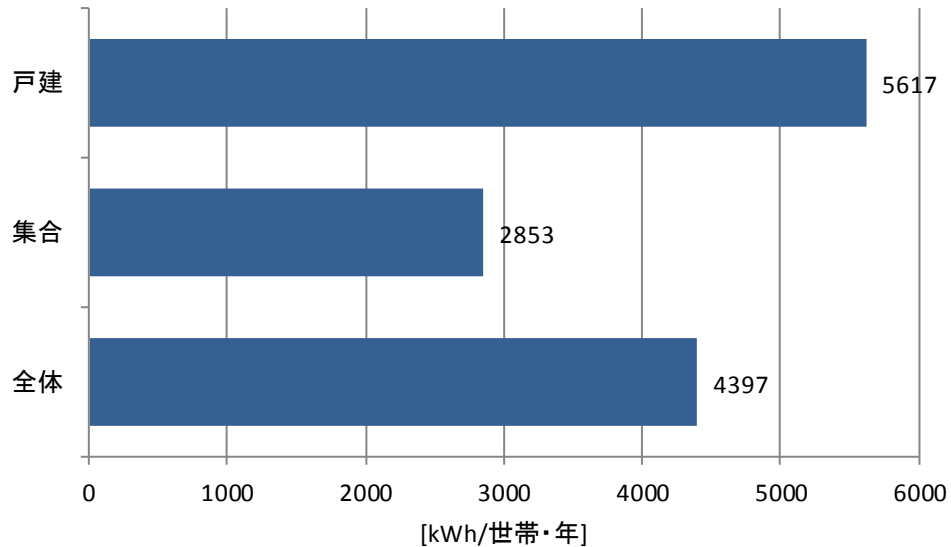


図 1-63 建て方別世帯当たり年間電気消費量（固有単位）

（2） 建て方別世帯当たり年間都市ガス消費量（固有単位）

世帯当たりの都市ガスの年間消費量を固有単位 (m³) に換算すると 220m³ である。
なお、この値は都市ガスを使用していない世帯を含む。

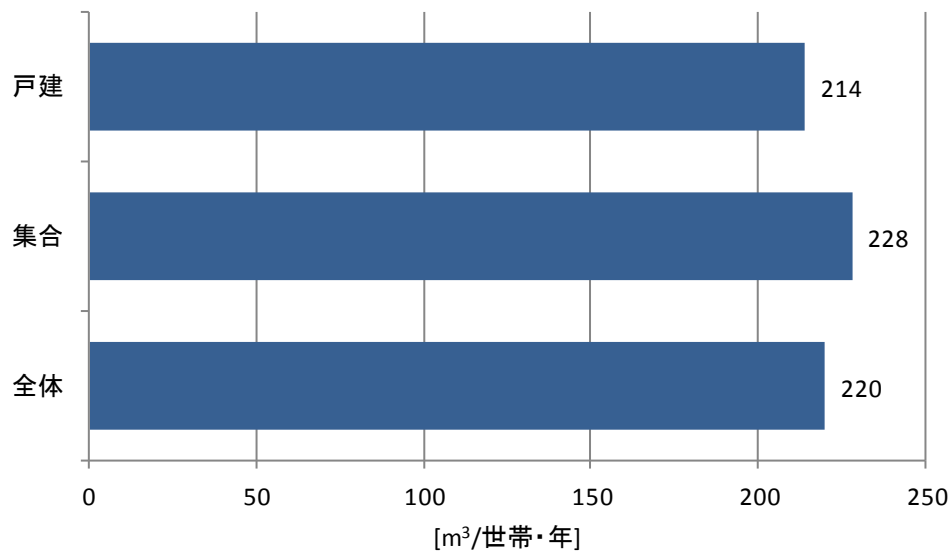


図 1-64 建て方別世帯当たり年間都市ガス消費量（固有単位）

(注1) 都市ガスを使用していない世帯を含む平均値。

(注2) 1 m³=40.11MJ（総合エネルギー統計，2013 標準発熱量）で換算。

(3) 建て方別世帯当たり年間LPガス消費量(固有単位)

世帯当たりのLPガスの年間消費量を固有単位(m³)に換算すると29m³である。なお、この値はLPガスを使用していない世帯を含む。

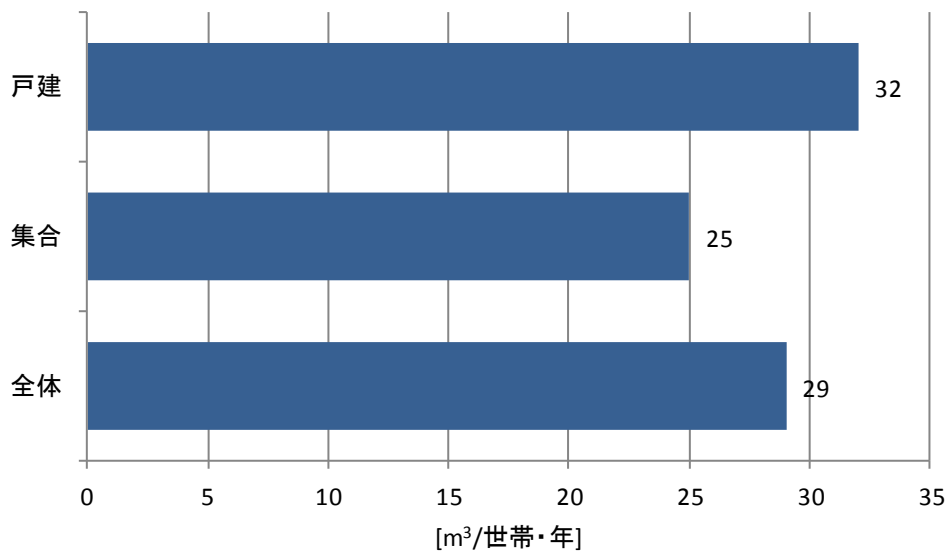


図 1-65 建て方別世帯当たり年間LPガス消費量(固有単位)

(注)LPガスを使用していない世帯を含む平均値。

(4) 建て方別世帯当たり年間灯油消費量(固有単位)

世帯当たりの灯油の年間消費量を固有単位(L)に換算すると165Lである。なお、この値は灯油を使用していない世帯を含む。

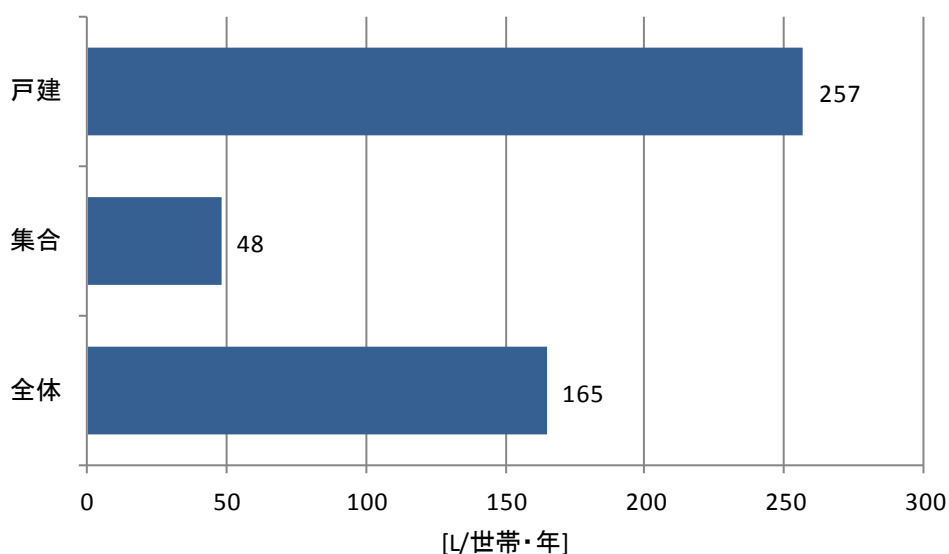


図 1-66 建て方別世帯当たり年間灯油消費量(固有単位)

(注)灯油を使用していない世帯を含む平均値。

(5) 世帯類型別世帯当たり年間自動車用燃料消費量（固有単位）

世帯当たりの自動車用燃料の年間消費量を固有単位（L）に換算するとガソリンは554L、軽油は14Lである。なお、この値は各燃料を使用していない世帯を含む。

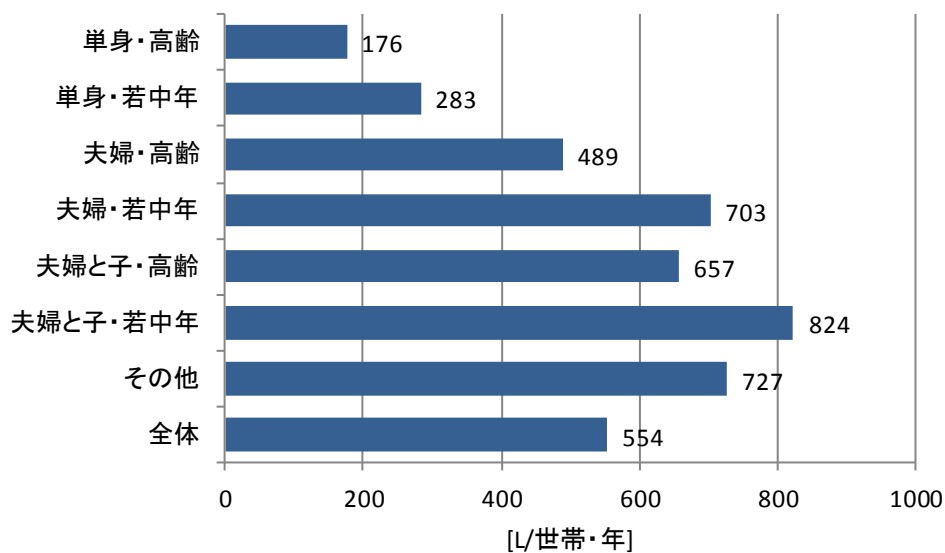


図 1-67 世帯類型別世帯当たり年間ガソリン消費量（固有単位）

(注)ガソリンを使用していない世帯を含む平均値。

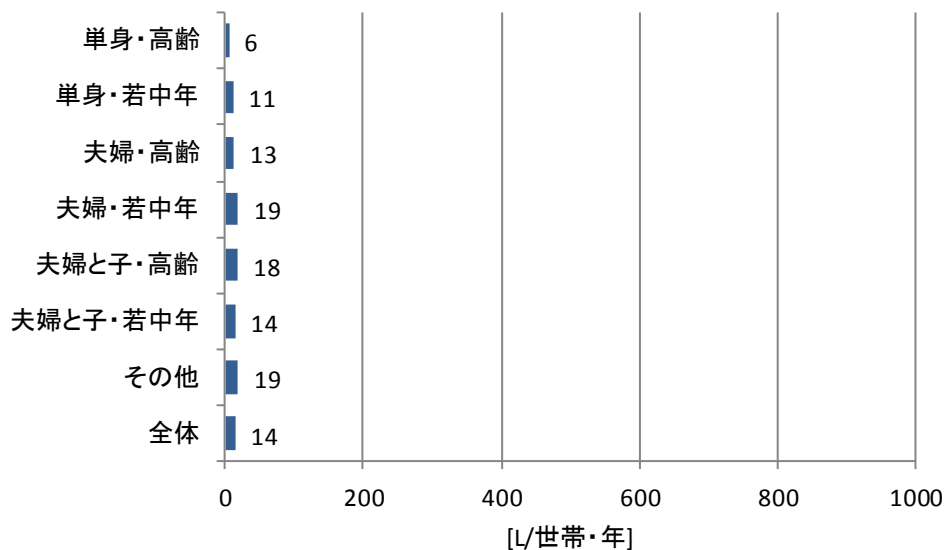


図 1-68 世帯類型別世帯当たり年間軽油消費量（固有単位）

(注)軽油を使用していない世帯を含む平均値。

5 支払金額

(1) 建て方別世帯当たり年間エネルギー種別支払金額

世帯当たりの電気・ガス・灯油の年間合計支払金額は18.8万円である。

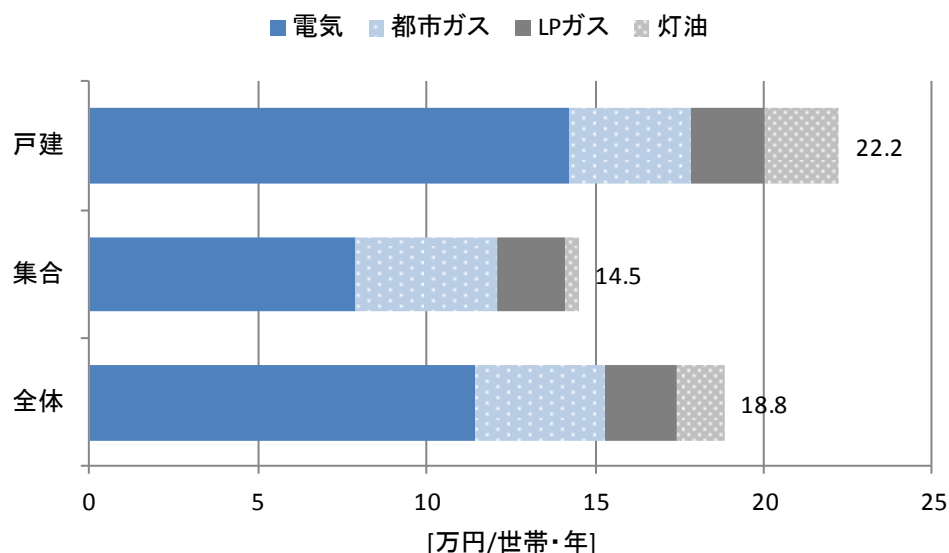


図 1-69 建て方別世帯当たり年間エネルギー種別支払金額

(2) 世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別支払金額

単身世帯の電気・ガス・灯油の年間合計支払金額は夫婦と子の世帯の約5割の水準である。

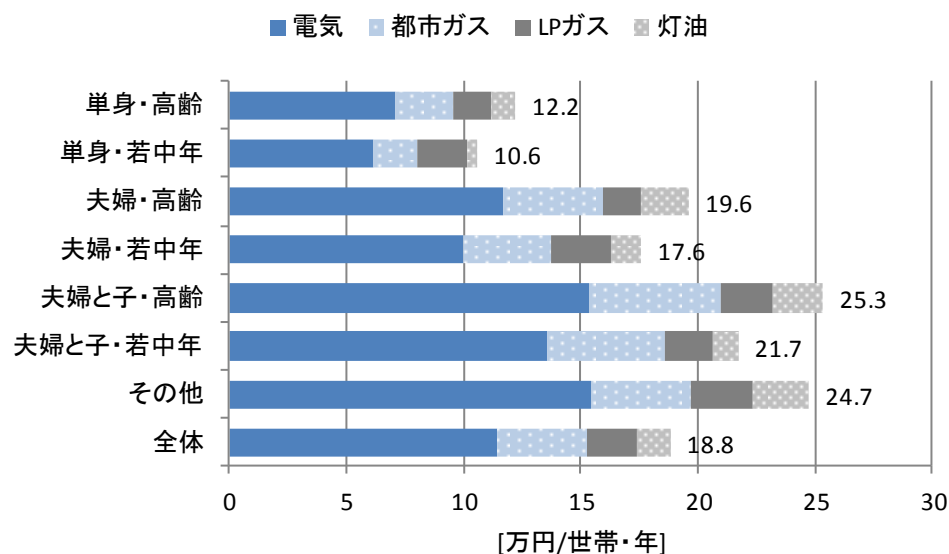


図 1-70 世帯類型別世帯当たり年間エネルギー種別支払金額

(3) 建て方別世帯当たり年間自動車用燃料種別支払金額

世帯当たりの自動車用燃料の年間合計支払金額は7.8万円である。

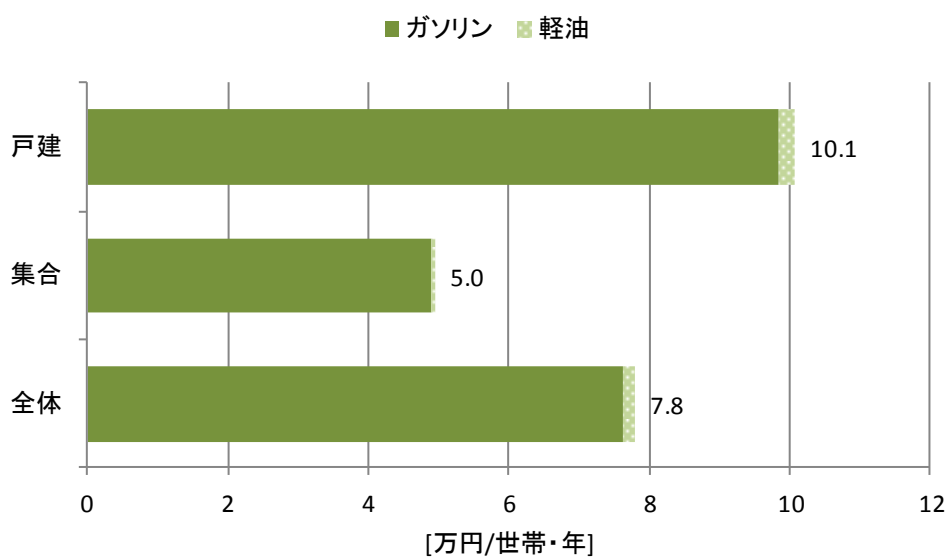


図 1-71 建て方別世帯当たり年間自動車用燃料種別支払金額

(4) 世帯類型別世帯当たり年間自動車用燃料種別支払金額

世帯類型別に自動車用燃料の合計支払金額を比較すると、単身世帯、夫婦世帯では高齢世帯が若中年世帯の6～7割の水準である。

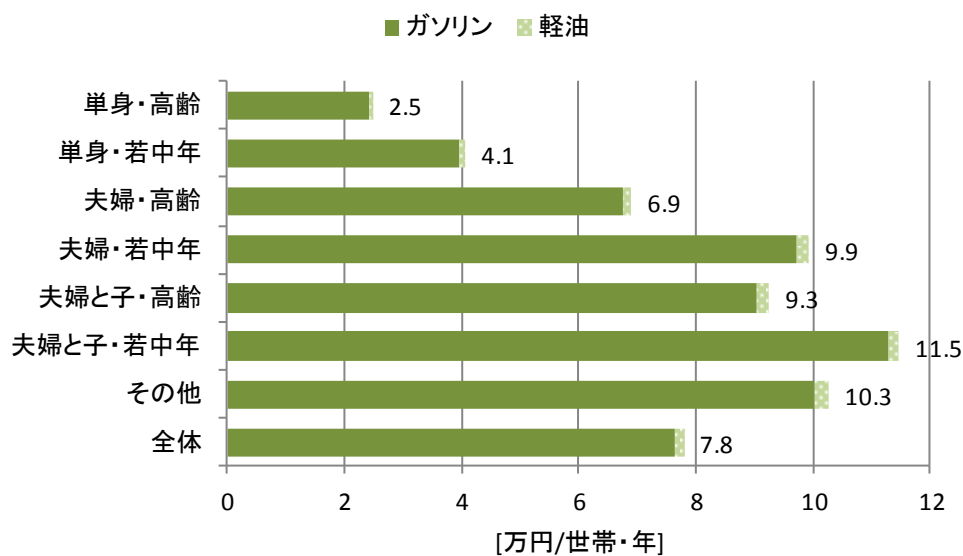


図 1-72 世帯類型別世帯当たり年間自動車用燃料種別支払金額

6 設備・機器の使用状況

(1) 建て方別最もよく使う暖房機器

最もよく使う暖房機器（世帯で1機器）の割合は、エアコン（電気）と灯油ストーブ類が各3割、電気カーペット・こたつが約2割である。

戸建住宅の世帯では灯油ストーブ類の割合が比較的高く、集合住宅の世帯ではエアコン（電気）の割合が比較的高い。

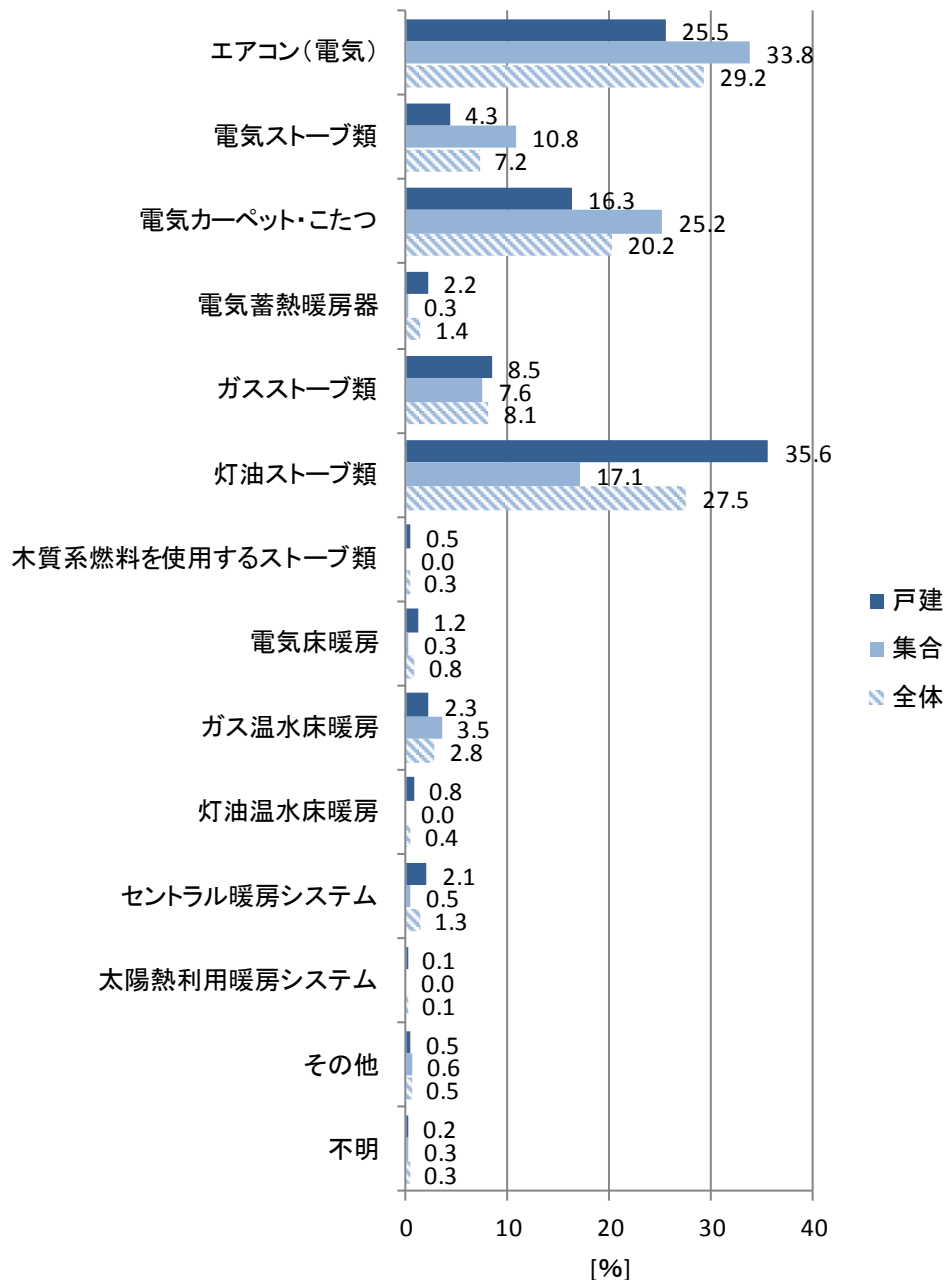


図 1-73 建て方別最もよく使う暖房機器

(2) 建て方別給湯器・給湯システム

給湯器・給湯システムの種類（世帯で複数機器の場合あり）は、建て方別の差が大きい。

戸建住宅の世帯ではガス給湯器・風呂がまの使用率が約5割で最も多く使用されている。電気ヒートポンプ式給湯機が約2割、電気温水器が約1割と、電気給湯器を使用している世帯の3世帯に1世帯が電気温水器を使用している。集合住宅の世帯ではガス給湯器・風呂釜が約9割である。

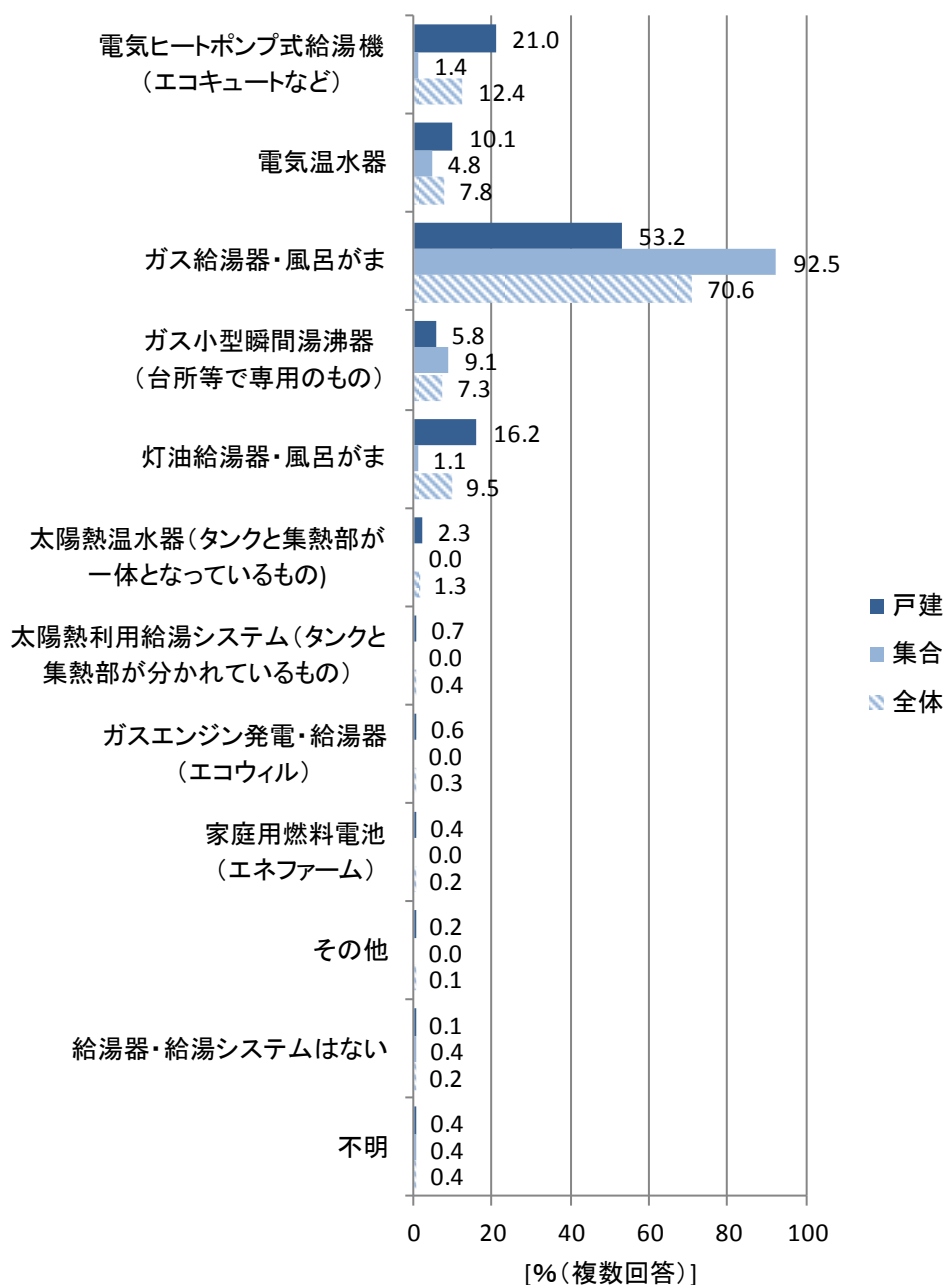


図 1-74 建て方別給湯器・給湯システム

(3) 建築時期別給湯器・給湯システム

新しい住宅に住む世帯ほど電気ヒートポンプ式給湯機の使用率が高く、ガス、灯油機器の使用率が低い傾向がみられる。電気温水器は建築時期によらず、5～10%程度普及している。古い住宅に住む世帯では太陽熱温水器を数%使用している世帯がみられるが、新しい住宅に住む世帯はほぼ使用していない。

表 1-1 建築時期別給湯器・給湯システム

[% (複数回答)]

	電気ヒートポンプ式給湯機 (エコキュートなど)	電気温水器	ガス給湯器・風呂がま	ガス小型瞬間湯沸器 (台所等で専用のもの)	灯油給湯器・風呂がま	太陽熱温水器(タンクと集熱部が一体となっているもの)	太陽熱利用給湯システム(タンクと集熱部が分かれているもの)
1970年以前	6	8	66	21	20	3	1
1971～1980年	7	11	71	18	14	2	1
1981～1985年	8	7	74	11	13	2	0
1986～1990年	8	6	75	4	11	2	0
1991～1995年	10	6	72	4	12	2	1
1996～2000年	11	7	73	2	10	1	1
2001～2005年	13	11	69	2	7	0	0
2006～2010年	30	10	56	1	3	0	0
2011年以降	35	6	57	1	1	0	0
全体	12	8	71	7	10	1	0

(4) 住宅の所有関係別給湯器・給湯システム

民営の賃貸住宅、公営、公社または都市再生機構（UR）の賃貸住宅、給与住宅ではガス給湯器・風呂がまを使用している世帯が約9割で、電気ヒートポンプ式給湯機はほとんど普及していない。

持ち家では、電気ヒートポンプ式給湯機を使用している世帯が18%を占める。

表 1-2 住宅の所有関係別給湯器・給湯システム

[% (複数回答)]

	電気ヒートポンプ式給湯機 (エコキュートなど)	電気温水器	ガス給湯器・風呂がま	ガス小型瞬間湯沸器 (台所等で専用のもの)	灯油給湯器・風呂がま	太陽熱温水器(タンクと集熱部が一体となっているもの)	太陽熱利用給湯システム(タンクと集熱部が分かれているもの)
持ち家	18	9	61	6	13	2	1
民営の賃貸住宅	1	4	91	8	2	0	0
公営、公社または都市再生機構(UR)の賃貸住宅	0	4	96	24	1	0	0
給与住宅(社宅、公務員住宅など)	1	6	88	14	3	0	0
全体	12	8	71	7	10	1	0

(5) 世帯人数別給湯器・給湯システム

世帯人数が多いほど電気ヒートポンプ式給湯機を使用している世帯が多い。電気温水器は世帯人数によらず1割程度みられる。

表 1-3 世帯人数別給湯器・給湯システム

[% (複数回答)]

	電気ヒートポンプ式給湯機 (エコキュートなど)	電気温水器	ガス給湯器・風呂がま	ガス小型瞬間湯沸器 (台所等で専用のもの)	灯油給湯器・風呂がま	太陽熱温水器(タンクと集熱部が一体となっているもの)	太陽熱利用給湯システム(タンクと集熱部が分かれているもの)
1人	4	7	83	9	6	1	0
2人	10	8	69	8	13	2	1
3人	16	8	66	6	10	2	1
4人	22	8	62	5	8	1	1
5人	23	9	56	5	13	1	1
6人以上	27	9	51	5	14	4	1
全体	12	8	71	7	10	1	0

(6) 年間世帯収入別給湯器・給湯システム

年間世帯収入が250万円未満の世帯においては、電気ヒートポンプ式給湯機を使用している世帯が他の年間世帯収入区分の世帯に比べ少ない。

表 1-4 年間世帯収入別給湯器・給湯システム

[% (複数回答)]

	電気ヒートポンプ式給湯機 (エコキュートなど)	電気温水器	ガス給湯器・風呂がま	ガス小型瞬間湯沸器 (台所等で専用のもの)	灯油給湯器・風呂がま	太陽熱温水器(タンクと集熱部が一体となっているもの)	太陽熱利用給湯システム(タンクと集熱部が分かれているもの)
250万円未満	5	7	77	13	11	1	0
250～500万円未満	11	8	71	8	12	2	0
500～750万円未満	16	9	67	5	8	1	1
750～1000万円未満	19	8	66	3	8	1	1
1000～1500万円未満	17	7	70	4	6	1	1
1500～2000万円未満	12	4	74	3	10	2	0
2000万円以上	9	6	80	13	7	1	0
全体	12	8	71	7	10	1	0

(7) 建て方別エアコンの使用台数

エアコンの平均使用台数は2.2台である。戸建住宅の世帯では2.8台、集合住宅の世帯では1.5台である。

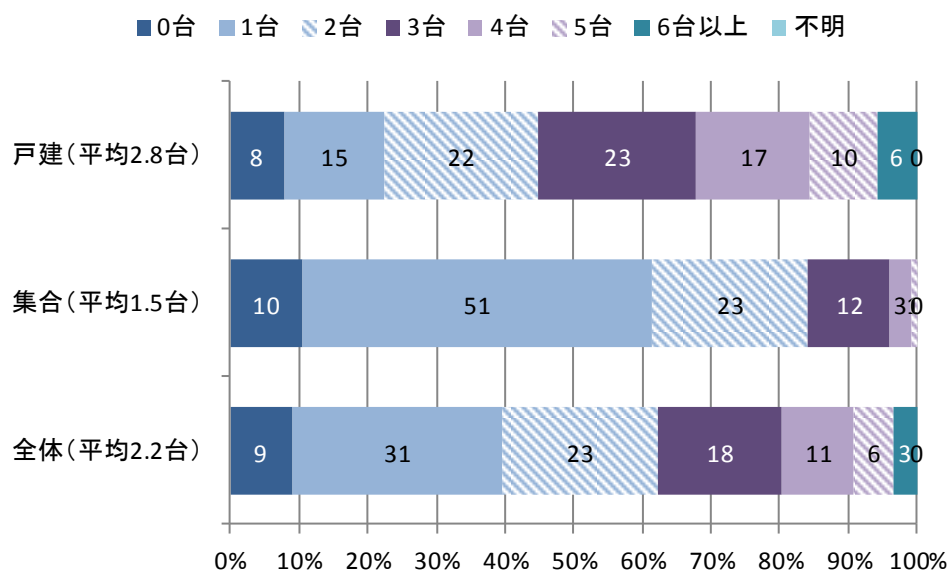


図 1-75 建て方別エアコンの使用台数

(8) 建て方別台所用コンロ

台所用コンロの種類（世帯で1機器）の使用率は、ガスコンロが約8割、IHクッキングヒーターが約2割である。

戸建住宅の世帯ではIHクッキングヒーターの割合が比較的高い。

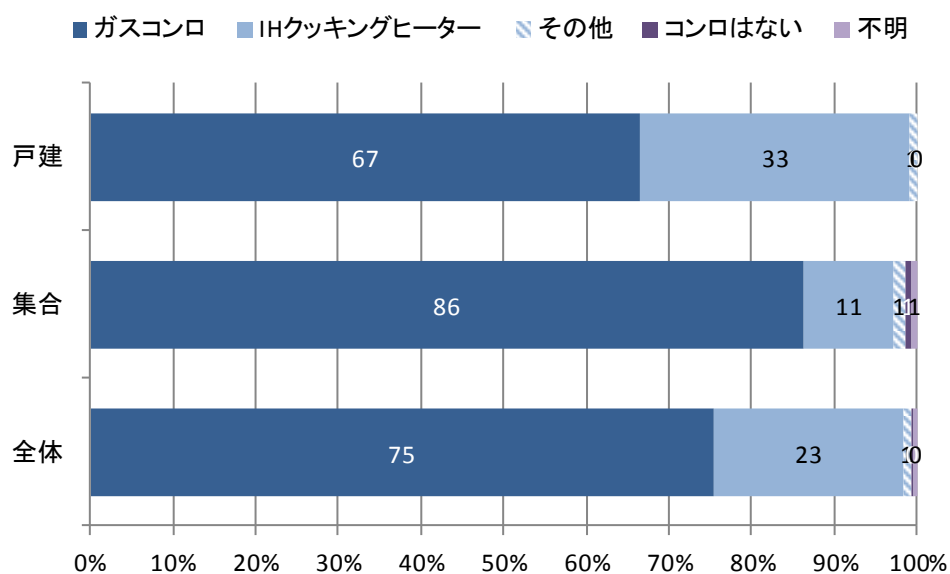


図 1-76 建て方別台所用コンロ

(9) LED 照明の使用状況

いずれかの場所（※）で LED 照明を使用している世帯は 48%であり、使用していない世帯が 42%である

居間で LED 照明を使用している世帯は、「居間および居間以外の場所で使用」している 27%と「居間のみで使用」している 5%を合計した 32%であり、3世帯に1世帯程度である。

また、居間以外の場所で使用している世帯は「居間および居間以外の場所で使用」している 27%と「居間以外の場所で使用」している 16%を合計した 43%である。

※「居間および居間以外の場所で使用」「居間のみで使用」「居間以外の場所で使用」の合計

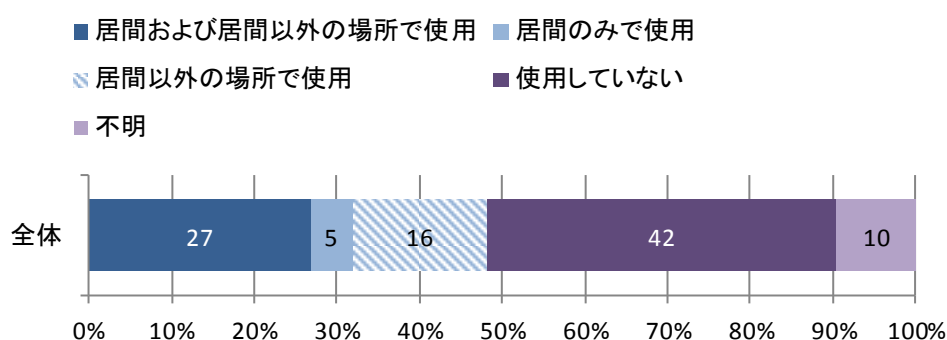


図 1-77 LED 照明の使用状況

(10) 建て方別 LED 照明の使用状況

いずれかの場所で LED 照明を使用している世帯は、戸建住宅で 54%、集合住宅で 40%と戸建住宅のほうが多い。

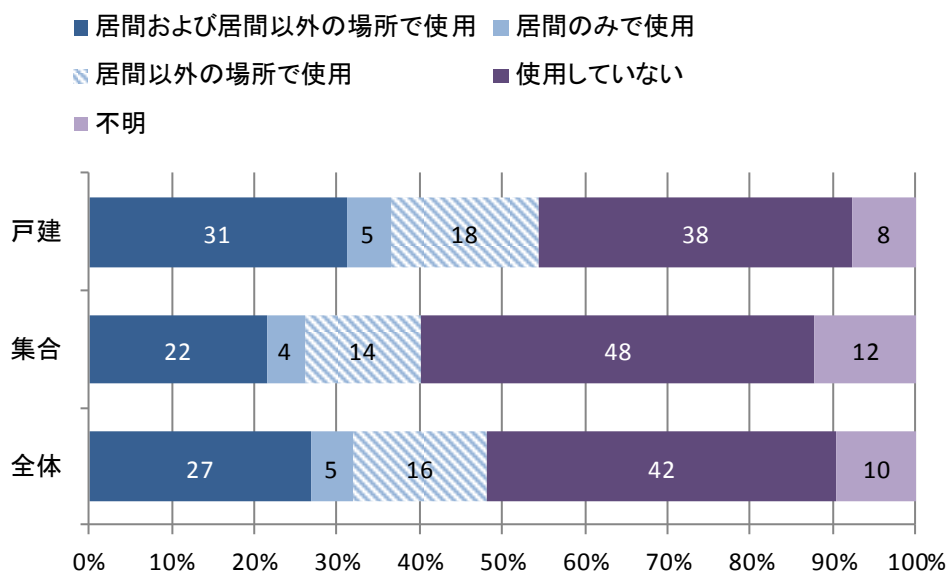


図 1-78 建て方別 LED 照明の使用状況

(1 1) 住宅の所有関係別 LED 照明の使用状況

持ち家の世帯では、いずれかの場所で LED 照明を使用している世帯が5割超と、持ち家以外の世帯に比べ高い。

持ち家以外の世帯では、LED 照明を使用している世帯は3～4割程度である。

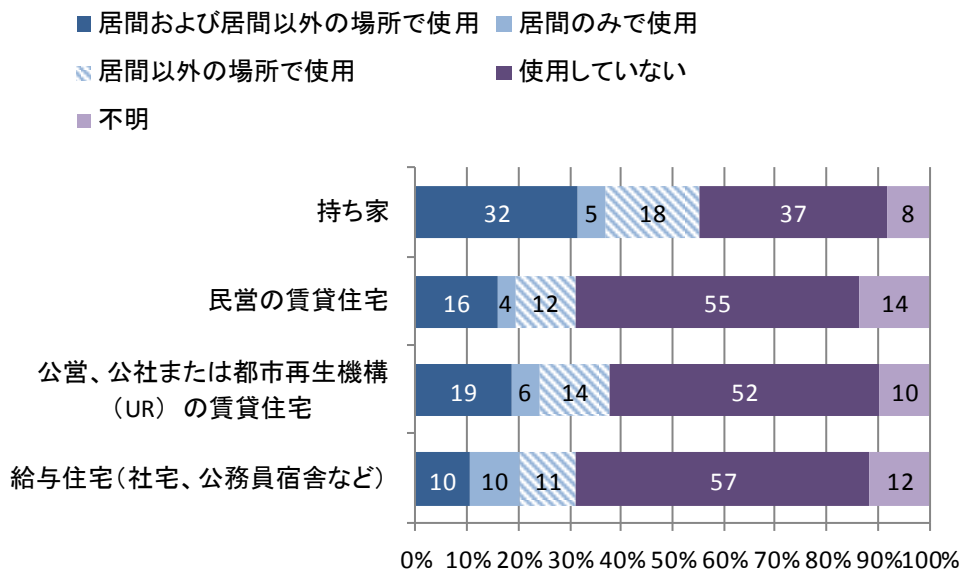


図 1-79 住宅の所有関係別 LED 照明の使用状況

(12) 建築時期別 LED 照明の使用状況

2011 年以降の住宅に住む世帯では、いずれかの場所で LED 照明を使用している世帯が 65%と、2010 年以前の住宅に住む世帯に比べ多い。2000 年以前の住宅に住む世帯においても 4～6 割がいずれかの場所で LED 照明を使用している。

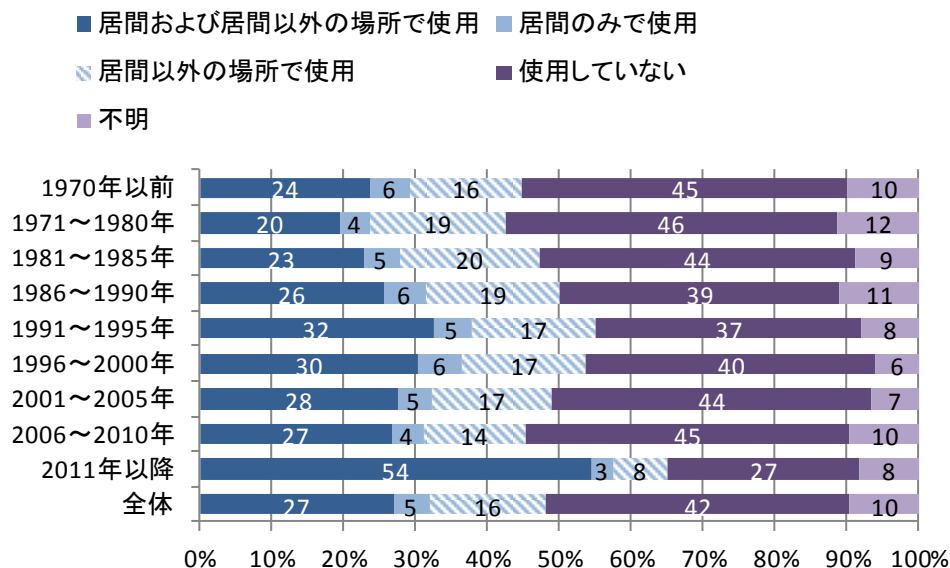


図 1-80 建築時期別 LED 照明の使用状況

(13) 延べ床面積別 LED 照明の使用状況

延べ床面積が広いほどいずれかの場所で LED 照明を使用している世帯が多く、100m²以上の使用率は同程度である。

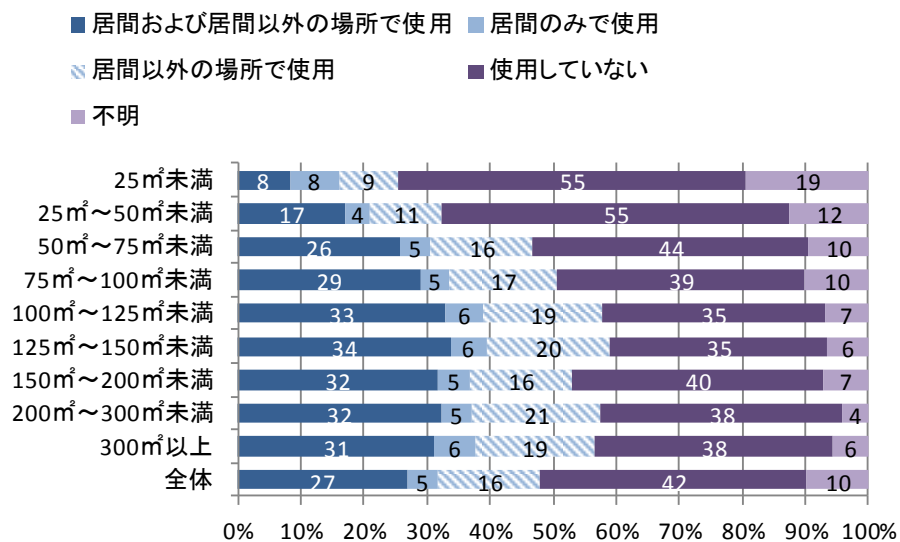


図 1-81 延べ床面積別 LED 照明の使用状況

(14) 世帯主年齢別 LED 照明の使用状況

世帯主年齢が 50～59 歳の世帯では、いずれかの場所で LED 照明を使用している世帯が 5 割超と最も多い。

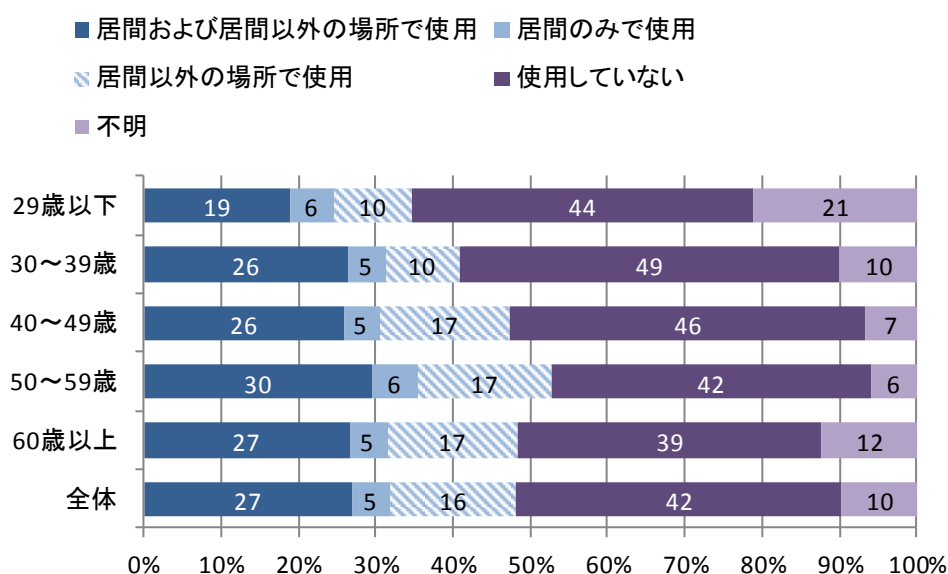


図 1-82 世帯主年齢別 LED 照明の使用状況

(15) 年間世帯収入別 LED 照明の使用状況

年間世帯収入が 1500 万円未満では、収入が高いほどいずれかの場所で LED 照明を使用している世帯が多い。

250 万円未満の世帯の 52%は LED 照明を使用していない。

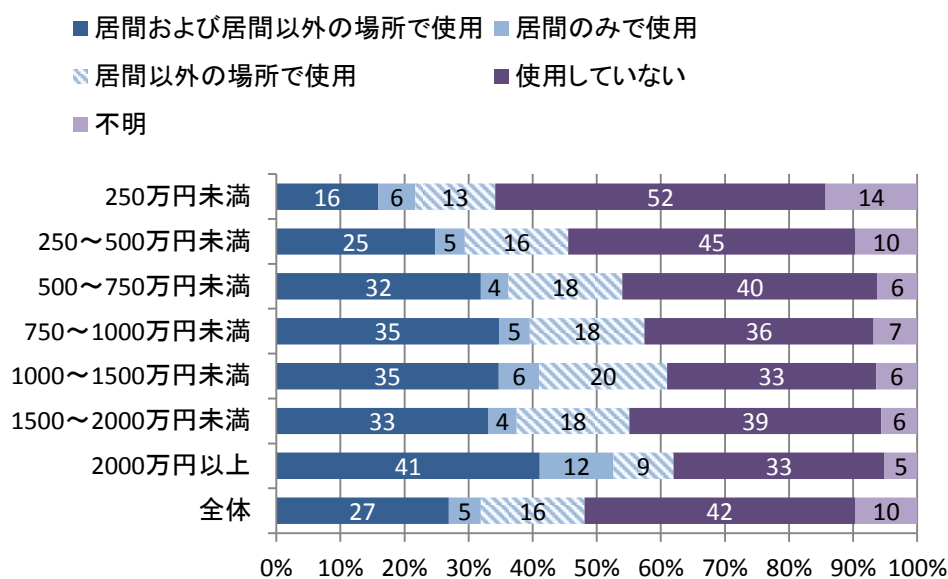


図 1-83 年間世帯収入別 LED 照明の使用状況

(16) 冷蔵庫の製造時期（1台目）別世帯当たり年間照明・家電製品等用 CO₂ 排出量

冷蔵庫の製造時期（1台目※）別に世帯当たりの年間の照明・家電製品等の CO₂ 排出量を比較すると、1990年以前を除き、1台目の冷蔵庫の製造時期が新しい世帯ほど排出量は少ない傾向がみられる。

※複数台使用している世帯の場合は、最も内容積の大きい冷蔵庫をいう。

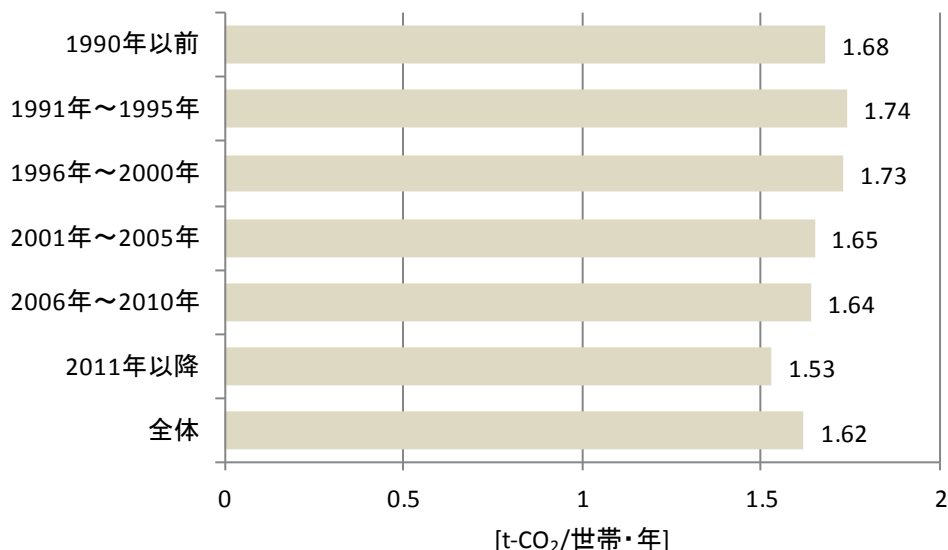


図 1-84 冷蔵庫の製造時期（1台目）別世帯当たり年間照明・家電製品等用 CO₂ 排出量（全国）

(17) 冷蔵庫の製造時期

1台目の冷蔵庫の製造時期は2006～2010年が30%と最も高く、次いで2011年以降が27%と高い。2000年以前の冷蔵庫は17%である。

2台目の冷蔵庫の製造時期は2006年以降が48%を占め、2000年以前は19%である。

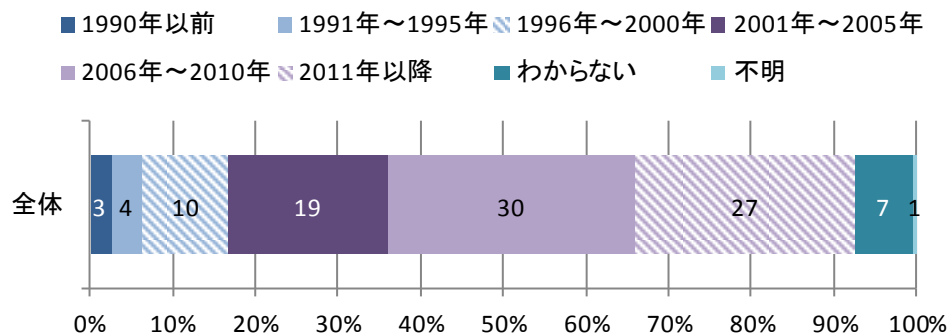


図 1-85 冷蔵庫の製造時期（1台目）

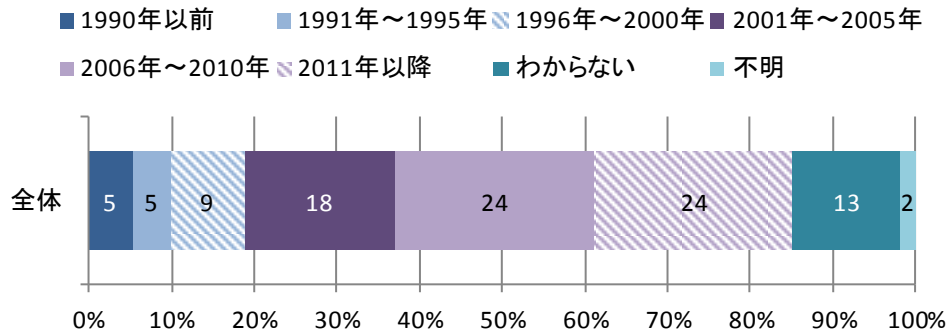


図 1-86 冷蔵庫の製造時期（2台目）

（18） 世帯主年齢別冷蔵庫の製造時期（1台目）

世帯主年齢が高いほど 2000 年以前の冷蔵庫（1台目※）を使用している割合が高い。

※複数台使用している世帯の場合は、最も内容積の大きい冷蔵庫をいう。

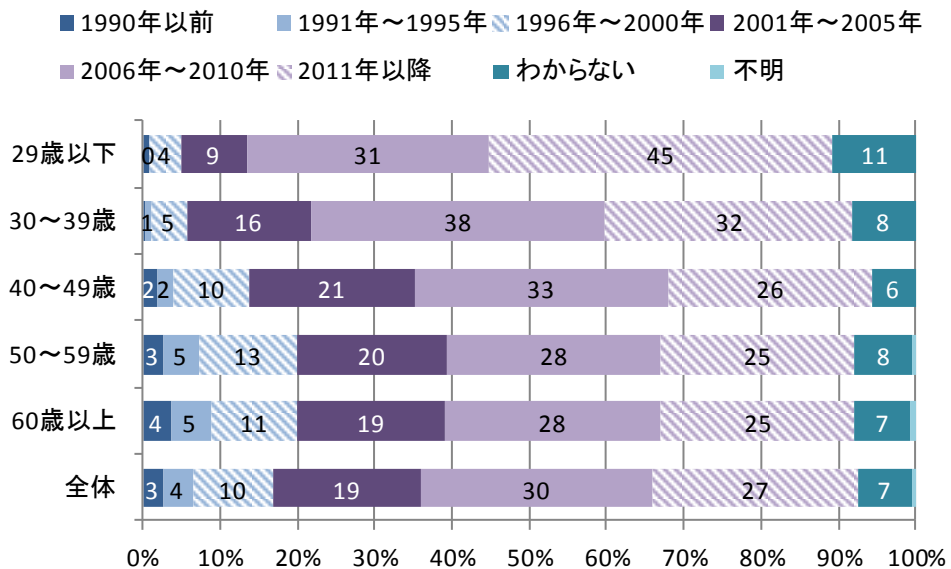


図 1-87 世帯主年齢別冷蔵庫の製造時期（1台目）

(19) 年間世帯収入別冷蔵庫の製造時期（1台目）

年間世帯収入が1500万円未満では、年間世帯収入が高いほど2000年以前の冷蔵庫（1台目※）を使用している世帯が少ない傾向がみられる。

※複数台使用している世帯の場合は、最も内容積の大きい冷蔵庫をいう。

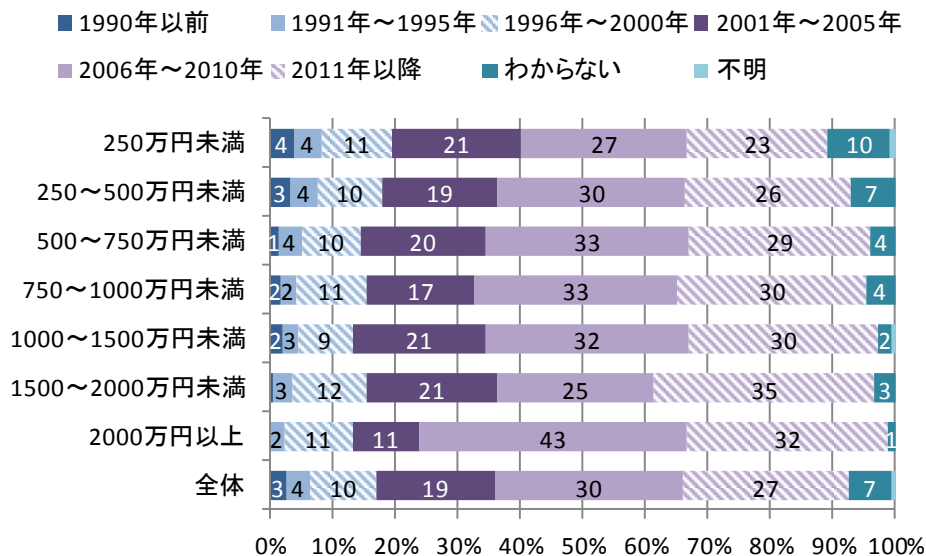


図 1-88 年間世帯収入別冷蔵庫の製造時期（1台目）

(20) 建築時期別冷蔵庫の製造時期（1台目）

新しい住宅に住む世帯ほど1台目（※）の冷蔵庫は新しい機器が多い。特に、2006～2010年の住宅に住む世帯、2011年以降の住宅に住む世帯では建築時期と製造時期が一致している世帯が多く、新築・転居に合わせて機器を購入していると考えられる。

※複数台使用している世帯の場合は、最も内容積の大きい冷蔵庫をいう。

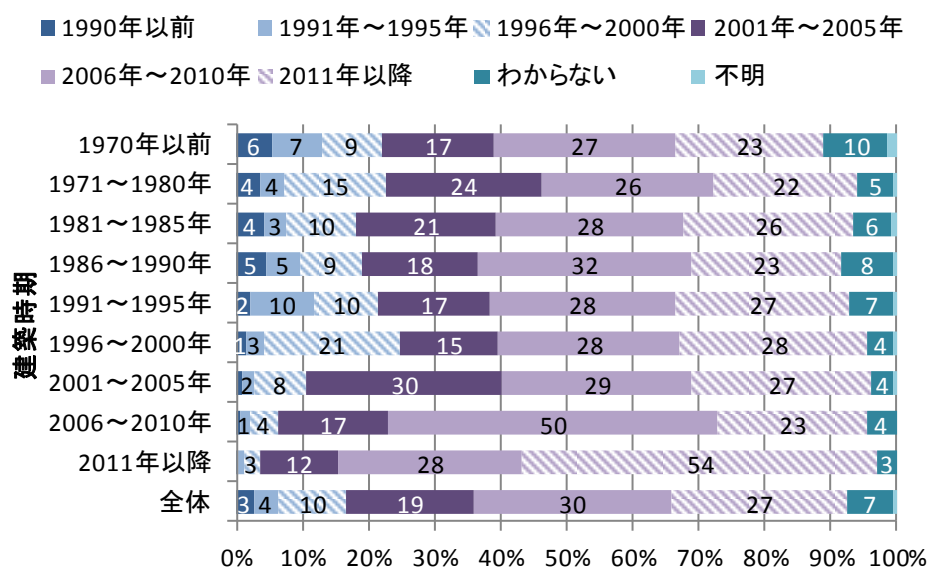


図 1-89 建築時期別冷蔵庫の製造時期（1台目）

(2 1) 冷蔵庫の使用台数

冷蔵庫の使用台数は1台が85%、2台以上使用している世帯は15%である。

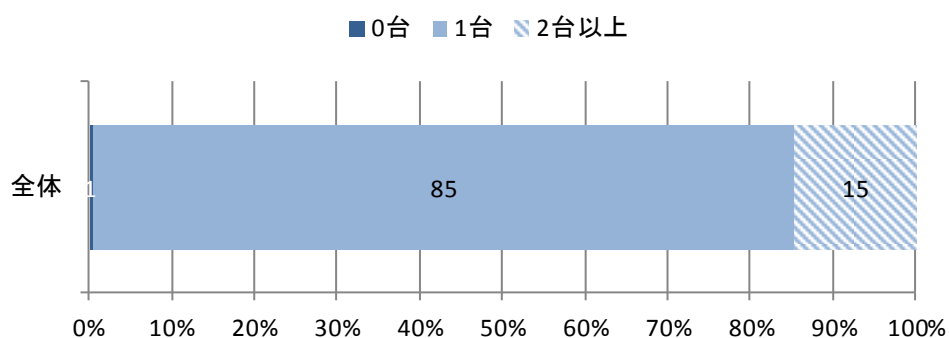


図 1-90 冷蔵庫の使用台数

(2 2) 建築時期別冷蔵庫の使用台数

古い住宅に住む世帯ほど冷蔵庫を2台以上使用している世帯が多く、1970年以前の住宅に住む世帯では、4世帯に1世帯が使用している。

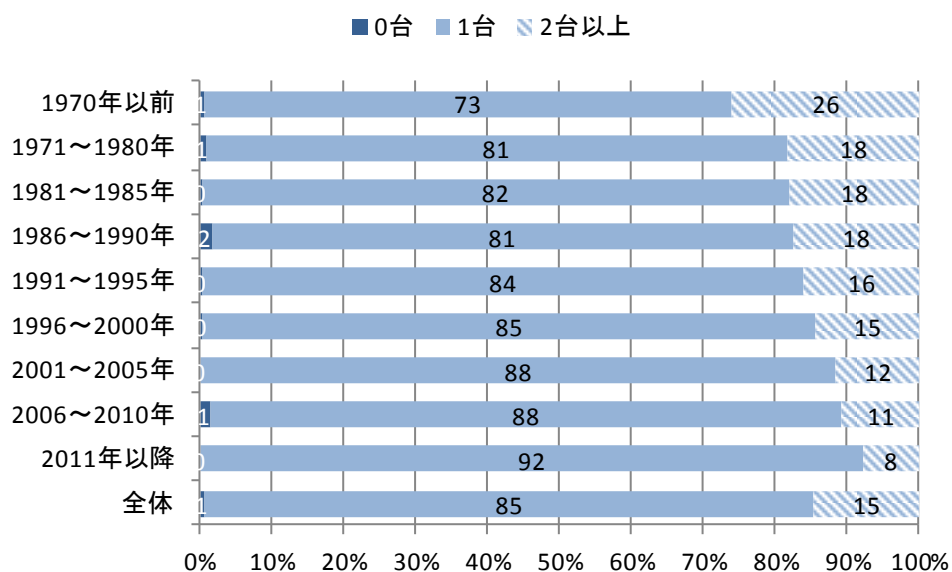


図 1-91 建築時期別冷蔵庫の使用台数

(23) 建て方別冷蔵庫の使用台数

戸建住宅では24%の世帯が冷蔵庫を2台以上使用しているのに対し、集合住宅では2台以上の使用世帯は3%である。

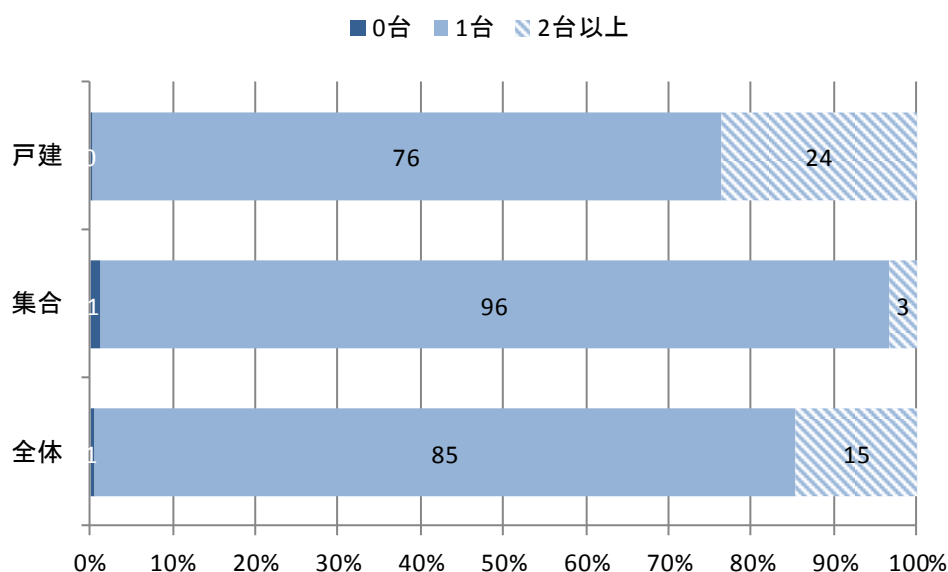


図 1-92 建て方別冷蔵庫の使用台数

(24) 世帯類型別冷蔵庫の使用台数

夫婦と子・高齢世帯、その他世帯の約3割が冷蔵庫を2台以上使用している。その他世帯は三世帯の世帯が多く含まれるため使用台数が多いと考えられる。高齢世帯は若中年世帯に比べ冷蔵庫の使用台数が多く、単身世帯では5ポイント高く8%、夫婦世帯では13ポイント高く21%である。

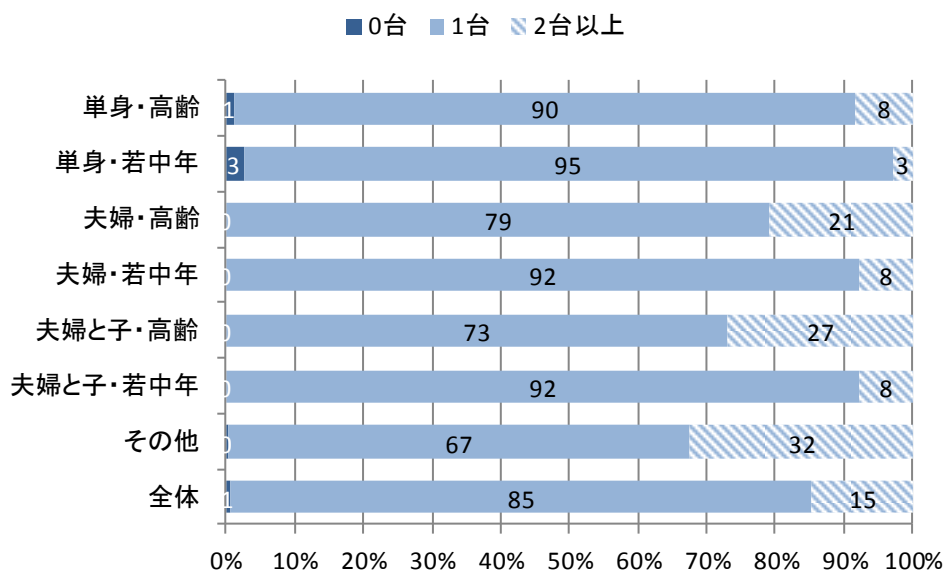


図 1-93 世帯類型別冷蔵庫の使用台数

(25) 世帯人数別冷蔵庫の使用台数

世帯人数が多いほど冷蔵庫を2台以上使用している世帯が多い。一方、単身世帯でも5%、2人世帯でも15%が2台以上使用している。

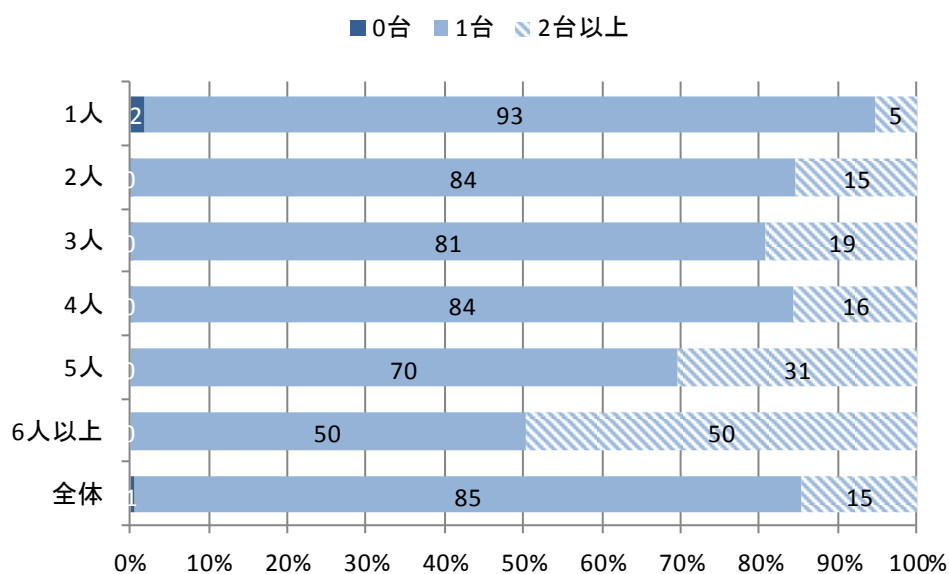


図 1-94 世帯人数別冷蔵庫の使用台数

(26) 世帯主年齢別冷蔵庫の使用台数

世帯主年齢が高いほど冷蔵庫を2台以上使用している世帯が多く、60歳以上の22%が使用している。

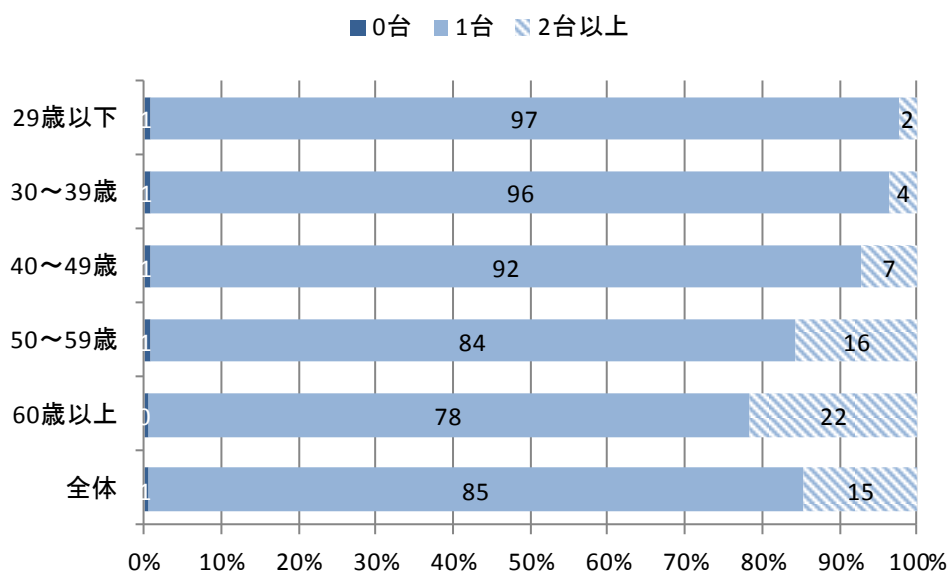


図 1-95 世帯主年齢別冷蔵庫の使用台数

(27) 年間世帯収入別冷蔵庫の使用台数

年間世帯収入が高いほど冷蔵庫を2台以上使用している世帯が多く、2000万円以上では35%の世帯が2台以上使用している。

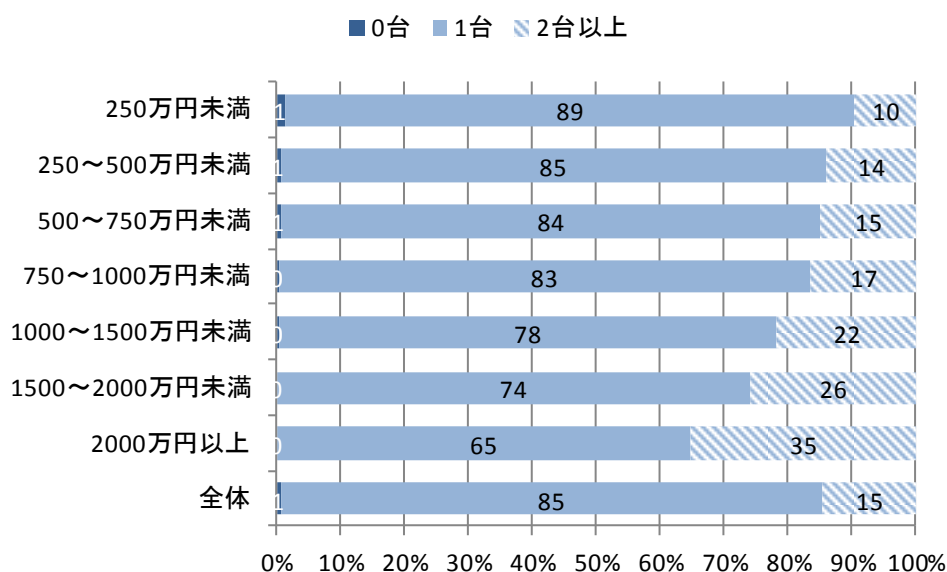


図 1-96 年間世帯収入別冷蔵庫の使用台数

(28) 延べ床面積別冷蔵庫の使用台数

延べ床面積が広いほど冷蔵庫を2台以上使用している世帯が多く、150m²以上の世帯では3世帯に1世帯以上が冷蔵庫を2台以上使用している。

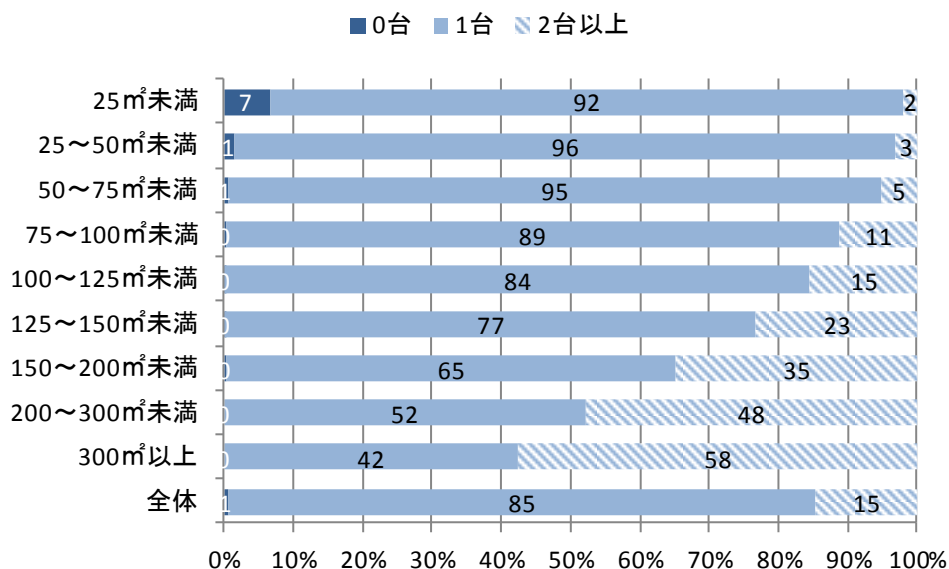
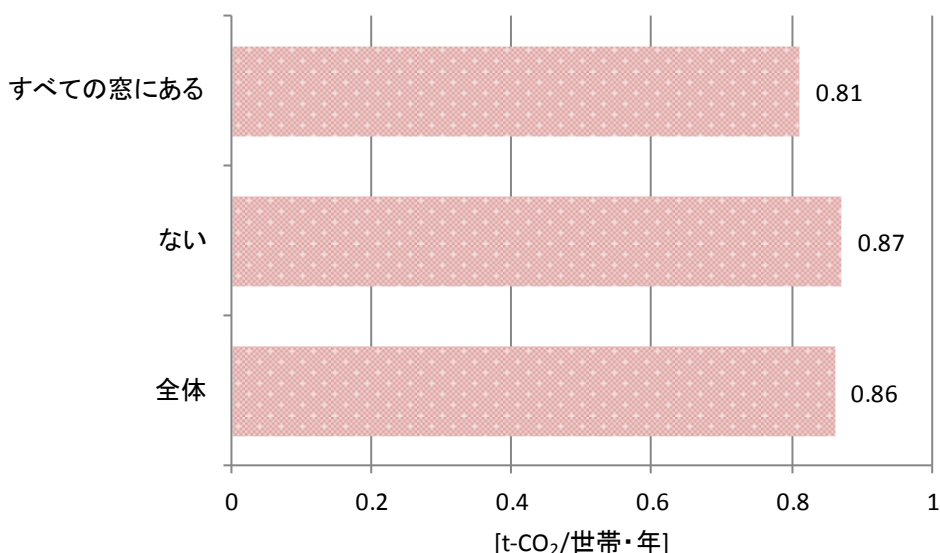


図 1-97 延べ床面積別冷蔵庫の使用台数

(29) 二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無別世帯当たり年間暖房用CO₂排出量
 寒冷地及び沖縄を除く地方の戸建住宅に限定し、二重サッシまたは複層ガラスの窓（以下、「二重サッシ等」という。）の有無別に世帯当たりの年間の暖房のCO₂排出量を比較すると、二重サッシ等がすべての窓にある世帯の排出量は、二重サッシ等がない世帯に比べ少ない。



**図 1-98 二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無別世帯当たり年間暖房用CO₂排出量
 (寒冷地及び沖縄を除く地方の戸建)**

(注1) ここでいう「寒冷地」とは、北海道、東北、北陸をいう。

(注2) 図中の「全体」は、「すべての窓にある」「ない」に加え、「一部の窓にある」「わからない」を含めた値であり、寒冷地及び沖縄を除く地方の戸建住宅の平均である。

(30) 建築時期別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無

新しい住宅に住む世帯ほど二重サッシ等があり、2011年以降の住宅に住む世帯の71%に二重サッシ等が普及している。

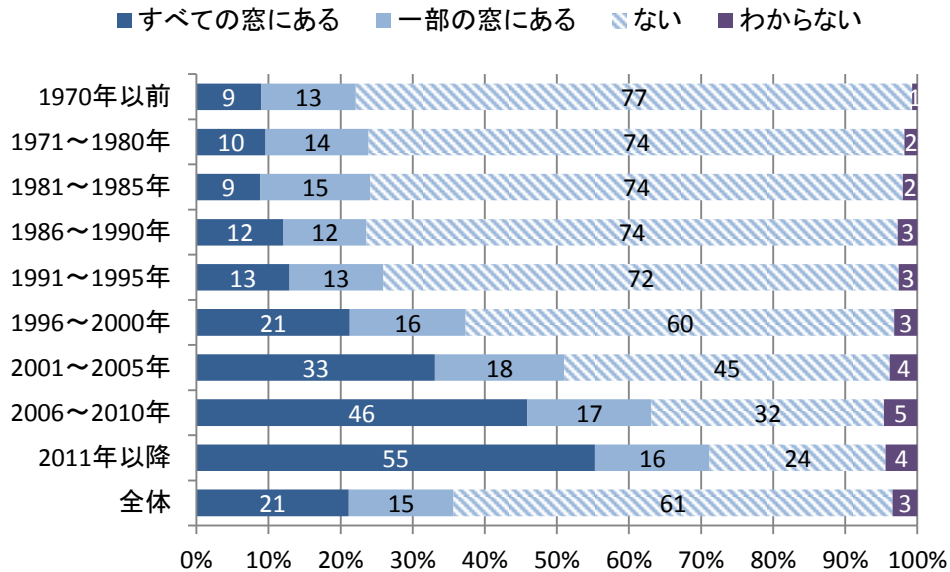


図 1-99 建築時期別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無

(31) 住宅の所有関係別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無

持ち家では二重サッシ等がある世帯が44%みられる。賃貸住宅、給与住宅では二重サッシ等がない世帯が7～8割程度みられる。

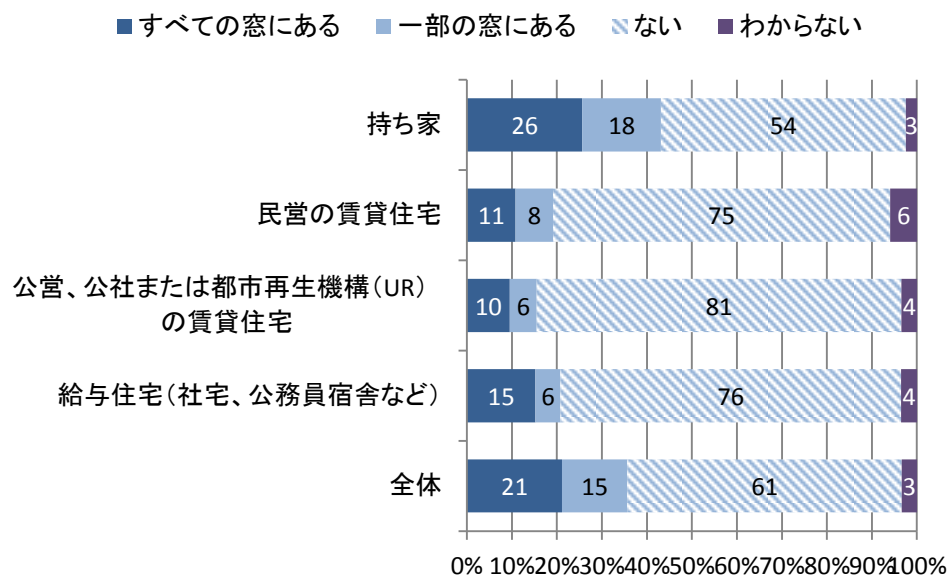


図 1-100 住宅の所有関係別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無

(32) 延べ床面積別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無

延べ床面積 300㎡以上を除くと、面積が広いほど二重サッシ等がある世帯が多い傾向にあり、100㎡以上では約半数に普及している。

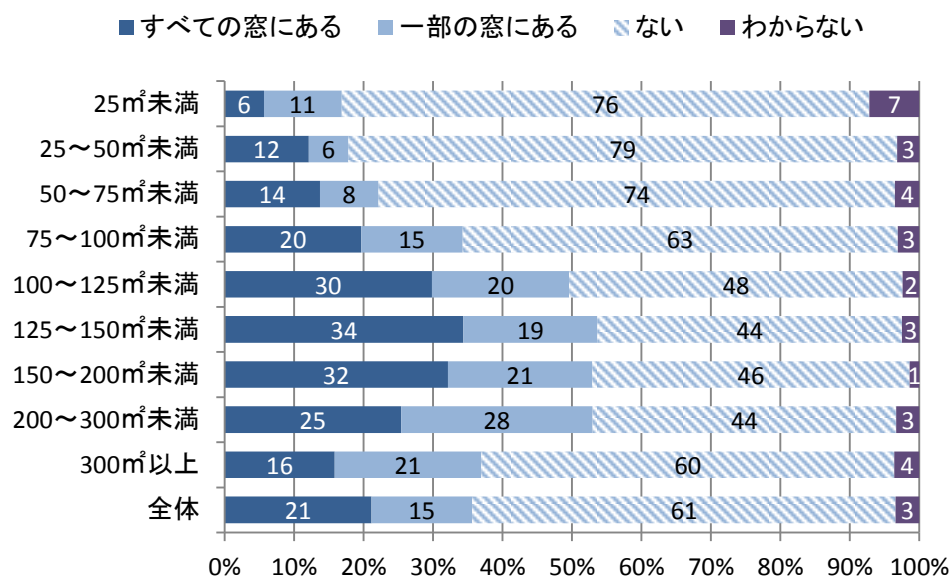


図 1-101 延べ床面積別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無

(33) 年間世帯収入別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無

年間世帯収入が高い世帯ほど二重サッシ等がある世帯が多い。

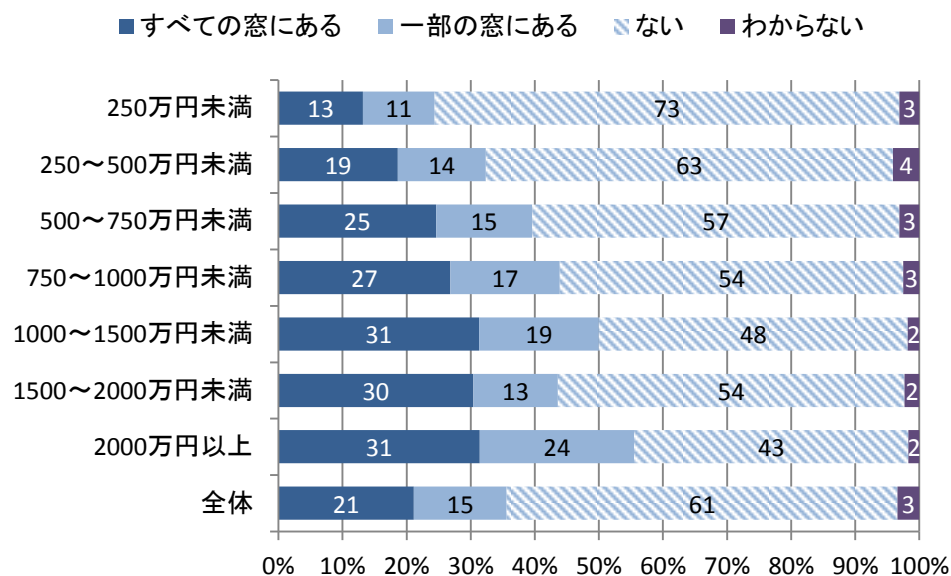


図 1-102 年間世帯収入別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無

(34) 自動車の実際の燃費（1台目）別世帯当たり年間自動車用燃料CO₂排出量

毎日自動車を使用している世帯（1台目※）に限定し、自動車の実際の燃費（1台目）別に世帯当たりの自動車用燃料のCO₂排出量を比較すると、実燃費（1台目）が良い世帯ほどCO₂排出量が少ない。

※複数台使用している世帯も含まれる。

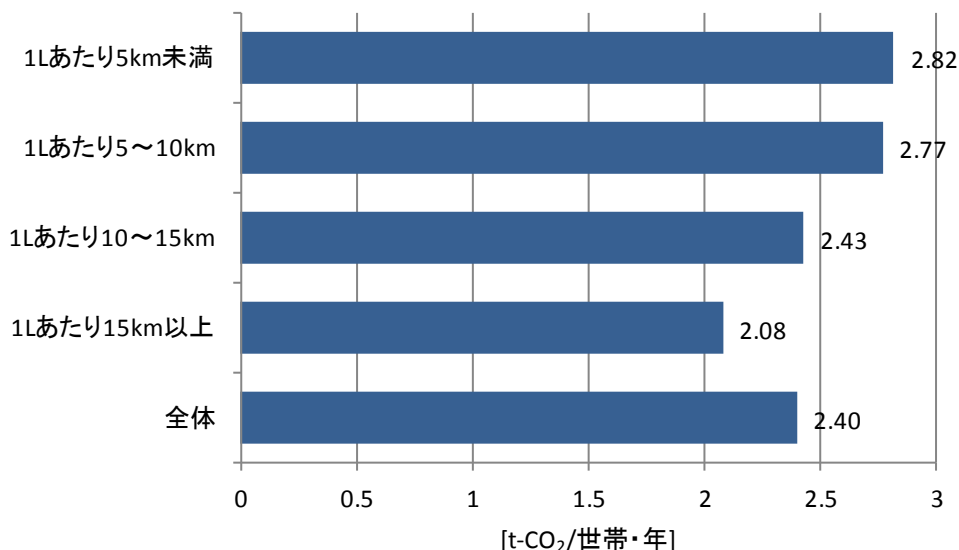


図 1-103 自動車の実際の燃費（1台目）別世帯当たり年間自動車用燃料CO₂排出量（毎日自動車を使用している世帯（1台目））

(35) 年間世帯収入別自動車の実際の燃費（1台目）

年間世帯収入が高い世帯ほど実燃費が 10km/L 未満の自動車を使用している世帯が多くなる。

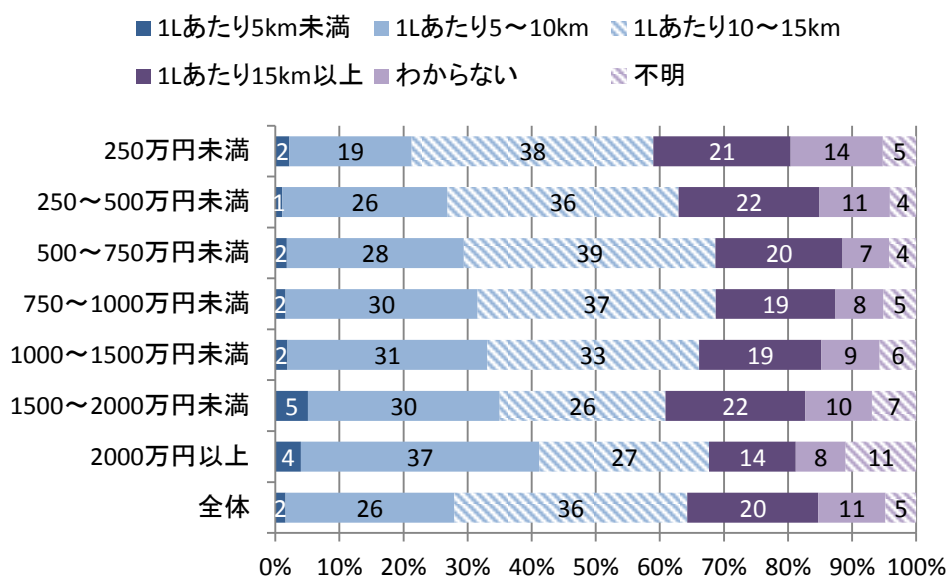


図 1-104 年間世帯収入別自動車の実際の燃費（1台目）

(36) 省エネルギー行動実施率別自動車の実際の燃費（1台目）

省エネルギー行動実施率（※）が高い世帯ほど、実燃費 10km/L 未満の自動車を
使用している世帯が少ない。

※省エネルギー行動 18 項目のうち「該当しない」及び不明を除く項目数に対する実施数の割合

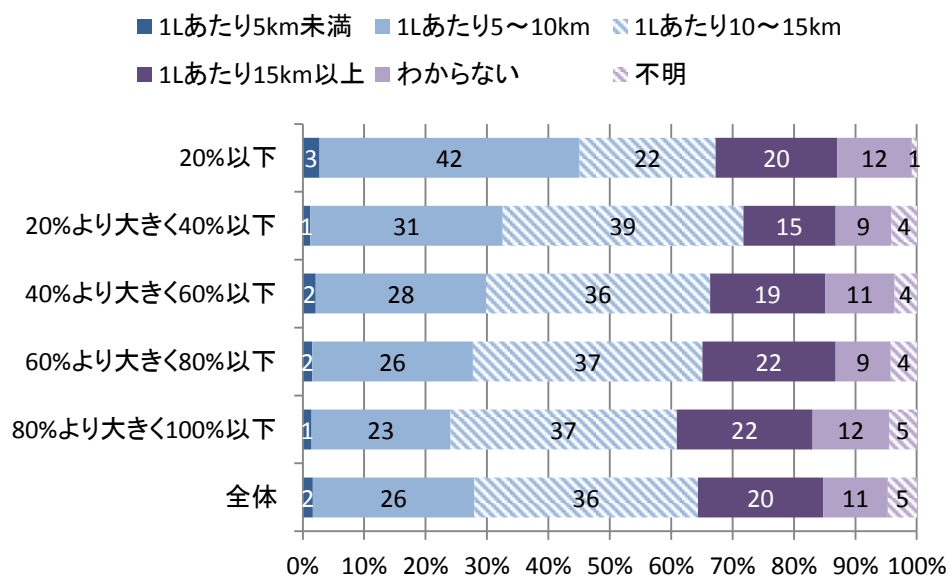


図 1-105 省エネルギー行動実施率別自動車の実際の燃費（1台目）

7 太陽光発電システム

(1) 建て方別太陽光発電システムの利用率

太陽光発電システムの利用率は 6.8%である。ほとんどが戸建住宅の世帯で使用されている。

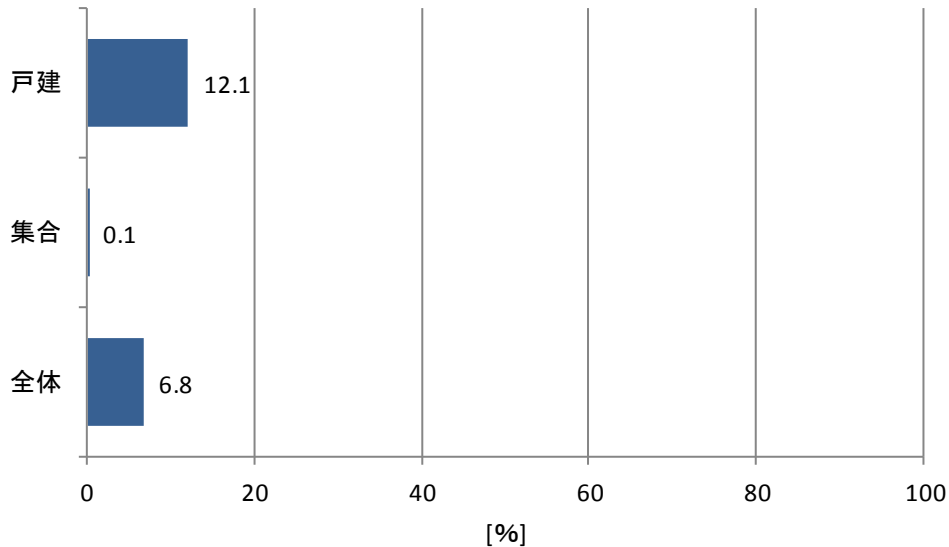


図 1-106 建て方別太陽光発電システムの利用率

(2) 建築時期別太陽光発電システムの利用率

戸建住宅では、新しい住宅に住む世帯ほど太陽光発電システムを使用している世帯が多く、2011年以降の住宅に住む世帯の 31.3%が使用している。

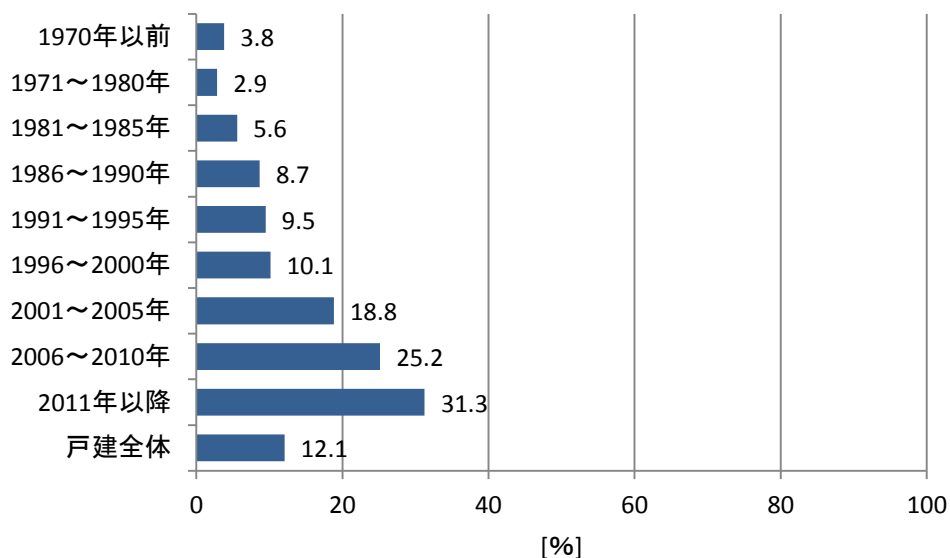


図 1-107 建築時期別太陽光発電システムの利用率（戸建）

(3) 世帯人数別太陽光発電システムの使用率

戸建住宅の世帯人数が4人までは、人数が多いほど太陽光発電システムを使用している世帯が多くなり、4人以上の世帯では同程度である。

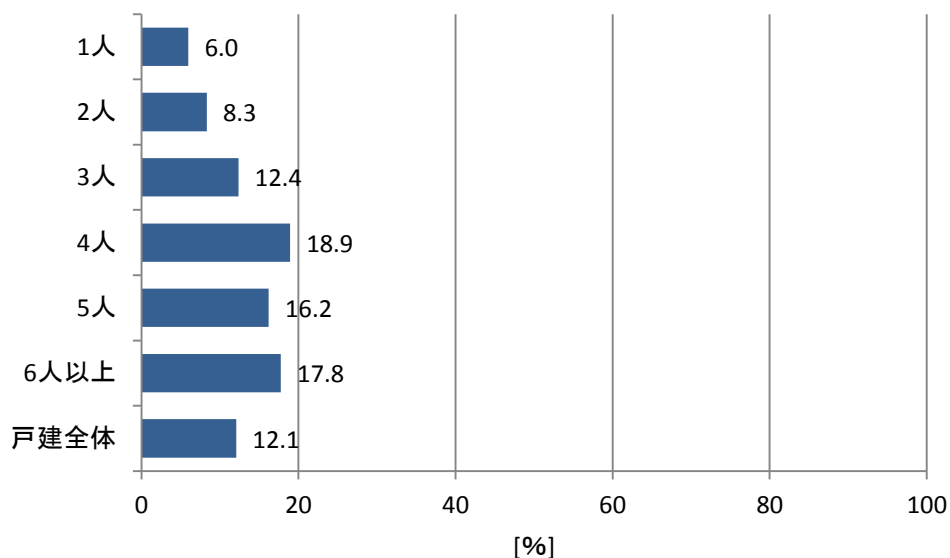


図 1-108 世帯人数別太陽光発電システムの使用率（戸建）

(4) 世帯主年齢別太陽光発電システムの使用率

戸建住宅では、世帯主年齢が低い世帯ほど太陽光発電システムを使用している世帯が多く、29歳以下の世帯の32.4%が使用している。

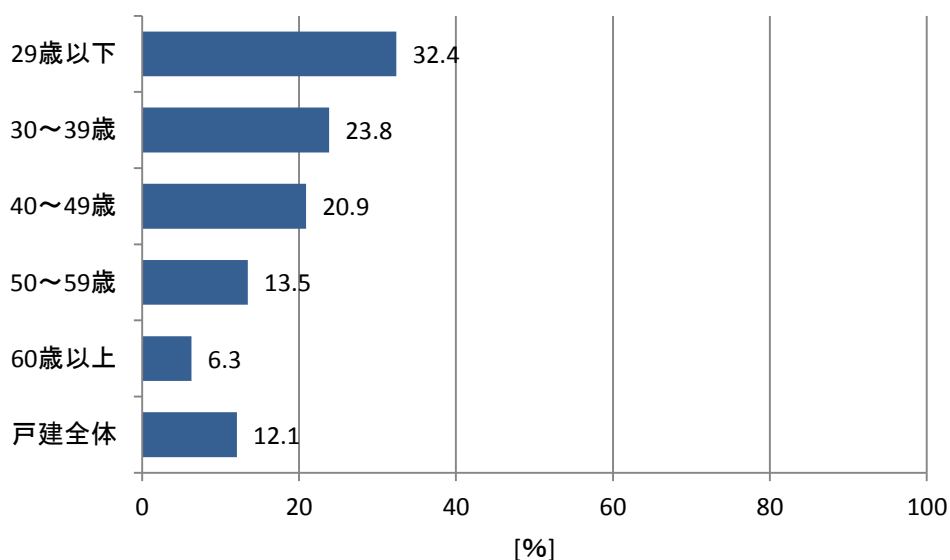


図 1-109 世帯主年齢別太陽光発電システムの使用率（戸建）

(5) 年間世帯収入別太陽光発電システムの使用率

戸建住宅では、年間世帯収入が500万円以上の世帯の1～2割が太陽光発電システムを使用している。一方、250～500万円未満では9.2%、250万円未満では4.2%と使用している世帯が少ない。

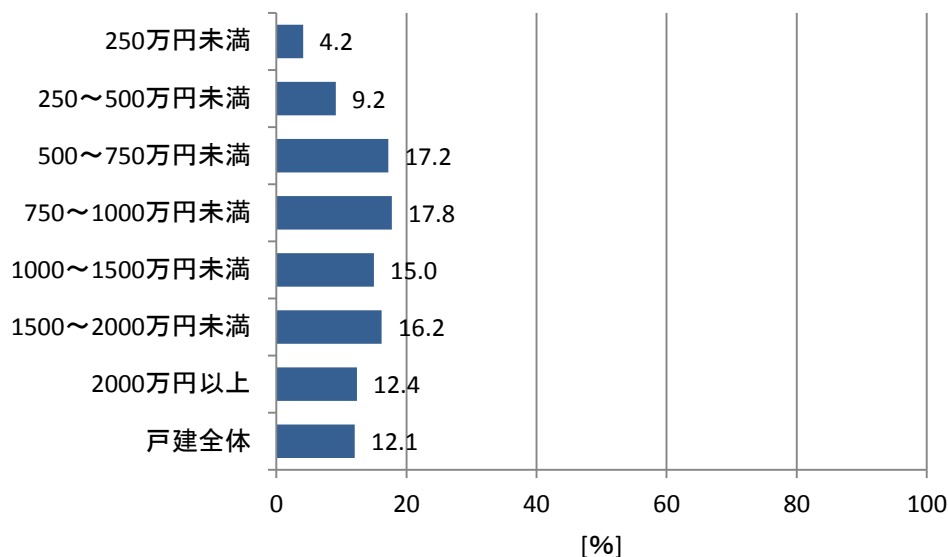


図 1-110 年間世帯収入別太陽光発電システムの使用率（戸建）

(6) 太陽電池の総容量

太陽電池の総容量は2kW以上～4kW未満が約4割、4kW以上6kW未満が約3割を占めている。ただし、総容量が不明の世帯が18%ある。平均容量は4.5kWである。

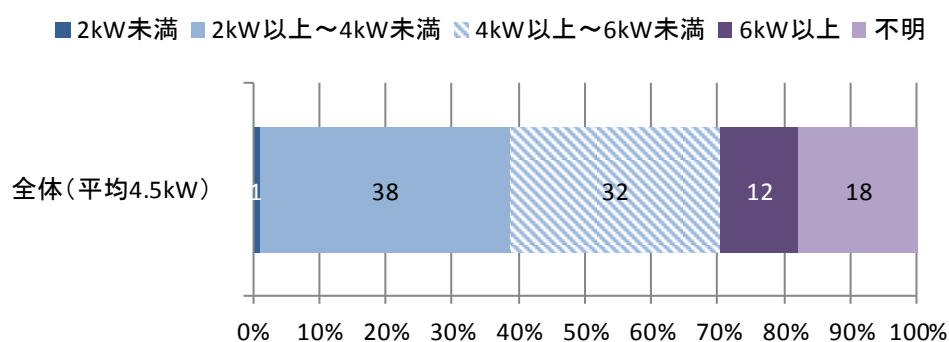


図 1-111 太陽電池の総容量

(7) 太陽光発電システムの年間発電量・売電量（使用世帯当たり）

太陽光発電システムの使用世帯当たりの年間発電量は 4,811kWh である。売電量は 3,417kWh であり、売電の割合は 71%である。

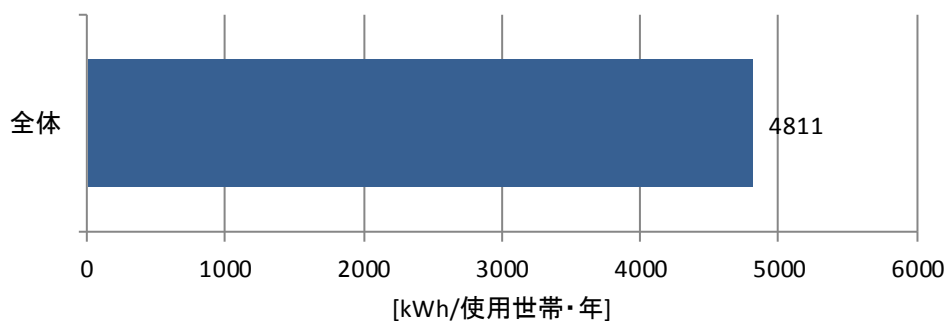


図 1-112 太陽光発電システムの年間発電量（使用世帯当たり）

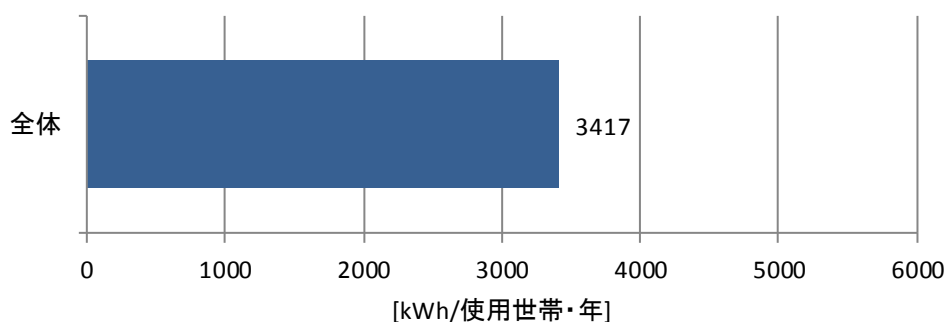


図 1-113 太陽光発電システムの年間売電量（使用世帯当たり）

(8) 太陽光発電システムからの売電による年間受領金額（使用世帯当たり）

太陽光発電システムからの売電による使用世帯当たりの年間受領金額は 14.7 万円である。

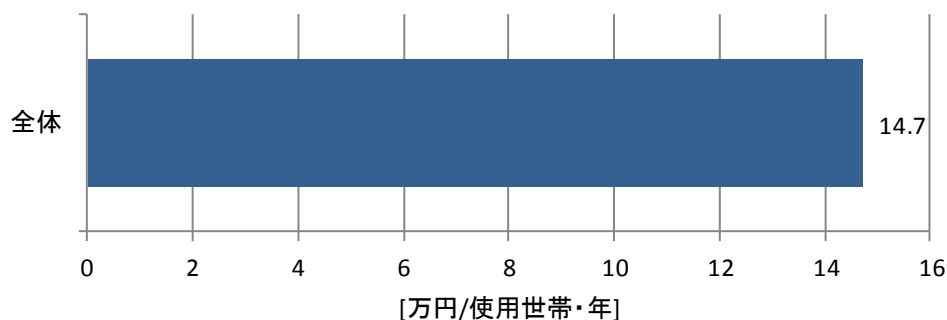


図 1-114 太陽光発電システムからの売電による年間受領金額（使用世帯当たり）

(9) 太陽光発電システムの月別発電量・売電量（使用世帯当たり）

太陽光発電システムの発電量と売電量は5月に最も多く、12月に最も少ない。発電量と売電量の季節変化の傾向は類似している。

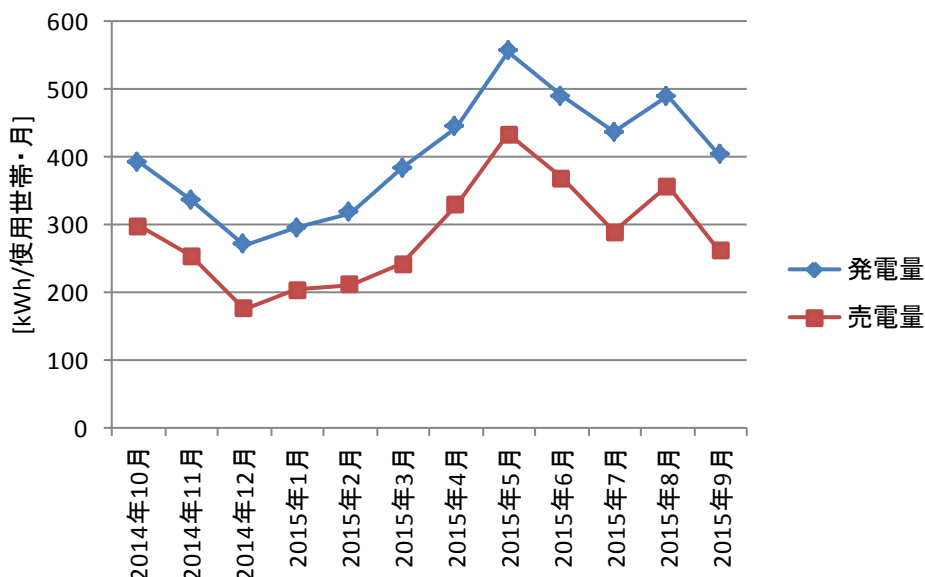


図 1-115 太陽光発電システムの月別発電量・売電量（使用世帯当たり）

(10) 太陽光発電システム使用の有無別世帯当たり年間エネルギー種別CO₂排出量

戸建住宅の3人世帯に限定し、太陽光発電システム使用の有無別に世帯当たりの年間CO₂排出量を比較すると、太陽光発電システムを使用している世帯はCO₂排出量が少ない。

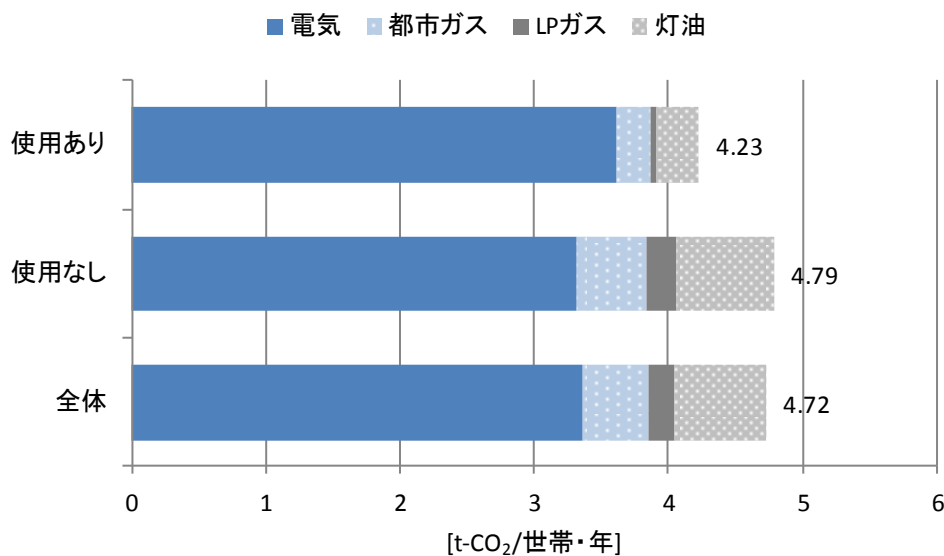


図 1-116 太陽光発電システム使用の有無別世帯当たり年間エネルギー種別CO₂排出量（戸建の3人世帯）

II 地方別・都市階級別の主要結果

1 CO₂ 排出量

(1) 地方別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量・構成比

地方別に世帯当たりの年間 CO₂ 排出量を比較すると、北陸が最も多く、関東甲信が最も少ない。

気候などの違いにより、エネルギー種別構成比には地方間の差がみられる。北海道では灯油が約4割を占める。

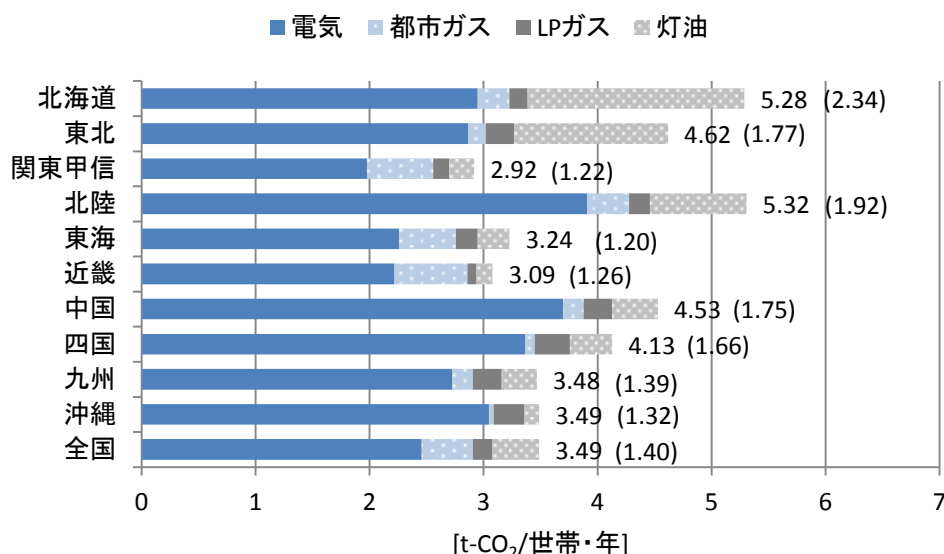


図 2-1 地方別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量

(注1) 括弧内の数値は1人当たりのCO₂排出量を表す。

(注2) 1人当たりのCO₂排出量は、平均の排出量を平均世帯人数で除して算出している。

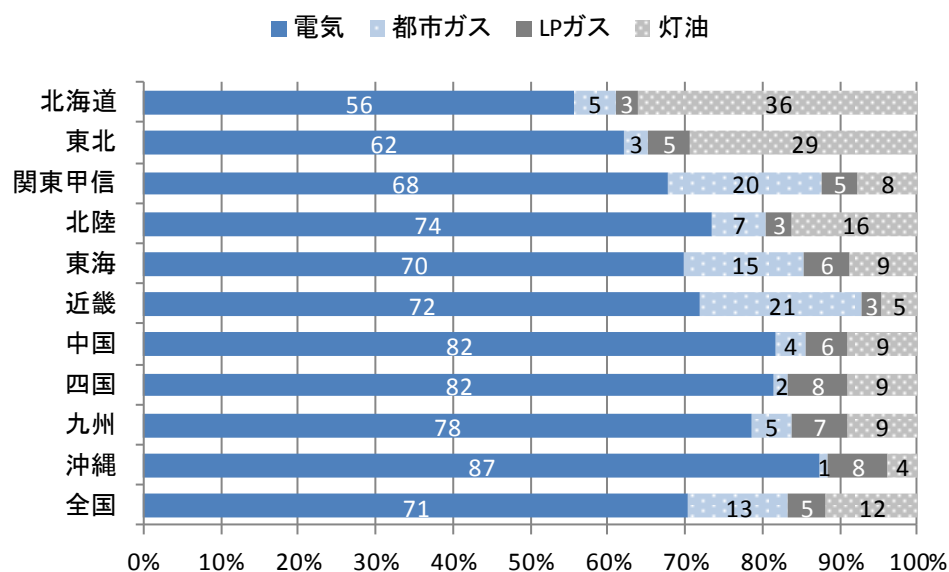


図 2-2 地方別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出構成比

(2) 地方別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量・構成比

気候などの違いにより、用途別 CO₂ 排出量及び構成比には暖房・冷房を中心に地方間の差がみられる。

北海道では暖房が約4割を占める。関東甲信、東海及び近畿では構成比が全国に近い。四国、九州では暖房の割合がやや低く、沖縄では照明・家電製品等と冷房の割合が高い。

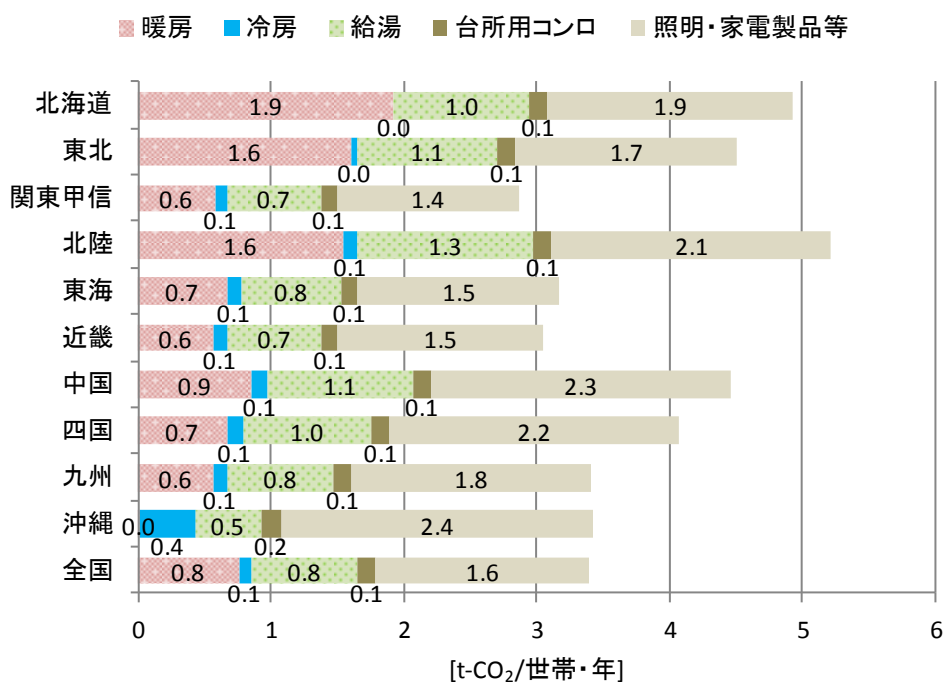


図 2-3 地方別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

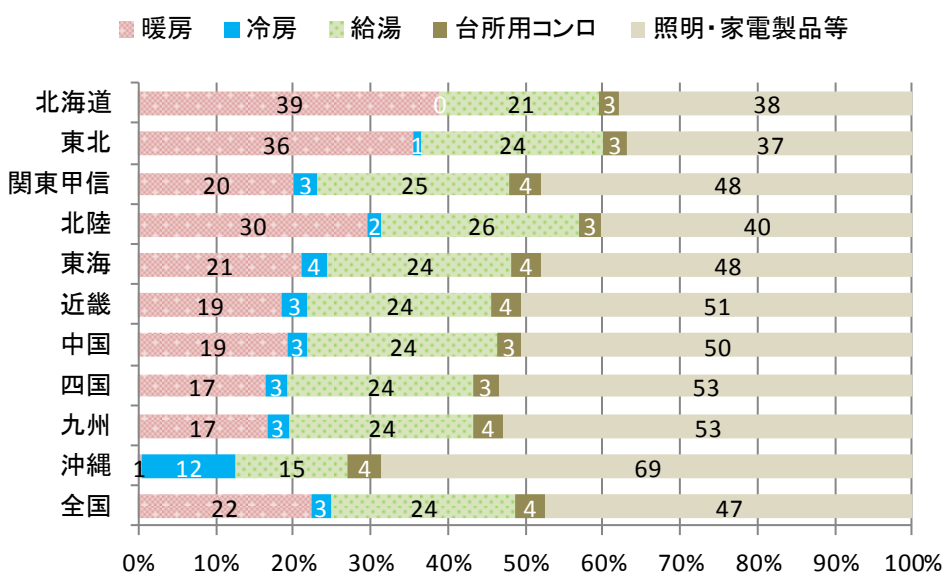


図 2-4 地方別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比

(3) 都市階級別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量・構成比

都市階級別に世帯当たりの年間 CO₂ 排出量を比較すると、人口 5 万人未満の市及び町村の世帯の排出量が最も多い。戸建住宅の世帯が多く、世帯人数が多いことなどが影響していると考えられる。

都道府県庁所在市・政令指定都市の世帯では都市ガスの割合が比較的高い。

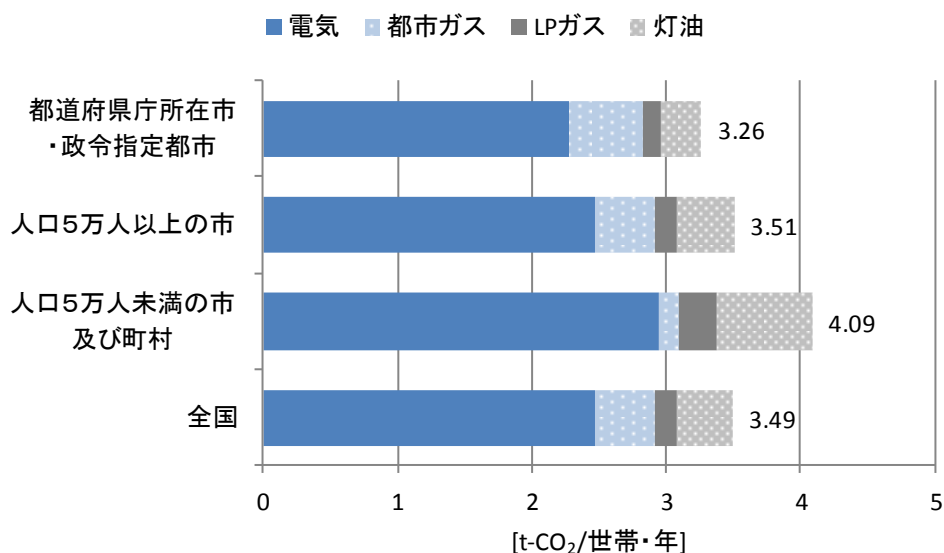


図 2-5 都市階級別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量

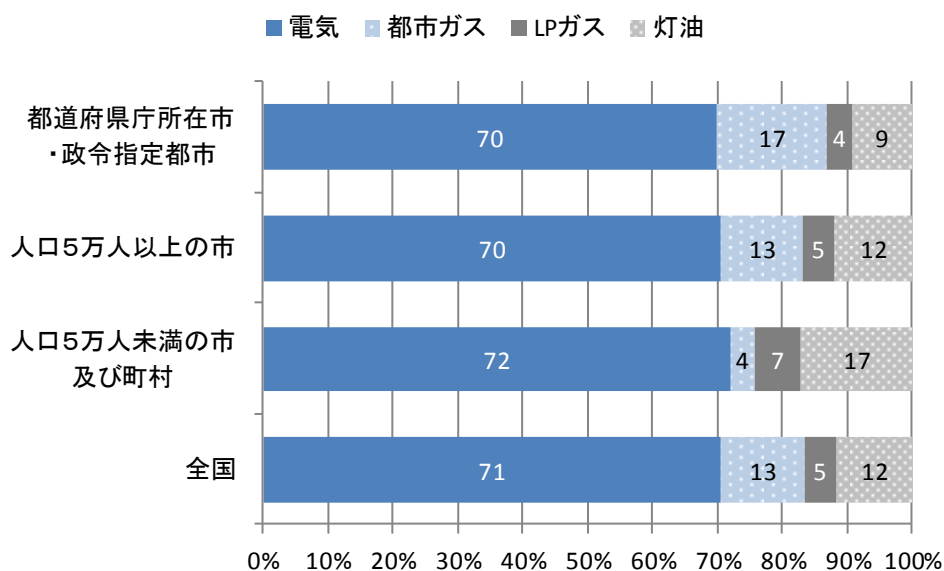


図 2-6 都市階級別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出構成比

(4) 都市階級別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量・構成比

都市階級別に用途別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯の割合や世帯人数の差などにより、暖房、給湯、照明・家電製品等で人口 5 万人未満の市及び町村の世帯の排出量が最も多い。

用途別 CO₂ 排出構成比には大きな差はみられない。

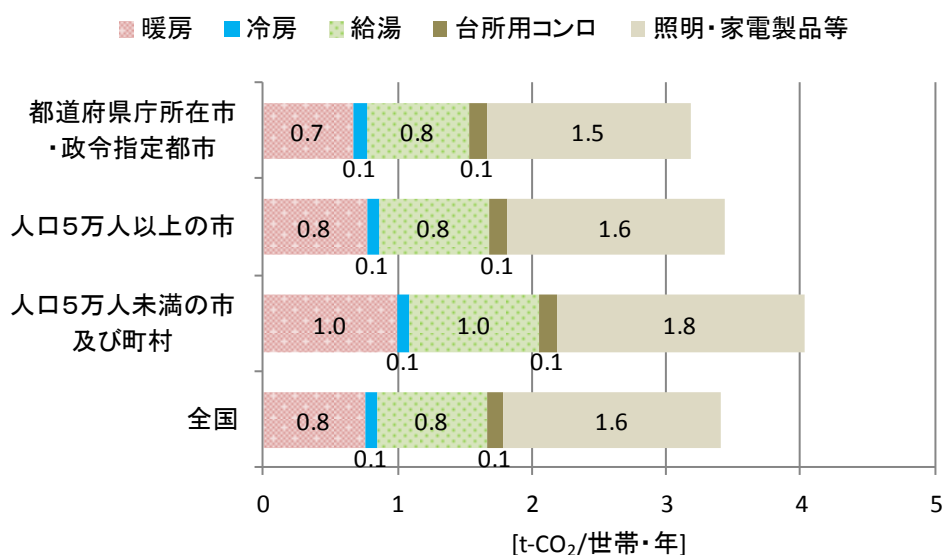


図 2-7 都市階級別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

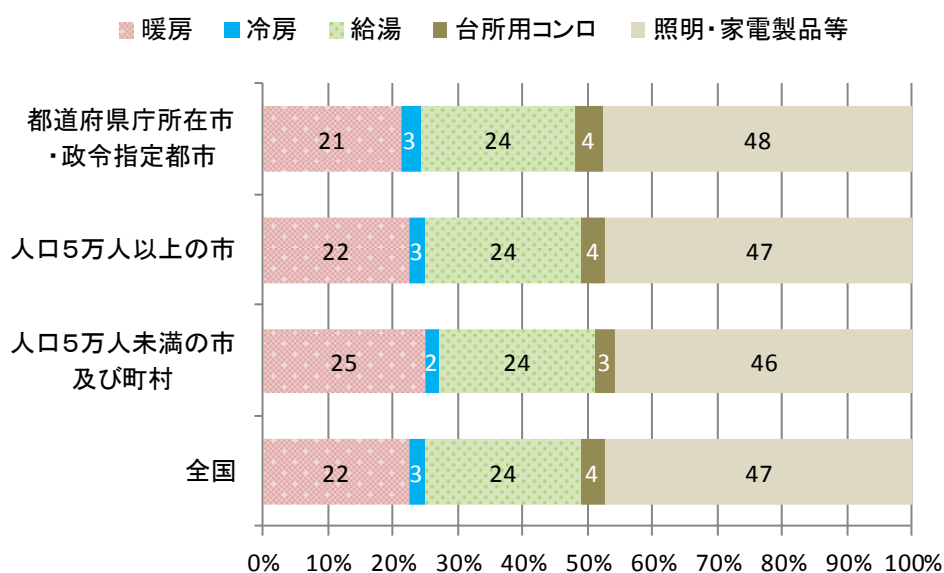


図 2-8 都市階級別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出構成比

(5) 地方別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO₂ 排出量

地方別に自動車用燃料からの世帯当たりの年間 CO₂ 排出量を比較すると、関東甲信、近畿の排出量が少ない。これらの地方では自動車使用台数や使用頻度が少ないことなどが影響していると考えられる。

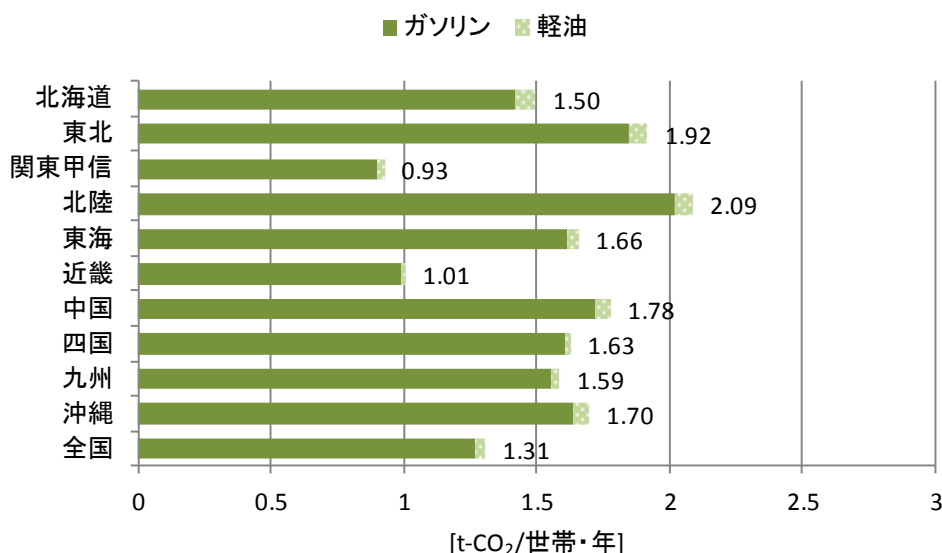


図 2-9 地方別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO₂ 排出量

(6) 都市階級別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO₂ 排出量

都市階級別に自動車用燃料からの世帯当たりの年間 CO₂ 排出量を比較すると、自動車使用台数や使用頻度の差などにより、人口5万人未満の市及び町村の世帯の排出量が多い。

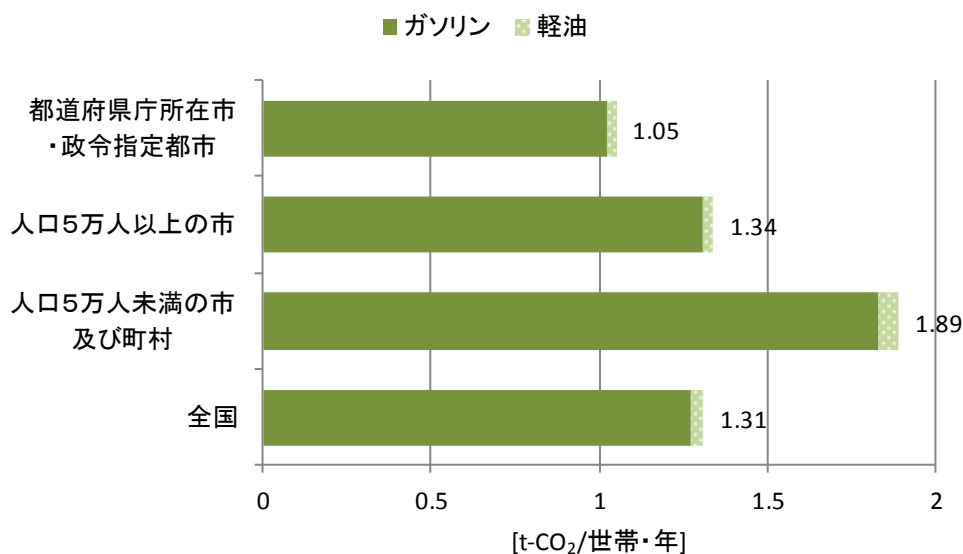


図 2-10 都市階級別世帯当たり年間自動車用燃料種別 CO₂ 排出量

2 CO₂排出量の分布

(1) 地方別世帯当たり年間CO₂排出量（電気・ガス・灯油の合計）の世帯分布

地方別に年間CO₂排出量の世帯分布を比較すると、北海道、東北及び北陸では排出量が多い世帯の割合が高く、排出量のばらつきが他の地方より大きい。

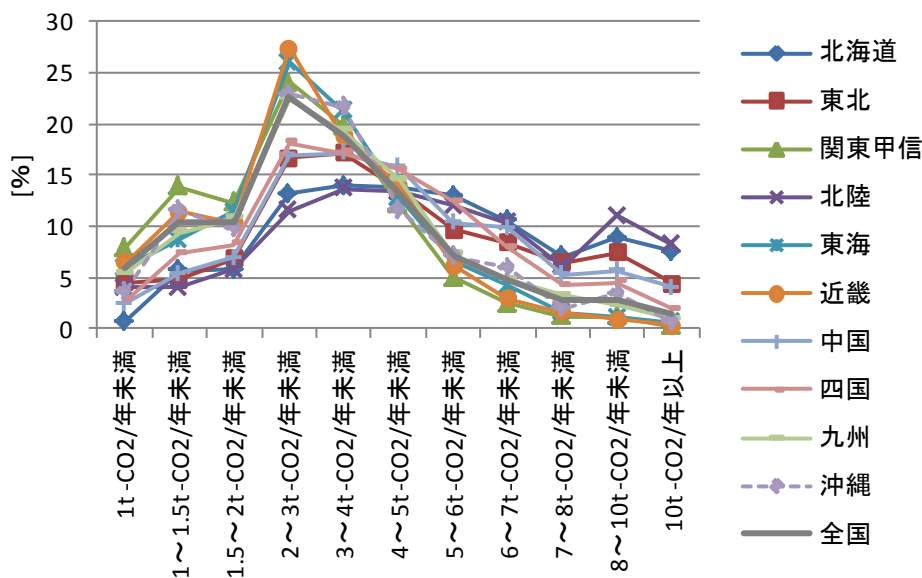


図 2-11 地方別世帯当たり年間CO₂排出量（電気・ガス・灯油の合計）の世帯分布

(2) 都市階級別世帯当たり年間CO₂排出量（電気・ガス・灯油の合計）の世帯分布

都市階級別に年間CO₂排出量の世帯分布を比較すると、人口5万人未満の市及び町村では、排出量の多い世帯の割合が比較的高い。

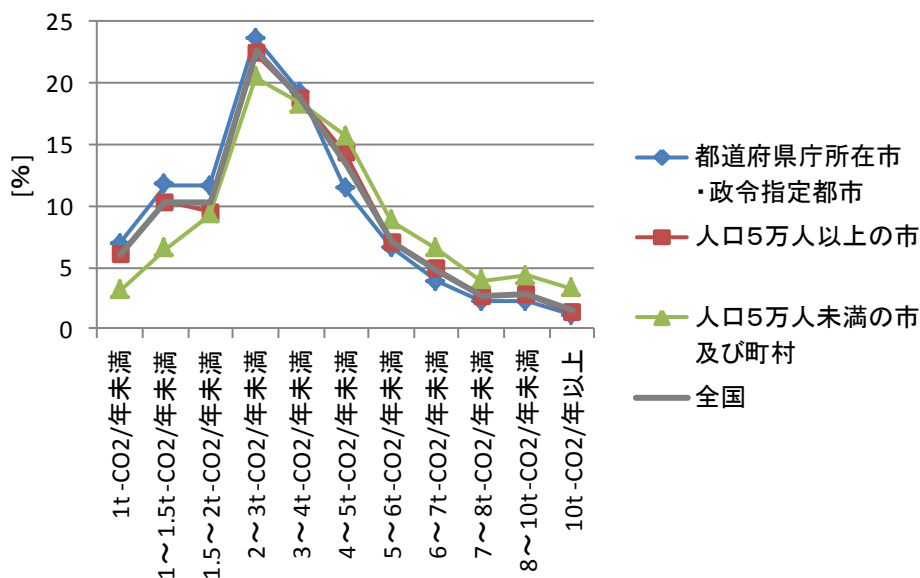


図 2-12 都市階級別世帯当たり年間CO₂排出量（電気・ガス・灯油の合計）の世帯分布

(3) 地方別世帯当たり年間 CO₂ 排出量（自動車用燃料の合計）の世帯分布

地方別に自動車用燃料からの年間 CO₂ 排出量の世帯分布を比較すると、自動車を使用していない（排出量0トン）世帯の割合に大きな差がみられるほか、東北、北陸では排出量が多い世帯の割合が比較的高い。

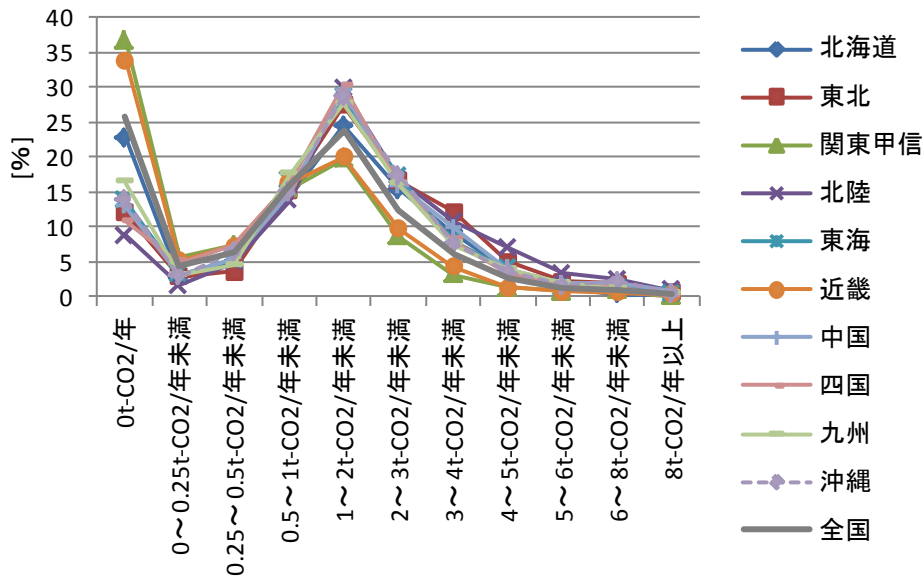


図 2-13 地方別世帯当たり年間 CO₂ 排出量（自動車用燃料の合計）の世帯分布

(4) 都市階級別世帯当たり年間 CO₂ 排出量（自動車用燃料の合計）の世帯分布

都市階級別に自動車用燃料からの年間 CO₂ 排出量の世帯分布を比較すると、自動車を使用していない（排出量0トン）世帯の割合に大きな差がみられるほか、人口5万人未満の市及び町村では、排出量が多い世帯の割合が比較的高い。

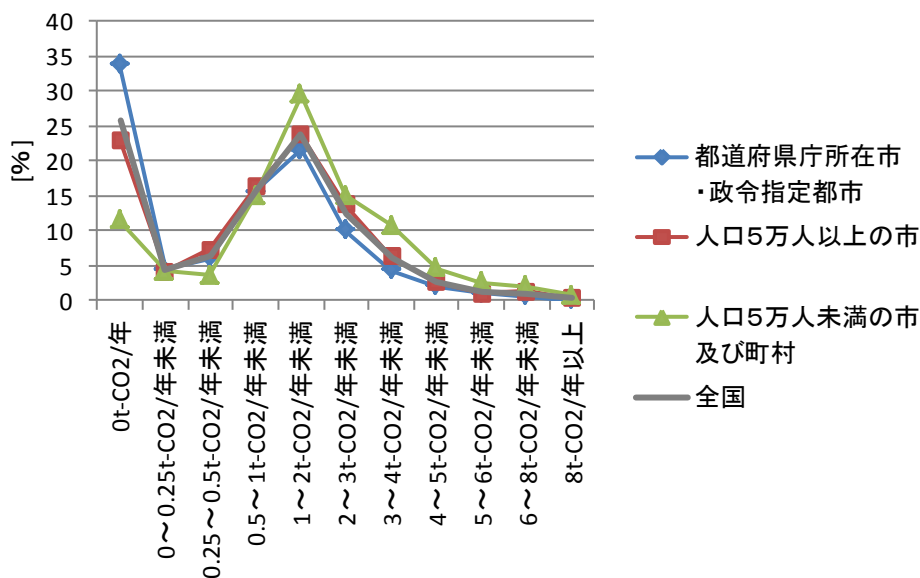


図 2-14 都市階級別世帯当たり年間 CO₂ 排出量（自動車用燃料の合計）の世帯分布

3 エネルギー消費量

(1) 地方別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比

地方別に世帯当たりの年間エネルギー消費量を比較すると、北海道が最も多く、沖縄が最も少ない。CO₂排出量での比較と傾向が異なるのは、主に電気が全体に占める割合と電気のCO₂排出係数の地方間での差による。

気候などの違いにより、エネルギー種別構成比には地方間の差がみられる。北海道では灯油が約5割を占め、沖縄では電気が約7割を占める。

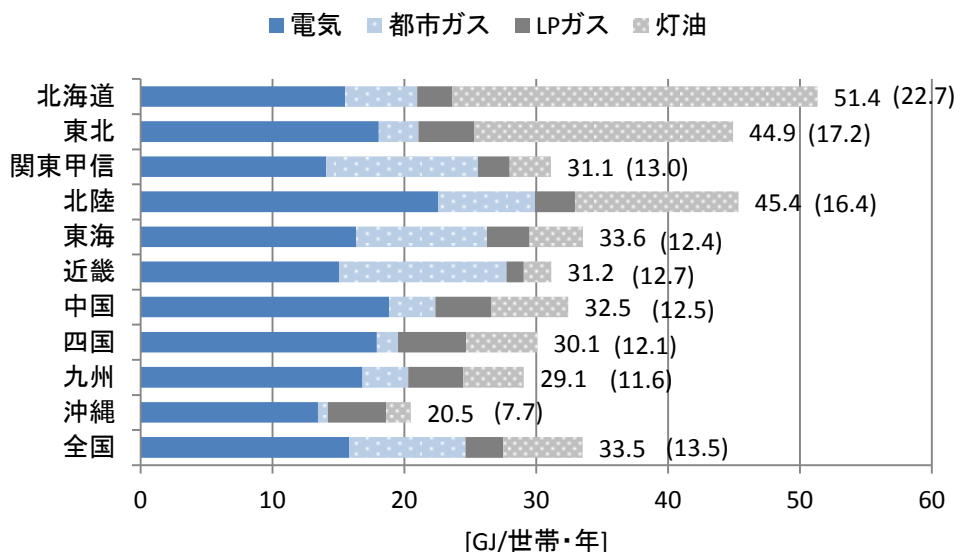


図 2-15 地方別世帯当たり年間エネルギー種別消費量

(注1) 括弧内の数値は1人当たりのエネルギー消費量を表す。

(注2) 1人当たりのエネルギー消費量は、平均の消費量を平均世帯人数で除して算出している。

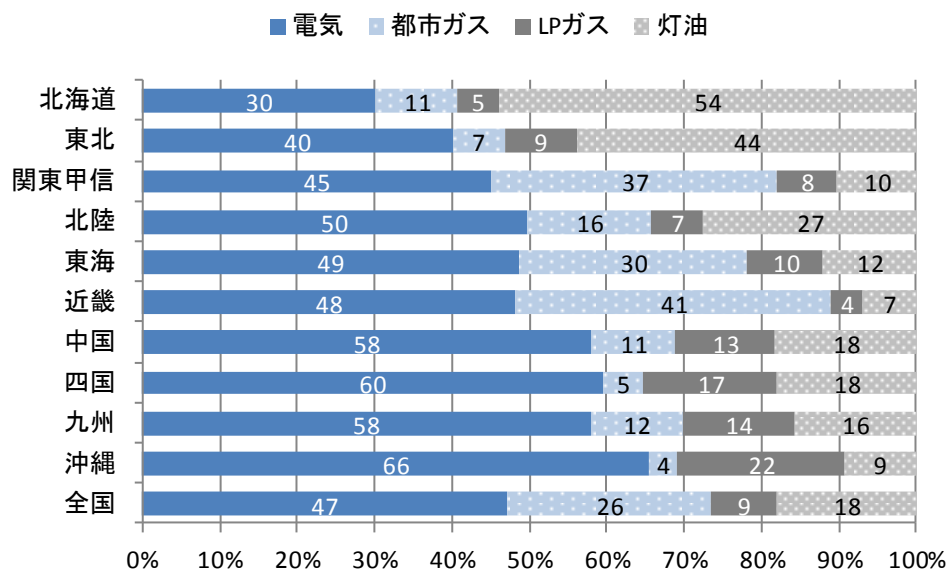


図 2-16 地方別世帯当たり年間エネルギー種別消費構成比

(2) 地方別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比

気候などの違いにより、用途別エネルギー消費量及び構成比には暖房・冷房を中心に地方間の差がみられる。

北海道では暖房が約5割を占める。関東甲信、東海及び近畿では構成比が全国に近い。四国、九州では暖房の割合がやや低く、沖縄では冷房の割合が比較的高い。

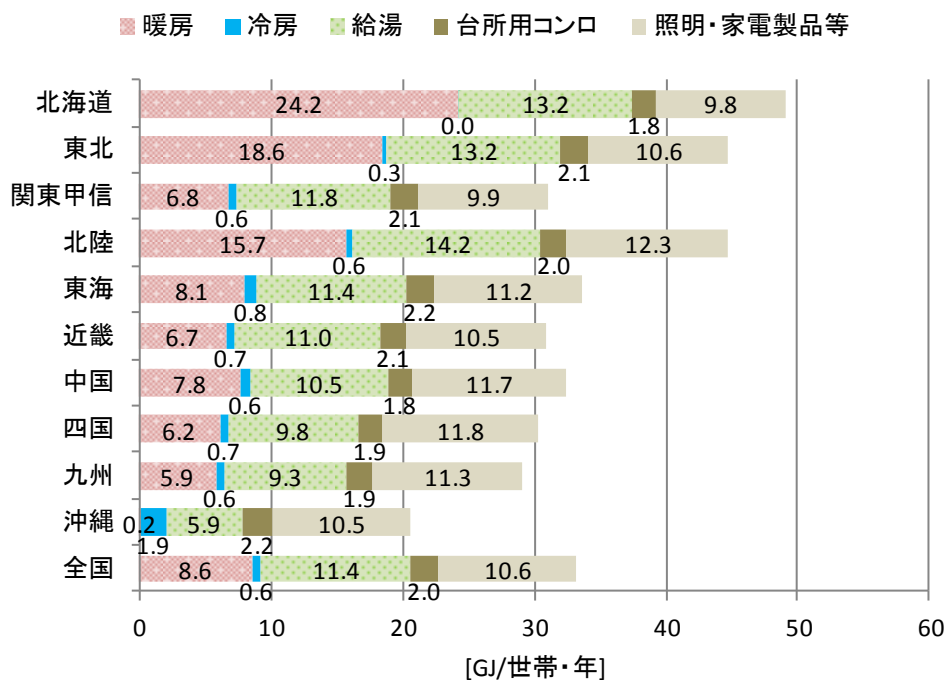


図 2-17 地方別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量

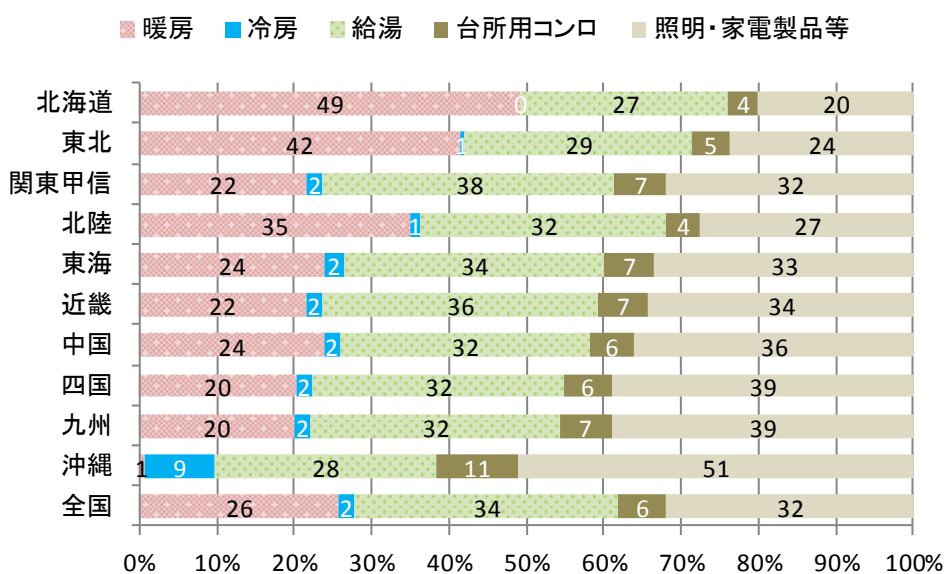


図 2-18 地方別世帯当たり年間用途別エネルギー消費構成比

(3) 都市階級別世帯当たり年間エネルギー種別消費量・構成比

都市階級別に世帯当たりの年間エネルギー消費量を比較すると、人口5万人未満の市及び町村の世帯の消費量が最も多い。戸建住宅の世帯が多く、世帯人数が多いことなどが影響していると考えられる。

都道府県庁所在市・政令指定都市の世帯では都市ガスの割合が比較的高い。

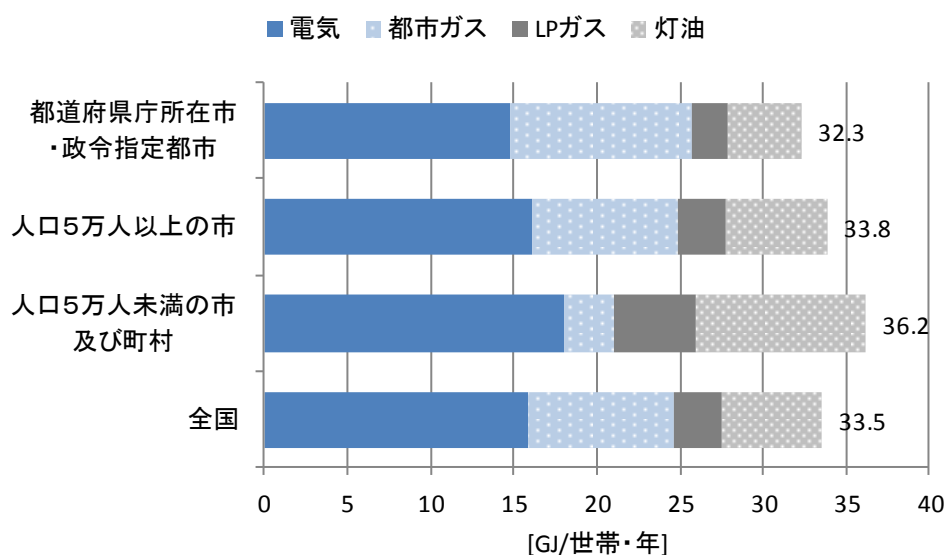


図 2-19 都市階級別世帯当たり年間エネルギー種別消費量

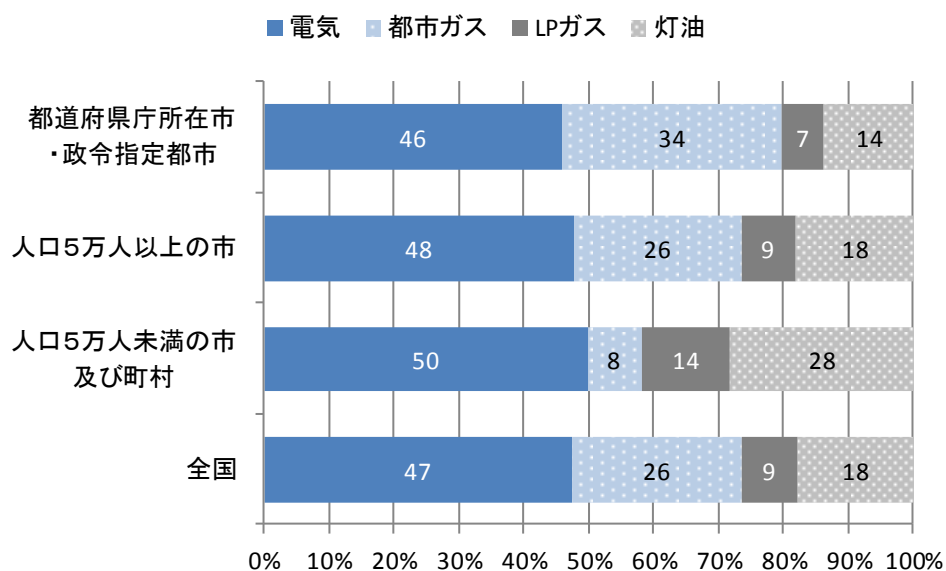


図 2-20 都市階級別世帯当たり年間エネルギー種別消費構成比

(4) 都市階級別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量・構成比

都市階級別に用途別エネルギー消費量を比較すると、戸建住宅の世帯の割合や世帯人数の差などにより、暖房と照明・家電製品等で人口5万人未満の市及び町村の世帯の消費量が最も多い。

人口5万人未満の市及び町村の世帯では、暖房の割合が比較的高く、給湯の割合が比較的低い。

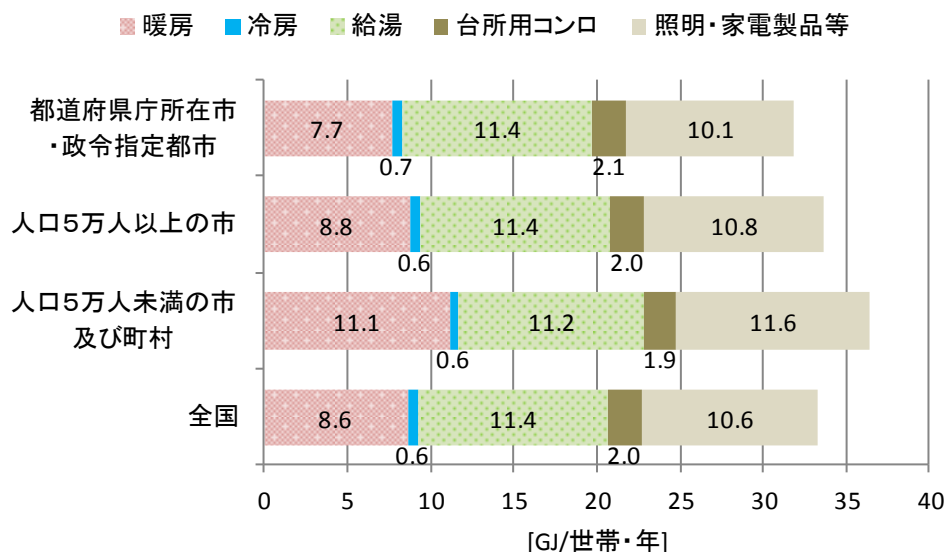


図 2-21 都市階級別世帯当たり年間用途別エネルギー消費量

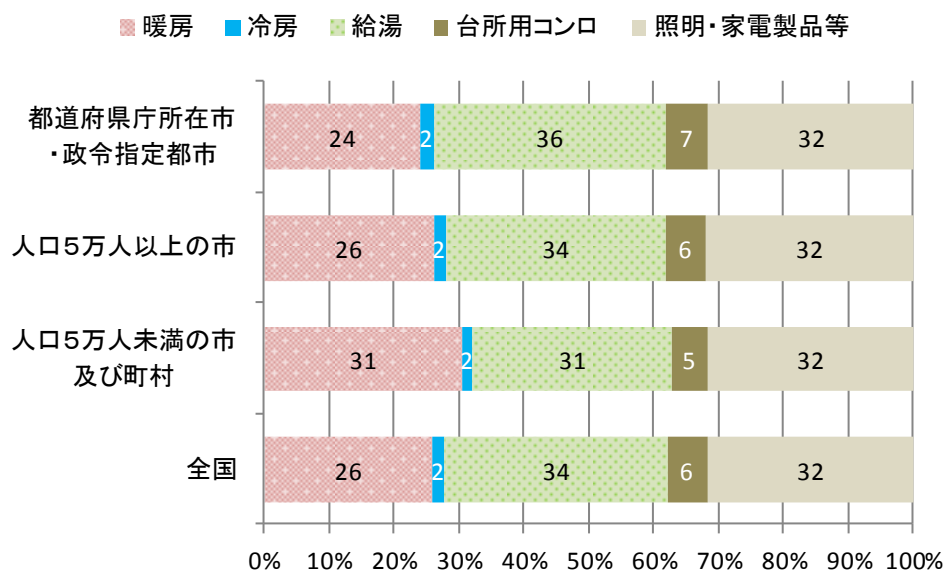


図 2-22 都市階級別世帯当たり年間用途別エネルギー消費構成比

4 支払金額

(1) 地方別世帯当たり年間エネルギー種別支払金額

地方別に世帯当たりの電気・ガス・灯油の年間合計支払金額を比較すると、北海道が最も多く、沖縄が最も少ない。

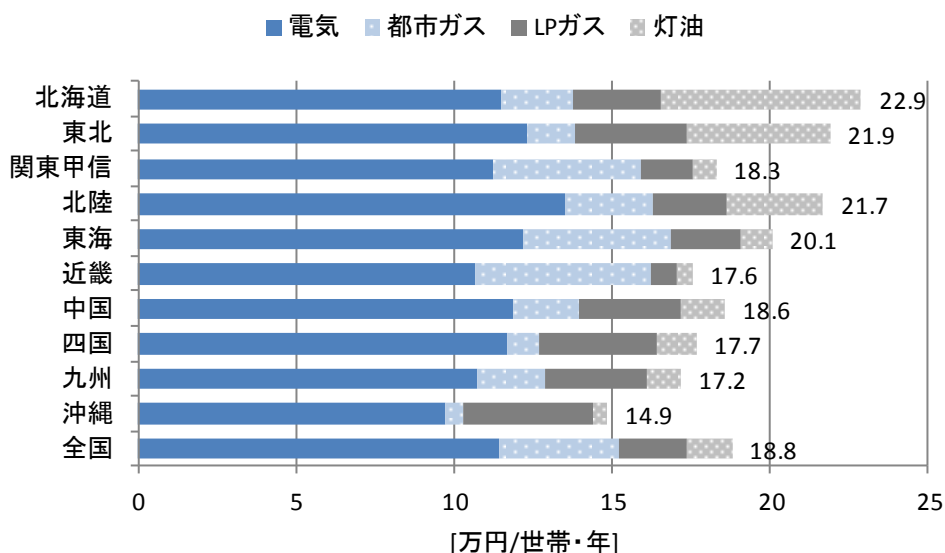


図 2-23 地方別世帯当たり年間エネルギー種別支払金額

(2) 地方別世帯当たり年間自動車用燃料種別支払金額

地方別に世帯当たりの自動車用燃料の年間合計支払金額を比較すると、北陸と東北が多く、関東甲信と近畿が少ない。

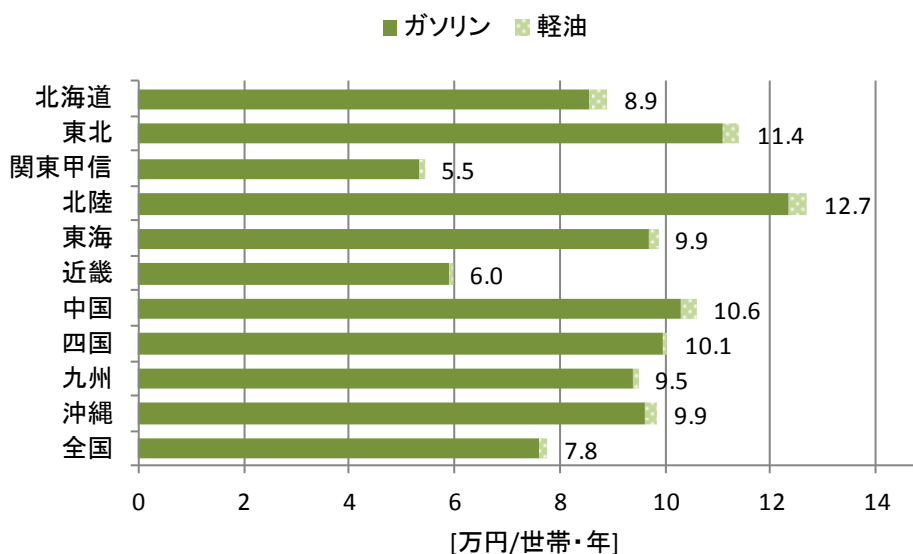


図 2-24 地方別世帯当たり年間自動車用燃料種別支払金額

5 設備・機器の使用状況

(1) 地方別給湯器・給湯システム

ガス給湯器・風呂がまは大都市圏である関東甲信、東海、近畿で使用している世帯が多く、灯油給湯器・風呂がまは寒冷地（北海道、東北、北陸）及び沖縄に多い。

電気ヒートポンプ式給湯機は北陸、四国で2割超の世帯が使用しており、電気温水器は北海道、北陸、中国、四国、九州で1割超の世帯が使用している。なお、北海道、沖縄では電気ヒートポンプ式給湯機より電気温水器を使用している世帯が多い。

太陽熱温水器は中国、四国、九州で3～4%普及している。

表 2-1 地方別給湯器・給湯システム

	[% (複数回答)]						
	電気ヒートポンプ式給湯機 (エコキュートなど)	電気温水器	ガス給湯器・風呂がま	ガス小型瞬間湯沸器 (台所等で専用のもの)	灯油給湯器・風呂がま	太陽熱温水器(タンクと集熱部が一体となっているもの)	太陽熱利用給湯システム(タンクと集熱部が分かれているもの)
北海道	3	12	41	4	44	0	0
東北	15	9	44	9	33	0	0
関東甲信	9	4	83	8	4	1	0
北陸	21	12	52	7	16	0	0
東海	15	6	75	6	4	2	0
近畿	11	7	79	10	2	1	0
中国	19	16	56	5	11	3	1
四国	21	13	51	5	14	4	2
九州	17	13	60	5	10	4	1
沖縄	5	8	66	2	20	1	0
全国	12	8	71	7	10	1	0

(2) 地方別 LED 照明の使用状況

地方別に LED 照明の使用状況をみると、沖縄では LED 照明を使用している世帯が少ない。

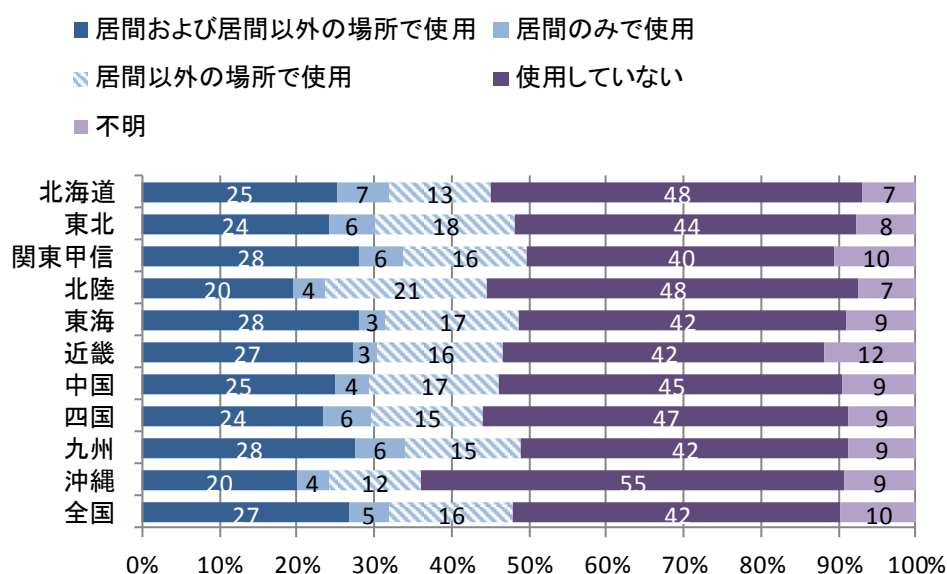


図 2-25 地方別 LED 照明の使用状況

(3) 地方別冷蔵庫の製造時期（1 台目）

北海道では 2 割超の世帯が 2000 年以前の冷蔵庫（1 台目※）を使用しており、他の地方に比べ割合がやや高い。

※複数台使用している世帯の場合は、最も内容積の大きい冷蔵庫をいう。

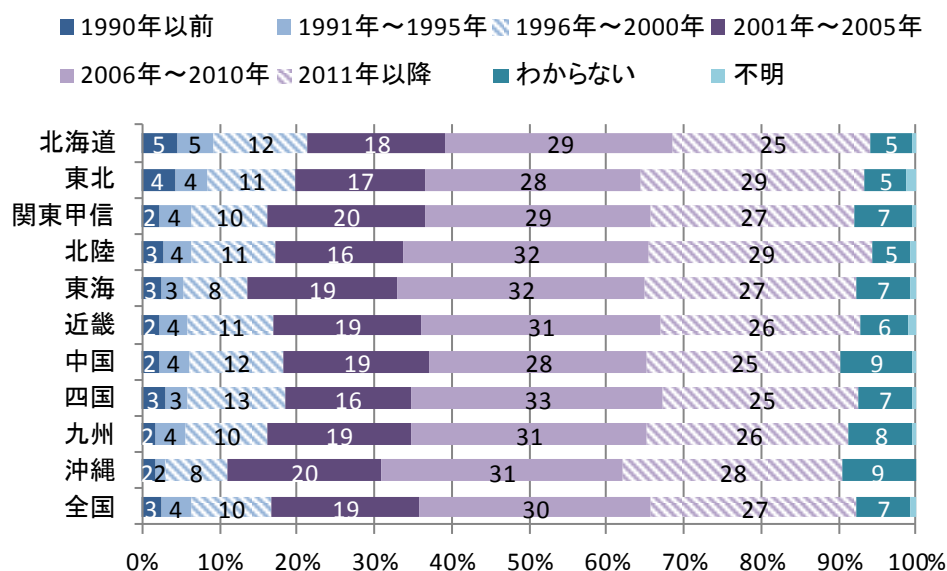


図 2-26 地方別冷蔵庫の製造時期（1 台目）

(4) 地方別冷蔵庫の使用台数

東北、北陸、中国、四国では、2割以上の世帯が冷蔵庫を2台以上使用しており、他の地方に比べ割合が高い。

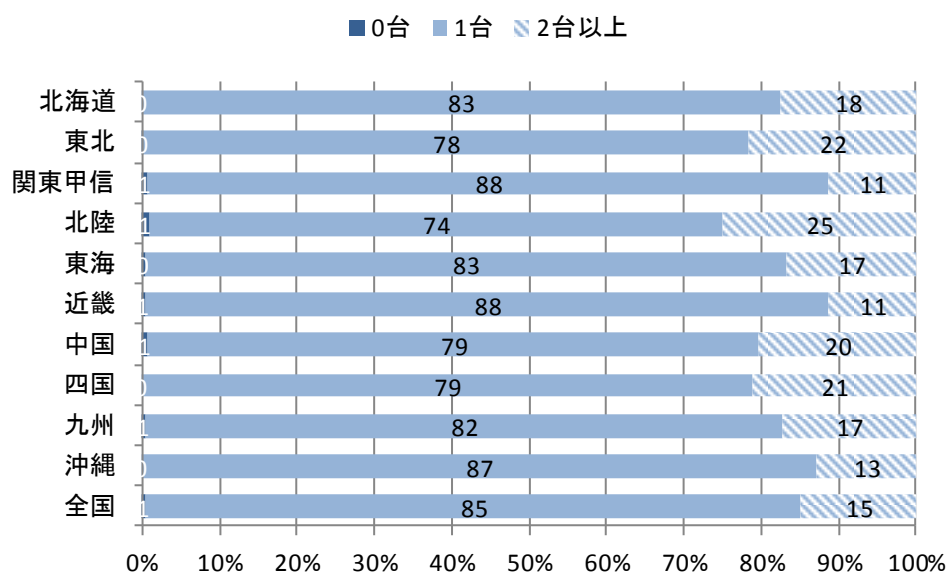


図 2-27 地方別冷蔵庫の使用台数

(5) 地方別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無

北海道は二重サッシまたは複層ガラスの窓がある世帯が約9割と他の地方に比べ高い。次いで東北、北陸が高く、南に行くにつれて普及率が下がる傾向がみられる。

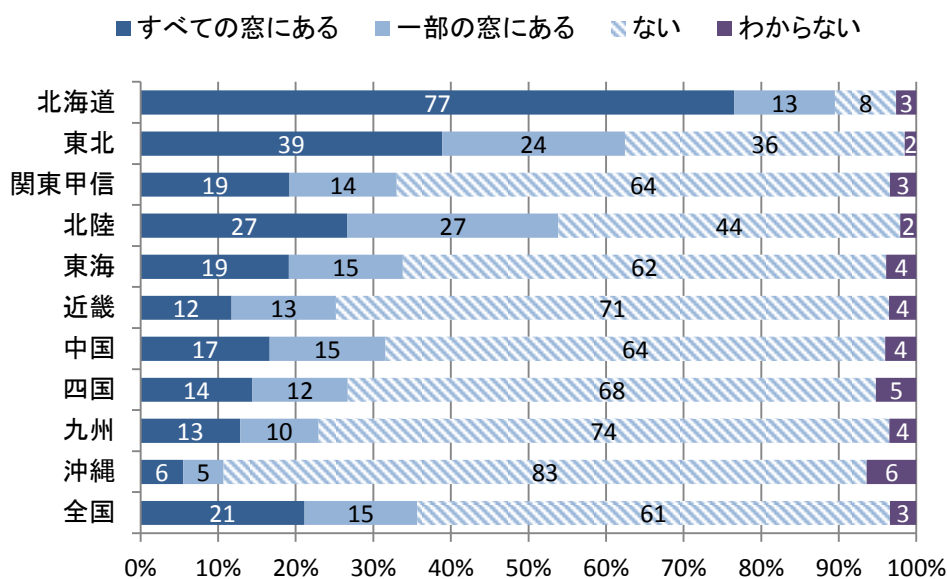


図 2-28 地方別二重サッシまたは複層ガラスの窓の有無

(6) 地方別自動車の実際の燃費（1台目）

地方別にみると、四国では29%の世帯が実燃費が15km/L以上の自動車(1台目※)を使用している。

※複数台使用している世帯の場合は、1台目に回答した自動車をいう。

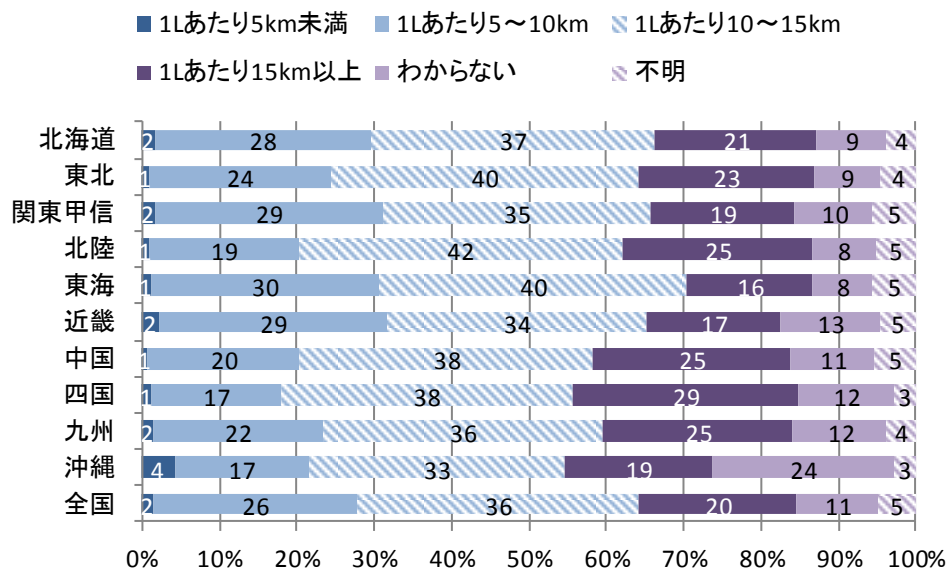


図 2-29 地方別自動車の実際の燃費（1台目）

(7) 都市階級別自動車の実際の燃費（1台目）

人口5万人未満の市及び町村に住む世帯では、実燃費が15km/L以上の自動車を使用している世帯が多く、他の都市階級に比べ6~7ポイント高い。

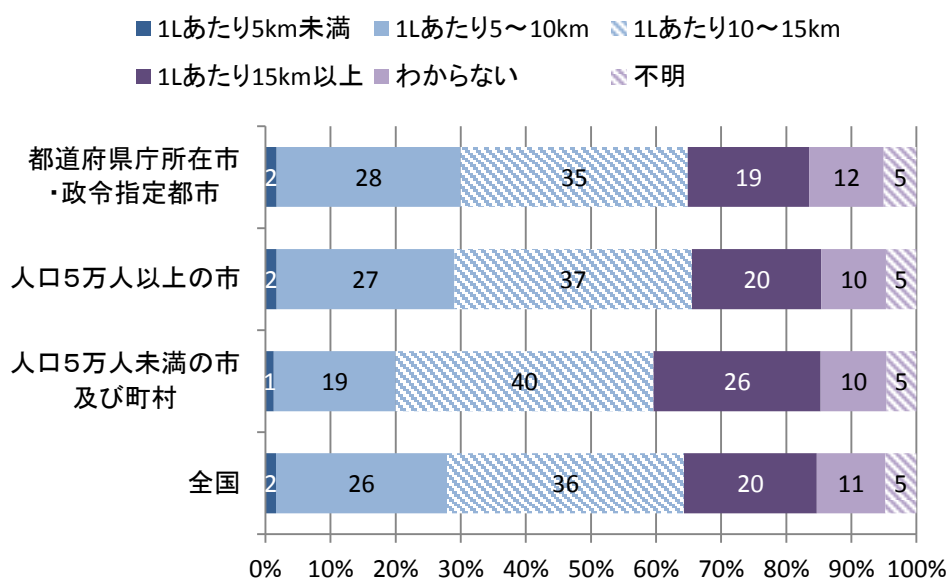


図 2-30 都市階級別自動車の実際の燃費（1台目）

(8) 地方別太陽光発電システムの使用率

戸建住宅に限定し、地方別の太陽光発電システムの使用率をみると、九州、東海では、15%以上の世帯が太陽光発電システムを使用しており、他の地方に比べやや高い。一方、北海道、北陸は他の地方に比べ太陽光発電システムの使用率が低い。

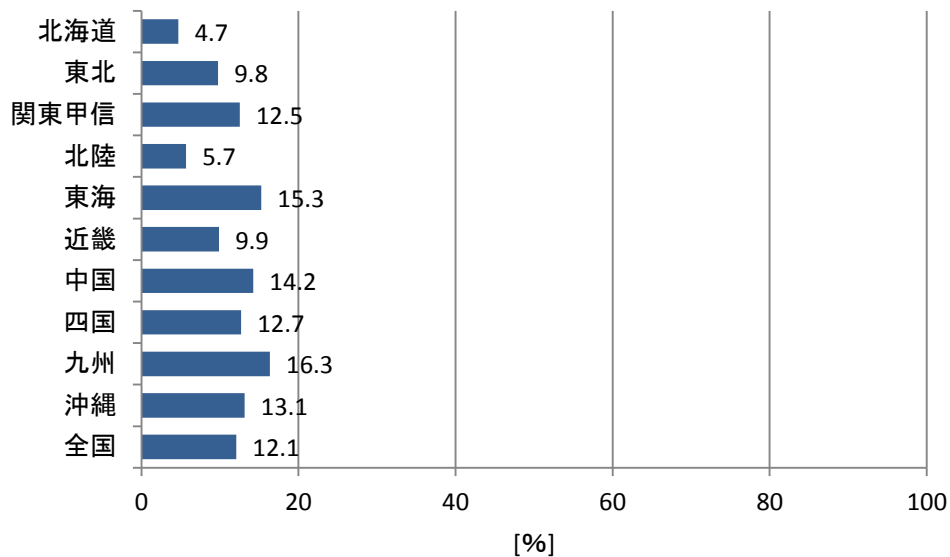


図 2-31 地方別太陽光発電システムの使用率（戸建）

Ⅲ 機器の使用状況別の主要結果

(1) 建て方別エアコン以外の家電製品の使用台数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

家電製品（エアコン以外）の使用台数別に世帯当たりの年間用途別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯、集合住宅の世帯のいずれも家電製品の使用台数が多い世帯ほど照明・家電製品等の排出量が多い。

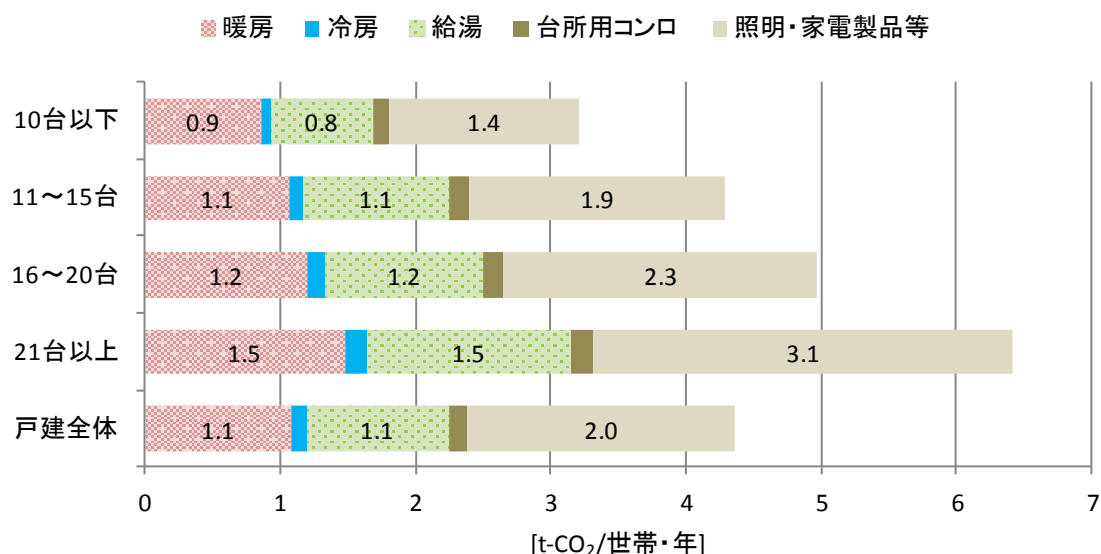


図 3-1 建て方別エアコン以外の家電製品の使用台数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（戸建）

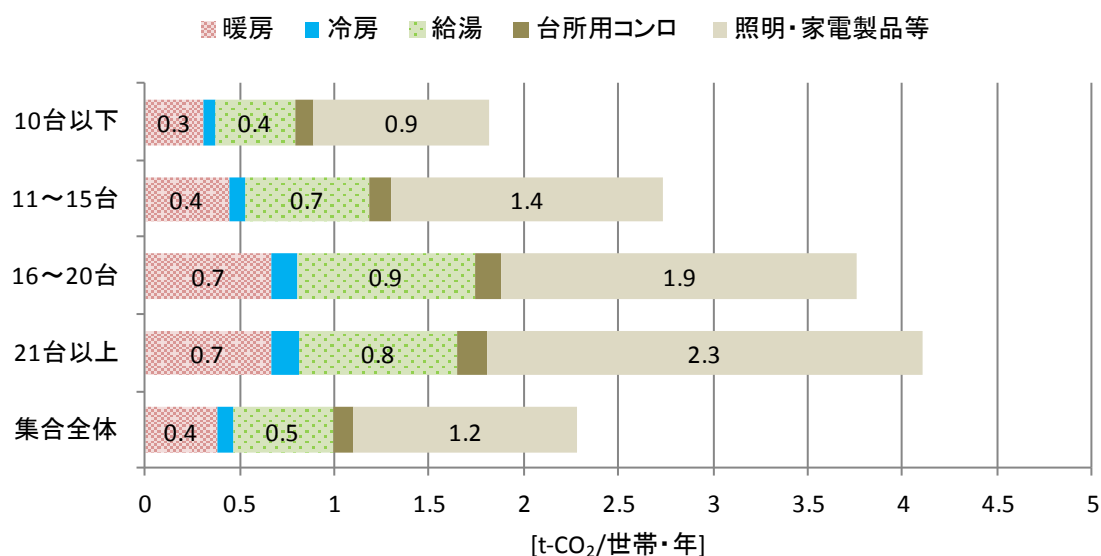


図 3-2 建て方別エアコン以外の家電製品の使用台数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（集合）

(2) 建て方別テレビの使用台数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

テレビの使用台数別に世帯当たりの年間用途別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯、集合住宅の世帯のいずれも使用台数が多い世帯ほど照明・家電製品等の排出量が多い。

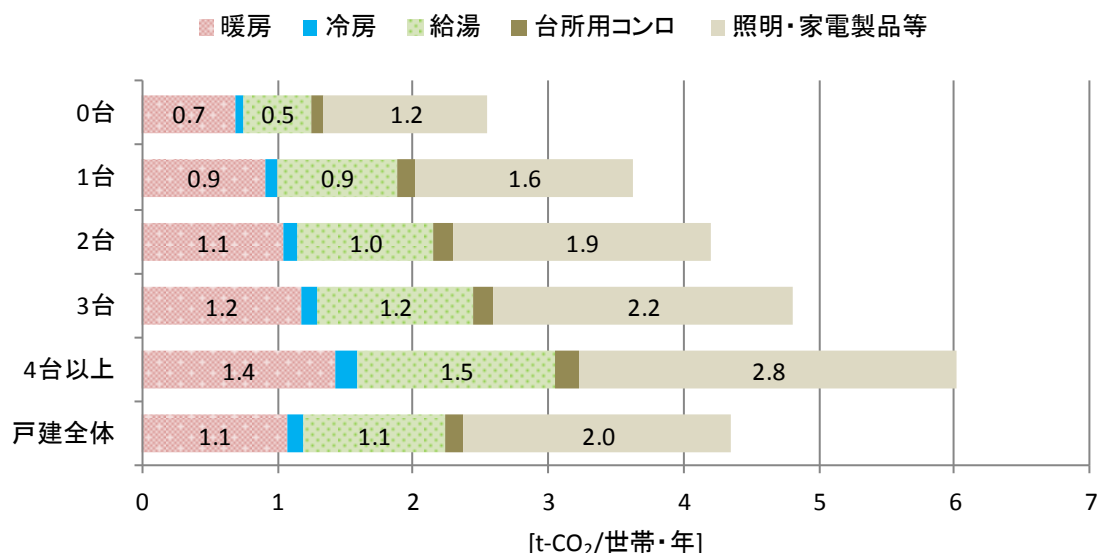


図 3-3 建て方別テレビの使用台数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（戸建）

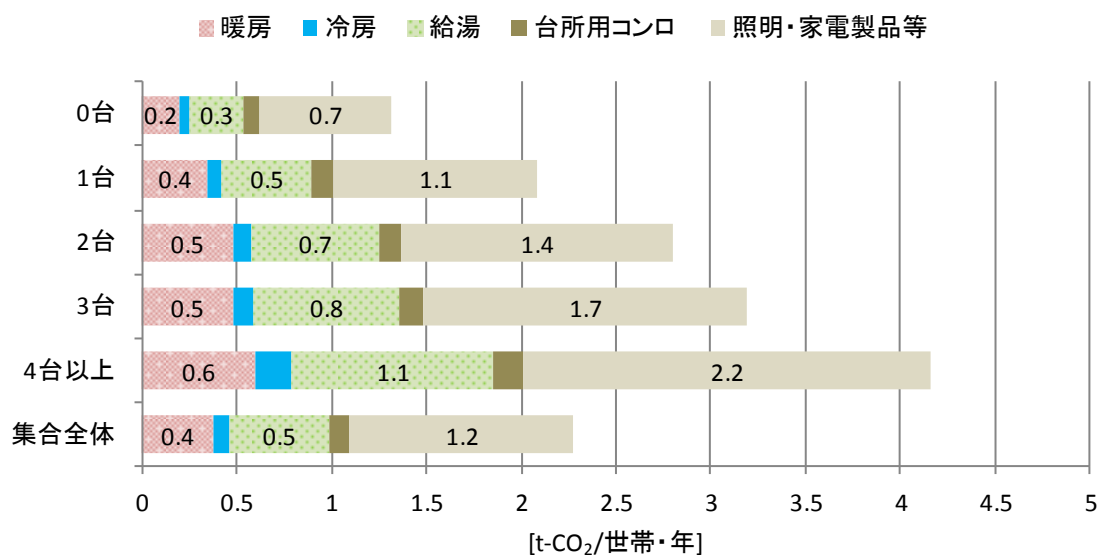


図 3-4 建て方別テレビの使用台数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（集合）

(3) 建て方別平日のテレビの使用時間（1台目）別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

テレビの使用時間（平日、1台目）別に世帯当たりの年間用途別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯、集合住宅の世帯のいずれも、8時間～12時間未満まで、使用時間が長い世帯ほど照明・家電製品等の排出量が多い。

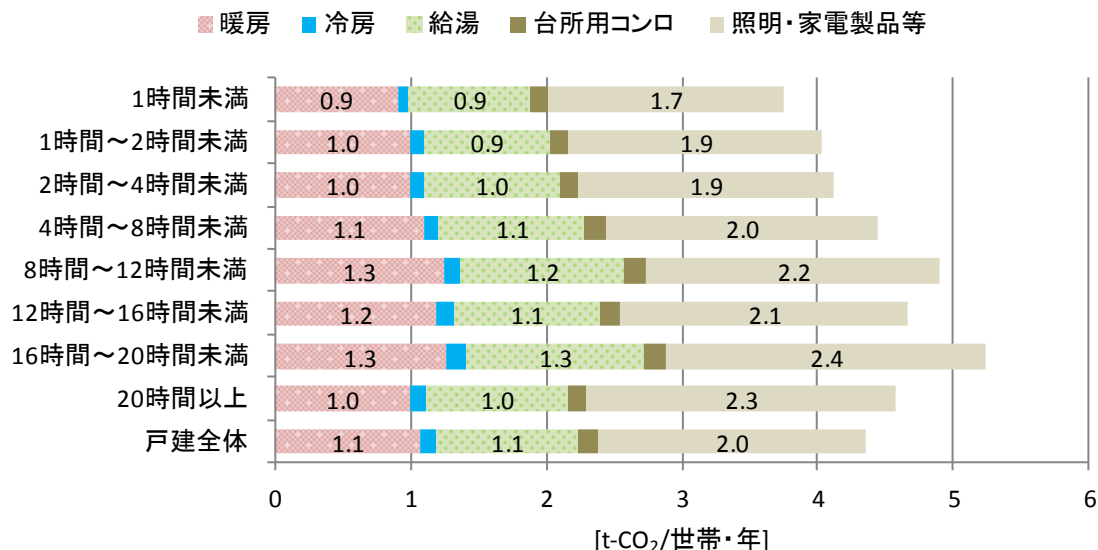


図 3-5 建て方別平日のテレビの使用時間（1台目）別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（戸建）

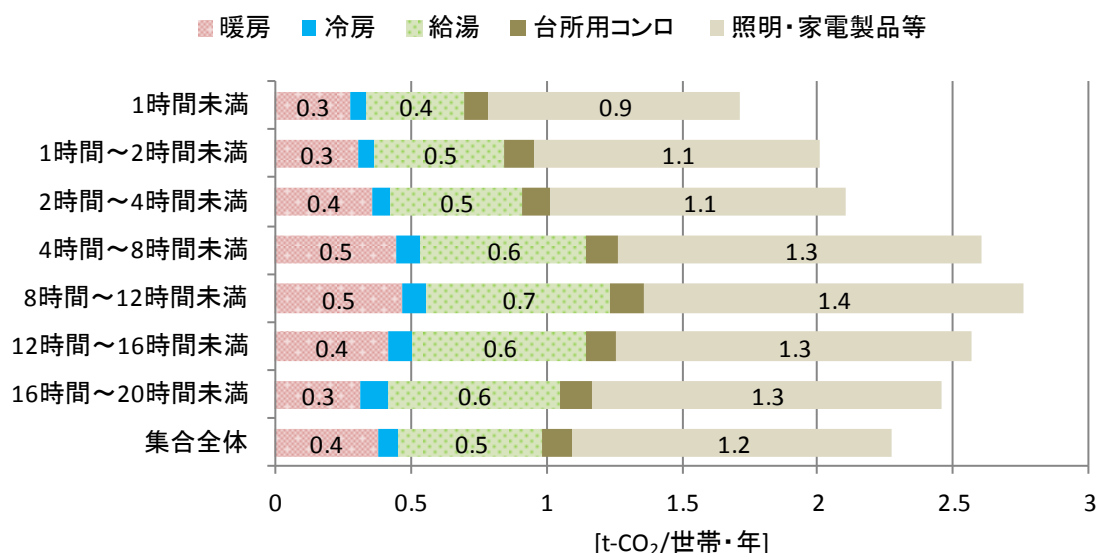


図 3-6 建て方別平日のテレビの使用時間（1台目）別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（集合）

(注) 20時間以上は集計世帯数が10未満のため表示していない。

(4) 建て方別冷蔵庫の使用台数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

冷蔵庫の使用台数別に世帯当たりの年間用途別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯、集合住宅の世帯のいずれも、使用台数が1台の世帯より2台以上の世帯の方が照明・家電製品等の排出量が多い。

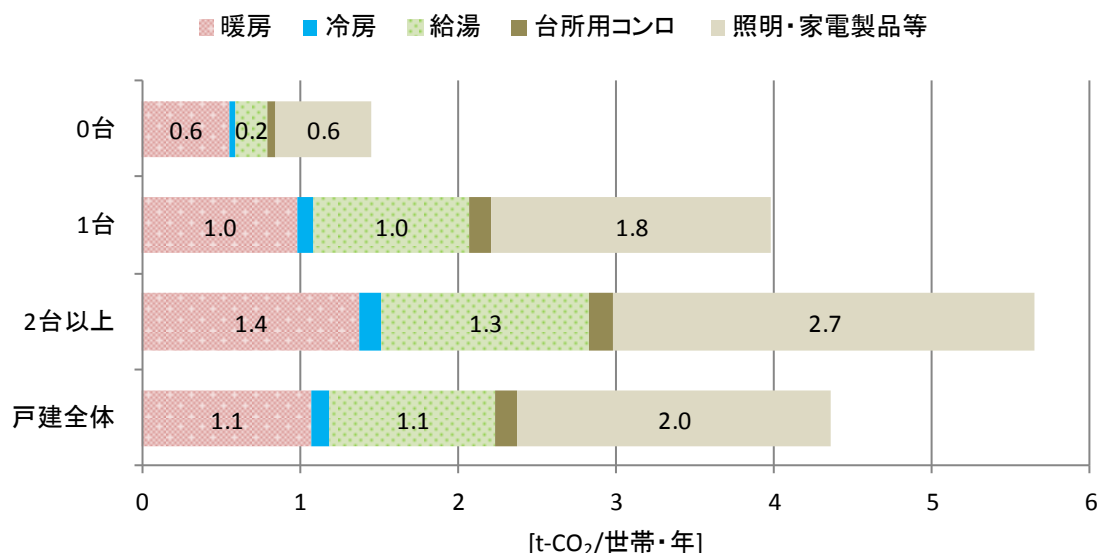


図 3-7 建て方別冷蔵庫の使用台数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（戸建）

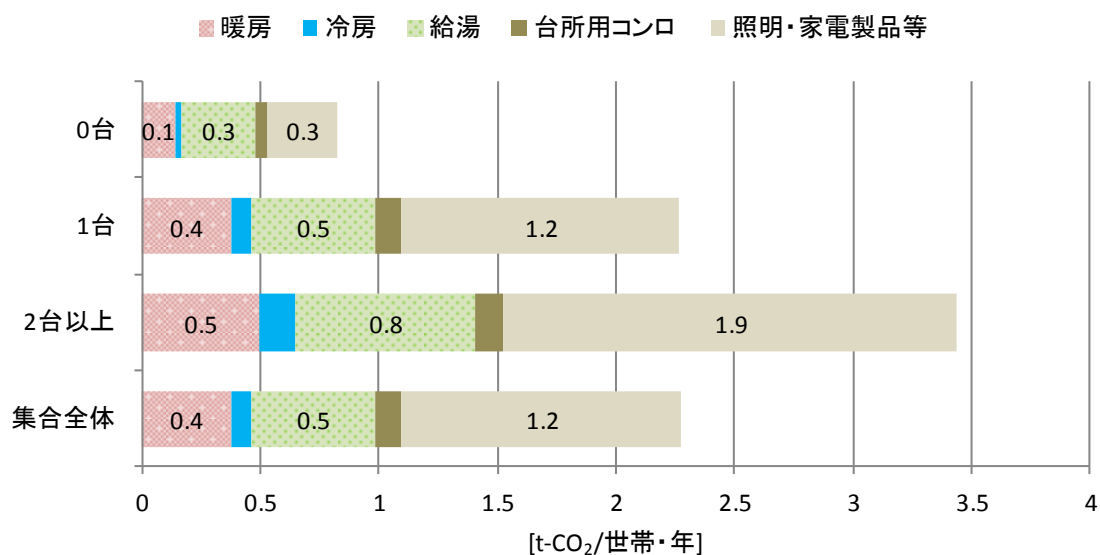


図 3-8 建て方別冷蔵庫の使用台数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（集合）

(5) 建て方別エアコンの使用台数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

エアコンの使用台数別に世帯当たりの年間用途別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯、集合住宅の世帯のいずれも、使用台数が多い世帯ほど冷房の排出量が多い。

エアコンの使用台数が 0 台の世帯には北海道などの寒冷地の世帯が多く含まれているため、暖房の排出量が多い。

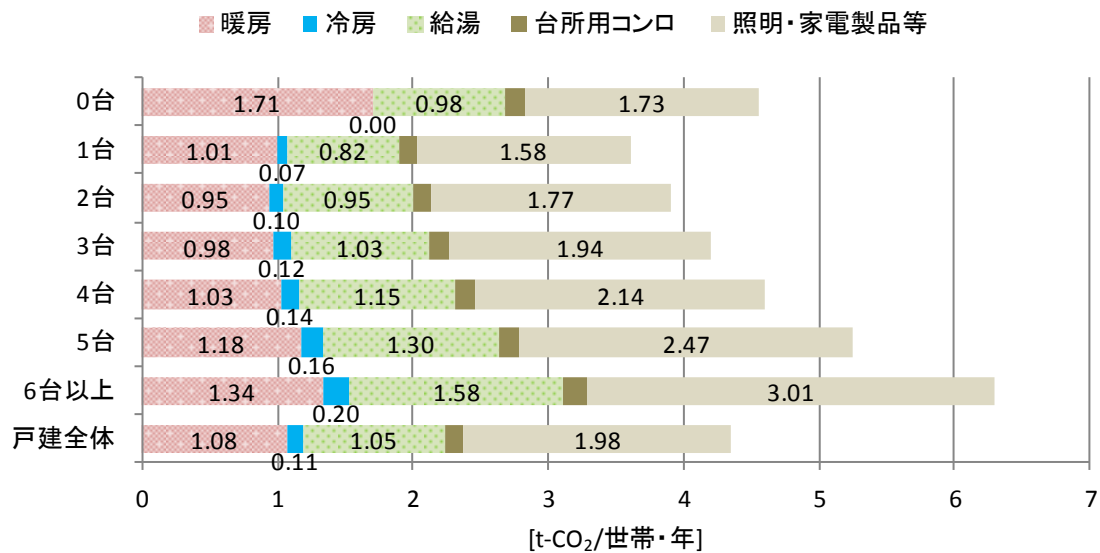


図 3-9 建て方別エアコンの使用台数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（戸建）

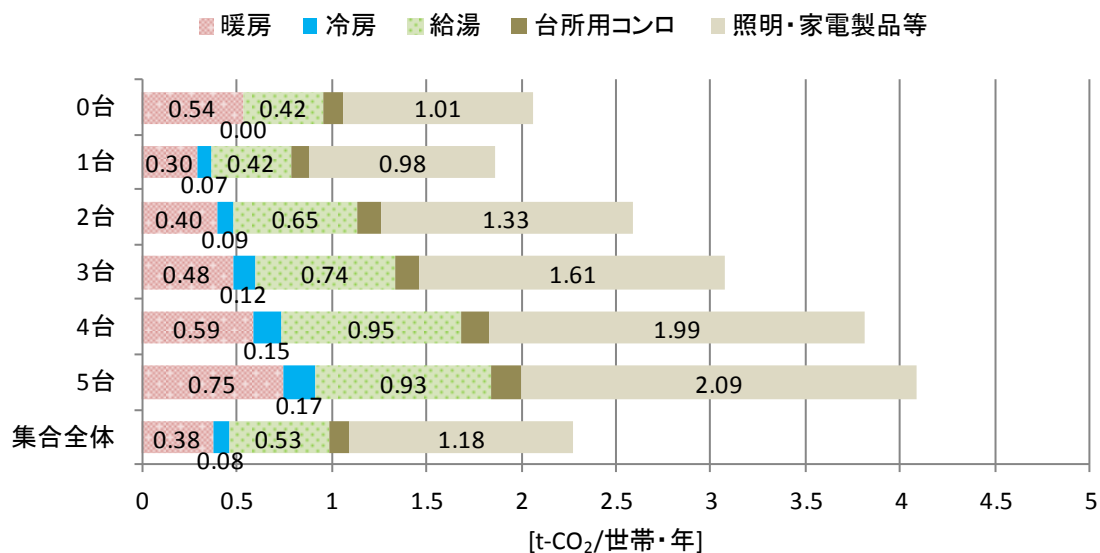


図 3-10 建て方別エアコンの使用台数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（集合）

(注) 6 台以上は集計世帯数が 10 未満のため表示していない。

(6) 建て方別暑い時期の平日のエアコン使用時間（1台目）別世帯当たり年間用途別CO₂排出量

エアコンの使用時間（暑い時期の平日、1台目）別に世帯当たりの年間用途別CO₂排出量を比較すると、集合住宅の世帯の24時間を除き、使用時間が長い世帯ほど冷房の排出量が多い。

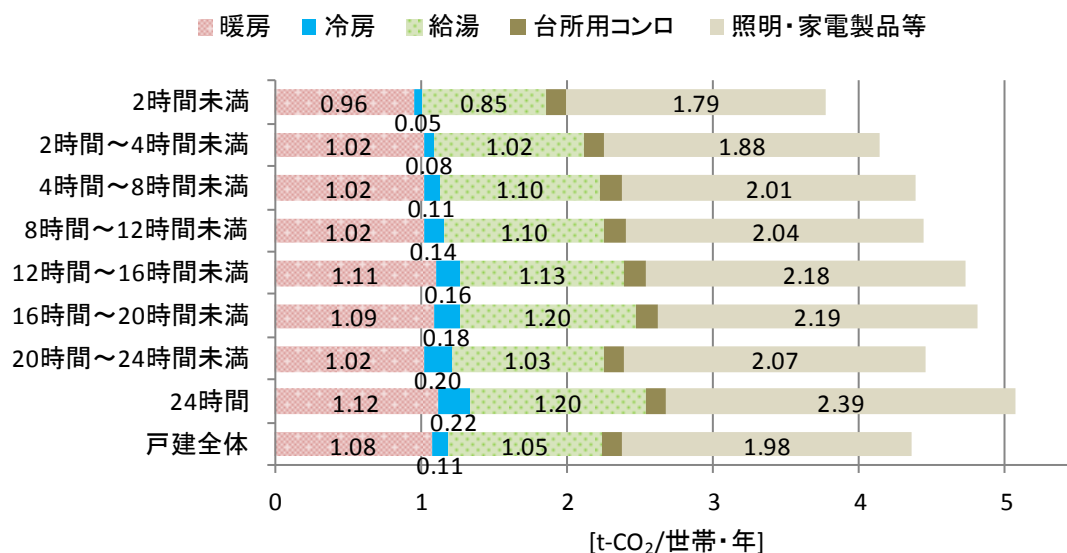


図 3-11 建て方別暑い時期の平日のエアコン使用時間（1台目）別世帯当たり年間用途別CO₂排出量（戸建）

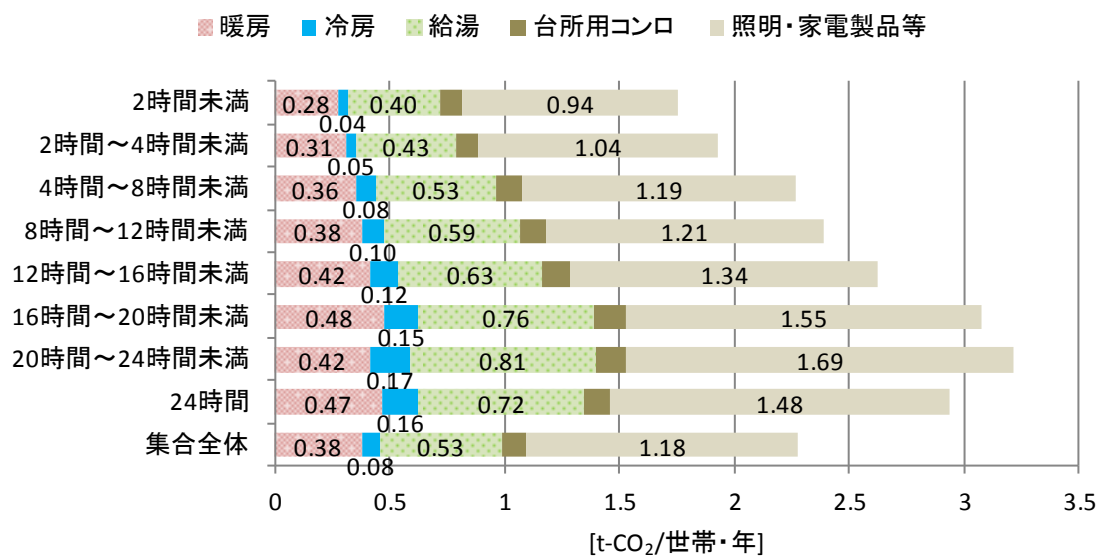


図 3-12 建て方別暑い時期の平日のエアコン使用時間（1台目）別世帯当たり年間用途別CO₂排出量（集合）

(7) 建て方別最もよく使う暖房機器別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

最もよく使う暖房機器別に世帯当たりの年間用途別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯、集合住宅の世帯のいずれも電気蓄熱暖房器やセントラル暖房システムを使用している世帯の暖房の排出量が多い。いずれの機器も北海道などの寒冷地で主に使用されていることも排出量が多い原因である。

戸建住宅の世帯では、木質系燃料のストーブ類（まきストーブ、ペレットストーブなど）を使用している世帯の暖房の排出量が少ない。

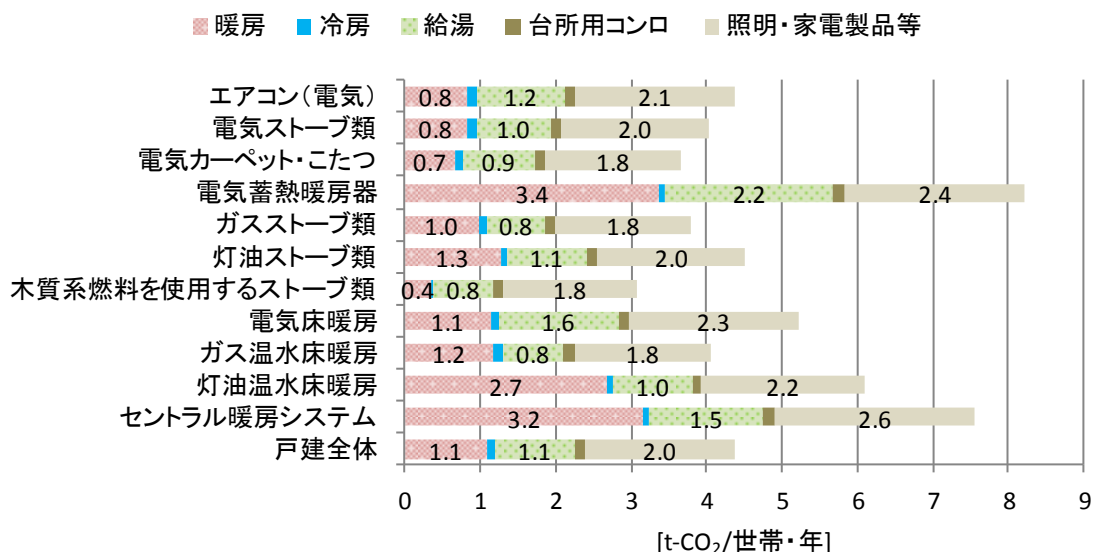


図 3-13 建て方別最もよく使う暖房機器別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（戸建）

(注) 太陽熱利用暖房システムは集計世帯数が 10 未満のため表示していない。

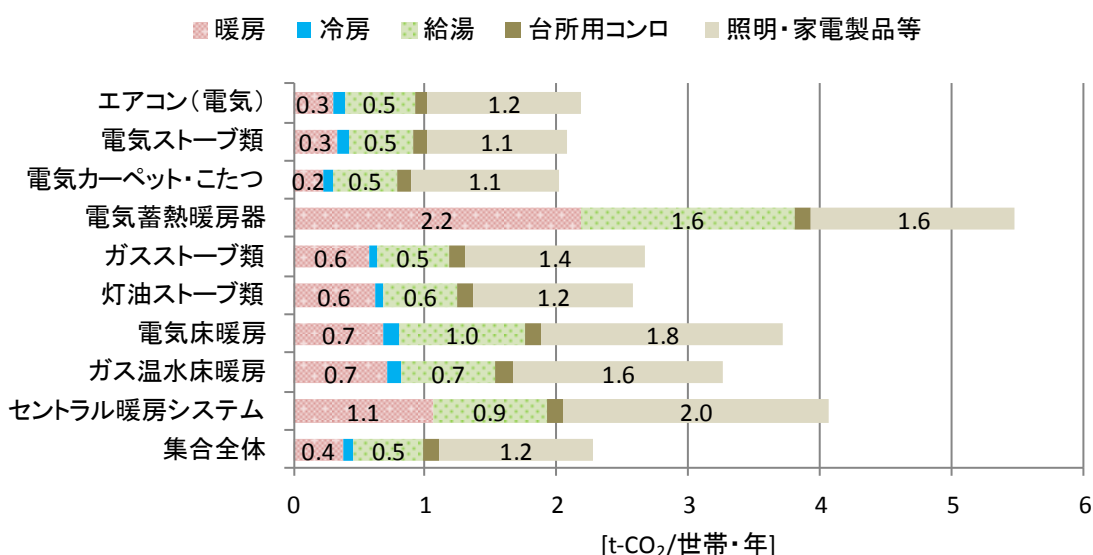


図 3-14 建て方別最もよく使う暖房機器別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（集合）

(注) 集計世帯数が 10 未満の機器は表示していない。

(8) 建て方別最もよく使う暖房機器の冬の平日の使用時間別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

最もよく使う暖房機器の使用時間（冬の平日）別に世帯当たりの年間用途別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯では使用時間が長い世帯ほど暖房の排出量が多い。集合住宅の世帯では16時間～20時間未満の世帯まで同様の傾向がみられる。

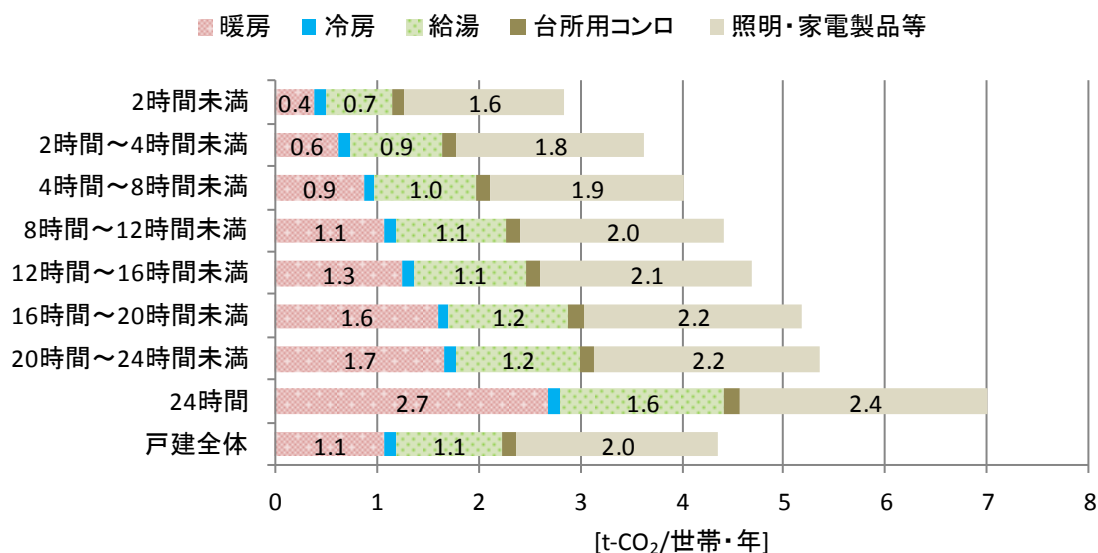


図 3-15 建て方別最もよく使う暖房機器の冬の平日の使用時間別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（戸建）

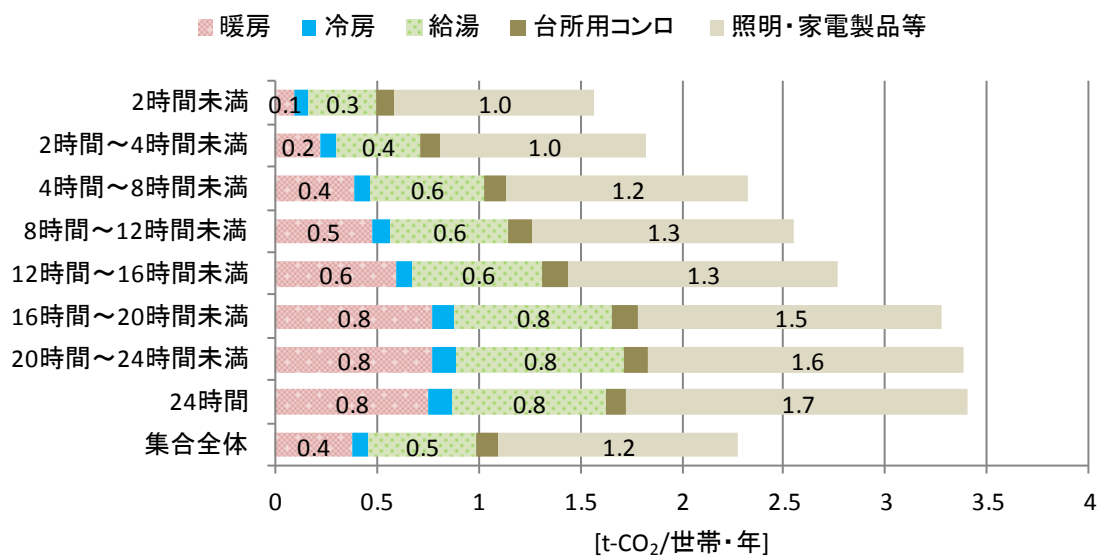


図 3-16 建て方別最もよく使う暖房機器の冬の平日の使用時間別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（集合）

(9) 建て方別暖房室数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

暖房室数（暖房を行う居室の数）別に世帯当たりの年間用途別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯、集合住宅の世帯のいずれも、暖房室数が多い世帯ほど暖房の排出量が多い。

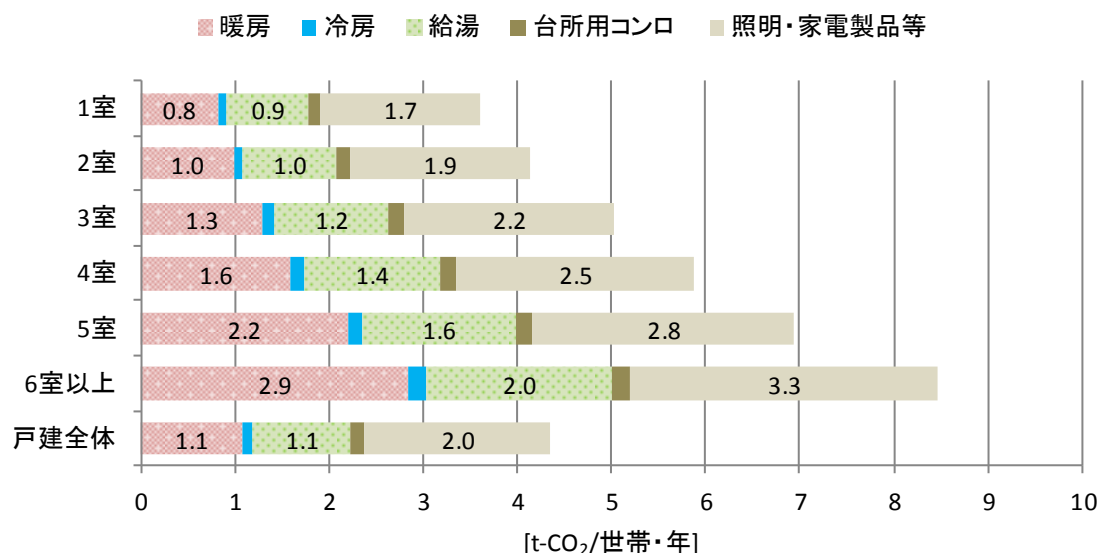


図 3-17 建て方別暖房室数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（戸建）

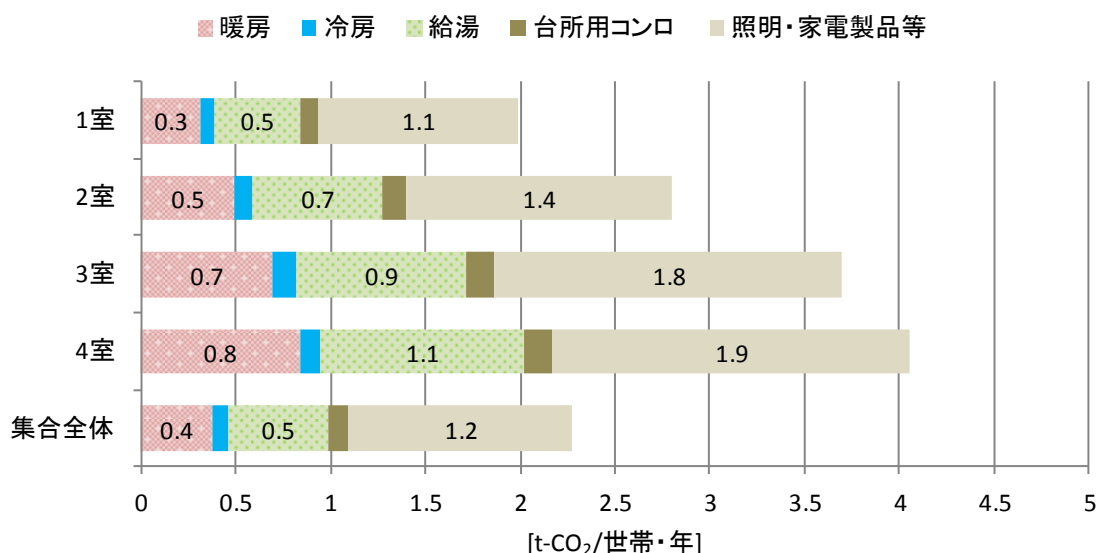


図 3-18 建て方別暖房室数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（集合）

(注) 5室、6室以上は集計世帯数が10未満のため表示していない。

(10) 建て方別 LED 照明の使用状況別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

LED 照明の使用状況別に世帯当たりの年間用途別 CO₂ 排出量を比較すると、使用している世帯と使用していない世帯の間で、照明・家電製品等の排出量にほとんど差がみられない。排出量に影響する他の要因が LED 照明の効果を相殺している可能性が考えられる。

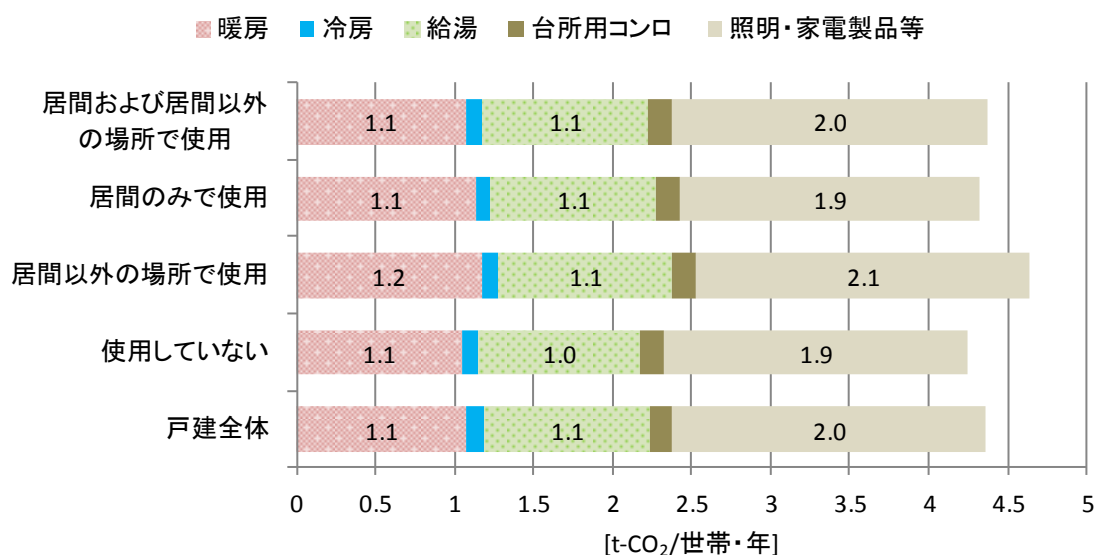


図 3-19 建て方別 LED 照明の使用状況別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量 (戸建)

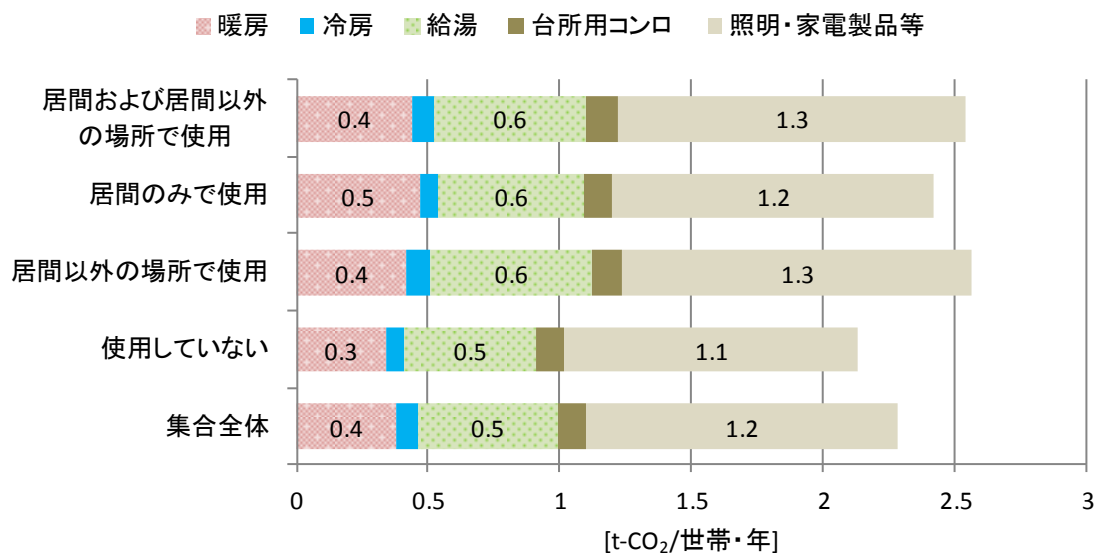


図 3-20 建て方別 LED 照明の使用状況別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量 (集合)

(11) 建て方別冬季の入浴日数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量

冬季の入浴日数別に世帯当たりの年間用途別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯、集合住宅の世帯のいずれも、入浴日数が多い世帯ほど給湯の排出量が多い。

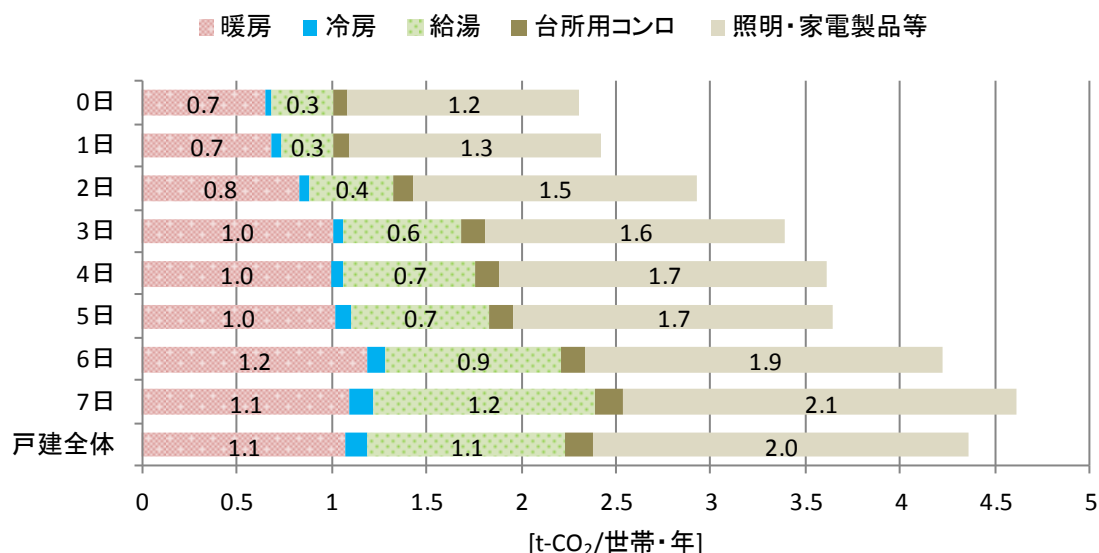


図 3-21 建て方別冬季の入浴日数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（戸建）

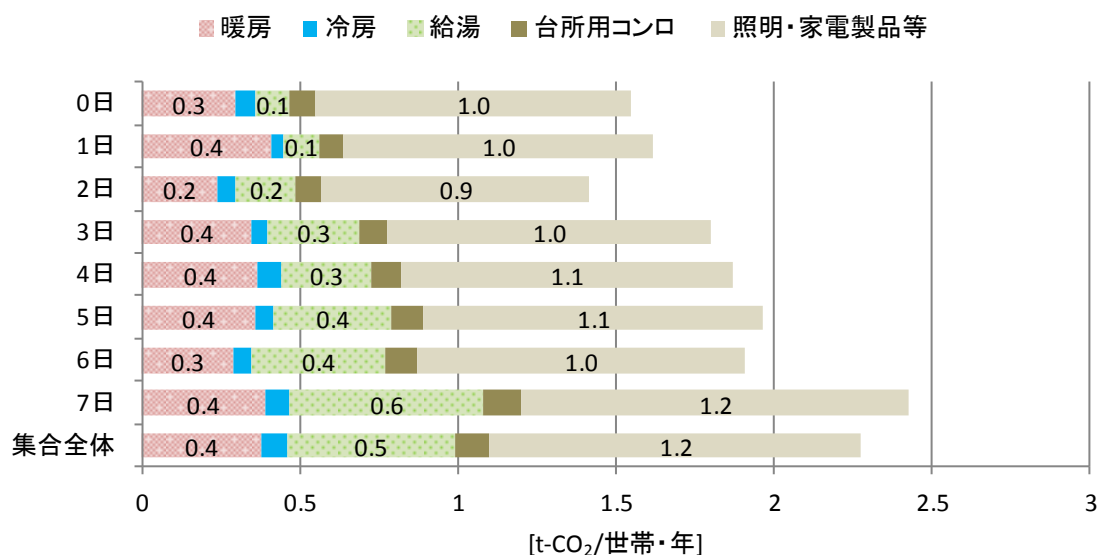


図 3-22 建て方別冬季の入浴日数別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量（集合）

(12) 建て方別省エネルギー行動実施率別世帯当たり年間エネルギー種別CO₂排出量

省エネルギー行動（18項目）の実施状況をみると、行動ごとの実施状況にはかなりの差がみられる。

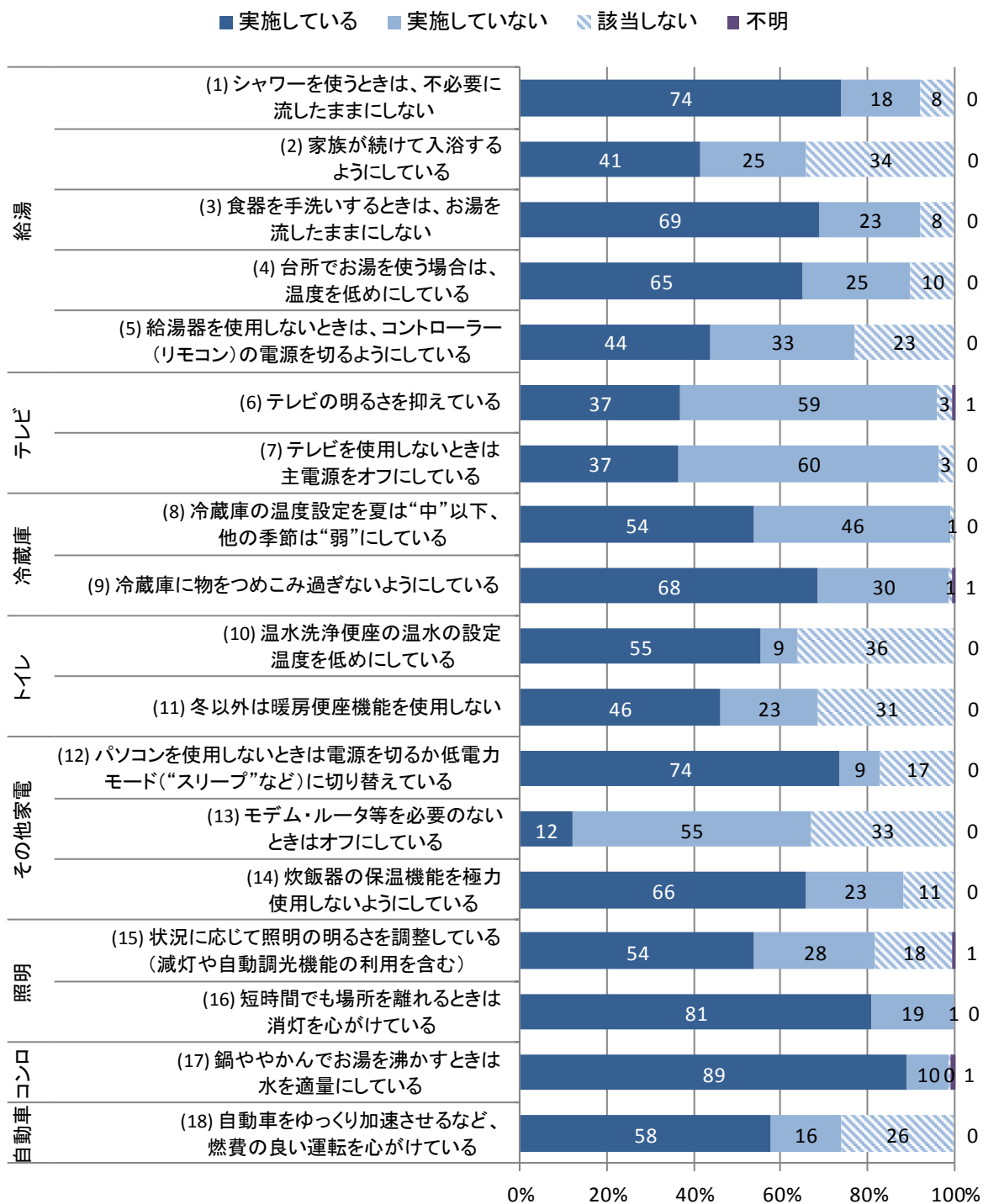


図 3-23 省エネルギー行動実施状況

省エネルギー行動実施率（※）別に世帯当たりの年間エネルギー種別 CO₂ 排出量を比較すると、戸建住宅の世帯では実施率が高い世帯ほど排出量が少ない。集合住宅の世帯では、実施率が 20%以下の世帯を除き、実施率が高い世帯ほど排出量が少ない。省エネルギー行動の実施率が「80%より大きく 100%以下」の世帯は、全体の平均よりも約 10～15%CO₂ 排出量が少なく、省エネルギー行動による削減可能性がみとめられる。

※省エネルギー行動 18 項目のうち「該当しない」及び不明を除く項目数に対する実施数の割合。

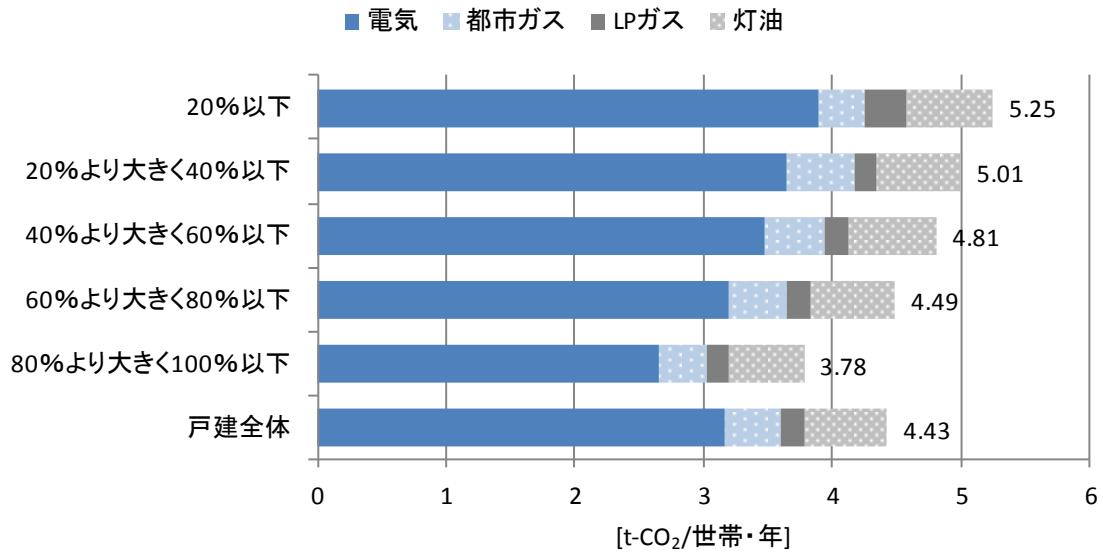


図 3-24 建て方別省エネルギー行動実施率別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量（戸建）

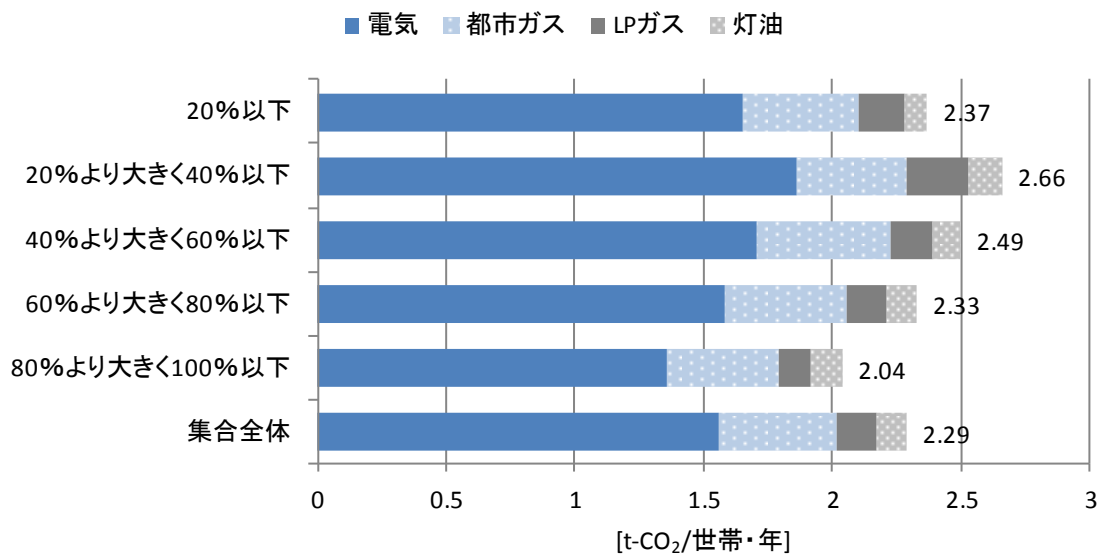


図 3-25 建て方別省エネルギー行動実施率別世帯当たり年間エネルギー種別 CO₂ 排出量（集合）

年間世帯収入によらず省エネルギー行動実施率「60%より大きく 80%以下」の世帯が最も多い。また、年間世帯収入が高いほど実施率「80%より大きく 100%以下」の世帯が少ない。

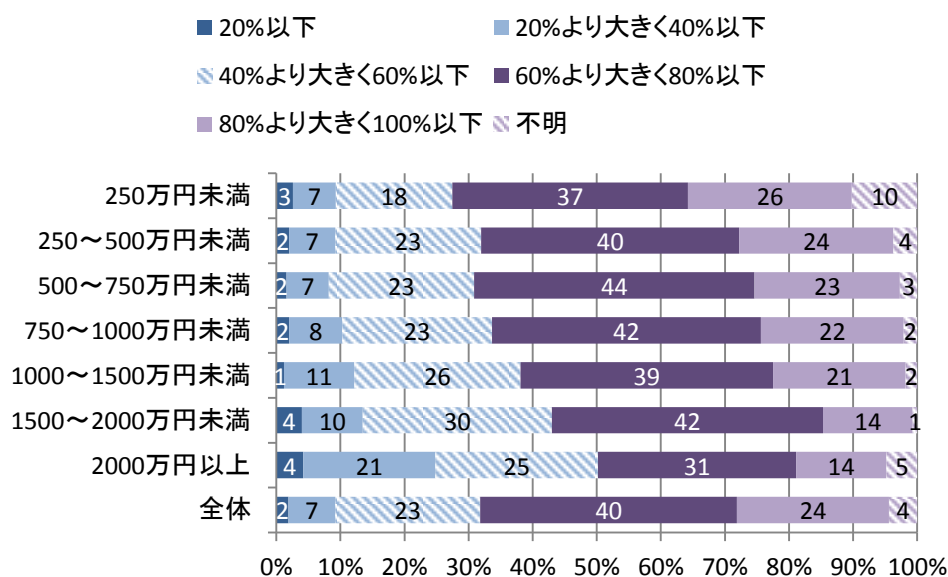


図 3-26 年間世帯収入別省エネルギー行動実施率

世帯主年齢によらず省エネルギー行動実施率「60%より大きく 80%以下」の世帯が最も多い。実施率「80%より大きく 100%以下」の世帯は、年齢が高いほど多くなる傾向がみられる。

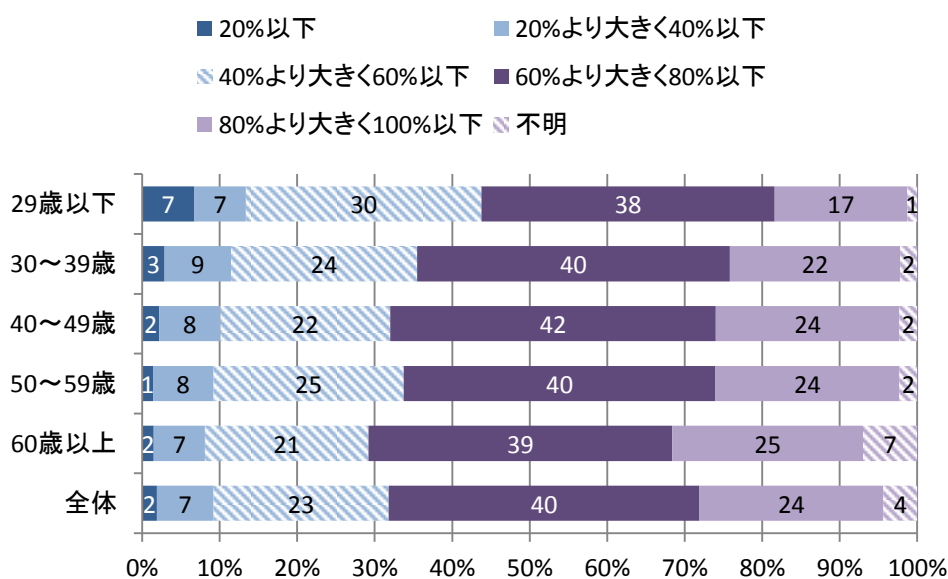


図 3-27 世帯主年齢別省エネルギー行動実施率

地方によらず省エネルギー行動実施率「60%より大きく 80%以下」の世帯が最も多い。実施率「80%より大きく 100%以下」の世帯は北海道で 28%と最も高く、沖縄で 17%と最も低い。

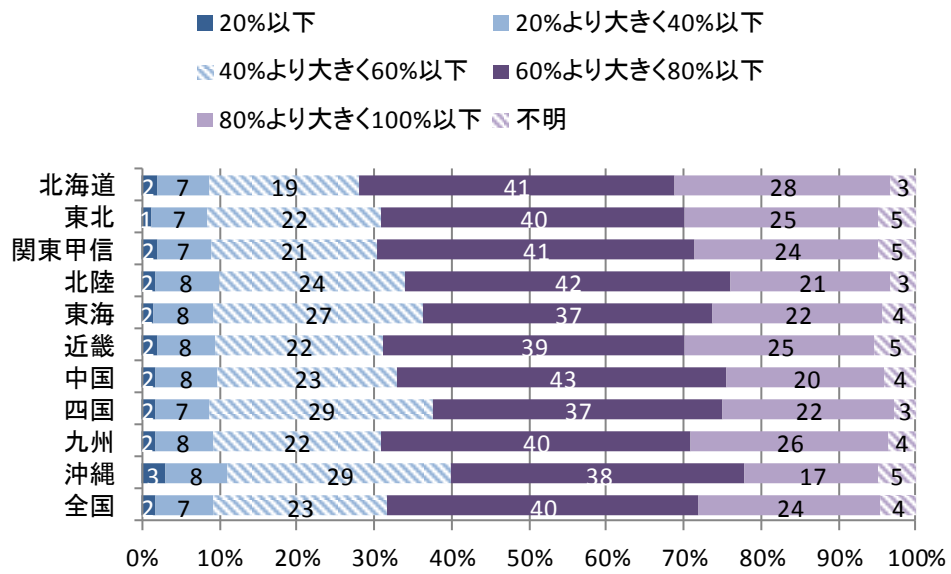


図 3-28 地方別省エネルギー行動実施率

(13) 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別CO₂排出量<家族が続けて入浴するようにしている>

個別の省エネルギー行動のうち「家族が続けて入浴するようにしている」を実施している世帯では、実施していない世帯に比べ、給湯の排出量が少ない。給湯以外にも排出量が比較的少ない用途がみられる。

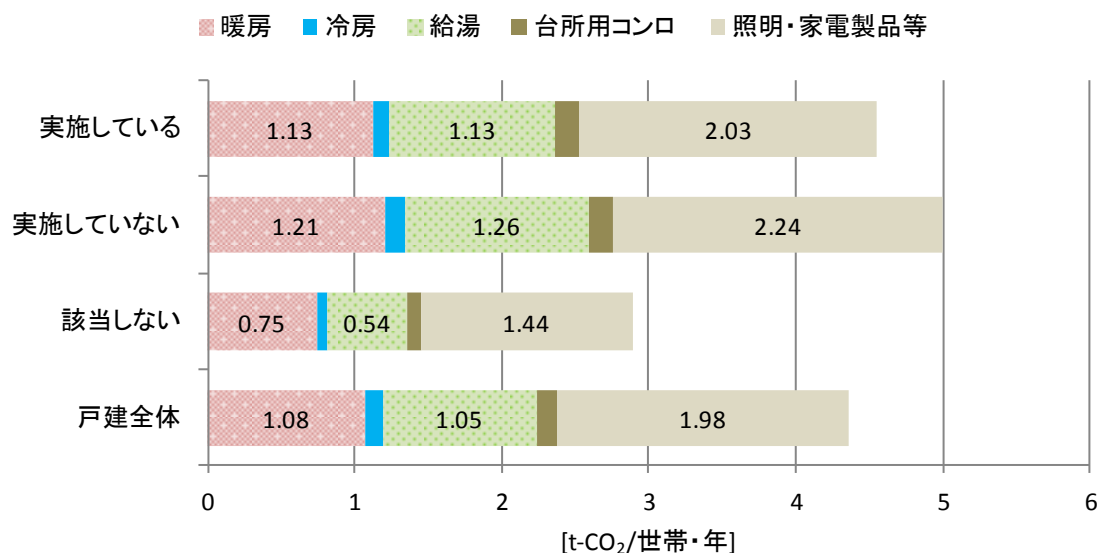


図 3-29 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量 (戸建) <家族が続けて入浴するようにしている>

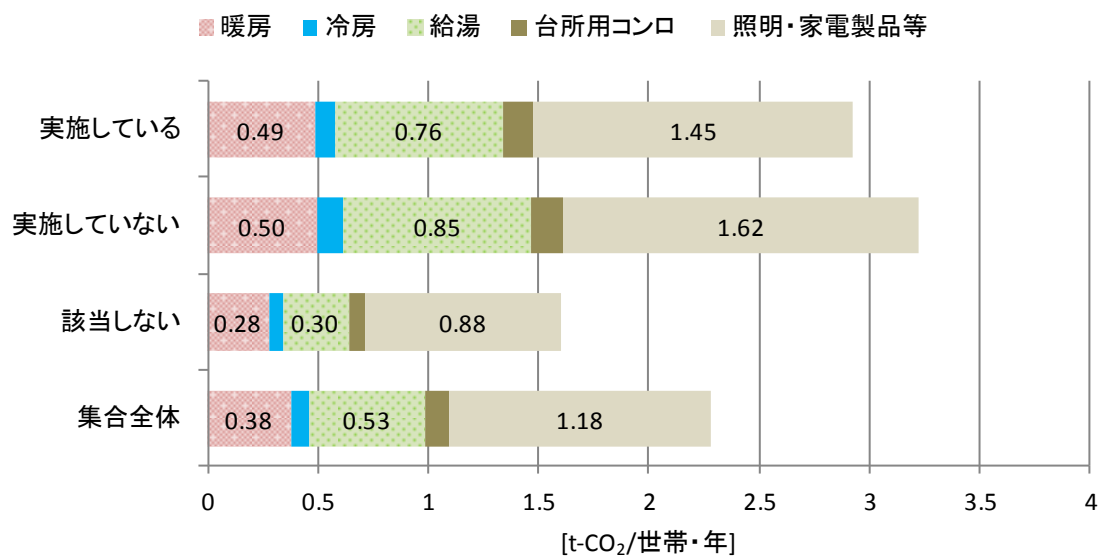


図 3-30 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別 CO₂ 排出量 (集合) <家族が続けて入浴するようにしている>

(14) 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別CO₂排出量<テレビを使用しないときは主電源をオフにしている>

個別の省エネルギー行動のうち「テレビを使用しないときは主電源をオフにしている」を実施している世帯では、実施していない世帯に比べ、照明・家電製品等の排出量が少ない。照明・家電製品等以外にも排出量が比較的少ない用途がみられる。

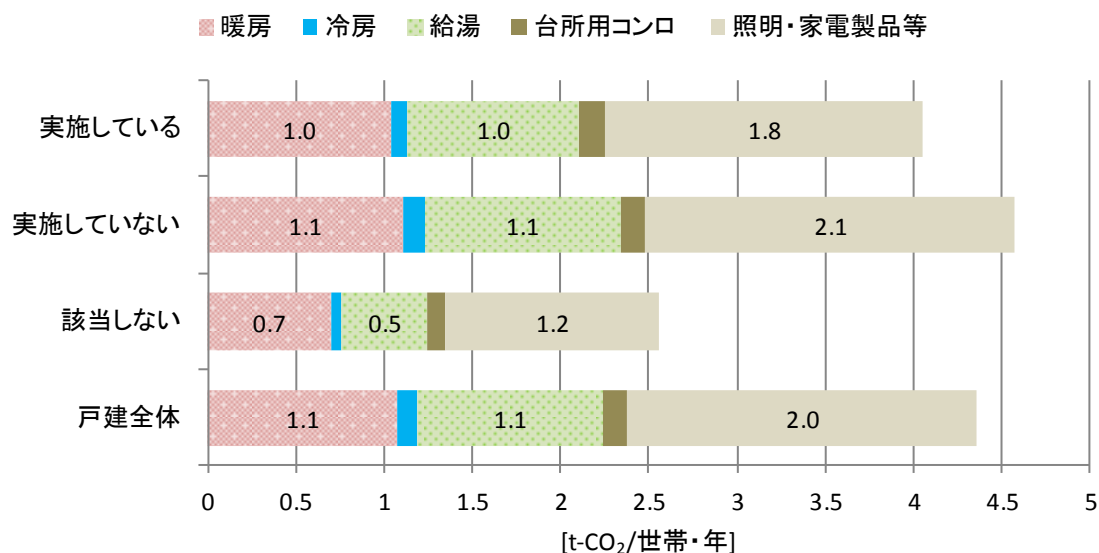


図 3-31 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別CO₂排出量(戸建) <テレビを使用しないときは主電源をオフにしている>

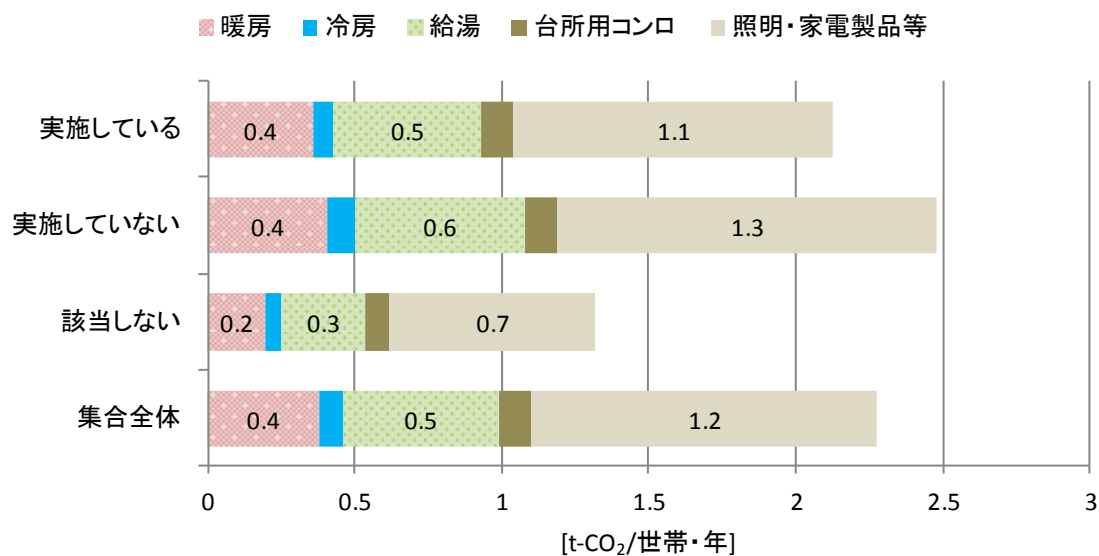


図 3-32 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別CO₂排出量(集合) <テレビを使用しないときは主電源をオフにしている>

(15) 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別CO₂排出量<炊飯器の保温機能を極力使用しないようにしている>

個別の省エネルギー行動のうち「炊飯器の保温機能を極力使用しないようにしている」を実施している世帯では、実施していない世帯に比べ、照明・家電製品等の排出量が少ない。照明・家電製品等以外にも排出量が比較的少ない用途がみられる。

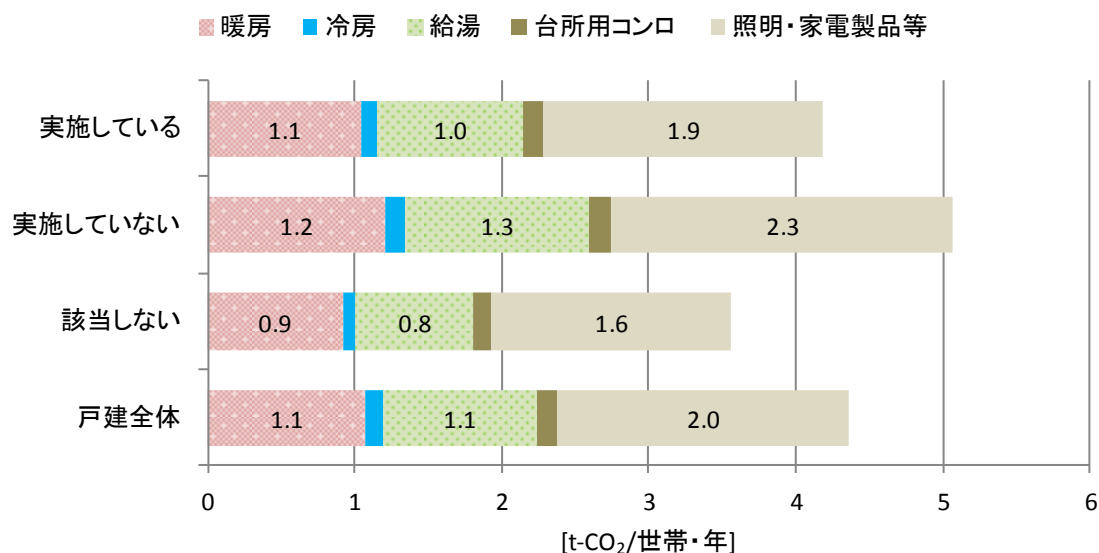


図 3-33 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別CO₂排出量(戸建)<炊飯器の保温機能を極力使用しないようにしている>

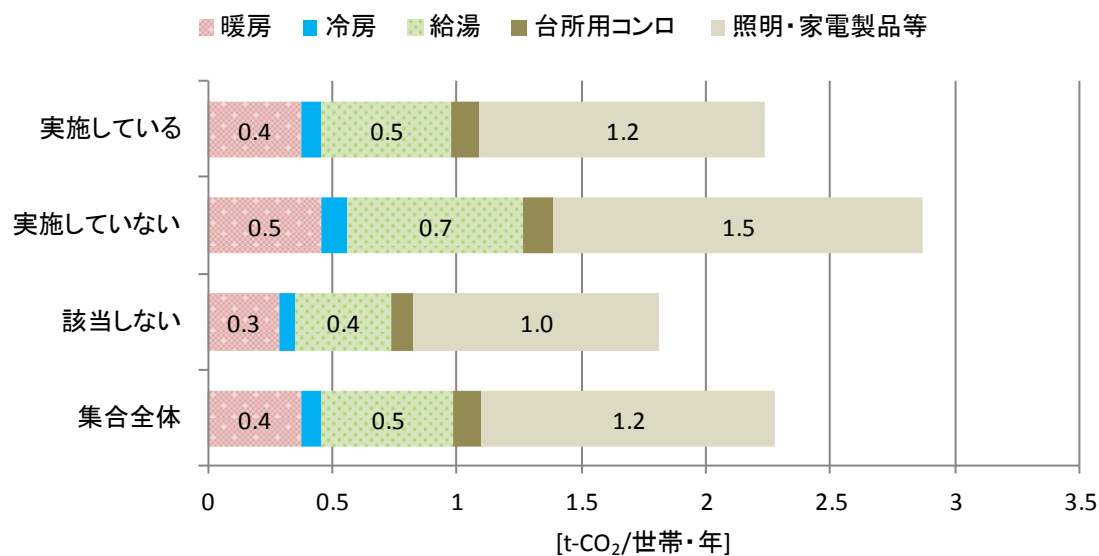


図 3-34 建て方別省エネルギー行動実施状況別世帯当たり年間用途別CO₂排出量(集合)<炊飯器の保温機能を極力使用しないようにしている>

(16) 世帯類型別自動車の使用台数別世帯当たり年間自動車用燃料 CO₂ 排出量
 自動車の使用台数別に自動車用燃料の年間 CO₂ 排出量を比較すると、単身世帯、
 2人以上世帯のいずれも使用台数が多い世帯ほど排出量が多い。

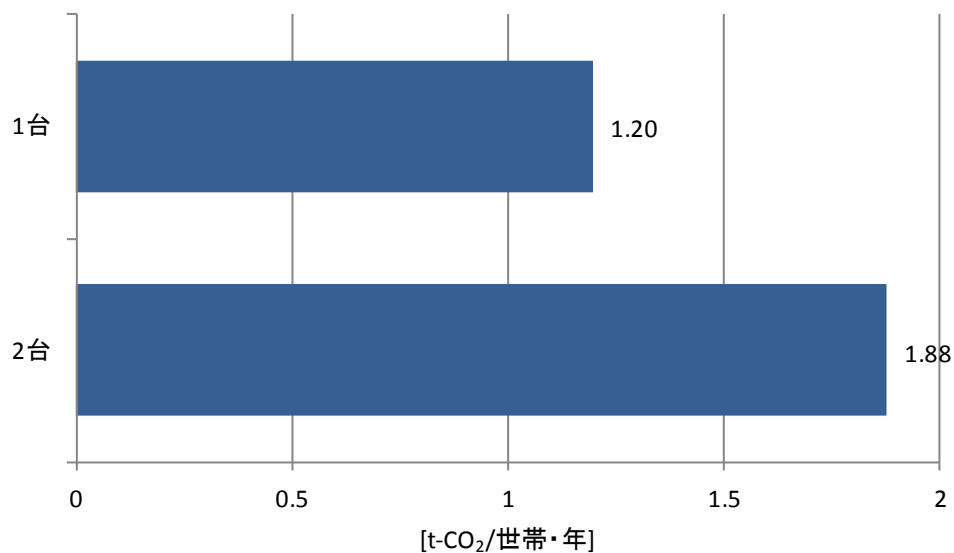


図 3-35 世帯類型別自動車の使用台数別世帯当たり年間自動車用燃料 CO₂ 排出量（単身世帯）

(注) 3台以上は集計世帯数が10未満のため表示していない。

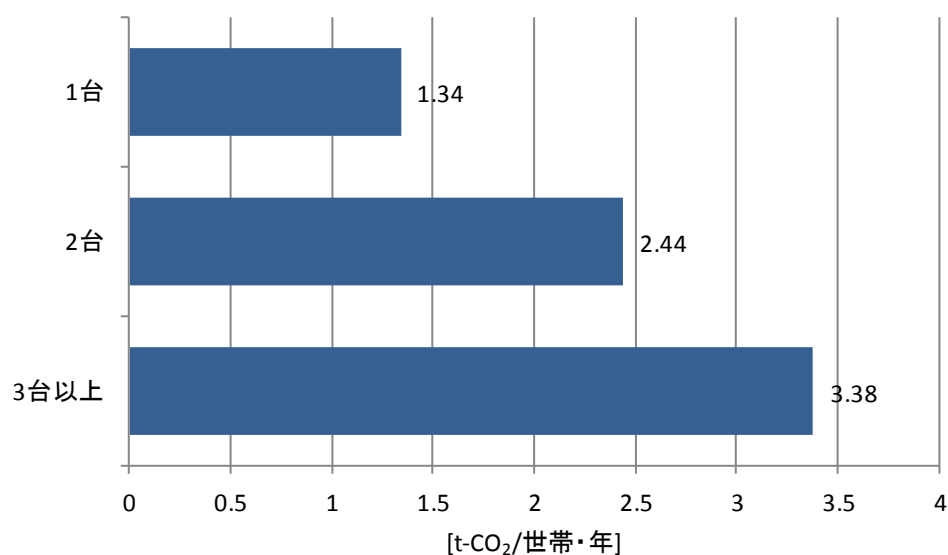


図 3-36 世帯類型別自動車の使用台数別世帯当たり年間自動車用燃料 CO₂ 排出量（2人以上世帯）

(17) 世帯類型別自動車の年間走行距離（3台目までの合計）別世帯当たり年間自動車用燃料CO₂排出量

自動車の年間走行距離（3台目までの合計※）別に自動車用燃料の年間CO₂排出量を比較すると、単身世帯、2人以上世帯のいずれも走行距離が長い世帯ほど排出量が多い。

※4台以上使用している世帯も含まれる。

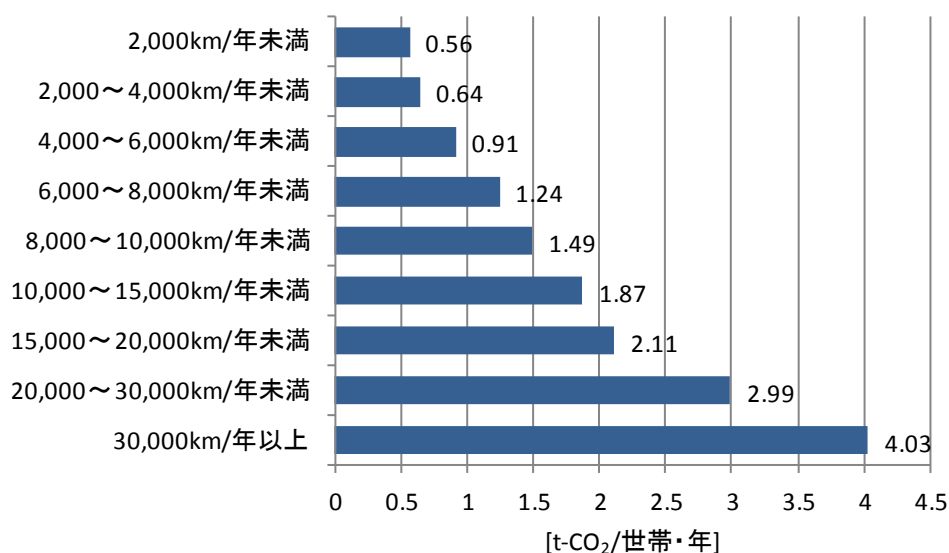


図 3-37 世帯類型別自動車の年間走行距離（3台目までの合計）別世帯当たり年間自動車用燃料CO₂排出量（単身世帯）

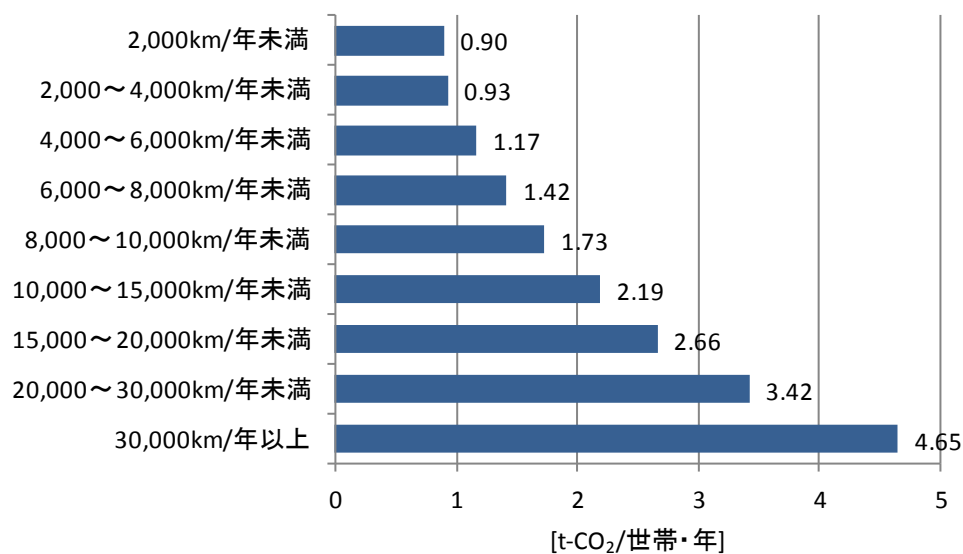


図 3-38 世帯類型別自動車の年間走行距離（3台目までの合計）別世帯当たり年間自動車用燃料CO₂排出量（2人以上世帯）

(18) 世帯類型別自動車の排気量（1台目）別世帯当たり年間自動車用燃料CO₂排出量

自動車の排気量（1台目※）別に自動車用燃料の年間CO₂排出量を比較すると、1001cc以上では概ね排気量が高い世帯ほど排出量が多い。排気量が小さい区分で傾向がみられないのは使用台数や走行距離の差が影響していると考えられる。

※複数台使用している世帯も含まれる。

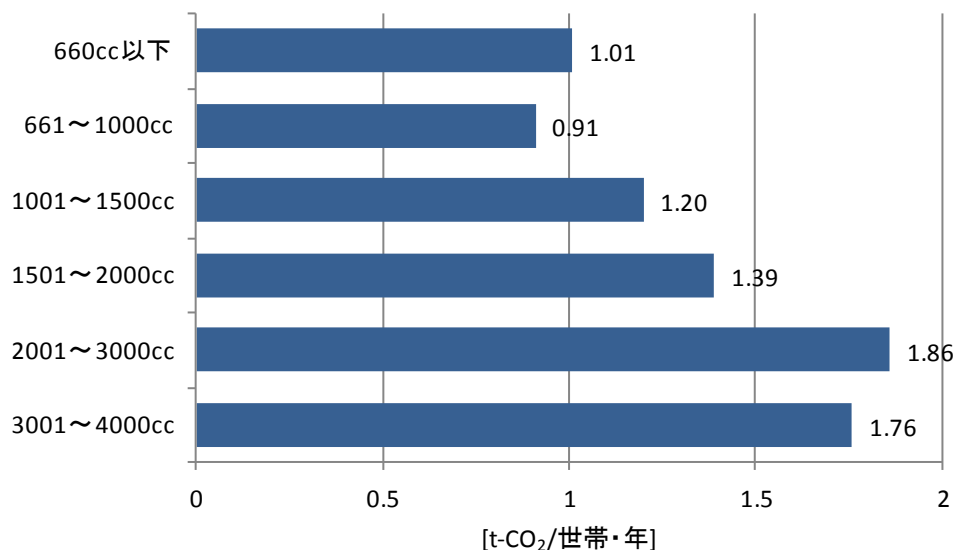


図 3-39 世帯類型別自動車の排気量（1台目）別世帯当たり年間自動車用燃料CO₂排出量（単身世帯）

(注) 4001cc以上は集計世帯数が10未満のため表示していない。

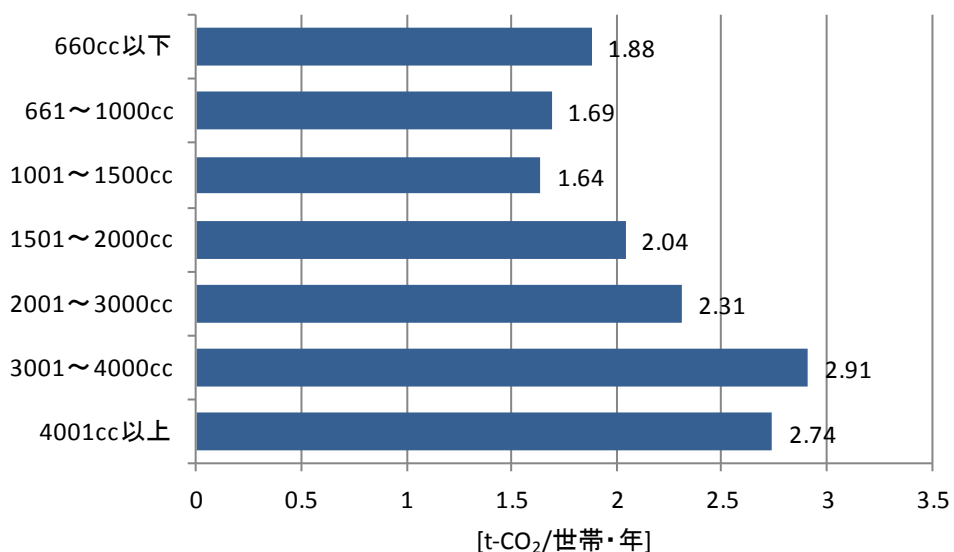


図 3-40 世帯類型別自動車の排気量（1台目）別世帯当たり年間自動車用燃料CO₂排出量（2人以上世帯）

(19) 世帯類型別自動車の実際の燃費（1台目）別世帯当たり年間自動車用燃料CO₂排出量

自動車の実際の燃費（1台目※）別に自動車用燃料の年間CO₂排出量を比較すると、1Lあたり5km未満を除き、実際の燃費が良い世帯ほど排出量が少ない。1Lあたり5km未満では走行距離が比較的短いことなどが影響していると考えられる。

※複数台使用している世帯も含まれる。

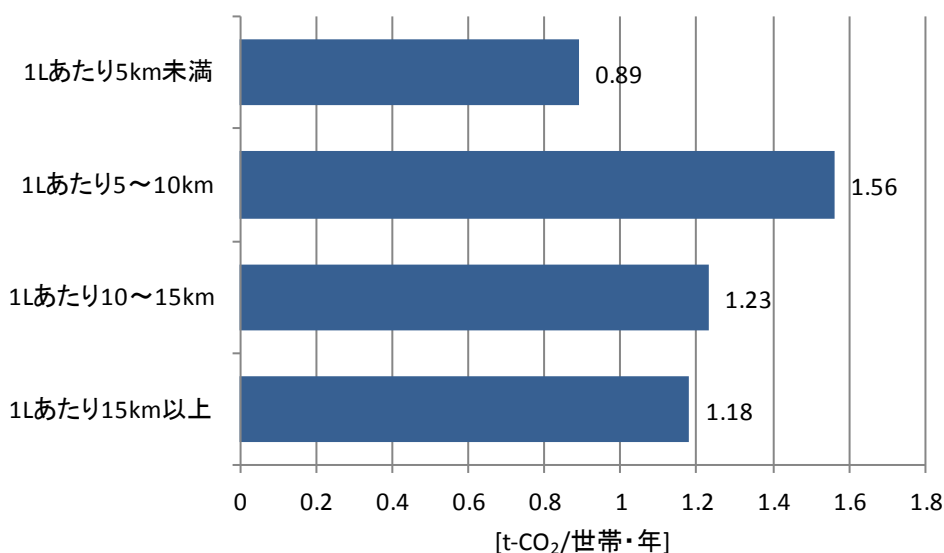


図 3-41 世帯類型別自動車の実際の燃費（1台目）別世帯当たり年間自動車用燃料CO₂排出量（単身世帯）

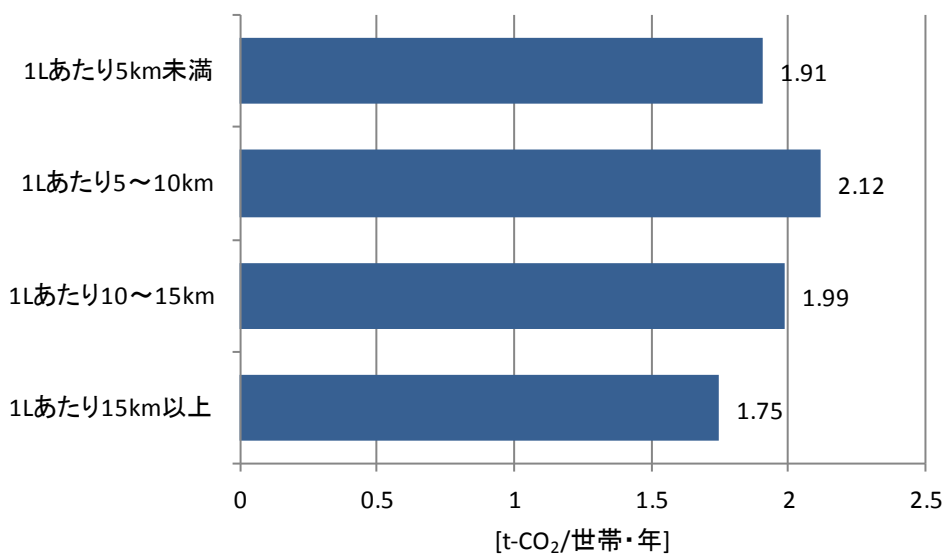


図 3-42 世帯類型別自動車の実際の燃費（1台目）別世帯当たり年間自動車用燃料CO₂排出量（2人以上世帯）

IV 主要属性

(1) 地方別建て方

全国では戸建住宅の世帯が 56%、集合住宅の世帯が 44%である。集合住宅の割合が比較的高い地方は沖縄、関東甲信、近畿である。

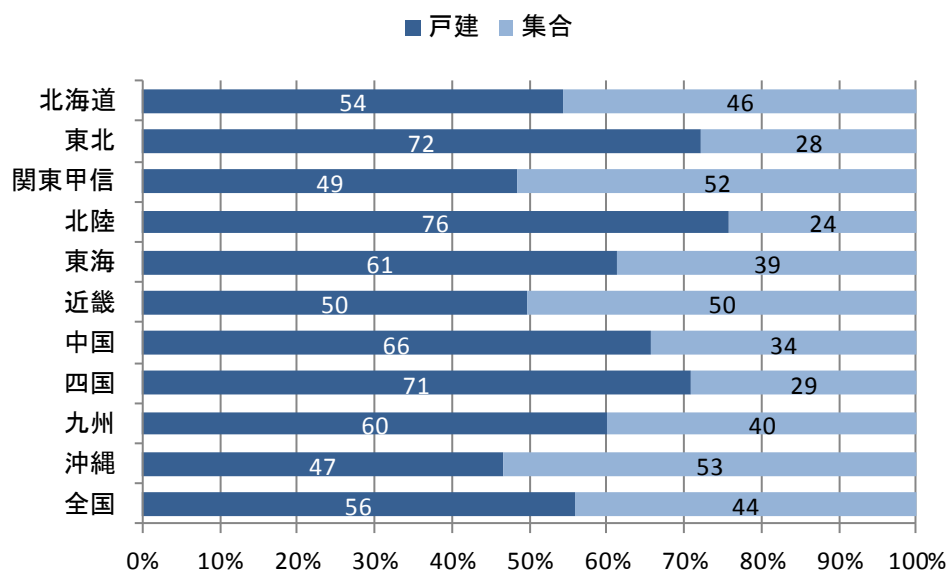


図 4-1 地方別建て方

(2) 建て方別世帯類型

全体では夫婦と子・若中年世帯、単身・若中年世帯の割合が高い。

戸建住宅の世帯では、夫婦と子・若中年世帯、その他世帯の割合が高い。集合住宅の世帯では単身・若中年世帯、夫婦と子・若中年世帯の割合が高い。

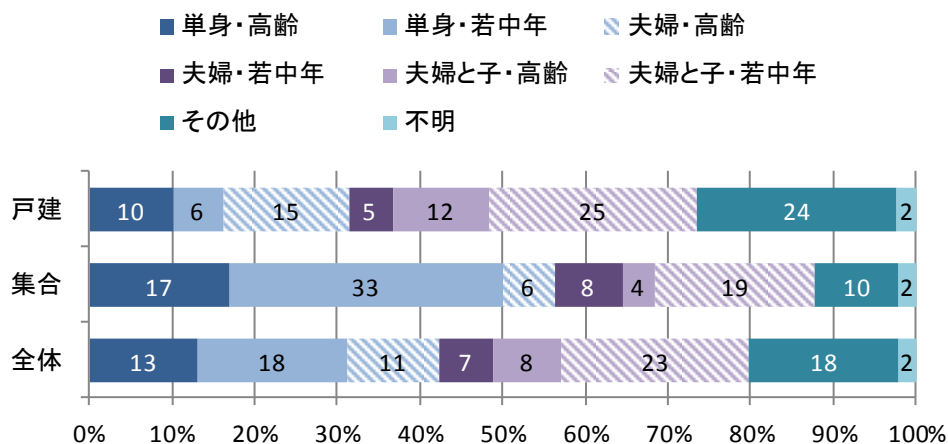


図 4-2 建て方別世帯類型

(3) 地方別世帯類型

地方別に世帯類型を比較すると、北陸、東北では単身世帯の割合が比較的低い。

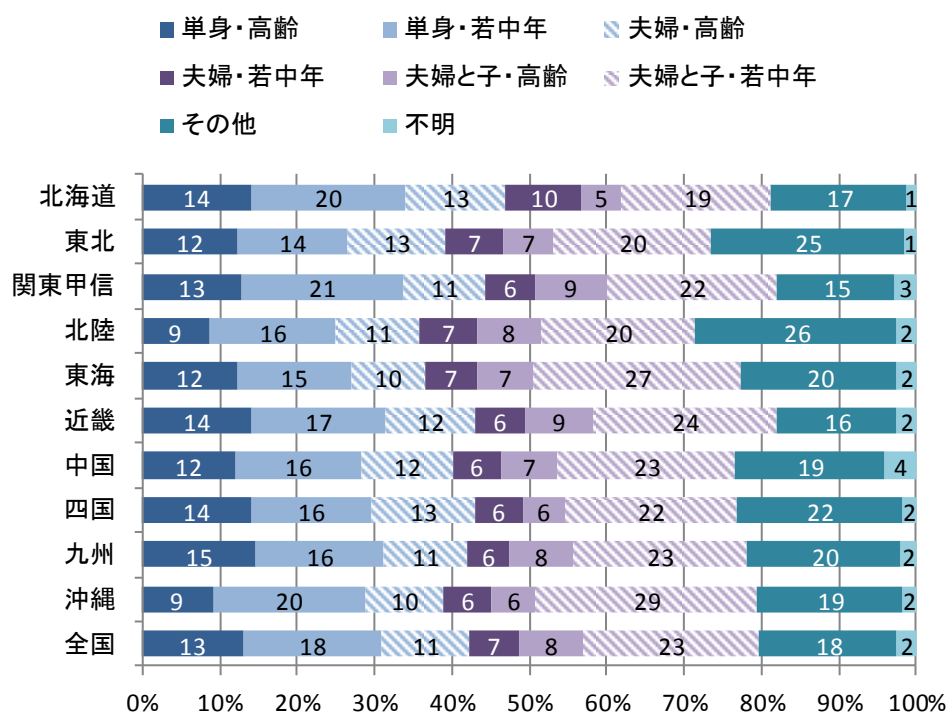


図 4-3 地方別世帯類型

(4) 建て方別世帯人数

世帯人数は平均で2.49人である。戸建住宅の世帯では2.90人、集合住宅の世帯では1.96人である。

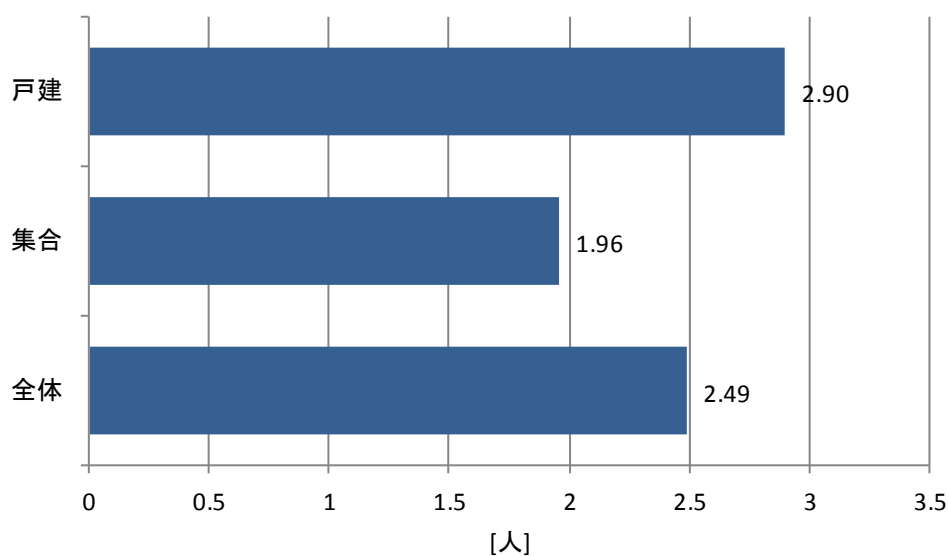


図 4-4 建て方別世帯人数

(5) 地方別世帯人数

世帯人数が比較的多い地方は北陸、東海であり、比較的少ない地方は北海道、関東甲信である。単身世帯の割合は北海道、関東甲信が高い。

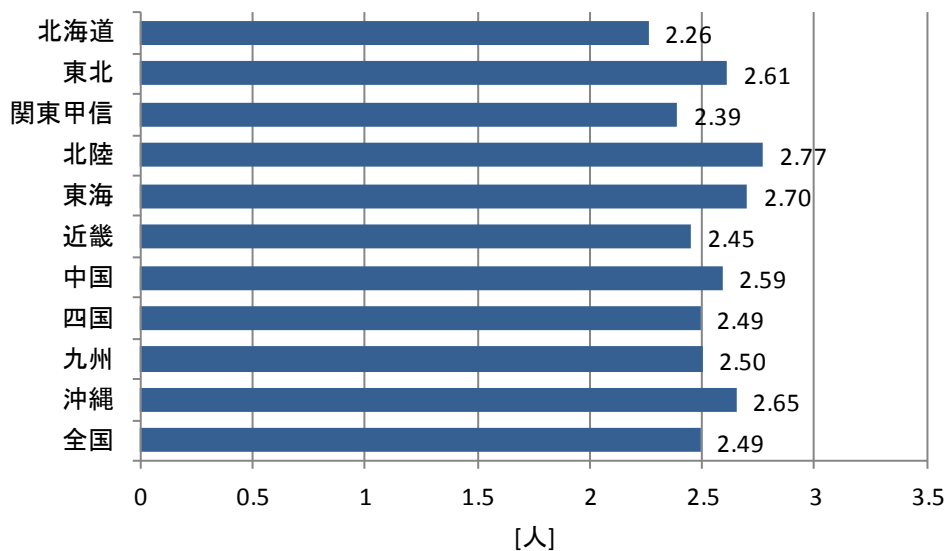


図 4-5 地方別世帯人数

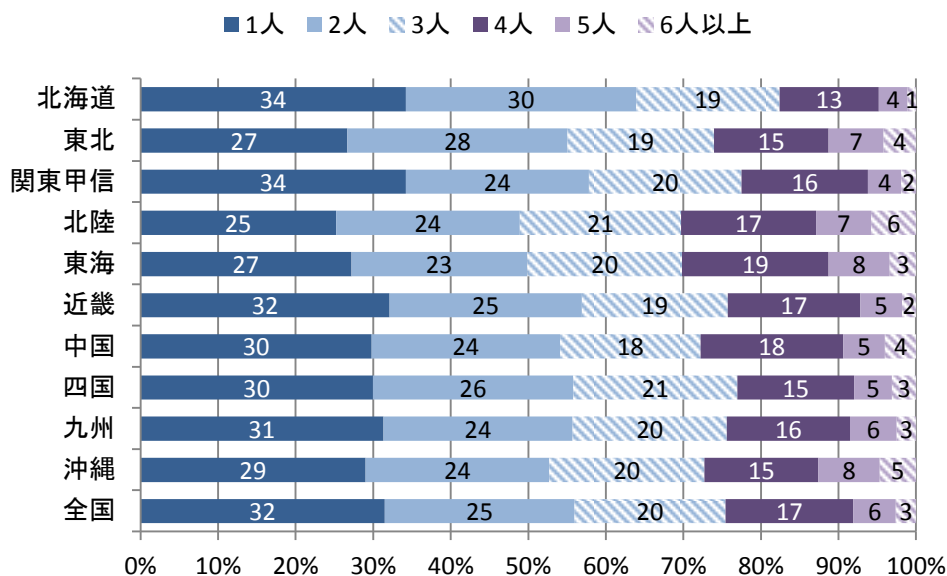


図 4-6 地方別世帯人数（構成比）

(6) 建て方別世帯主年齢

世帯主年齢が60歳以上の世帯が39%を占めている。集合住宅の世帯の世帯主年齢は戸建住宅の世帯に比べ低い。

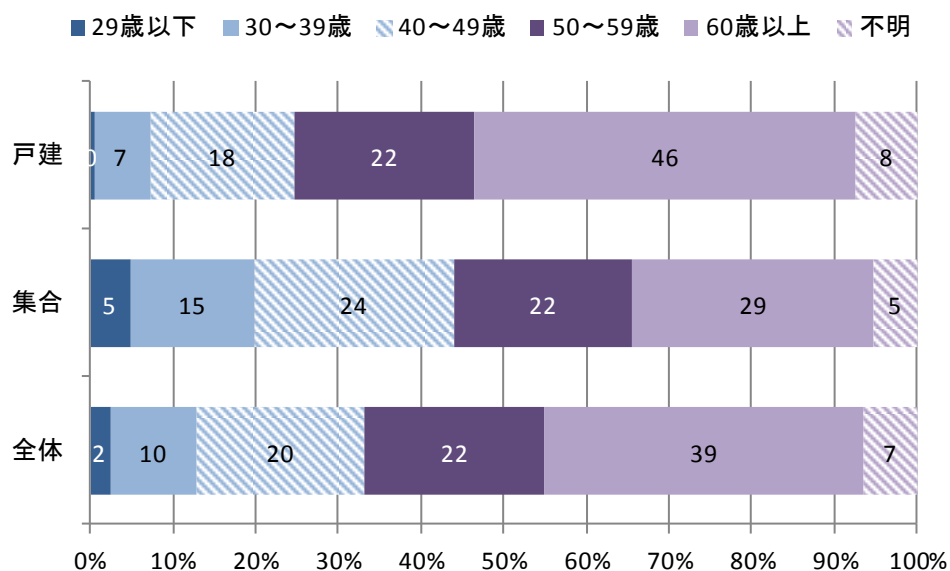


図 4-7 建て方別世帯主年齢

(7) 建て方別高齢者数

高齢者数は平均で0.71人である。戸建住宅の世帯では0.94人、集合住宅の世帯では0.42人である。

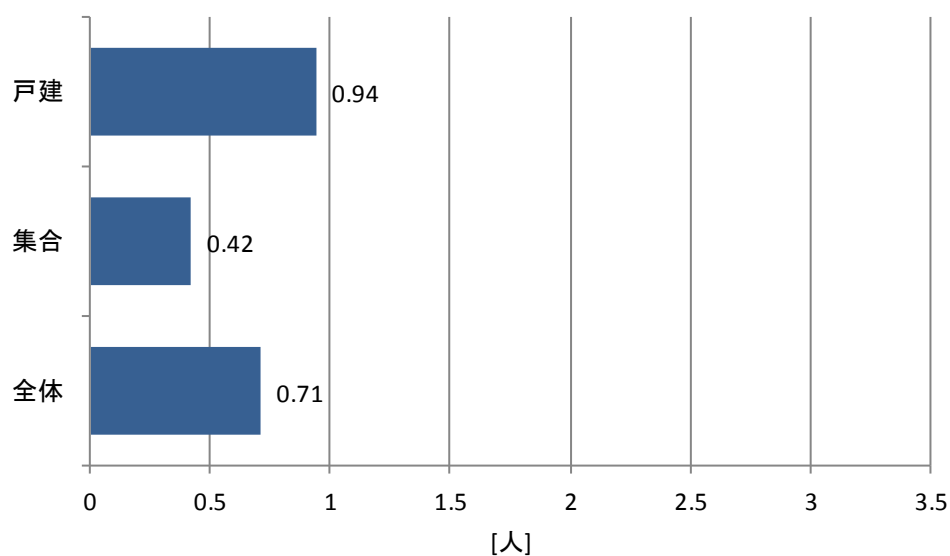


図 4-8 建て方別高齢者数

(8) 建て方別有職者数

有職者数は平均で1.21人である。戸建住宅の世帯では1.32人、集合住宅の世帯では1.08人である。

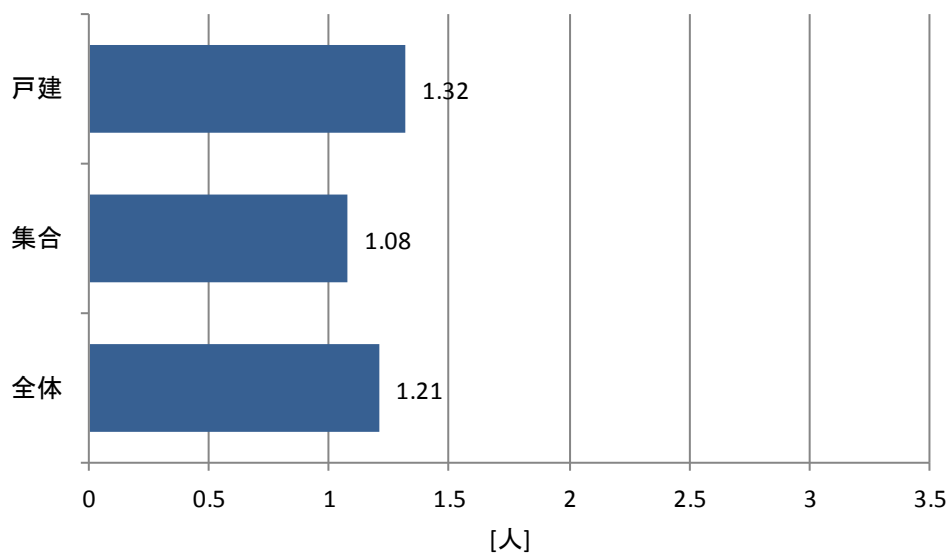


図 4-9 建て方別有職者数

(9) 建て方別平日昼間の在宅者の有無

平日昼間に在宅者が「ほぼ毎日いる」世帯が約5割を占めている。戸建住宅の世帯では集合住宅の世帯に比べ、在宅者が「ほぼ毎日いる」割合が高い。

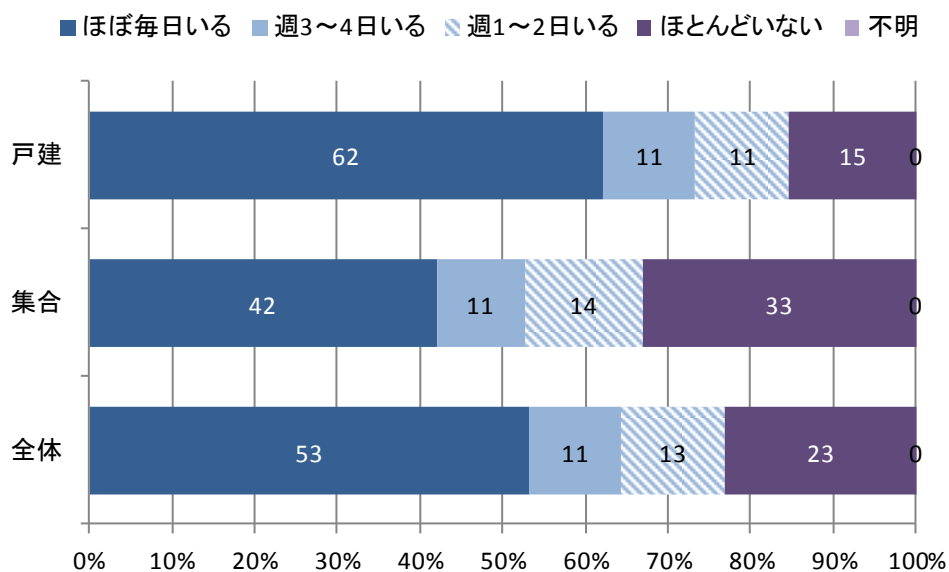


図 4-10 建て方別平日昼間の在宅者の有無

(10) 世帯類型別平日昼間の在宅者の有無

世帯類型別に平日昼間の在宅者の有無を比較すると、高齢世帯では若中年世帯に比べ「ほぼ毎日いる」の割合が高い。単身・若中年世帯では「ほとんどいない」の割合が5割を超えている。

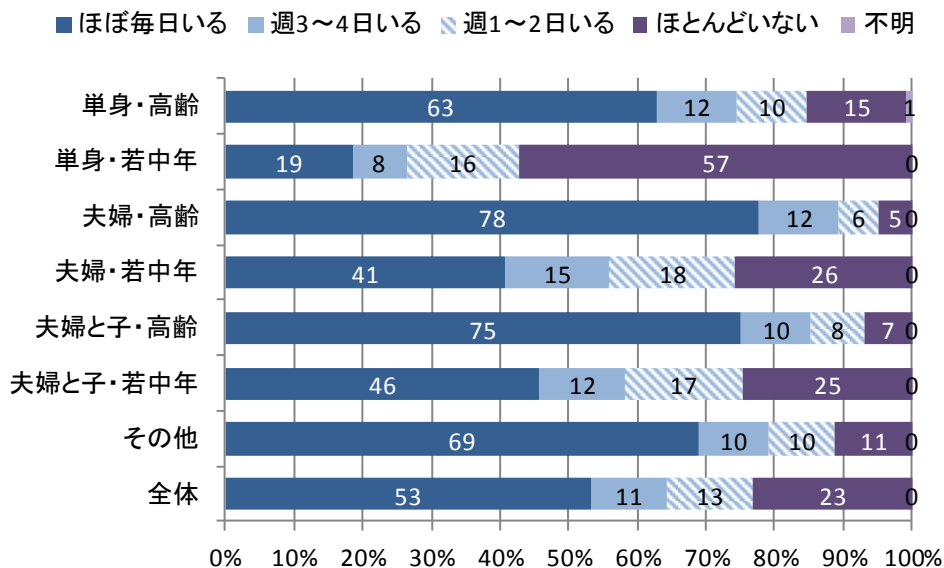


図 4-11 世帯類型別平日昼間の在宅者の有無

(11) 建て方別年間世帯収入

年間世帯収入が250~500万円未満の世帯が約3割、500~750万円未満が約2割を占める。戸建住宅の世帯では有職者数の違いなどにより、集合住宅の世帯に比べ、年間世帯収入が高い。

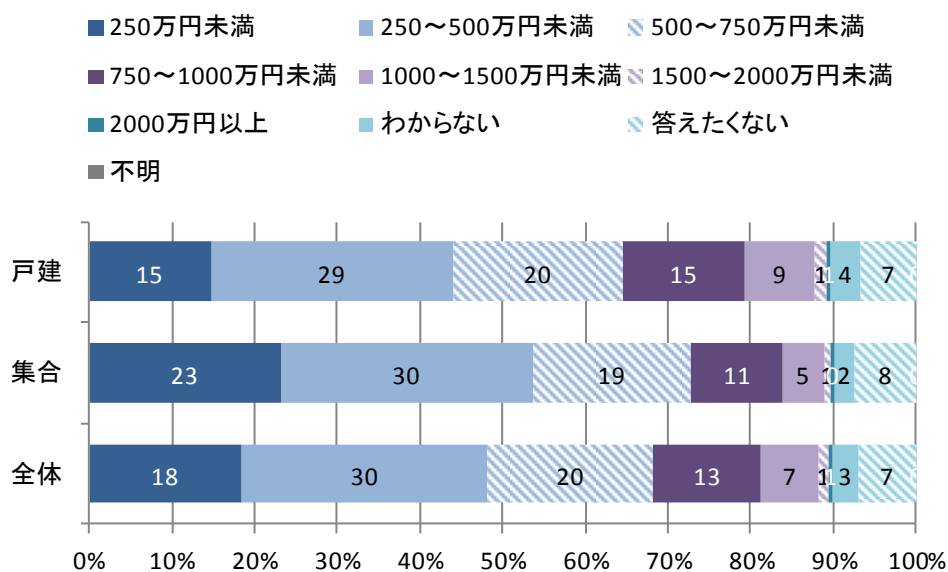


図 4-12 建て方別年間世帯収入

(12) 建て方別建築時期

戸建住宅の世帯では集合住宅の世帯に比べ建築時期が古い割合が高い。住宅の省エネルギー基準が制定された1980年以前の住宅に居住する世帯が20%を占める。

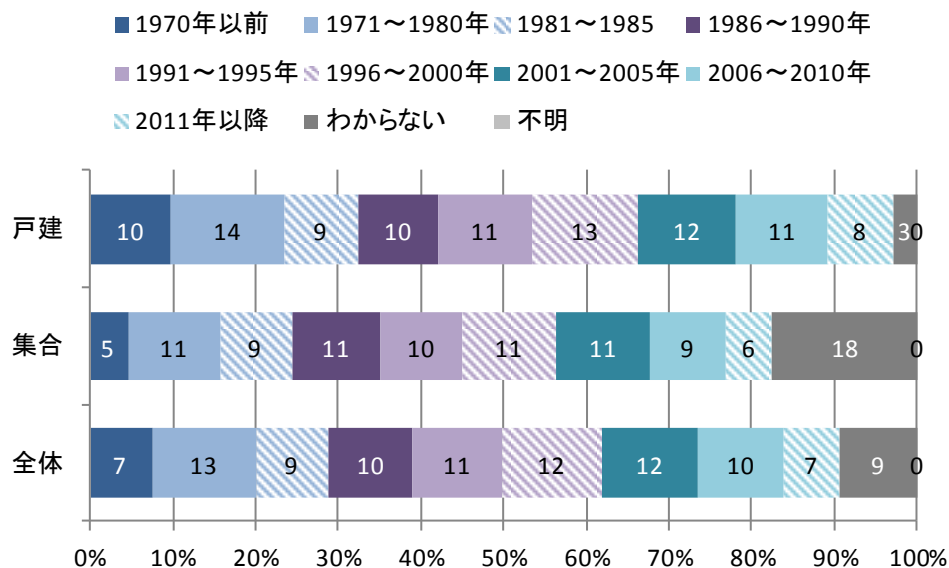


図 4-13 建て方別建築時期

(13) 建て方別延べ床面積

延べ床面積は平均で100.0 m²である。戸建住宅の世帯では130.8 m²、集合住宅の世帯では59.2 m²である。

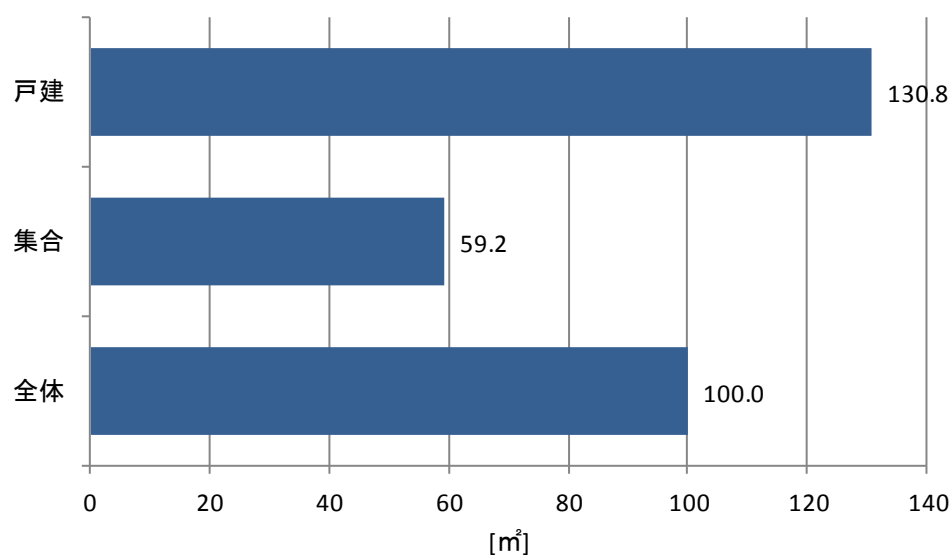


図 4-14 建て方別延べ床面積

(14) 地方別延べ床面積

地方別に延べ床面積を比較すると、戸建住宅の世帯の割合が高い北陸が最も大きく、集合住宅の世帯の割合が高い沖縄が最も小さい。

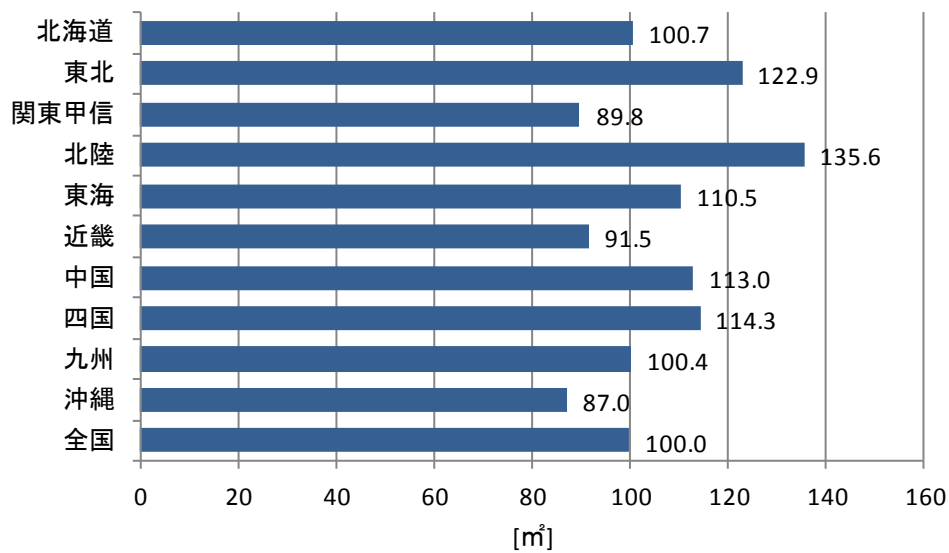


図 4-15 地方別延べ床面積